

科目名	情報処理法			授業科目番号	1101010
担当者氏名	張 坤			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎3-1 地域のネットワークを共有する力, ◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

パーソナルコンピュータを用いて、学生生活で必要な情報処理の基礎的な知識と操作技術の獲得を目指す。パーソナルコンピュータの仕組みを知る。そのうえで、ワードプロセッサの基礎的な使用方法、表計算ソフトの基礎的な使用方法、プレゼンテーションソフトの基礎的な使用方法を学ぶ。また、電子メールの受発信、インターネットを通しての情報収集の基礎的な知識と技術を学ぶ。収集した情報の加工、蓄積、検索、利用、廃棄などの情報管理の手法について学ぶとともに、収集したデータの二次的活用方法について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. パーソナルコンピュータの基本的な操作とインターネットからの情報収集・処理・発信ができる。
2. ワードによる文書の作成ができる。
3. パワーポイントによる発表資料作成ができる。
4. エクセルによる表計算とデータの集計などができる。

《評価の方法》

学習態度10%（到達目標1.2.3.4）；宿題20%（2, 3回程度；到達目標2.4）；小テスト30%（3回程度；到達目標1.2.4）；パワーポイントによるグループ発表40%（到達目標3.4）

《テキスト》

『イチからしっかり学ぶ!Office基礎と情報モラルOffice365・Office2019対応』（noa出版著 noa出版 2019年）

《参考図書》

特に指定しない

《履修上の留意点》

演習科目であるため、講義への出席率を確保するように努める。

《備考》

看護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	パソコンの基本操作；インターネット・エクスプローラーの操作方法・ファイルの管理など （基本操作演習）	講義の概要の説明 ①パソコンの起動から終了までを一通で行え、その作法を学び、実践する。 ②エクスプローラーの表示・操作 ③ファイルとフォルダーの操作。 （予習）教科書第2章のStep1	張 坤
2	ワード （文書作成の基本）	①ワードの基本操作・編集機能の紹介 ②英数字や漢字を含む様々な文字と、その様々な入力方法 ③文章の装飾法のいろいろを学び、実践を行う。 （復習）教科書第1章、教科書第2章のStep1 （予習）教科書第2章のStep2	張 坤
3	ワード （チラシの作成）	チラシを作成することの実践とレポートに必要な機能を学ぶ （復習）教科書第2章	張 坤
4	ワード （復習・小テスト）	学習したワードの諸機能の復習と小テストを行う。 （予習）教科書第3章のStep1、2	張 坤
5	エクセル （基礎と表の作成）	①エクセルの基礎を学ぶ ②エクセルを用いて表を作成し、そのうえで、表計算とは何かを実際に体験する。 （復習）教科書第3章のStep1、Step2.1&2.2 （予習）教科書第3章のStep2.3	張 坤

科目名	情報処理法	授業科目番号	1101010
担当者氏名	張 坤		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	エクセル (データ計算の諸機能)	データの順位付け、列・行の検索方法の理解と練習をする。文字列の操作、条件付き集計方法を理解し、実践する。 (復習) 教科書第3章のStep2.3 (予習) 教科書第3章のStep3	張 坤
7	エクセル (関数とグラフ)	エクセルに用意されている関数について学び、合計や平均値などを計算する。その結果をグラフ表示する。 (復習) 教科書第3章	張 坤
8	エクセル (復習・小テスト)	学習したエクセルの諸機能の復習と小テストを行う。 (予習) 教科書第4章のStep1、2	張 坤
9	パワーポイント (プレゼンテーションの基本とスライドの作成)	パワーポイントの使い方の基本を学び、図表挿入の各機能の紹介と練習。 (復習) 教科書第4章のStep1、2 (予習) 教科書第4章のStep3	張 坤
10	パワーポイント (発表資料の作成)	チームで発表したいテーマを選択し、それについての発表項目内容を、アウトライン機能を用いて作成する。また、写真・動画の挿入の方法を理解し、プレゼンテーション資料の作成を行う。 (復習) 教科書第4章	張 坤
11	パワーポイント (復習・小テスト)	学習したパワーポイントの諸機能の復習と小テストを行う。 (予習) 教科書第5章	張 坤
12	情報モラル (ルールとマナー)	①セキュリティと情報モラル ②ルールとマナー ③電子メールの利用際の注意点 ④個人情報の保護 (復習) 教科書第5章	張 坤
13	パワーポイント (発表練習)	第10回で作成した発表資料を用いて、プレゼンの練習と資料の修正作業を行う。	張 坤
14	グループ発表の実施(1)	前回までに作成したプレゼンテーション資料を用いてプレゼンを行う。	張 坤
15	グループ発表の実施(2)とまとめ	前回までに作成したプレゼンテーション資料を用いてプレゼンを行う。これまで学習した情報処理基礎、用いたツールについてまとめる。	張 坤

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	ベーシック英語			授業科目番号	1102090
担当者氏名	川崎 真理子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

国際化する社会の一員として必要となる英語の能力を養成するために、基礎的な4技能を獲得する。基礎的な英文法を確認し、知りたいことを的確に読み取る能力を養成する。目的に応じた正しい英文を書く能力を養成する。一般的な日常生活・看護現場での英語運用能力を身につける。

《授業の到達目標》

- ①基本的な英語のしくみ（特に日本語と異なる点）を理解している。
- ②親しみのある内容あれば、音声・文字で受信・発信できる。
- ③辞書や翻訳ツールを適切に活用して、コミュニケーションを図る努力ができる。
- ④医療・看護関係の基本的専門用語を理解でき、まとまりのある文章の概要を把握できる。

《評価の方法》

授業への参画・英語使用状況20%（①②③）、クイズ・テスト40%（①②④） 課題（含多読）40%（①②③④）

《テキスト》

『Talking with Your Patients in English（アニメで学ぶ看護英語）』（平野美津子 他著 成美堂 2019年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

多読や既習事項に基づく練習は必須です。課題には十分に時間をかけてください。授業中に辞書や翻訳ツールが使用できるPCなどを携帯してください。授業は協働学習の場です。互いに学び高め合う姿勢を求めます。言語の使用の実践の場でもありますから、英語でのやり取りを優先させましょう。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

看護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	シラバス確認 運用能力・自己調整能力（現状と目標） (Proficiency, self-regulation, memory and learning)	シラバスに沿って目的・目標・評価方法・クラスルール等を確認する。 運用能力の確認（CEFR-Jレベル評価、語彙サイズ、音読速度、シャドーイング再生率）と学習分析 達成目標の設定 学習と記憶 多読活動に関する説明（図書館）	川崎真理子
2	施設 (Patient, hospital)	多読 Chapter 1 Welcoming a Patient 位置を示す表現／施設 授業外学習：多読（15分／日、約1.5時間／週）、既習ページの復習・シャドーイングと音読（30分／日、約2.5時間／週）	川崎真理子
3	機器 (Vital sign, measurement)	多読 Chapter 2 Taking Vital Signs バイタルを測る機器類／看護物品 授業外学習：多読（15分／日、約1.5時間／週）、既習ページの復習・シャドーイングと音読（30分／日、約2.5時間／週）	川崎真理子
4	痛みの問診 (Pain, assessment)	多読 Chapter 3 Pain Assessment 痛みを表す表現／痛みの問診術 授業外学習：多読（15分／日、約1.5時間／週）、既習ページの復習・シャドーイングと音読（30分／日、約2.5時間／週）	川崎真理子
5	症状 (Symptom)	多読 Chapter 4 Feeling So Sick! 症状チェック表／様々な症状 授業外学習：多読（15分／日、約1.5時間／週）、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題1（30分／日、約2.5時間／週）	川崎真理子

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	ベーシック英語	授業科目番号	1102090
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	体位や動き (Position, movement transfer)	多読 Chapter 5 Transferring a Patient 体位／動きの表現 授業外学習：多読(15分／日、約1.5時間／週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題1(30分／日、約2.5時間／週)	川崎真理子
7	診療科と検査 (Department, examination)	多読 Chapter 6 Medical Departments 診療科と専門医／検査のための表現 課題1発表 授業外学習：多読(15分／日、約1.5時間／週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分／日、約2.5時間／週)	川崎真理子
8	まとめ 医療英語と医学英文 (Medical reading, scanning, retelling)	Chapter 7 Review & Medical Terminology ここまでのまとめと医学英語について Chapter 14 Review & Medical Reading まとめと医学英文読解 課題2 医学・看護関係英文サマリー 授業外学習：多読(15分／日、約1.5時間／週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題1(30分／日、約2.5時間／週)	川崎真理子
9	日常生活援助 (Personal care, assistance, support)	多読 Chapter 8 Personal Care 身だしなみ用具／日常生活援助表現 医学・看護関係英文記事等の確認 授業外学習：多読(15分／日、約1.5時間／週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分／日、約2.5時間／週)	川崎真理子
10	投薬 (Medication, prescription, dose)	多読 Chapter 9 Giving Medication to a Patient 薬剤の種類／投薬指示関連の表現 授業外学習：多読(15分／日、約1.5時間／週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分／日、約2.5時間／週) 課題2提出	川崎真理子
11	排泄 (Elimination, bowel movement, urination)	多読 Chapter 10 Elimination (Bowel movement / Urination) 排泄の表現／排尿の仕組み 多読(15分／日、約1.5時間／週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分／日、約2.5時間／週) 課題2発表準備	川崎真理子
12	慢性病、周手術期看護 (Chronic, acute, critical, operating)	多読 Chapter 11 Chronic Diseases 患者情報収集／慢性病とは？ Chapter 12 Critical Care / Operating Room 救急室で／周手術期看護 授業外学習：多読(15分／日、約1.5時間／週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分／日、約2.5時間／週)	川崎真理子
13	出産、認知症 (Memory, cognition, impairment)	Chapter 13 Pregnancy Check-up 妊娠初期・中期／陣痛と出産 Chapter 14 Memory Impairment 認知症高齢者とその家族 授業外学習：多読(15分／日、約1.5時間／週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分／日、約2.5時間／週)	川崎真理子
14	テスト PBL 思考ツール (Problem solving)	テストと回答解説 PBL(課題解決型学習)(思考ツール) 授業外学習：多読(15分／日、約1.5時間／週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分／日、約2.5時間／週)	川崎真理子
15	まとめ 学術記事 発表 (Proficiency, metacognition, reflection)	運用能力の確認(CEFR-Jレベル評価、語彙サイズ、音読速度、シャドーイング再生率) 目標達成度確認 課題2 医学・看護関係英文サマリー発表 課題3 授業外学習：多読(15分／日、約1.5時間／週)	川崎真理子

科目名	日本語表現Ⅰ			授業科目番号	1102130
担当者氏名	渡部 洋一郎			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○4-2 看護を追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

論理的な文章を演繹的に読解する力、社会生活で必要となる日本語を的確に運用・表現できる力を習得する。
 評論や論説などを読解し、文章の構成や展開を把握し、各意味段落の役割を基に文の意味を演繹的に理解し、語や表現の意味を考える。また、主語と述語、修飾語や接続、文体など、正確な文を構成する上で不可欠な基礎文法と社会生活に必要な不可欠な現代敬語を口語表現中心に修得し、文章表現に応用する力を養う。

《授業の到達目標》

日本語の表現構造を踏まえ、ポイントを押さえた文章要約法について学ぶとともに、理解と表現の相互関係についても探求を深める。また、平易な文章題を読み、論理的に思考しながら、その解に至る道筋を理解し、どのような解き方をすれば妥当性のある答えを導けるのかについて主体的に考えられることを目標とする。

《評価の方法》

定期試験50%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度10%

《テキスト》

毎回、使用プリントを適宜配布します。

《参考図書》

参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

《履修上の留意点》

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	日本語の統語的構造とその特質 (文の構成)	私たちが用いる日本語にはどのような特徴があるのか、その成り立ちについて、特に文の構成という観点から理解を深めます。	渡部洋一郎
2	評論文の特徴と筆者の主張 (主張の組み立て)	評論文における筆者の主張とは何か、また、それはどのような手法に基づいて文章内に展開されているのかを実際の文章を読み解くことで理解します。	渡部洋一郎
3	説明文における実験の手順と説明の論理 (実験観察型説明文の論理)	説明文には、実験や観察したことに基づいて書かれている科学的な文章群が存在します。そこに書かれている実験の順番や観察の条件を変えるとどのようなことが起こるのか、実際に確かめてみましょう。	渡部洋一郎
4	疑問詞及び逆接の接続詞に着目した文章要約法 (長文の要点を短時間で把握する方法)	ある特徴を持った説明文は、3つの観点に着目することで容易に文章の骨子を把握することができます。ここではそれを検討します。	渡部洋一郎
5	文学的文章を読み解く視点 (物語文法)	物語文法という理論について学び、それを民話や昔話に当てはめて実際の構造を確認してみましょう。	渡部洋一郎

科目名	日本語表現Ⅰ	授業科目番号	1102130
担当者氏名	渡部 洋一郎		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	物語文法という理論について学び、それを民話や昔話に当てはめて実際の構造を確認してみましょう。	星新一のショートショートを使います。どのようなテクニックが文章内に隠されているのかを探ります。	渡部洋一郎
7	これまでに学んだことを踏まえて、実際の文章題などを解いてみましょう。	様々な表現の文章題を例にとり、これまで学んだことがどのような点で役に立つのかを実際に試してみます。	渡部洋一郎
8	総合的なまとめ	「日本語Ⅰ」で学んだ文章構造や日本語の論理性、書き手の工夫などについて、授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部洋一郎
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	地域活動論			授業科目番号	1103010
担当者氏名	佐藤 和也			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-1 地域のネットワークを共有する力、 ◎5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

市民としての社会的責任に関する態度や素養を養成するとともに、大学生活でも社会生活においても、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む姿勢を育む。つまり、自ら設定した目標に対して、それを行動に移し、粘り強く取り組む姿勢を涵養する。具体的には、地域貢献活動の意義や役割を知る。中越地域における地域貢献活動の内容をフィールドワークを行い把握する。その後、自らができることを考察する。地域活動に関する理解を深めるとともに、参画意識を高め、積極的に地域貢献できる力を育む。

《授業の到達目標》

1. 地域活動やボランティアの基礎知識・現状・課題及び社会的役割が理解できる。
2. 地域活動に興味を持ち参加する心構えを理解する。
3. 「地域の課題」を見つけ、自らが「地域活動」を立ち上げ、「社会貢献」したいことを企画できる。
4. 授業内容を通して、看護職の倫理綱領の中にもある「ウェルビーイング」について考えることができる。

《評価の方法》

レポート作成 20% (到達目標1.3.4)
定期試験 80% (到達目標1.2.3)

《テキスト》

なし (当日レジュメ配付)

《参考図書》

『テキスト市民活動論』（社会福祉法人大阪ボランティア協会編 社会福祉法人大阪ボランティア協会 2017年）
その他随時授業で紹介

《履修上の留意点》

時に、授業終了前に意見や感想等の設問を出し、文書での回答を求めます。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション 社会が変われば社会保障も変わる	授業の概要と目的の説明 地域活動とは 地域社会が求めているもの 予習：日本の将来の社会（人口8000万人）を想像してみる（20分） 復習：自分のボランティア体験をレポートにまとめる（20分）	佐藤 和也
2	ボランティアⅠ ボランティアの歴史と理念	ボランティアの歴史・背景・理念 予習：「ボランティア」という単語に対する自分なりにイメージしておく（20分） 復習：「ボランティア」を自分なりに解釈できる（20分）	佐藤 和也
3	ボランティアⅡ ボランティア活動の対象分野	ボランティア活動の種類と活動の範囲 予習：自分のボランティア体験時の気持ちを思い出す（20分） 復習：人はなぜボランティアをするのか解釈できる（30分）	佐藤 和也
4	ボランティアⅢ 社会福祉協議会・ボランティアセンター・NPO	ボランティア活動の窓口 社会福祉協議会・ボランティアセンター・NPOの機能と役割 予習：出身地の社会福祉協議会の場所を知る（15分） 復習：NPOの活動分野を知る（30分）	佐藤 和也
5	ボランティアⅣ	教育とボランティア 大学生とボランティア 予習：学校で体験したボランティア活動は「ボランティア」といえるのか考える（20分） 復習：自分はボランティア活動で充実感を得ることができるのか考える（20分）	佐藤 和也

科目名	地域活動論	授業科目番号	1103010
担当者氏名	佐藤 和也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	災害ボランティア	災害ボランティアの現状と課題 予習：災害時のボランティア活動内容を調べる(20分) 復習：災害時のボランティア活動の心構えを確認する(20分)	佐藤 和也
7	ボランティアマネジメント	ボランティアコーディネーター ボランティア休暇 ボランティア保険 予習：「マネジメント」の基本を確認する 復習：ボランティアに関する制度を確認する	佐藤 和也
8	地域活動 まちづくり	人口減少に対応する地域活動実践事例 予習：住んでいる地域のまちづくりを確認する(30分) 復習：まちづくり活動に参加する(学生生活中に参加を希望する)	佐藤 和也
9	地域活動 共生社会を考える	住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるために(地域共生) 予習：自分の地区の高齢者世帯を確認する(20分) 復習：「共生社会」をイメージできる(20分)	佐藤 和也
10	地域活動 貧困の連鎖	社会のひずみ(孤独と格差・就労支援・多問題家族・学習支援)と地域活動 予習：「こども食堂」の目的を確認する(20分) 復習：貧困問題を確認する(30分)	佐藤 和也
11	国際分野のNPO活動 NGO Think globally, Act locally	NPOとNGOの違い 世界の課題とNPOの具体的活動例 予習：世界の課題を考える(30分) 復習：フェアトレード商品を購入する(1カ月以内に購入を希望する)	佐藤 和也
12	地域のSDGs	地域や企業のSDGs協働取り組み事例紹介 予習：SDGsを理解する(30分) 復習：持続可能で包括的な地域づくりを考える(40分)	佐藤 和也
13	地域活動への参加に向けてI 地域の課題	自分の出身地の課題と地域活動を調べる 必要な活動を考え計画する 予習：地域の課題には何があるのかイメージしておく(20分) 復習：自分が興味のある活動を理解する(20分)	佐藤 和也
14	地域活動への参加に向けてII 社会貢献したいこと	これまでの授業を振り返り、これからの地域活動への参加に向けて自らが「地域活動」を立ち上げて「社会貢献」したいことをまとめる。 予習：自分が取り組んでみたい活動をいくつか考えてみる(30分) 復習：取り組んでみたい活動の将来像をイメージしてみる(20分)	佐藤 和也
15	地域活動への参加に向けてIII 社会貢献したいこと	地域活動に取り組むために必要な仲間や資源、環境を考える。 予習：地域活動計画の場の環境等を知る(30分) 復習：地域活動に関心を持てる(学生、社会人とながく関心の継続を希望)	佐藤 和也

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会力養成》

科目名	キャリアデザインⅠ			授業科目番号	1104010
担当者氏名	田邊 要補			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、○ 4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

看護職として自律的に自分のキャリアを選択し自分の働きがいを見つけていけるようなキャリア形成支援を目的とする。まず、看護のイメージや看護専門職に社会が求めるものについて理解し、生涯学習を实践、継続する必要性の理解と意欲を育む。さらに、自己にとって看護の道を選択したことの意味を思考するとともに、看護専門職がどのようなキャリア形成支援を受けながら自立し、看護師として成長を続けるのかについて展望する。また、キャリアの選択にむけて様々な看護の仕事の場やそれぞれの特徴について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 自分自身のキャリアとライフイベントについて考えることができる。
2. 自己理解およびキャリア理論について知ることができる。
3. 様々な看護の場やそれぞれの特徴を説明することができる。
4. 自分の看護観にそった将来のキャリアについての考えを述べることができる。

《評価の方法》

ワークシート 1～3 25%（到達目標1. 2. ）、毎回のコメントシート 45%（第1回～第4回：15%（到達目標1. 2. ）、第5回～第8回：30%（到達目標3. 4. ）、最終レポート 30%（到達目標4. ））

《テキスト》

指定なし

《参考図書》

『大学生のためのキャリアデザイン入門』（岩上真珠、大槻奈巳編 有斐閣 2014年）

『看護師のためのキャリアデザインBOOK』（濱田安岐子監修 つちや書店 2022年）

《履修上の留意点》

キャリアデザインⅠは、4年次のキャリアデザインⅡの基礎となる科目である。学生から社会人へと成長する過程を1年次からの時間を着実に刻んでいくための学びとする機会とすることを期待する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	キャリアって何？ (キャリア、キャリアデザイン、キャリア・アンカー、看護の動向、大学入学の目的・目標)	・キャリアデザインについて知る。 ・自分のキャリア・アンカーについて考える。 ・看護の動向について学ぶ。 ・大学に入学した目的と目標を再確認する。 (予習) キャリアについて調べてくる(60分)。 【事後学習】 自分自身の大学入学の目的・目標、看護職になろうと思った動機やきっかけについて記述する(ワークシート1) (60分)。	田邊 要補
2	キャリアとライフイベント (ライフワーク、ライフイベント、キャリア、キャリアパス、生涯学習)	・ライフワークについて考える。 ・キャリアとライフイベントについて知る。 ・看護の仕事およびキャリアパスについて知る。 ・新人看護師の職場選択と新人教育研修について知る。 (予習) ライフイベントについて調べてくる(60分)。 【事後学習】 様々な看護専門職のうち関心のある病院や専門コースについて調べる(ワークシート2) (60分)。	田邊 要補
3	自己理解の基礎 (自己理解、エゴグラム、リーダーシップ・スタイル、リフレミング)	・エゴグラムやリフレミングを用いて自己理解を試みる。 ・失敗を学びの機会に変えることについて知る。 ・逆境を才能の発掘や成長の機会に変える発想について考える。 (予習) 自分の失敗について思い起こしてくる(60分)。 【事後学習】 過去の失敗例を記述し、そこから何を成長に変えることができたのかを振り返る(ワークシート3) (60分)。	田邊 要補
4	ワーク・ライフ・バランスとキャリア理論 (ワーク・ライフ・バランス、ブランド・ハップンスタンス理論、トランジション理論)	・自分のワーク・ライフ・バランスについて考える。 ・ブランド・ハップンスタンス理論について知る。 ・トランジション理論について知る。 (予習) ワーク・ライフ・バランスについて調べてくる(60分)。 (復習) 授業中に学んだ内容を整理する(60分)。	田邊 要補
5	長岡保健所保健師 (行政)	行政の場である、保健所および保健所の保健師としての役割を理解する。 保健師として、仕事上心がけていることを理解する。 (予習) 保健所および保健師の役割について調べてくる(60分)。 (復習) 授業中に学んだ内容を整理する(60分)。	田邊 要補

科目名	キャリアデザインⅠ	授業科目番号	1104010
担当者氏名	田邊 要補		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	柏崎市教育委員会学校教育課 (養護教諭)	教育の場である、養護教諭および養護教諭としての役割りを理解する。 養護教諭として、仕事上心がけていることを理解する。 (予習) 養護教諭および養護教諭の役割りについて調べてくる(60分)。 (復習) 授業中に学んだ内容を整理する(60分)。	田邊 要補
7	こぶし訪問看護ステーション 看護師 (在宅)	在宅の場である、訪問看護ステーションおよび訪問看護ステーションの 管理者としての役割りを理解する。 訪問看護師として、仕事上心がけていることを理解する。 (予習) 訪問看護ステーションおよび訪問看護師の役割りについて調べ てくる(60分)。 (復習) 授業中に学んだ内容を整理する(60分)。	田邊 要補
8	大学教員 専門職業人としての必要な要素 (教育、心構え)	教育の場である、大学教員および大学教員としての役割りを理解する。 専門職業人として、どういふことを身に付けておかなければならないの かについて理解する。 (予習) 大学教員について調べてくる(60分)。 (復習) 課題のレポートについてまとめる(60分)。	田邊 要補
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	発達心理学			授業科目番号	1105010
担当者氏名	宮崎 隆穂			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力			

《授業の概要》

発達心理学の基本的な理論である、フロイトの心理学的発達理論、ゲゼルの成熟優位説、行動主義の学習理論、ピアジェの発生的認識論、バンデューラの社会的認知理論、エリクソンの社会的発達理論を学ぶ。また、論理的思考の発達として、人が年齢とともにどのように思考様式を変化させて行くのかや言葉と概念の発達、発達における教育の役割、対人関係と養育者と子どものアタッチメント、思いやりなどの社会的行動の発達、アイデンティティやパーソナリティの発達などについて、誕生から老年期に至るまでを学び、その心理的な特徴が各ライフステージの行動に影響していることを理解する。

《授業の到達目標》

1. 人間の発達に関する主要な理論的枠組みについて理解し、説明することができる。
2. 思考、言語、社会性、人格などの各側面における人間の時間の経過に伴う変化について、共通点や差異を類別し、論理的に述べることができる。

《評価の方法》

学習態度30% 毎回授業内で行うリアクションペーパーへの質問内容、その他授業内での態度をもとに評価する。
定期試験70% 授業の内容について、主に間違い探し修正法をもちいた客観テストを期末に行う。

《テキスト》

『保育士を育てる① 保育の心理学』（瀧口綾、福田真奈編著 一藝社 2020年）

《参考図書》

『ゼロからは始める心理学・入門』（金沢創、市川寛子、作田由衣子著 有斐閣 2015年）

《履修上の留意点》

毎回のリアクションペーパーに当たるものはweb上のシステムで行う予定です。感想でもよいのですが、なるべく自分の質問を考えましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション・発達心理学とは何か	授業の進め方・目標・方向性について解説する。発達心理学はどのような問題を扱っているかを解説する。 (予習) 教科書の目次に目を通しておく	宮崎 隆穂
2	人間を取り巻く環境と発達(環境・遺伝・発達・相互作用)	発達にかかわる様々な要因(遺伝・環境)を取り上げ、どのような相互作用が考えられるかを概説する。 (予習) 教科書第一章p.9-16を読んでおく (復習) 授業の内容をもとに質問を考える	宮崎 隆穂
3	生涯発達心理学の視点(発達観・生涯発達・遺伝か環境か)	さまざまな発達観があることを概説し、その中で生涯発達心理学の視点、目標はどこにあるのかを遺伝か環境か論争に関連させながら紹介する。 (予習) 教科書第二章p.17-24を読んでおく (復習) 授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
4	子どもの身体・運動発達(生理的早産・粗大運動・微細運動)	人間の発達において乳児期から幼児期にいたる変化が大きいことを概説し、この時期における初期経験の重要性を紹介する。 (予習) 教科書第三章p.25-33を読んでおく (復習) 授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
5	子どもの知覚・認知の発達(選択注視法・馴化-脱馴化法)	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。 (予習) 教科書第四章p.34-40を読んでおく (復習) 授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂

科目名	発達心理学	授業科目番号	1105010
担当者氏名	宮崎 隆穂		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	子どもの知覚・認知の発達② (選好注視法・馴化－脱馴化法)	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。映像資料を提示する。実際の子どもの対象とした研究における実務的な方法(接し方・留意点)を解説する。 (予習)教科書第四章p.34-40を読んでおく (復習)授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
7	自己意識の発達(自己鏡像課題・サリーアン課題)	自己意識の分化、自他の区別と共感性の発達との関連を概説する。 (予習)教科書第五章p.41-48を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
8	言葉・コミュニケーションの発達(言語発達・臨界期・敏感期)	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して動物行動学の分野からもたらされた臨界期・敏感期の考え方を紹介する。 (予習)教科書第六章p.49-56を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
9	言葉・コミュニケーションの発達②(言語発達・臨界期・敏感期)	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して臨界期・敏感期の考え方を紹介する。映像資料を提示する。 (予習)教科書第六章p.49-56を読んでおく (復習)授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
10	情緒・欲求の発達(情緒・欲求・感情)	情緒・欲求・感情にかかわる発達心理学上の研究成果を概説する。 (予習)教科書第七章p.57-64を読んでおく (復習)授業の内容をもとに質問を考える	宮崎 隆穂
11	愛着関係の形成と発達(アタッチメント・個人差・SSM)	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。 (予習)教科書第八章p.65-72を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
12	愛着関係の形成と発達②(アタッチメント・個人差・SSM)	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。映像資料を提示する。 (予習)教科書第八章p.65-72を読んでおく (復習)授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
13	児童期・青年期の発達 (ピアジェの認知発達理論・道具的操作期・形式的操作期・アイデンティティの獲得)	児童期・青年期の発達を概説しながら、形式的操作の概念を獲得し、アイデンティティの獲得をはかる時期の発達の特長について紹介する。 (予習)教科書第十二章p.97-104を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
14	成人期・老年期の発達(エリクソンの発達課題・統合性の意味)	生産性にいかに貢献するか、という課題を通して最終的に老いをどのように統合していくのかについて概説する。 (予習)教科書第十三章p.105-112を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
15	まとめ	授業全体について振り返り、到達目標について今一度確認する。 (復習)人間の生涯発達について考えをまとめる	宮崎 隆穂

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間の理解》

科目名	健康スポーツⅠ			授業科目番号	1105030
担当者氏名	塩野谷 明			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

健康的な生活を営むためには、運動やスポーツを積極的に日常生活に取り入れていくことが必要である。日常の運動がメンタルヘルスや生活の質の向上、疾病の予防などに役立つことを理解し、トレーニングの原理、原則、理論を学ぶ。さらに、スポーツ活動を通じて心身を鍛えるとともに、スポーツ文化に対する理解を深める。具体的には、運動効果と運動不足が健康に与える影響、個人差や加齢による持久力、筋収縮と筋肉トレーニングの理論、日本のスポーツ文化の変遷と現状などである。また自らの身体を知るために体力測定を行う。

《授業の到達目標》

健康スポーツⅡと合わせて、筋の力学的特性、筋収縮のメカニズム、運動とモーメントの関係について理解させ、学生が将来従事する看護における作業効率の向上、腰痛や肩こり等自身の障害へ対応ができるようにする。また、障がい者スポーツ等様々なスポーツの観点から、健康とスポーツにおける多様性について理解する。

《評価の方法》

定期試験80%、学習態度20%

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

特に指定しない。

《履修上の留意点》

基本的に毎週、pptファイルの資料を配布し、それに従って授業を進めていくため理由のない欠席は避ける。

《備考》

看護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	本講義の全体概要	健康とスポーツⅠで取り上げる講義概要、ならびに二学期実施の健康とスポーツⅡの内容を含めて、学習者が当該科目Ⅰ、Ⅱを理解する基盤を作る。講義を構成する生理学、運動学、物理学、力学の観点から、本講義で目指す目標を設定しやすくする。その導入として、運動の機序となる筋収縮と看護学に重要となるモーメントについて学ぶ意図を理解する。	塩野谷 明
2	運動の機序としての筋とその収縮	運動の機序としての筋収縮について、解剖学、生理学そして力学の観点から理解する。	塩野谷 明
3	モーメント①第一種のコ	第一種、二種、三種のコに関係したモーメント3例について理解し、看護作業の効率化、看護の職業病予防との関連性を学んでいく。第3回講義では、第一種のコについて学ぶ。	塩野谷 明
4	モーメント②第二種のコ	第一種、二種、三種のコに関係したモーメント3例について理解し、看護作業の効率化、看護の職業病予防との関連性を学んでいく。第4回講義では、第二種のコについて学ぶ。	塩野谷 明
5	モーメント③第三種のコ	第一種、二種、三種のコに関係したモーメント3例について理解し、看護作業の効率化、看護の職業病予防との関連性を学んでいく。第5回講義では、第三種のコについて学ぶ。	塩野谷 明

科目名	健康スポーツⅠ	授業科目番号	1105030
担当者氏名	塩野谷 明		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	健康スポーツの多様性①障がい者スポーツ	スポーツは健常者のみのものではなく、高齢者、障がい者を含め、すべての人に供与されるものである。ここでは障がい者スポーツに焦点をあて、様々な活動や留意すべき問題・課題について理解する。	塩野谷 明
7	健康スポーツの多様性②障がい者スポーツ実践	第6回講義で紹介した内容に関連させ、実際の用具(主に車いす)を用いた障がい者スポーツを体験し、その問題・課題について理解を深める。	塩野谷 明
8	健康スポーツの多様性②障がい者スポーツ創り	第6、7回講義で紹介した内容に関連させ、新しい障がい者スポーツ創りを行い、看護・福祉分野への展開を図る。	塩野谷 明
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	スタディスキルズ			授業科目番号	1107010
担当者氏名	板山 稔、田邊 要補			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○1-3 他者の自己決定を擁護する力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

大学における学習を効果的に進めるために必要な「読む」「書く」「話す」「調べる」「発表する」などの基本スキルを学ぶ。
（板山稔/8回）授業の聞き方、ノートの取り方、事前・事後学習課題の取り組み方など、大学生としての学習における基本的スキルを具体的に学ぶ。図書館の利用方法についてオリエンテーションを受け、文献や資料の探し方、活用の仕方について学ぶ。グループ単位でテーマを決めて図書館等で文献や資料を調べ、ディスカッションを行いながら調べ学習を深め、資料を作成して成果を発表する。（田邊要補/7回）レポートの書き方の基本、ディスカッションの方法や司会・書記・発表の役割の基本などについて学ぶ。グループディスカッションにおいては、アサーティブな表現、クリティカルシンキングに関する基礎知識についても学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 大学の授業を受ける際の基本であるノートテイキング、情報収集の方法を身につけ、課題レポートを作成することができる。
2. 幅広いテーマに関心を持ち、自ら探究するための文献の調べ方、活用の仕方を身につけることができる。
3. グループメンバーと協同して調べ学習を行い、他者との意見交換ができる。

《評価の方法》

板山担当：グループ学習発表資料80%（到達目標1・2・3）、授業での発言・グループ学習への参加態度20%（到達目標1・2・3）
田邊担当：レポート・提出課題 70%（到達目標1・2・3）、毎回のコメントシート 30%（到達目標1・2・3）

《テキスト》

『看護学生のためのよくわかる大学での学び方 第2版』（前原澄子、遠藤俊子監修 金芳堂 2022年）

《参考図書》

1. 『大学生学びのハンドブック5訂版』（世界思想社編集部編 世界思想社 2021年）
2. 『フレッシュマンセミナーテキスト第2版』（初年次教育テキスト編集委員会編 東京電機大学出版局 2014年）
3. その他授業中に適宜紹介する。

《履修上の留意点》

大学生として受け身ではなく物事を探究しようとする知的好奇心を大切に、主体的・積極的な学習とグループワークへの参加を望みます。

《備考》

課題の提出にあたっては、締切を厳守すること。締切りを過ぎた課題は原則として受理しない。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	大学での学び方 (アカデミックスキル、ノートテイキング、リーディングスキル)	大学で学ぶために必要なスキル(アカデミックスキル:「聴く」「読む」「書く」「調べる」「考える」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」)の概要について学ぶ。 (予習) テキストの1～19ページ、36～47ページを読んでおく(45分) (復習) 授業中に自分がとったノートをまとめ直してみる(45分)	板山 稔
2	情報リテラシーとインターネットの活用 (情報リテラシー、情報モラル、生成AI)	インターネット社会に必要な、正しく情報を読み解き決定する能力(情報リテラシー)、情報発信とそのルール(情報モラル)、生成AIの正しい活用について学ぶ。 (予習) テキストの20～25ページを読んでおく(45分) (復習) 関心あるテーマについて生成AIを用いて調べ、真偽を確認する(45分)	板山 稔
3	情報収集に必要な文献検索と図書館の活用 (文献検索、データベース、文献講読)	学習を深めるにあたって重要となる情報収集に必要な文献検索と図書館の活用方法について学ぶ。 (予習) テキストの26～35ページを読んでおく。(45分) (復習) 図書館の蔵書検索システムや検索データベースを使って興味のある書籍を探してみる(45分)	板山 稔
4	論理的な考え方 (論理的思考)	論理的思考の基礎知識を学ぶ。 (予習) 論理的な思考について各自調べてくる(45分) (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめる(45分)	田邊 要補
5	レポートの書き方 (レポートとは、テーマ、レポート作成)	レポート作成の基本について学ぶ。 (予習) 第4回授業をふりかえるとともに、テキストの59～72ページを読んでおく(45分) (復習) 与えられたテーマについて、実際にレポートを作成する(60分)	田邊 要補

科目名	スタディスキルズ	授業科目番号	1107010
担当者氏名	板山 稔、田邊 要補		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	クリティカルシンキングに関する基礎知識 (批判的思考、疑問)	①クリティカルシンキングとは何かについて学ぶ。 ②クリティカルシンキングの3つの基本姿勢について学ぶ。 ③クリティカルシンキング思考過程について学ぶ。 (予習) 第4回授業をふりかえるとともに、クリティカルシンキングについて各自で調べてくる(45分) (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめる(45分)	田邊 要補
7	アサーティブな表現方法① (アサーション、自己表現)	①アサーションな表現に関する基礎知識を学ぶ。 ②看護師に何故アサーションが必要なのかについて学ぶ。 (予習) アサーションについて各自で調べてくる(45分) (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめる(45分)	田邊 要補
8	アサーティブな表現方法② (アサーション、自己表現)	アサーティブな看護師になるための基本について学ぶ。 (予習) 第7回で学んだことを十分に理解してくる(45分) (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめる(45分)	田邊 要補
9	グループ・ディスカッションに必要なスキルと知識 (グループ・ディスカッション)	グループ・ディスカッションにおける、「基本」、「関係の構築」、「役割」等について学ぶ。 (予習) ディスカッションについて各自で調べてくる(45分) (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること(45分)	田邊 要補
10	自ら考えたテーマについて、各グループで話し合う。 (討議、発表)	各自で考えたテーマに沿って、グループで話し合う。 (予習) 第4回、第6回目～第9回目の講義資料に目を通し、ディスカッションについて理解を深めておく(45分) (復習) グループでのディスカッションを振り返り、良かった点・改善点についてまとめる(45分)	田邊 要補
11	グループ調べ学習① 「資料の調べ方、読み方、使い方」 (批判的思考)	資料の調べ方、読み方、使い方を理解し、実際に資料を読んで内容や疑問・関心をまとめる。提示された資料について関心や疑問を明確にし、それについて情報を収集してみる。 (予習) 文献検索、図書館の利用に関する授業資料等を読んでおく(45分) (復習) 提示された資料について関心や疑問をもったことを明確にし、それについて情報を収集してみる(45分)	板山 稔
12	グループ調べ学習② 「テーマを決める」 (拡散的思考、ブレインストーミング)	調べた文献の内容をもとに、自己の関心について紹介し合う。グループ内でテーマに関して討議(拡散的思考)し、グループとしての調べ学習のテーマを検討する。決定したテーマに沿って、文献等を用いてさらに調べる。 (予習) 調べた文献を読み、各自が要点等を整理しておく(45分) (復習) 文献を検索し、テーマに関連した内容についてグループで調べる(45分)	板山 稔
13	グループ調べ学習③ 「議論を深める」 (ディスカッション)	各自で調べた内容を報告し合い、グループディスカッションを通して議論を深める。 (予習) テーマについて調べた内容をグループメンバーに報告できるように各自でまとめておく(45分) (復習) グループで分担し調べ学習を継続する(45分)	板山 稔
14	グループ調べ学習④ 「議論をまとめる」 (要約、レジュメ)	テーマの目的にそってグループの議論をまとめ、発表資料として要約(レジュメ)を作成する。 (予習) 講読した文献の内容を整理し、自身の考えまとめておく(45分) (復習) 協力して発表資料(レジュメ)を完成させ、期限までに提出する(45分)	板山 稔
15	グループ調べ学習⑤ 「成果を伝え合う」 (成果発表、プレゼンテーション)	グループでの調べ学習の成果を発表し合う。他のグループのテーマに関心を持ち、相互評価を行うとともに質疑応答による意見交換を行うことで学習を深める。 (予習) 発表に向けてグループ内で役割を決め、練習しておく(45分) (復習) 他グループのテーマに関して気になったことを自分で調べる(45分)	板山 稔

《基礎教育科目 基礎教育科目 学習力養成》

科目名	看護教育のための生物学			授業科目番号	1107020
担当者氏名	滝本 浩一			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

入学後に実施する基礎学力判定において、専門分野を学習する上で必要とされる「生物学」に関する知識が不十分である者に対する補習教育である。専門基礎科目の学習を順調に進めるための基礎となる科目であり、特に人体の構造や機能を理解するために必要な基礎知識の獲得を目指す。具体的には、生物と遺伝子、遺伝情報とDNA、バイオテクノロジー、細胞とエネルギー、生殖と遺伝と発生、体内環境の維持、免疫、呼吸などである。

《授業の到達目標》

生命の基本単位が細胞であることが分かり、それを構成する主な小器官のはたらきが説明できる。

ゲノム、遺伝子とDNAの関係性及び遺伝子発現の流れが分かる。

血液循環、食物の消化と栄養分の吸収や貯蔵、不要物や毒性物質の排泄における各臓器とはたらきの概略が説明できる。

体内環境恒常性に関わる幾つかのホルモンの分泌制御やはたらきの概略が説明できる。

《評価の方法》

課題レポート1回（20点）と最終テスト（80点）

《テキスト》

《参考図書》

『看護に必要な やりなおし生物・化学』（時政孝行 著 照林社 2013年）

《履修上の留意点》

講義は毎回配布する資料を用いて行う。毎回の講義で演習問題のプリントを配布するので、講義内容の理解を確認するための復習に利用すること。

レポートの課題は、実社会や看護師として直面する問題の生物学的理解に関するものとする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	体のつくりと働き（臓器、組織、細胞）	参考図書p.6-7と配布資料	滝本 浩一
2	細胞のつくりと働き（細胞小器官、酵素、細胞内環境）	参考図書p.11-15と配布資料	滝本 浩一
3	遺伝情報の伝達と発現（ゲノム、遺伝子、染色体、DNA）	参考図書p.7-11、p.26-27と配布資料	滝本 浩一
4	遺伝情報の変異と多様性（先天性疾患、遺伝子多型）	参考図書p.28-31と配布資料	滝本 浩一
5	体液と生体防御（赤血球、白血球、血小板、免疫）	参考図書p.44-50と配布資料	滝本 浩一

《基礎教育科目 基礎教育科目 学習力養成》

科目名	看護教育のための生物学	授業科目番号	1107020
担当者氏名	滝本 浩一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	呼吸と血液の循環(肺、心臓、血管)	参考図書p.51-58と配布資料	滝本 浩一
7	消化と排泄(胃、腸、肝臓、腎臓、膀胱)	参考図書p.58-65と配布資料	滝本 浩一
8	内分泌と生殖(ホルモン、性分化、性周期)	参考図書p.65-70と配布資料	滝本 浩一
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	看護教育のための化学			授業科目番号	1107030
担当者氏名	滝本 浩一			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

入学後に実施する基礎学力判定において、専門分野を学習する上で必要とされる「化学」に関する知識が不十分である者に対しての補習教育である。専門基礎科目の学習を順調に進めるための基礎となる科目であり、特に人体の構造や機能を理解するために必要な基礎知識の獲得を目指す。化学と生活のかかわりについて、関心を高め、日常生活に化学が使用されていることから学ぶ。具体的には、物質の三態と原子の構造、電子配置と周期律、化学反応と酸・塩基、無機物質、有機化合物などの基礎知識の獲得を目指す。

《授業の到達目標》

体をつくる主要な元素の性質とそれら原子間の結合（イオン結合と共有結合）が説明できる。

化学反応の保存性とエネルギー収支の概要が説明できる。

百分率とモルを用いた濃度計算ができる。

体をつくる主要な物質の構造と性質の概略が説明できる。

《評価の方法》

課題レポート1回（20点）と最終テスト（80点）

《テキスト》

《参考図書》

『看護に必要な やりなおし生物・化学』（時政孝行 著 照林社 2013年）

《履修上の留意点》

講義は毎回配布する資料を用いて行う。毎回の講義で演習問題のプリントを配布するので、講義内容の理解を確認するための復習に使用すること。

レポートの課題は、実社会や看護師として直面する問題の化学的理解に関するものとする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	体をつくる物質と組成（分子、原子、元素）	参考図書p.88-91と配布資料	滝本 浩一
2	化学結合と化学反応（イオン結合、共有結合）	参考図書p.92-95と配布資料	滝本 浩一
3	物質量と分子量（アボガドロ数、モル質量、当量）	参考図書p.96-100と配布資料	滝本 浩一
4	物質の三態、蒸気圧と浸透圧（蒸発、溶解度）	参考図書p.101-105と配布資料	滝本 浩一
5	酸と塩基（電解質、pH）	参考図書p.106-111と配布資料	滝本 浩一

科目名	看護教育のための化学	授業科目番号	1107030
担当者氏名	滝本 浩一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	糖質と脂質(グルコース、脂肪酸)	参考図書p.120~122、p.127~128と配布資料	滝本 浩一
7	タンパク質と核酸(アミノ酸、ヌクレオチド)	参考図書p.122~126、p.128~129と配布資料	滝本 浩一
8	ビタミンと他の微量元素	参考図書p.130~133と配布資料	滝本 浩一
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門基礎科目 人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅰ			授業科目番号	2208010
担当者氏名	堀江 正男			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。生命維持のために分子・組織・器官・個体のそれぞれのレベルにおいてどのようなことが営まれているかを学ぶ。具体的には、組織構造の基本、ゲノム、遺伝子と細胞と組織、血液、造血器機能について学ぶ。続いて、看護の基礎となる人体の構造とその体系を学ぶ。具体的には、骨格系、筋系、神経系の構造と機能について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 人体の正常構造と機能を理解し、人体の構造および機能についての確に表現できる
2. 臨床医学の修得に必要な解剖生理学に関する基礎学力を身につけ、平面的な理解にとどまらず、立体的な理解を目指す

《評価の方法》

試験 100%：定期試験として、達成度を最終的に評価する

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著 医学書院 2022年）
2. 『2024年版『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック』（坂井建雄 他編 医学書院 2024年）

《参考図書》

1. 『解剖学カラーアトラス 第9版』（J.W.Rohen 他著 医学書院 2023年）
2. 『イラスト解剖学 第10版』（松村譲児著 中外医学社 2021年）

《履修上の留意点》

1. 人体の構造と機能（解剖生理学）はみなさん自身が教科書になり得る学問です。人体の構造と機能Ⅰでは、日頃から骨格や筋などを意識的に触れ、触れている骨格筋の作用や支配神経などを意識することが学問の理解深化につながります。
2. 解剖生理学は予習復習が不可欠です。
3. 講義中の私語は慎んでください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	解剖生理学のための基礎知識 （解剖学的正位、器官系）	構造からみた人体、人体の様々な器官 （予習）テキスト p.8 ～ p.27 （復習）1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
2	解剖生理学のための基礎知識 （細胞、組織、人体を構成する分子）	素材からみた人体 （予習）テキスト p.27 ～ p.54 （復習）1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
3	情報の受容と処理 （ニューロン）	神経系の構造と機能、脊髄と脳 （予習）テキスト p.358～ p.371 （復習）1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
4	情報の受容と処理 （中枢神経と末梢神経）	脊髄と脳、脊髄神経と脳神経 （予習）テキスト p.371 ～ p.383 （復習）1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
5	情報の受容と処理 （運動と体性感覚の伝導路）	脊髄神経と脳神経、運動機能と下行伝導路、体性感覚と上行伝導路 （予習）テキスト p.383 ～ p.396 （復習）1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

《専門教育科目 専門基礎科目 人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅰ	授業科目番号	2208010
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	情報の受容と処理 (特殊感覚)	眼の構造と視覚 (予習) テキスト p.396 ～ p.407 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
7	情報の受容と処理 (特殊感覚)	耳の構造と聴覚・平衡覚、味覚と嗅覚、痛み(疼痛) (予習) テキスト p.408 ～ p.420 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
8	情報の受容と処理 (脳の高次機能)	脳の統合機能 (予習) テキスト p.420 ～ p.432 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
9	情報の受容と処理 (自律神経)	自律神経による調節 (予習) テキスト p.240 ～ p.249 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
10	身体の支持と運動 (骨と関節の構造)	骨格とはどのようなものか、骨の連結、骨格筋 (予習) テキスト p.282 ～ p.296 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
11	身体の支持と運動 (骨格と筋の種類と機能)	体幹の骨格と筋、上肢の骨格と筋 (予習) テキスト p.296 ～ p.309 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
12	身体の支持と運動 (骨格と筋の種類と機能)	上肢の骨格と筋、下肢の骨格と筋 (予習) テキスト p.310 ～ p.323 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
13	身体の支持と運動 (骨格と筋の種類と機能)	下肢の骨格と筋、頭頸部の骨格と筋 (予習) テキスト p.324 ～ p.339 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
14	身体の支持と運動 (筋収縮)	筋の収縮、運動と代謝 (予習) テキスト p.339 ～ p.355 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
15	体液 (細胞内液と細胞外液)	体液の組成、体液の調節、溶液の性質 (予習) テキスト p.38 ～ p.40、p. 230 ～ p.237、p. 514 ～ p.515 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

科目名	人体の構造と機能Ⅱ			授業科目番号	2208020
担当者氏名	堀江 正男			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

「人体の構造と機能Ⅰ」に引き続き、看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。具体的には、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系の構造について学び、さらにそれらの器官が果たす機能について、呼吸と血液の働き、血液の循環、および体液の調節などに焦点を当てて理解を深め、健康維持のために果たす機能の基礎知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 人体の正常構造と機能を理解し、人体の構造および機能についての的確に表現できる
2. 臨床医学の修得に必要な解剖生理学に関する基礎学力を身につけ、平面的な理解にとどまらず、立体的な理解を目指す

《評価の方法》

試験 100%：定期試験として、達成度を最終的に評価する

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著 医学書院 2022年）
2. 『2024年版『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック』（坂井建雄 他編 医学書院 2024年）

《参考図書》

1. 『解剖学カラーアトラス 第9版』（J.W.Rohen 他著 医学書院 2023年）
2. 『イラスト解剖学 第10版』（松村譲児著 中外医学社 2021年）

《履修上の留意点》

1. 人体の構造と機能（解剖生理学）はみなさん自身が教科書になり得る学問です。人体の構造と機能Ⅱでは、日頃から自分の体の状態を意識し、生命活動を維持する構造と機能に学問の理解深化につながります。
2. 解剖生理学は予習復習が不可欠です。
3. 講義中の私語は慎んでください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	栄養の消化と吸収 (消化器系の構造と機能)	口・咽頭・食道の構造と機能、腹部消化管の構造と機能 (予習) テキスト p.56 ～ p.74 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
2	栄養の消化と吸収 (消化器系の構造と機能)	腹部消化管の構造と機能、膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能、腹膜 (予習) テキスト p.75 ～ p.93 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
3	呼吸と血液の働き (呼吸器系の構造と機能)	呼吸器の構造、呼吸 (予習) テキスト p.96 ～ p.112 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
4	呼吸と血液の働き (呼吸器系の構造と機能)	呼吸、血液 (予習) テキスト p.113 ～ p.130 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
5	呼吸と血液の働き (呼吸器系の構造と機能)	血液 (予習) テキスト p.131 ～ p.148 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

科目名	人体の構造と機能Ⅱ	授業科目番号	2208020
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	血液の循環とその調節 (循環器系の構造と機能)	循環器系の構成、心臓の構造、心臓の拍出機能 (予習) テキスト p.150 ～ p.164 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
7	血液の循環とその調節 (循環器系の構造と機能)	心臓の拍出機能、末梢循環系の構造 (予習) テキスト p.165 ～ p.179 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
8	血液の循環とその調節 (循環器系の構造と機能)	末梢循環系の構造、血液の循環の調節 (予習) テキスト p.180 ～ p.194 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
9	血液の循環とその調節 (循環器系の構造と機能)	血液の循環の調節、リンパとリンパ管 (予習) テキスト p.195 ～ p.208 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
10	体液の調節と尿の生成 (泌尿器系の構造と機能)	腎臓 (予習) テキスト p.210 ～ p.219 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
11	体液の調節と尿の生成 (泌尿器系の構造と機能)	腎臓、排尿路 (予習) テキスト p.220 ～ p.230 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
12	生殖・発生と老化のしくみ (生殖器系の構造と機能)	男性生殖器、女性生殖器、受精と胎児の発生 (予習) テキスト p.460 ～ p.479 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
13	生殖・発生と老化のしくみ (生殖器系の構造と機能)	受精と胎児の発生、成長と老化 (予習) テキスト p.480 ～ p.499 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
14	内臓機能の調節 (内分泌系の構造と機能)	内分泌系による調節、全身の内分泌腺と内分泌細胞、ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節の実際 (予習) テキスト p.249 ～ p.280 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
15	身体機能の防御と適応 (免疫系の構造と機能)	皮膚の構造と機能、成体の防御機構、体温とその調節 (予習) テキスト p.434 ～ p.457 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護学概論			授業科目番号	2311010
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、◎2-1 看護を安全に実施するための知識・ 技術・態度、◎4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

学問としての看護学を学修する導入として、看護の概念、看護学の発展の歴史、看護倫理や法律など看護を取り巻く諸事情に関する現実的課題、看護の役割の将来展望について学ぶ。また、看護の本質を理解し看護学の目的論・対象論・方法論について学び、看護実践の基盤となる自然観・人間観・生活観・健康観・看護観を養う。さらに看護の独自性・専門性について理解し、専門職としての看護の役割を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 看護の本質をふまえ看護学の形成と発展、看護の目的論・対象論・方法論を理解することができる。 2. 看護の構成概念（人間・環境・健康・看護）について述べるができる。 3. 人間及び健康について社会・自然界との関連で理解することができる。 4. チーム医療における専門職者の協働について理解することができる。 5. 看護における倫理の問題と取り組みについて理解することができる。 6. 看護の提供の仕組みと看護を支える制度について理解することができる。

《評価の方法》

定期試験80%（到達目標1.2.3.4.5.6） 課題レポート20%（到達目標2.6）

《テキスト》

『系統看護学講座 基礎看護学[1] 看護学概論』（茂野香おる 他著 医学書院 2020年）
『ナイチンゲール看護覚書 決定版』（ヴィクター・スクレトコヴィッチ 編 医学書院 1998年）

《参考図書》

患者・家族、看護師による手記

《履修上の留意点》

授業計画に対応する教科書のページを読んでおくこと。事前に示される課題を学習する。「看護覚え書」、患者・家族、看護師による手記等を購読する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	基礎看護学の科目体系 看護の責務と広がり 看護の原点 （看護の構造）	科目ガイダンス（学習目的、到達目標、学習方法、受講上の注意、等） 看護の責務と広がり 看護学の学び方 看護とは何か、学生のイメージ （復習）看護学概論テキストの目次に目を通し看護学全体の基本内容をつかむ。（60分）	樋本まゆみ
2	看護の変遷 （近代看護、現代看護）	近代以前の看護 近代の看護（近代看護の確立、近代日本における看護） 現代の看護（米国における看護の発展と日本の看護） （予習）事前に提示された課題に取り組む。（60分） （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。（60分）	樋本まゆみ
3	看護の本質 （看護の定義）	看護の定義 保健師助産師看護師法上の定義 （予習）事前に提示された課題に取り組む。（60分） （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。（60分）	樋本まゆみ
4	看護の理論と実践 （看護理論の分類・変遷）	看護理論とは、看護理論の分類（大理論・中範囲理論・小理論） 看護理論の変遷 看護実践を理論で読み解く （予習）事前に提示された課題に取り組む。（60分） （復習）「看護覚え書」を読み込みナイチンゲールの考え方をつかむ。（60分）	樋本まゆみ
5	実践科学としての看護 （コミュニケーション、専門職、エビデンス）	基本的役割（支援者・代弁者、学習支援者、ケア提供者） 患者と看護師のコミュニケーション 看護過程と専門職としての看護 看護技術の科学的検証、エビデンスに基づく看護 （予習）事前に提示された課題に取り組む。（60分） （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。（60分）	樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護学概論	授業科目番号	2311010
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	看護の展開と継続性 看護ケアのマネジメント (多職種協働、継続看護)	継続看護、退院支援・退院調整と看護の継続性を担う取り組み 多職種連携・協働における看護 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
7	人々の生活と健康 健康・病気の捉え方 (健康の諸相、ライフスタイル)	健康とは、健康の諸相 国民の健康の全体像、人口統計と出生・死亡、ライフスタイル 健康に影響する要因 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
8	看護の概念枠組み ライフサイクルと健康 (人間、環境、健康、看護)	看護を構成する主要な概念 ①人間 ②環境 ③健康 ④看護 人間の成長・発達の捉え方 ①小児期から成人期 ②老年期 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
9	看護の対象とその理解 (統一性、個別性、健康障害)	統一性、生活者としての人間、人間の共通性と個別性 健康障害をもつ対象の理解 ストレスとコーピング(ホメオスタシスとは、ストレスとは) (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
10	看護における法的側面 看護実践のための教育 (保健師助産師看護師法、看護教育)	看護と法の関わり、看護をめぐる法と制度の枠組み 看護実践の職業的および法的規制(保健師助産師看護師法) 看護教育制度、看護教育の形態 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
11	看護における倫理と価値 看護倫理 看護実践のための基準 (倫理要領、倫理原則、インフォームドコンセント)	医療における倫理の歴史的経緯と看護倫理(倫理原則、職業倫理、ケアリング) 倫理と法律、道徳的ジレンマと倫理的課題(インフォームドコンセント) 倫理的課題への対応、看護実践の基準(看護業務基準 看護職の倫理綱領 指針・ガイドライン) (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
12	保健・医療・福祉システム (保健・医療・福祉)	保健・医療・福祉の概念、保健・医療・福祉サービス提供の場 保健・医療・福祉のチーム、多職種で取り組む地域包括ケアシステム (予習) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
13	看護サービスに対する評価 医療事故における法的責任 (看護行政)	看護主な関連法規、看護政策 人員配置基準と看護サービスに対する評価、看護サービスの管理 看護のマネジメント・プロセス、医療安全への取り組みと働く人の労働安全 医療事故における法的責任 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
14	国際看護 災害看護の基礎 (国際協力保健活動、災害サイクル)	国際保健・看護とは、国際協力、在留・訪日外国人への看護 災害看護の必要性、災害サイクルに応じた看護 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
15	これからの看護の課題と展望 (看護組織)	社会のニーズに応える看護学教育、看護の専門性を高める教育 看護の専門職としての看護組織(日本看護協会・日本看護学校協議会・日本看護系大学協議会) 国際看護師協会 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅰ			授業科目番号	2311030
担当者氏名	大平 富美、大崎 美奈子、熊倉 良太、樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

看護における技術の考え方および共通する基本技術（コミュニケーション、感染防止、環境調整、安全・安楽・自立）について学習する。さらに日常生活援助技術として、活動・休息、清潔・衣生活について具体的に学ぶ。演習を通し、看護技術について人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。

《授業の到達目標》

1. 看護技術を身に着けるために必要な態度、学習方法を自ら考えて行動できる。 2. 科学的根拠に基づき安全・安楽に看護技術を提供する方法を習得できる。 3. 日常生活の援助（環境調整、感染予防、活動・休息、清潔と衣生活）の基本技術を習得できる。 4. 実施した看護技術を振り返り、安全性、有効性の視点からよりよい方法を探求することができる。

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標2、3）、技術確認20%（到達目標1、2、3）、提出記録物20% 演習ごとにA4 用紙2枚程度課題については講義の中で提示する。（到達目標4）

《テキスト》

- 『系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ』（茂野香おる 他著 医学書院 2023年）
- 『系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅱ』（任和子 他著 医学書院 2021年）

《参考図書》

- 『写真でわかる基礎看護技術 アドバンス』（吉田みつ子、本庄恵子監修 インターメディカ 2020年）
- 『看護がみえるvol.1 基礎看護技術』（医療情報科学研究所編 Medic Media 2018年）

《履修上の留意点》

授業内容に関連した教科書及び参考書を十分に読んで動画の視聴等を活用しながら演習ノートを作成して臨む。課題として演習の振り返りレポート提出。技術は授業時間外でのセルフトレーニングで習得。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護技術の概要 ガイダンス （看護技術とは） 感染防止の技術 （標準予防策）	科目ガイダンス（講義） 看護技術とは、実践のための技術、コミュニケーションの概念 感染とその予防の基礎知識（講義） 標準予防策 ＜予習＞テキストを読む(60分) ＜復習＞講義の振り返り(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
2	環境調整技術 （環境調整・環境測定）	療養生活の環境（講義） 病室の環境のアセスメントと調整 ベッド周囲の環境調整 病床を整える 環境測定、手指衛生・个人防护策(マスク・エプロンの着脱)（演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返り(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
3	環境調整技術 （ベッドメイキング）	リネン類の取り扱い、ベッドメイキング（演習） ベッドメイキング、シーツ交換（演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
4	環境調整技術 （ベッドメイキング） 活動・休息援助技術 （休息・活動・運動の意義）	ベッドメイキング、シーツ交換（演習） 効果的で安楽な動きをつくり出す技術、ボディメカニクス、休息（講義） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組むベッドメイキング(60分) ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
5	活動・休息援助技術 （体位変換、移乗・移送）	各種体位のとり方、車椅子への移乗と移送、 ストレッチャーによる移送、歩行自助具の使い方（講義） 体位変換 体位保持（演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅰ	授業科目番号	2311030
担当者氏名	大平 富美、大崎 美奈子、熊倉 良太、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	活動・休息援助技術 (体位変換、移乗・移送)	体位変換 体位保持(演習) 車椅子への移乗・移送、ストレッチャー移送(演習) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
7	活動・休息援助技術 (移乗・移送) 環境調整技術 (リネン交換)	車椅子への移乗・移送、ストレッチャー移送(演習) 臥床患者のリネン交換(講義/演習) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
8	環境調整技術 (リネン交換) 清潔・衣生活援助技術 (寝衣交換、清拭、足浴)	臥床患者のリネン交換(演習) 清潔・衣生活援助技術① 寝衣交換、清拭、足浴(講義) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
9	清潔・衣生活援助技術 (寝衣交換・足浴)	寝衣交換(演習) 足浴(演習) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
10	清潔・衣生活援助技術 (足浴・清拭)	足浴(講義/演習) 清拭(演習) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
11	清潔・衣生活援助技術 (清拭)	清拭(演習) 清潔・衣生活援助技術②(講義) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
12	清潔・衣生活援助技術 (洗髪)	洗髪(演習) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
13	清潔・衣生活援助技術 (陰部洗浄)	陰部洗浄(演習) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
14	清潔・衣生活援助技術 (口腔ケア) 技術確認 (ベッドメイキング)	口腔ケア(演習) 技術習得確認 ベッドメイキング(演習) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ
15	技術確認 (ベッドメイキング)	技術習得確認 ベッドメイキング(演習) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング(60分)	大平富美 大崎美奈子 熊倉良太 樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	チーム医療論			授業科目番号	2311090
担当者氏名	青柳 直樹			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎3-2 多職種と連携・協働する力、◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

患者を中心とした良質な「チーム医療」が実践できる基礎的な能力を養う。また、医療専門職が互いの特性を理解し、尊重し合ってコミュニケーションをとりながら協調的に医療を実践できる素養を身につける。
チーム医療の概念、及び医療チームを構成する専門職の役割について理解し、看護職と他職種との関係を学ぶ。次に、対象や家族中心の多職種連携の考え方、臨床でのチーム医療から切れ目なく地域でのケアにつながることの重要性について学ぶ。また、チーム医療及び他職種との協働の中で看護職としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する。
地域におけるチーム医療における現状と課題について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 保健医療分野での多職種連携の重要性を学び、チーム医療における看護職の役割を説明できる。
2. 保健医療現場における多職種間コミュニケーションについて説明できる。
3. 多職種連携場面における看護職の役割について主体的に考えることができる。

《評価の方法》

①授業に関する学習態度、課題提出状況10%：授業中の発言、態度、課題提出状況（到達目標1,2,3） ②事後課題50%：A4用紙、800字程度（到達目標1,2,3） ③課題レポート40%：A4用紙、1200字程度（到達目標3）

《テキスト》

『「チーム医療」とは何か 第2版』（細田満和子著 日本看護協会出版会 2021年）

《参考図書》

『新しいチーム医療 改訂版』（田村由美編著 看護の科学社 2018年）
『チーム医療と看護 増補版』（川島みどり著 看護の科学社 2016年）

《履修上の留意点》

本講義ではチーム医療の理念を実現するため、授業においては学生の皆さんの意見を確認し、自ら考える主体的授業への参加を望みます。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	チーム医療とは (医療法、病院、医療関係職種、チーム医療)	・医療法に基づく医療の形の変化 ・医療関係職種の誕生（身分法、国家資格化） ・チーム医療はどう変化してきたのか ・チーム医療を支える制度（もの） （予習）p.2～30を熟読し、まとめる（30分）。 （復習）【事後課題1】4つのキーワードについて簡潔にまとめレポートする（60分）。	青柳 直樹
2	チーム医療の4つの要素 (専門性志向、患者志向、職種構成志向、協働志向)	・チーム医療の4つの要素 (専門性志向とは何か、患者思考とは何か、職種構成志向とは何か、協働志向とは何か) （予習）p.71～100を熟読し、まとめる（30分）。 （復習）チーム医療における4つの要素について振り返り、受講カードに記載する（30分）。	青柳 直樹
3	チーム医療の6つの困難 (専門性志向、患者志向、職種構成志向、協働志向)	・チーム医療における4つの要素の相互関係 ・チーム医療の6つの困難 （予習）p.101～133を熟読し、まとめる（30分）。 （復習）【事後課題2】4つの要素、および相互関係について簡潔にまとめレポートする（60分）。	青柳 直樹
4	チーム医療と専門性を高める看護職① (看護職の役割、スペシャリスト、専門看護師、認定看護師、特定行為研修制度、診療看護師(NP)、多職種コミュニケーション)	・ヘルスケアの目的と看護職の役割 ・チーム医療における看護職の役割 ・専門看護師、認定看護師の役割 ・特定行為研修修了者について ・チーム医療と特定看護師制度、NP教育課程 ・チーム医療における多職種コミュニケーション(アサーティブコミュニケーション等) （予習）p.31～70を熟読し看護職の役割について考える(30分) （復習）【事後課題3】キーワードについて簡潔にまとめレポートする(60分)	青柳 直樹
5	チーム医療を考える (医療問題、チームワーク、院内チーム)	・問題解決策としてのチーム医療 ・医療社会学におけるチーム医療の捉え方 ・病院内におけるチーム医療の実践例（摂食・嚥下サポートチーム、NST、感染対策チーム） （予習）p.135～164を熟読する（30分）。 （復習）チーム医療の必要性、期待されることについて受講カードに記載する（30分）。	青柳 直樹

科目名	チーム医療論	授業科目番号	2311090
担当者氏名	青柳 直樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	チーム医療の拡がりについて考える (チーム・アプローチ、家族、連携・協働)	・病院と地域、医療従事者間の連携 ・チーム医療の中の患者・家族(患者のチーム医療への参加) ・チーム医療のための方法 (予習) p.165～198を熟読し、まとめる(30分)。 (復習) 【事後課題4】患者・家族のチーム医療への参加について考えレポートする(60分)。	青柳 直樹
7	チーム医療からチームアプローチへ (チーム・アプローチ、患者会、当事者団体、チーム医療推進協議会)	・病院でのチーム医療と地域でのチームアプローチ ・患者会・当事者団体の役割と目指すところ ・チーム医療推進協議会が目指すところ (予習) p.199～234を熟読し、まとめる(30分)。 (復習) チーム医療とチームアプローチについて考え受講カードに記載する(30分)。	青柳 直樹
8	専門職が実践する多職種連携 (認定看護師、専門看護師、多職種連携)	・専門職におけるチームアプローチの実際 (予習) P.31～70、135～164、165～198を熟読し、まとめる(30分)。 (復習) 【事後課題5】専門職者のチームアプローチの実際から看護の役割についてレポートする(60分)。	青柳 直樹
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2311070
担当者氏名	大崎 美奈子、樋本 まゆみ、大平 富美、熊倉 良太			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	1単位	時間	45時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、◎4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

健康障害をもつ対象者の治療と生活の場である病院における療養環境を理解し、看護場面の見学や多職種との連携から看護師の役割について学ぶ。また、対象者とのコミュニケーションを通して、患者と援助的人間関係を築く重要性を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 看護活動および医療従事者の活動の実際を知り、看護師の役割について述べるができる。
2. 患者と関わり療養環境および入院生活による生活行動の変化を述べるができる。
3. 患者と援助的人間関係を築く重要性を理解することができる。
4. 将来の看護師像を描き看護学を学ぶことへの意欲につなげることができる。

《評価の方法》

実習態度、実習内容および実習記録、課題レポートを実習評価表で評価する。(到達目標1～4)

《テキスト》

《参考図書》

基礎看護学の授業で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

《履修上の留意点》

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。実習要項を熟読して実習に臨むこと。常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、個人情報保護、安全への配慮等、倫理面の配慮を十分行い実習すること。実習共通要項に従った身だしなみ、準備・態度を実習参加の条件とする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	学内実習 (実習前準備・学習確認)	学内実習 実習前準備・学習確認 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(120分) ＜復習＞実習で学んだ内容を整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
2	臨地実習 (看護活動の見学、環境測定、患者とのコミュニケーション)	2～4日目 看護活動の見学 環境測定 患者とのコミュニケーション ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(120分) ＜復習＞実習で学んだ内容を整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
3	臨地実習 (看護活動の見学、環境測定、患者とのコミュニケーション)	2～4日目 看護活動の見学 環境測定 患者とのコミュニケーション ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(120分) ＜復習＞実習で学んだ内容を整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
4	臨地実習 (看護活動の見学、環境測定、患者とのコミュニケーション)	2～4日目 看護活動の見学 環境測定 患者とのコミュニケーション ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(120分) ＜復習＞実習で学んだ内容を整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
5	学内実習 (まとめ)	学内実習 全体カンファレンス ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(120分) ＜復習＞実習で学んだ内容を整理し、事故の課題を明確にする(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他

科目名	基礎看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2311070
担当者氏名	大崎 美奈子、樋本 まゆみ、大平 富美、熊倉 良太		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	地域包括ケア論			授業科目番号	2313010
担当者氏名	平澤 則子、田邊 要補、太田 操			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

臨床から地域まで、生活に視点を置いて対象を支援することの意義や地域包括ケアの概念について学ぶ。また日本の在宅ケア・医療政策の動向をふまえて、臨床から地域までつなぐ移行期ケアや看看連携の意義を考える。そして地域共生社会の実現に向け、母子から高齢者を対象とした包括的支援についてその役割を理解し、今後の課題について考察する。

《授業の到達目標》

1. 地域包括ケアの概念について理解できる。 2. 日本の在宅ケア・医療政策の動向から移行期ケアについて理解できる。
3. 様々なライフサイクル、健康レベルにある人々への地域包括ケアについて理解できる。 4. 地域包括ケアにおける多様な専門職及び地域の人々と連携協働し活動する看護の役割を考えることができる。

《評価の方法》

定期試験60% (到達目標1・2・3・4) 課題レポート40% (教員2人×10点、教員1人20点) (到達目標3・4) 定期試験と課題レポートにより目標達成度を最終的に評価する。課題レポートについては講義の中で詳細を説明する。

《テキスト》

『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2020年）

《参考図書》

1. 『社会保障再考〈地域〉で支える』（菊池馨実、岩波書店、2019） 2. 『よくわかる地域包括ケア』（隅田好美他、ミネルヴァ書房、2019） 3. 『きみのまちに未来はあるか？ 「根っこ」から地域をつくる』（除本理史・佐無田光、岩波書店、2020）

《履修上の留意点》

この科目では複数回、課題レポートの提出が求められます。事前および事後の学習を行い、計画的に課題に取り組みましょう。地域で暮らす人々は、様々な健康レベルにありますが主体的に生活を営んでいます。人々の健康と生活を守り生活の質を追求する上で、地域包括ケアは重要です。楽しく学びましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	地域包括ケアとは (健康、地域看護、包括的支援、多職種連携)	地域包括ケアの概念について学ぶ。地域包括ケアを展開していくうえで基盤となる健康の概念について学ぶ。地域で暮らす人々の生活と看護の必要性について学ぶ。 (事前学習)「健康とは?」「地域で暮らす人々の健康を支援する専門職」について調べる。(30分) (復習)配布資料を読み、地域包括ケアの概念を確認する。(30分)	平澤 則子
2	地域包括ケアとは (在宅ケア、医療政策)	日本の在宅ケア・医療政策の動向を学ぶ。 (予習)日本人の平均寿命、健康寿命、高齢化率について調べる。(30分) (復習)配布資料を読み、地域包括ケアシステムとその背景を確認する。(30分)	平澤 則子
3	地域包括ケアとは (移行期ケア、看看連携)	病院・施設・在宅をつなぐ移行期ケアについて学ぶ。 継続看護と看看連携について学ぶ。 (予習)検討した事例について振り返り、移行期ケア・継続看護の課題を考える。(30分) (復習)配布資料を読み、地域包括ケアシステムとその背景を確認する。(30分)	平澤 則子
4	母子(子育て世代)地域包括支援とは:「生きるを支える子育て包括支援と看護職の役割」	母子(子育て世代)地域包括支援(センター)の概要を学ぶ。子育て世代地域包括支援がうまれた背景、すこやか親子21の施策を通して切れ目のない支援の必要性を学ぶ。 (予習)日本における出生率の推移、すこやか親子21を調べてくる。(30分) (復習)あなたが提案する子育て支援施策について考える。(30分)	太田 操
5	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム (地域生活、課題)	日本の精神科医療の現状について学ぶ。 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現状と課題について学ぶ。 (予習)精神疾患を有する患者数の推移、精神科医療の現状。(30分) (復習)精神に障がいのある人が地域で暮らすための方策を考える。(30分)	田邊 要補

科目名	地域包括ケア論	授業科目番号	2313010
担当者氏名	平澤 則子、田邊 要補、太田 操		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	地域包括ケアとは(長岡モデル)	地域包括ケアシステム構築へ向けた取組事例として～小地域での医療・介護・予防・生活支援・住まいの一体的な提供に関する取組～について学ぶ。 (予習)厚生労働省ホームページで長岡モデルを読む。(30分) (復習)住んでいる市町村の地域包括ケアシステムと長岡モデルを比較し、地域包括ケアシステム構築の課題を考える。(30分)	平澤 則子
7	地域包括ケアにおける事例学習	・今後も地域で暮らし続けることを希望する事例について、実際の生活を理解し、包括的な支援について考える。 (予習)これまでの配布資料等を読み、学習目標を理解して参加する。(30分) (復習)配布資料等を見直してわかったことを調べて、学びを定着させる。(30分)	平澤 則子
8	これからの地域包括ケア(臨床・地域、課題)	課題レポートをもとにグループワークを行い、臨床から地域までつながるケアの現状および地域包括ケアの課題について考える。 (予習)事前課題レポートを作成し、持参する。授業後に提出する。(60分) テーマ「臨床から地域までつながるケアの現状と課題」1200字程度 (復習)地域包括ケアにおける看護の役割(自分ができること)を確認する。(30分)	平澤 則子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目 基礎教育科目 思考力養成》

科目名	情報活用法			授業科目番号	1101020
担当者氏名	船津 誠也			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-1 地域のネットワークを共有する力、 ○4-2 看護を追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

情報社会の倫理と法を学習し、インターネットを活用した情報メディアの特性と検索法、効率的な使い方について理解する。さらに、情報の価値とモラルや情報の収集、加工、廃棄などの情報のセキュリティ管理とリテラシーについて理解する。また、ソーシャルネットワークサービスの特徴や機能と活用の現状やリテラシーを学ぶとともに、ブログの作成のポイントと管理のポイント、ホームページの作成のポイントと管理の実際について学ぶ。

《授業の到達目標》

情報を適切に活用できる基礎的知識やスキルを習得することを目的とする。1. 適切なツールを使って効率良く情報を集め、集めた情報を検証できる。2. 情報を使いやすく整理・管理し、必要に応じて適切に活用できる。3. 数値データを活用し、知りたいことについて分析し、判断できる。4. 情報をさまざまなトラブルから守るなど、正しく安全に運用できる。

《評価の方法》

課題の提出により評価する。課題80% 学習態度20%

《テキスト》

『考える 伝える 分かちあう 情報活用力』（noa出版著 noa出版 2017年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

課題は必ず自分で作成すること。（他人のものを流用した場合は失格とする。）

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス	(1)授業の進め方の説明，(2)スマートフォンセキュリティ（DVD視聴），(3)タッチタイピング（美香のタイプトレナー，タイプウェル国語R） 第11回の授業でタイピング検定を行なう。	船津 誠也
2	Section 1, 2 情報検索・運用	(1)入力装置の基本操作について，(2)ファイルの保存と管理について，(3)スマートフォンセキュリティ（DVD視聴），(4)情報検索	船津 誠也
3	Section 2 情報セキュリティ	情報倫理・セキュリティについて（DVD視聴）	船津 誠也
4	Section 3 数値分析I	数値分析I（数値分析とは何か）。表計算演習 1。Excelを使用し、数値分析を行なう。	船津 誠也
5	Section 3 数値分析I	数値分析I（データを加工する）。表計算演習 2。表計算演習 1。Excelを使用し、データ加工を行なう。	船津 誠也

科目名	情報活用法	授業科目番号	1101020
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	Section 4 数値分析II	数値分析II (データを分析する), データ分析演習1。表計算演習1。Excelを使用し、データ分析を行なう。	船津 誠也
7	Section 4 数値分析II	数値分析II (データ分析実習), データ分析演習2。Excelを使用し、データ分析を行なう。	船津 誠也
8	Section 5 データベース1	データベース (データベースを使ってみる), データベース作成演習1。Excelがもつ簡易的なデータベース機能を用い、データベース実習を行なう。	船津 誠也
9	Section 5 データベース2	データベース (データベースからデータを取り出す), データベース作成演習2, データベース作成実習。Excelがもつ簡易的なデータベース機能を用い、データベース作成実習を行なう。	船津 誠也
10	Section 7 インターネットコミュニケーションI	インターネットコミュニケーションI (インターネットを利用したコミュニケーション, ルールやマナーの原則, メールコミュニケーション)	船津 誠也
11	タイピング検定 Section 8 インターネットコミュニケーションII	タイピング検定 インターネットコミュニケーションII (情報の発信のルール, インターネットを通じた情報発信ツール)	船津 誠也
12	Section 11 プレゼンテーションI	プレゼンテーションI, プレゼンテーション資料作成演習1。Powerpointを使用しプレゼンテーション資料の作成を行なう。	船津 誠也
13	Section 12, 13 プレゼンテーションII, III	プレゼンテーションII, III, プレゼンテーション資料作成演習2。Powerpointを使用しプレゼンテーション資料の作成を行なう。	船津 誠也
14	Section 9 文書表現	文書表現 (さまざまな文書), ビジネス文書作成演習。Wordを用い、ビジネス文書の作成を行なう。	船津 誠也
15	Section 10 ビジュアル表現	ビジュアル表現, 図解表現演習。Wordを用い、ビジネス文書の作成を行なう。	船津 誠也

科目名	問題解決法			授業科目番号	1101040
担当者氏名	渡部 洋一郎			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○4-1 看護学を探究する意欲, ◎4-2 看護 を追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

問題解決法は大学生活における学習場面でも、看護の実践の場面でも、社会生活にとっても必要な科学的技法である。その、科学的技法としての問題解決能力を養う。問題とは何かを考えること、問題を発見すること、解決するための手順、解決するために必要な情報を的確に収集すること、情報を整理すること、情報を分析することなどを学ぶとともに、問題解決に必要な様々なクリエイティブな思考法と発想法を学び、活用方法を修得する。

《授業の到達目標》

論理的に考え、課題を解決するとはどのような行為をさすのか。また、その解法に一定の規則はあるのか。本科目はこうした問いに答えることを授業の目標としている。そのため、論理的な思考に関する複数の初歩的な理論を学び、それを授業の中で実地に応用することで、その効果を確認することを目指す。

《評価の方法》

定期試験50%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度10%

《テキスト》

毎回、使用プリントを適宜配布します。

《参考図書》

参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

《履修上の留意点》

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	論理的思考とクリティカルシンキング (導入)	論理的な思考に関する文献を読み、導入としてその思考法の一端に触れます。また、クリティカルシンキングのやり方を実際に体験してみましょう。	渡部洋一郎
2	批判的思考の実際 (データの読み解き方)	図表やグラフに表された数値の読み解きを行い、妥当なデータの解釈とは、どのような行為をさすのかを理解します。	渡部洋一郎
3	OECDによるPISA調査 (非連続型テキスト)	2000年より、経済協力開発機構によって3年ごとに実施されている世界的規模の学力調査を対象に、その特徴を探ります。特に、日本の高校一年生が世界の学習者と比較したときに、どのような特徴を持っているのかを検討しましょう。	渡部洋一郎
4	母集団における平均値の意味 (平均が良い方が上?)	前回の学習を踏まえ、アメリカやイギリス、ドイツ、フランスなどの国の学習者の平均値と日本の高校一年生の平均値とを比較します。結果は日本の方が圧倒的に上なのですが、そこにはどんな意味が隠されているのでしょうか。	渡部洋一郎
5	必要条件と十分条件 (判別の実際)	必要条件と十分条件について、簡単な識別法を使い例文を判別しましょう。簡単なコツを覚えれば、誰でも活用できます。	渡部洋一郎

科目名	問題解決法	授業科目番号	1101040
担当者氏名	渡部 洋一郎		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	演繹的思考と帰納的思考 (長所と短所)	防御に優れた論法と攻撃に利のある論法、それぞれどのような利点と欠点があるのでしょうか。ここでは、その特徴について学びます。	渡部洋一郎
7	文章題における理解と表現 (確率の文章題検討)	自分が理解していることをどのように表現すれば正確に相手に伝わるのでしょうか。また、ある表現は読み手にどのような理解をもたらすのでしょうか。実際の新聞コラムの内容を用いて検討してみましょう。	渡部洋一郎
8	根拠と理由の違い (両者の差異)	自分が理解していることをどのように表現すれば正確に相手に伝わるのでしょうか。また、ある表現は読み手にどのような理解をもたらすのでしょうか。実際の新聞コラムの内容を用いて検討してみましょう。	渡部洋一郎
9	限定と反証 (概念の理解)	限定と反証という耳慣れない言葉の意味について理解を深めます。この2つを理解することで、説得性のある主張を展開することができます。	渡部洋一郎
10	トゥルミン・モデル (英国論理学の実際)	トゥルミン・モデルとは、S.E.Toulminによって考案された議論の論証モデルのことを言います。根拠から主張に至るまで6つの要素を配列するところにその特徴がありますが、まずは同モデルについて理解しましょう。	渡部洋一郎
11	日常議論への実際の応用 (限定的な主張)	この回は、一般性及び汎用性のある主張ではなく、限定的でありながら説得性を持つ主張のあり方について、トゥルミン・モデルを使った演習を通して実地に確かめてみます。	渡部洋一郎
12	日常議論への実際の応用 (反証を意識した反論)	最後に、反証を意識した反論について学びます。反証がある場合の反論とはどのようなものにならざるを得ないのか、検討してみましょう。	渡部洋一郎
13	命題の逆・裏・対偶	命題には、逆、裏、対偶というものが存在します。それぞれの特性と、そこに関わる「真」と「偽」の関係性について学びます。	渡部洋一郎
14	全体と部分との関係を理解する (含むものと含まれるもの)	あるグループ同士の関係性を考察することを通して、含むものと含まれるものとの関係を理解し、集合に関わる規則を学びます。	渡部洋一郎
15	総合的なまとめ	「問題解決法」で学んだ論理的思考や日常議論の方法、また、効果的な表現を意識した理解のあり方などについて、授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部洋一郎

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	日本語表現Ⅱ			授業科目番号	1102140
担当者氏名	渡邊 有紀恵			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力、◎5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

日本語表現Ⅰで獲得した能力を基盤とし、論理的な思考に基づいた意見・主張を記述により表現する能力を習得する。様々な作品・社会問題に関する論説などを読み、文章の構成、展開、要旨を的確にとらえる力を養う。また、論理的に要約し評価することを通し、自分の考えを深め意見を構築するとともに、自分の意見に対する論拠を示し、説得力のある論述ができることを目指す。

《授業の到達目標》

1. 社会問題に関する文章を正確に読み、的確に要約できるようになる。
2. 自身が関心を持つ社会問題に関する文章を要約したうえで、意見を論理的に書くことができる。
3. 毎回の小課題を通して、日本語の語彙力と表現力を高める。

《評価の方法》

定期試験40%（到達目標1.2.3）／ 課題50% 毎回の課題（復習テスト、要約文作成、意見文作成等）の内容や提出状況をもとに評価する（到達目標1.2）／ 授業態度10% 授業中の発言、態度をもとに評価する（到達目標1.2.3）

《テキスト》

指定無し

《参考図書》

『アカデミック・ライティングのためのパラフレイズ演習』（鎌田美千子 他著 スリーエーネットワーク 2014年）『日本語検定公式過去問題集 令和5年度版』（日本語検定委員会編 東京書籍 2023年）等

《履修上の留意点》

毎回の課題について期限を守り提出すること。日常生活を通して社会問題に関心を持つこと。また、その問題について自分の意見を持てるよう努めること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	パラフレイズ練習① (文体、和語漢語、名詞化、ジャンルによる使い分け)	・ガイダンス ・小課題①日本語検定3級問題 ・パラフレイズ練習①：単語をレポートにふさわしい文体・表現に言い換える練習をする。 (予習) 目に触れる文章の文体の違いについて調べる。(30分) (復習) 授業資料を復習する。(90分)	渡邊有紀恵
2	要約練習① (話題、論点表示文)	・小課題②日本語検定3級問題 ・復習テスト①(第1回内容) ・文章を読み、何の話か、何が問題になっているかを把握したうえで200字に要約する。(文章のテーマ：経営者、国民審査) (予習) 経営者の習慣、国民審査について調べる。(30分) (復習) 要約文を作成する。(90分)	渡邊有紀恵
3	要約練習② (結論表示文)	・小課題③日本語検定3級問題 ・復習テスト②(第2回内容) ・文章を読み、結論を読み取る練習をした上で、200字程度に要約する。(文章のテーマ：消費者行動、ことばの有標性) (予習) 性別を明示または暗示する表現について調べる。(30分) (復習) 要約文を作成する。(90分)	渡邊有紀恵
4	要約練習③ (二項対立)	・小課題④日本語検定3級問題 ・復習テスト③(第3回内容) ・二項対立の文章を読み、賛成・反対の立場を混乱しないように読み、要約する。(テーマ：死刑制度廃止論、外国人の参政権) (予習) テーマについて調べる。(30分) (復習) 要約文を作成する。(90分)	渡邊有紀恵
5	要約練習④ (筆者の主張、反対意見)	・小課題⑤日本語検定2級問題 ・復習テスト④(第4回内容) ・社会問題を論ずる文章から筆者の立場を読み解き、正確に要約する。(テーマ：夫婦別姓制度) (予習) 外国人の参政権、夫婦別姓制度について調べる。(30分) (復習) 要約文を作成する。(90分)	渡邊有紀恵

科目名	日本語表現Ⅱ	授業科目番号	1102140
担当者氏名	渡邊 有紀恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	論述練習① (要約、意見構築)	・小課題⑥日本語2級問題 ・復習テスト⑤(第5回内容) ・新聞の社説から1つ関心のあるものを選び、要約する。さらに、自身の意見を加えた文章を作成する。 (予習) 課題資料(新聞記事)を読む。(30分) (復習) 意見文を作成する。(60分)	渡邊有紀恵
7	論述練習② (要約、意見構築)	・小課題⑦日本語2級問題 ・新聞の社説から1つ関心のあるものを選び、要約する。さらに、自身の意見を加えた文章を作成する。 (予習) 課題資料(新聞記事)を読む。(30分) (復習) 意見文を作成する。(60分)	渡邊有紀恵
8	総まとめ	・授業全体について振り返り、内容をまとめる (予習) 第1回～第7回までの授業資料を読み返す(60分) (復習) 授業資料の内容確認をする。(60分)	渡邊有紀恵
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	コミュニケーション論			授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐 紀子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力			

《授業の概要》

自身を知ることと他者を知りことは表裏一体であり、人間尊重の精神が必要である。この科目では、人間を尊重し、他者を受容し、共感する、他者とともに生きることの意義を考える。そのためには、自己理解の方法を知り自己を客観的に見つめる機会を持つ。また、他者との適切な人間関係を形成し、信頼関係を確立するためには自己理解と他者理解が両輪となることを理解する。また、自己の良心と社会の規範やルールに従って自らを律して行動することができる態度を養成する。

《授業の到達目標》

1. コミュニケーションの理論を理解する
2. 身近なことや社会現象などに学んだ理論を当てはめ考察できる
3. ステレオタイプとは何かを理解し、例を挙げて説明できる
4. 看護実践において、コミュニケーション上重要となる視点を意識することができる

《評価の方法》

授業の振り返りコメント60%（到達目標の1,2,4）、レポート40%（到達目標の1,2,3,4）
※レポートは授業内で示すテキスト項目の中から選択したものについて考えを述べるもの

《テキスト》

『よくわかるヘルスコミュニケーション』（五十嵐紀子・池田理知子編 ミネルヴァ書房 2024年）

《参考図書》

授業内で適宜紹介する

《履修上の留意点》

ペアワーク、及びグループワークを通して学びを深めていきます。一般的なコミュニケーションに関する考え方から距離を置き、新たな視点で考察することを大切に授業です。皆さんからの素朴な疑問、深い考察なども共有していきますので、話し合いには積極的に参加して下さい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	コミュニケーション学とは （コミュニケーションの定義、ヘルスコミュニケーション）	・オリエンテーション：授業計画と評価に関する説明 ・一般的なコミュニケーションの捉え方との差異 ・ヘルスコミュニケーションを学ぶ意義について （予習）特になし （復習）授業内で指定するテキスト該当箇所を読む（60分）	五十嵐紀子
2	コミュニケーション能力とは何か （コミュニケーション能力）	・「コミュニケーション能力」重視の問題について ・「当たり前を疑う」視点の大切さ （予習）どんな時に「コミュニケーション能力」を意識するか具体的に考える（60分） （復習）「円滑なコミュニケーション」の問題としての具体例を考える（60分）	五十嵐紀子
3	言語メッセージ	・言語と社会的規範の関係について （予習）授業内で指定するテキスト該当箇所を読む（30分） （復習）授業内で指定するテキスト該当箇所を読み、授業での学びを自分自身に重ね合わせて考えたことを振り返りコメントとして提出する（90分）	五十嵐紀子
4	医療におけることば （臨床で交わされる言葉）	・「病」と自分との距離感について ・臨床における「ふさわしさ」について （予習）「病」のマインドマップを描いてくる（60分） （復習）授業内で指定するテキスト該当箇所を読む（60分）	五十嵐紀子
5	医療におけることば （「病」の定義）	・「病」という言葉の捉え方について ・認知症、薬物依存症、水俣病を例に考える （予習）認知症、薬物依存症について調べる（60分） （復習）授業内で指定するテキスト該当箇所を読む（60分）	五十嵐紀子

科目名	コミュニケーション論	授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐 紀子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	非言語 (時間・空間)	・時間・空間の認識が他者理解になぜ役立つのかを考える ・時間・空間の認識のコミュニケーションに与える影響 (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(30分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読み、授業での学びを自分自身に重ね合わせて考えたことを振り返りコメントとして提出する(90分)	五十嵐紀子
7	非言語 (時間・空間)	・恣意的な境界線の身近な例について考察する (予習) 身近にある「境界線」の例について写真などを用意する(60分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(60分)	五十嵐紀子
8	表象とステレオタイプ (表象、ステレオタイプ)	・ステレオタイプとは何か ・身近なステレオタイプについて (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(60分) (復習) 啓発や健康増進などのパンフレットやポスターに注目する(60分)	五十嵐紀子
9	表象とステレオタイプ (表象、ステレオタイプ)	・グループワークで啓発や健康増進活動に用いられる表象分析を行う ・発表または共有 (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(30分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読み、授業での学びを自分自身に重ね合わせて考えたことを振り返りコメントとして提出する(90分)	五十嵐紀子
10	表象とステレオタイプ (表象、ステレオタイプ)	・各自が作ったステレオタイプ化されたパンフレットを共有し、自己ステレオタイプ化への気づきを確認する (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(60分) (復習) 自己ステレオタイプにどうしたら気づくことができるか考える(60分)	五十嵐紀子
11	自己理解と他者理解 (自己理解、他者理解、自己ステレオタイプ、傾聴、共感)	・傾聴と共感のあり方について ・いくつかの事例について、自己ステレオタイプ化という視点で考察する (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(60分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(60分)	五十嵐紀子
12	異文化コミュニケーションと対人援助 (異文化、ジェンダー、多様性)	・ジェンダーマイノリティの問題 (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(30分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読み、授業での学びを自分自身に重ね合わせて考えたことを振り返りコメントとして提出する(90分)	五十嵐紀子
13	異文化コミュニケーションと対人援助 (異文化、対人援助、マイノリティ)	・当事者研究の取り組み (予習) 統合失調症について調べる(60分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(60分)	五十嵐紀子
14	レポート作成に向けての学習	【グループディスカッション】 ・選んだテーマごとにグループを作り、考察する (予習) レポートでテーマとするテキスト項目を選ぶ(60分) (復習) 関連事項を発展的に調べたり、他者の意見を聞くなどして考察を深める(60分)	五十嵐紀子
15	レポート作成に向けての学習	【グループディスカッション】 ・レポートで取り上げたい視点を整理する ・全体共有をする ・まとめ (予習) レポートで取り上げる事例について考える(30分) (復習) レポートの構想を確認し、レポートを執筆する(90分)	五十嵐紀子

科目名	健康スポーツⅡ			授業科目番号	1105040
担当者氏名	塩野谷 明			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

室内で行うスポーツを実践し、スポーツが身体的、心理的、社会的側面に及ぼす影響について体験し考察する。具体的には、エアロビクスによる有酸素運動の体験をする。また、バレーボール競技を通して、スポーツにおけるチームワークの在り方から、スポーツの社会性について体験し考察する。さらに、筋肉トレーニングを体験する。また、有酸素運動と筋肉トレーニングの特徴を理解したうえで、グループワークとして、子どものトレーニングと高齢者のトレーニングの特徴について考え、具体的な運動メニューを提案する。

《授業の到達目標》

健康スポーツⅠに引き続き、生理学、生化学、バイオメカニクスや工学を基盤に、運動の機序となる筋収縮について理解する。具体的には、エネルギー代謝や関係する圧力の観点からヒトの運動を理解できるようにする。また健康スポーツ同様健常者のみならず、障がい者、そして高齢者や有病者の運動についても実践できるようにする。

《評価の方法》

定期試験80%、学習態度20%

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

特に指定しない。

《履修上の留意点》

与えられた課題作成を念頭にして、講義内容を入れながら運動実践まで行っていくため、理由のない欠席は避ける。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	モーメントから運動	運動のエネルギー源となるATPの再合成のメカニズムに関係するATP-CP系、解糖系について学ぶとともに、スポーツとの関連性について理解させる。	塩野谷 明
2	運動とエネルギー代謝①	運動のエネルギー源となるATPの再合成のメカニズムに関係するATP-CP系、解糖系、クレブス回路、電子伝達系、ATP合成酵素について学ぶとともに、スポーツとの関連性について理解について学ぶとともに、スポーツとの関連性について理解させる。	塩野谷 明
3	運動とエネルギー代謝②	運動機能の評価指標となるV03maxおよびAnaerobic Thresholdについて、その概要ならびに同定までを理解し、エネルギー代謝をととして生体が有するメカニズムの面白さについて理解させる。	塩野谷 明
4	脂肪1kgを減らすための運動とは	エネルギー代謝の総括として、脂肪1kgを減らすための運動について、その運動の強度と運動時間をMETs(代謝当量)と関連させて理解させる。METsについては、看護学と同じコメディカル領域の理学療法学の重要な学習事項であり、保健師取得にも必要不可欠な知識となる。	塩野谷 明
5	エネルギー代謝と圧力、分圧	エネルギー代謝に深く関与する呼吸(換気)について、圧力の観点から理解させる。その基礎的内容として、分圧について学ぶ。	塩野谷 明

科目名	健康スポーツⅡ	授業科目番号	1105040
担当者氏名	塩野谷 明		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	エネルギー代謝と圧力、ボイル・シャルルの法則	エネルギー代謝に深く関与する呼吸(換気)について、第5回講義に続き、圧力の観点から理解させる。第6回は、肺呼吸とボイル・シャルルの法則について学ぶ。	塩野谷 明
7	障がい者、高齢者、有病者スポーツ実践①	健康スポーツⅠと同様、スポーツは健常者のみのものではなく、有病者、高齢者、障がい者を含め、すべての人に供与されるものであるという観点から、健康スポーツⅡでは障がい者スポーツのみならず、有病者スポーツ、高齢者スポーツにも焦点をあて、様々な活動や留意すべき問題・課題について紹介するとともに実践までを行う。	塩野谷 明
8	障がい者、高齢者、有病者スポーツ実践②	健康スポーツⅠと同様、スポーツは健常者のみのものではなく、有病者、高齢者、障がい者を含め、すべての人に供与されるものであるという観点から、健康スポーツⅡでは障がい者スポーツのみならず、有病者スポーツ、高齢者スポーツにも焦点をあて、様々な活動や留意すべき問題・課題について紹介するとともに実践までを行う。具体的には、車いす輪投げを取り上げる。	塩野谷 明
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	生命倫理学			授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力			

《授業の概要》

社会人として、看護職として生命の尊厳を守ることは重要なことである。生命倫理学では、そもそも倫理とは何かを学ぶ。そのうえで、生命倫理学の基礎的概念を学ぶ。具体的には、パターンリズムと人権、自己決定権、遺伝子治療、出生前診断と母体保護法、不妊治療と代理母、安楽死、脳死と臓器移植、宗教上の治療拒否などのテーマについて調べ学習を行い、グループで討議し、発表する。現代の医療の倫理的課題について、広い視野で問題を考察できるようになるための基礎的科目である。

《授業の到達目標》

この授業では、生命、公平や自由などの基本概念を押さえ、生命倫理学の扱う自己決定権やQOLとSOL等について議論を展開していく。同時に、看護現場で実際に起きた事例を通して倫理的課題について検討し、その文化的（例：日本人の死生観）・社会的背景について論じる。学習者が看護現場の抱える倫理の諸問題の内容を理解し、倫理の原則を踏まえてこの諸問題を解決する判断力を育むと同時に、現代医療の倫理的な問題に気づく感性を養うことを到達目標とする。

《評価の方法》

定期試験を60%、数回の授業内発言及びプレゼンテーション、そしてリアクションペーパー（10行程度の小レポート）を40%とする。

《テキスト》

購入テキスト（教科書）は指定しないが、参考図書を随時紹介し必要な資料をこちらで準備し配布する。

《参考図書》

『看護学生のための医療倫理』（盛永審一郎、長島隆編 丸善出版 2012年）
『生命倫理学とは何か 一入門から最先端へ』（アラスデア・V・キャンベル 勁草書房 2016年）

《履修上の留意点》

学習者の主体的な学びを実現するためディスカッションやディベートを通して理解を深めたいと考えるが、コロナ感染予防策を講じながら、オンラインツールをも活用してアクティブラーニングを促す。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	イントロダクション	生命倫理とは何か。英語文化圏でいうバイオエシックスという概念について紹介し、医の倫理との関係に触れながら、生命・自由・公平等の基本概念に関する整理を行う。	郷堀ヨゼフ
2	健康問題とは何か	健康と病気とは何か。疾病と病との違いとは何か。健康問題に取り組む医療と看護の特徴を踏まえて、現代医療の倫理的問題を整理する。	郷堀ヨゼフ
3	生命倫理学の歴史	ナチスドイツによる人体実験やタスキーギ事件等を取り上げながら、戦後の医療技術臨床発展を受けて浮上した諸問題とリンクしながら臨床倫理と生命倫理の（学問として）確立のプロセスを追う。ニュールンベルク綱領（1947）、ヘルシンキ宣言（1964）等の基本的な枠組みについて紹介する。	郷堀ヨゼフ
4	道徳理論	倫理的規範の形成について論じ、義務とは何か、善人になることとは何かについて考え、兄弟愛と姉妹愛（コミュニタリアニズム）やリバタリアニズムについて紹介する。最後に、これらを踏まえて医療倫理の四原則や看護倫理について整理する。	郷堀ヨゼフ
5	多様な視点	ジェンダーやフェミニズムといったキーワードを念頭に置きながら、多様な視点から考える倫理・道徳のあり方に注目する。後半は宗教と文化による影響や違いについて論じて確認をする。	郷堀ヨゼフ

科目名	生命倫理学	授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	権利	治療選択権と治療拒否権について考える。患者の権利に焦点を当て、パターナリズムやインフォームドコンセントやアドバンスケアプランニング(ACP)等の概念について論じる。また、終末期医療・緩和ケアの事例を中心に延命措置の問題(治療しない、治療を中止する)について考える。	郷堀ヨゼフ
7	人生の旅：誕生(問題提起)	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に生殖医療(技術)と遺伝子技術について論じ、優生思想について議論する。	郷堀ヨゼフ
8	人生の旅：誕生(検討)	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に人工妊娠中絶について考える。その社会的・文化的背景も考慮しながら、歴史的な展開と現状の両方について論じる。 ※リアクションペーパー提出。	郷堀ヨゼフ
9	人生の旅：誕生(討論)	生の始まりに関する倫理的な問題を取り上げ、リアクションペーパーとそれに対するフィードバックを踏まえて、全体でディスカッションを行う。	郷堀ヨゼフ
10	人生の旅：死(問題提起)	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、脳死や移植医療の事例を挙げながら死の概念等を押さえる。さらに、脳死判定、死の三徴候、臓器移植について検討しながら、遷延性意識障害と脳死と臓器提供について議論する。	郷堀ヨゼフ
11	人生の旅：死(検討)	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、がん治療、ターミナルケア、ビハラー、スピリチュアルケア、ホスピスケアについて議論する。国内外の事例を挙げながら、延命治療等の倫理的諸問題について考える。	郷堀ヨゼフ
12	人生の旅：死(討論)	安楽死にフォーカスしながら、諸概念を整理した上で国内外の現状について紹介する。その中で、死ぬ権利、自殺幇助等を取り上げる。	郷堀ヨゼフ
13	人生の旅：死(討論)	安楽死にフォーカスしながら、安楽死と尊厳死の違いを取り上げ、特にその法的枠組みに重点を置いて検討する。優生思想にも注目しながら議論をする。 ※リアクションペーパー提出。	郷堀ヨゼフ
14	人生の旅：死(討論)	個人と生命の尊厳を保ちながら、十分な倫理的配慮をするターミナルケア、遺族へのケア(グリーフケア)とそれに伴う課題について取りあげて整理する。仏教的ケア(ビハラー病棟等の実践)について紹介する。	郷堀ヨゼフ
15	今日的課題・まとめ	全体の内容を振り返って専門職倫理規範(看護倫理)の土台を成す生命倫理の重要課題を整理する。さらに、今日の社会・医療における倫理的課題を取りあげ、看護師としての対応・課題について整理する。	郷堀ヨゼフ

科目名	自然環境論			授業科目番号	1106010
担当者氏名	春日 良樹			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

自然と共生するための、自然環境の保全、人間社会の在り方について地球環境問題に興味を持ち学ぶ。具体的には、食生活と増え続けるごみや廃棄物、食料自給率と環境、途上国と日本の水環境、地球温暖化、公害、エネルギー資源、大気汚染などの問題を理解し、人間は自然とどのように共生していくのか、世界レベルで考えることから始まり、地域のレベルまで具体的に掘り下げて考える。この講義を通して、卒業してからも環境問題に興味を持ち続けて、環境保全に積極的に関与できる人材を育成する。

《授業の到達目標》

地球環境と生命の多様性や進化、身近な自然で起こっている生態系の変化、環境問題と人間の生活について、校庭の自然や資料をもとに調べたり仲間と話し合ったりする学習を通して、自然環境の保全や持続可能な社会の在り方について、自分なりの主張の形成を図る。

《評価の方法》

①定期試験60% ②レポート30% ③討議や学び合いへの参加態度10%

《テキスト》

講義資料を作成し（40P程度）受講者に事前に配布する。必要に応じて、講義時に補充資料を配布する。

《参考図書》

指定図書はないが、高校の生物教科書や参考書又は環境問題に関する書籍を1冊用意するとよい。大学近隣の県立歴史博物館、馬高縄文館、藤橋遺跡、十日町市立博物館、柏崎原発サービスホールなどに出かけ事前学習を進めておくことよい。

《履修上の留意点》

大学校庭の草原や林などで、実際の自然を観察する機会を設定する。

《備考》

野外学習時には、虫や怪我対策のため服装に留意する（講義時に連絡する）。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	生命の星地球 ・学習の進め方ガイダンス ・生命の惑星地球	地球の形成と生命の誕生について理解する。 ・二酸化炭素の減少や酸素の増加など、多様な生物種の生存を可能とした地球環境の形成…石炭・石油の形成（鉄や化石燃料の形成） ・生物の進化と絶滅 ＜高校で使用していた地学や生物の教科書、参考書などがあると良い＞	春日 良樹
2	人類の誕生と自然環境 ・人類の進化と拡散 ・農耕の開始と文明	アフリカから世界へ分布を広げた人類の進化の道筋について理解する。 ・人類の進化を支えたもの・こと（他の霊長類と比較しながら） ・農耕の開始・人口増加と森林の縮小	春日 良樹
3	・縄文人の生活 ・1万年以上続いた縄文時代	日本の自然環境と共生した縄文人の生活について理解する。 ・土器の発明と生活の変化 ・縄文人の生活と森林の変化…カタクリの例 ＜新潟県立歴史博物館、馬高縄文館、長岡市立科学博物館、十日町市立博物館等に出かけ、土器の変遷や昔の人々の生活について事前学習を進めておくことよい＞	春日 良樹
4	弥生から近世までの自然の変化 ・国の形成と自然環境の変化 ・草原の国日本	人口増加や人々の生活と森林環境の変遷について理解する。 ・稲作をはじめとした大陸文化の流入と森林 ・製鉄と森林（もののけ姫の世界）…草原が広がる国土 ・江戸時代の人々の生活と自然環境…森林が支える江戸の生活	春日 良樹
5	戦後の日本の自然環境の変化 ・森林の変化 ・河川の変化	戦後の復興と自然環境の変化について理解する。 ・戦後のエネルギー革命と里山の荒廃 ・日本林業の再生への希望…林業女子、森林・林業基本法	春日 良樹

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会の理解》

科目名	自然環境論	授業科目番号	1106010
担当者氏名	春日 良樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	森林の役割や機能 ・水源涵養林 ・健康福祉林など	日本の森林の特徴や森林の役割や機能について理解する ・二酸化炭素の吸収や生態系の維持 ・水源涵養の仕組み	春日 良樹
7	校庭のコナラ林の生態系 ・植物同士の関わり合い ＜ミニ野外学習①＞	校舎裏のコナラ林を調べ、植生断面図を作成する。 ・森林植物と動物の関係性（カメラ・スマホ、色鉛筆、靴、服装） ＜天候により、前の6回目や次の8回目以降と入れ替える場合がある＞	春日 良樹
8	変わりゆく日本の自然 ・外来種の問題 ＜ミニ野外学習②＞	崇徳大学の校庭に蔓延る外来植物の生育状況を明らかにする。 ・外来種の種類や分布 ・蔓延る外来種(外来生物法、SDGS) ・駆除の難しさと日本の生態系や人間生活への影響 ＜天候により、9回目と入れ替える場合がある＞	春日 良樹
9	日本の近代化と河川環境 ・川の汚染	半世紀前の人々の暮らしと川の関係や近代化と川の変化について理解する。 ・生活や工業の廃棄物処理の場としての河川（隅田川や多摩川の例） ・近年における新たな問題…人々の生活と水辺環境の乖離 ・深刻化するゴミ問題（近隣諸国を巻き込んだ）	春日 良樹
10	日本の経済発展と公害	日本の公害の原点（足尾銅山鉱毒事件）について学び、田中正造の生き方や環境問題の現実について理解する。 ・カネミ油症訴訟 ・大気汚染問題	春日 良樹
11	新潟水俣病	水俣病と第2水俣病（新潟水俣病）の原因や現在も続く訴訟について理解する。 ＜新潟立環境と人間のふれあい館「新潟水俣病資料館」などを訪れたり新潟水俣病に関係する書籍を読んだりしておくといい＞	春日 良樹
12	人類の未来と環境問題 ・温暖化・気候変動 ・原子力発電の可否	豊かな生活の享受と地球温暖化などの環境問題について理解する。 ・牧畜とメタン、二酸化炭素の排出 ・オゾン層の破壊 ・原子力発電の限界、再生エネルギーの功罪	春日 良樹
13	自然の生態系 ・生物同士の関係性	生態系について環境と生物の関係性について理解を深める。 ・森林、河川、湖沼、海洋 ・食物連鎖・生物網・生物ピラミッド ・世界の食料と環境問題（農薬・土壌崩壊等）	春日 良樹
14	熱帯林の破壊 ・SDGSと熱帯林の保全	地球の肺と称される熱帯林の役割について理解する ・二酸化炭素の固定と生物多様性 ・国際的な商品作物と熱帯林の消失（パーム油、バナナ、カカオなど）	春日 良樹
15	持続可能な社会の確立のために	将来に向けて持続可能な社会の構築にむけて、自分ができることをレポートにまとめる。 ・無知からの脱却～予知科学の重要性～ ・循環型社会への移行	春日 良樹

科目名	日本国憲法			授業科目番号	1106020
担当者氏名	三浦 三厳			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力			

《授業の概要》

日本国憲法の制定の過程を学び、また基本原理について理解を深める。具体的には、人権の保障、法の下での平等、信教の自由、表現の自由、生存権などについて理解を深める。特に、人権については、人権尊重、人権擁護をめぐる身近な問題を考える。具体的には、いじめ、外国人差別、障害者への偏見、部落差別、労働に関わる問題、女性労働者と育児、介護に関わる問題などである。さらに、法とは何か、日本国憲法と法律の役割を明確にし、法律に関する基礎的、基本的な知識を身につける。

《授業の到達目標》

- 1. 日本国憲法の成立経緯や構造等の基本的内容を説明できる。
- 2. 自らのもつ権利と義務について考えることができる。

《評価の方法》

定期試験（100％）により評価する。

《テキスト》

『目で見える憲法（第6版）』（初宿正典、大沢秀介他編著 有斐閣 2024年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

本講義は日本国憲法の初学者を対象にしている。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	法律とは何か。	法律について概要・具体例などを説明する。	三浦 三厳
2	法律は誰が作るのか。その根拠は何か(1)	法律の制定について、憲法上の規定はどうなっているか、国会はどのようなものか、民主主義や選挙などについて説明する。	三浦 三厳
3	法律は誰が作るのか。その根拠は何か(2)	同上	三浦 三厳
4	行政(内閣)とは何をするのか。国会との関係(1)	行政は何をするのか、国会との関係はどうなっているのかなどを説明する。	三浦 三厳
5	行政(内閣)とは何をするのか。国会との関係(2)	同上	三浦 三厳

科目名	日本国憲法	授業科目番号	1106020
担当者氏名	三浦 三厳		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	日本国憲法の成立過程・改正	日本国憲法の成立過程・改正規定について説明する。	三浦 三厳
7	人権とは何か。	人権とは何か,その概要や具体例について説明する。	三浦 三厳
8	裁判所(1)	裁判所はどのようなものか,人権との関係・違憲審査などについて,判例をふまえて説明する。	三浦 三厳
9	裁判所(2)	同上	三浦 三厳
10	人権各論(1)	人権につき,平等・表現の自由など個別の人権・規定ごとに,判例をふまえて説明する。	三浦 三厳
11	人権各論(2)	同上	三浦 三厳
12	人権各論(3)	同上	三浦 三厳
13	地方自治・財政・天皇など(1)	地方自治・財政・天皇などに関する規定につき説明する。	三浦 三厳
14	地方自治・財政・天皇など(2)	同上	三浦 三厳
15	復習	これまで学んだことを復習する。憲法の全体像を確認する。	三浦 三厳

科目名	福祉と保障			授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤 和也			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○1-3 他者の自己決定を擁護する力, ◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割			

《授業の概要》

社会福祉とは何か、どうあるべきかを理解する。歴史的背景を踏まえた社会福祉の概念や対象・理念を学び、現代の社会福祉の現状と多様性を学ぶ。また、社会福祉と社会保障の概念を明らかにし、現代の社会保障の各種政策・制度を学習する。具体的には、少子高齢化に対する社会保障制度、社会的不平等に対する保証制度などである。また、それを踏まえ、現在のメインストリームである地域ケアにおけるこれからの自立生活支援の考え方を養う。

《授業の到達目標》

1. 私たちの生活がどのような仕組みで支えられているのかを理解する。
2. 卒業直後から授業の成果を活かせるよう、制度の理解だけでなく現代社会の動向と関連付けて理解する。
3. 医療と介護の連携の基礎的な知識を学び、連携の必要性を理解する。

《評価の方法》

- ・ 定期試験 80% (達成目標1.2)
- ・ レポート提出 20% (達成目標1.2.3)

《テキスト》

『系統看護学講座 社会保障・社会福祉』（福田素生 他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

都度紹介

《履修上の留意点》

筆記試験は、国家資格試験の問題様式にほぼ準じる。
授業中に確認の小テストを数回実施

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション 社会保障と社会保険	授業の概要と目的説明 社会保障を学ぶ意義 予習：自分が90歳になった時の暮らしを想像する(20分) 復習：社会保障と社会保険の違いを確認する(15分)	佐藤 和也
2	社会保障制度の目的と機能	(第1章) 社会保障制度と社会福祉 予習：日本の人口の変化を確認する(20分) 復習：社会保障の全体像を確認する(20分)	佐藤 和也
3	社会福祉の法制度	(第1章) 社会保障制度と社会福祉 予習：住んでいる地区の民生委員を確認する(15分) 復習：社会福祉六法を確認する(20分)	佐藤 和也
4	現代社会の変化	(第2章) 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 予習：親戚の家族構成を確認する(30分) 復習：日本の2030年問題、2040年問題を確認する(40分)	佐藤 和也
5	医療保障制度Ⅰ	(第3章) 医療保障 予習：自分の医療保険被扶養者証を確認する(10分) 復習：医療保障制度の種類と概要を確認する(30分)	佐藤 和也

科目名	福祉と保障	授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤 和也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	医療保障制度Ⅱ	(第3章) 医療保障 予習：自分の住む地域の医療機関を確認する(30分) 復習：保険診療の仕組みを確認する(30分)	佐藤 和也
7	介護保障制度Ⅰ	(第4章) 介護保障 予習：(可能なら)65歳以上の身内の人の介護保険証を見せてもらう(10分) 復習：介護保険制度の概要を確認する(40分)	佐藤 和也
8	介護保障制度Ⅱ	(第4章) 介護保障 予習：住んでいる地域の介護保険施設・事業所を確認する(60分) 復習：介護保険のサービスを確認する(40分)	佐藤 和也
9	年金保険 社会手当 労働保険	(第5章) 所得保障 予習：(可能なら)身内の人の「年金」の種類を教えてもらう(10分) 復習：所得補償制度の概要を確認する(60分)	佐藤 和也
10	生活保護 低所得者対策	(第6章) 公的扶助 予習：「朝日訴訟」を調べる(40分) 復習：生活保護を取り巻く最近の動向を確認する(30分)	佐藤 和也
11	高齢者福祉 障害者福祉	(第7章) 社会福祉の分野とサービス 予習：「ノーマライゼーション」を確認する(30分) 復習：高齢者施策を確認する(40分)	佐藤 和也
12	障害者福祉 児童家庭福祉	(第7章) 社会福祉の分野とサービス 予習：虐待(高齢・障害・児童)事件を調べる(30分) 復習：障害者へのサービス内容を確認する(60分)	佐藤 和也
13	社会福祉の歴史	(第9章) 社会福祉の歴史 予習：テキストを読む(30分) 復習：「生存権」を考察する(60分)	佐藤 和也
14	社会福祉実践	(第8章) 社会福祉実践と医療・看護 予習：社会福祉援助技術を知る(40分) 復習：自己覚知を深める(30分)	佐藤 和也
15	社会福祉実践 医療・看護・福祉の連携	(第8章) 社会福祉実践と医療・看護 予習：地域包括ケアシステムを理解する(40分) 復習：連携を支える仕組みがイメージできる(30分)	佐藤 和也

科目名	人体の構造と機能III			授業科目番号	2208030
担当者氏名	堀江 正男			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

「人体の構造と機能Ⅱ」に引き続き、内分泌系、免疫系、生殖器系、感覚系、皮膚の構造と機能を学ぶ。ここでは、解剖見学実習を行い、実習後、「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」で学んだ内容との統合を図る。解剖実習は、新潟市内にある大学の医学部または歯学部にて実施する。この実習を通して、知識の修得統合とともに、人間の尊厳について考える。

《授業の到達目標》

1. 観察対象の身体における位置を正確に示すことができ、そしてそれらの構造および機能の説明ができる
2. 献体の意味を理解し、常に礼節を持って行動することができる

《評価の方法》

試験 70%：定期試験として、達成度を最終的に評価する

解剖見学実習態度 30%：実習への積極的な関わり等を評価する

《テキスト》

『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著 医学書院 2022年）

《参考図書》

1. 『解剖学カラーアトラス 第9版』（J.W.Rohen 他著 医学書院 2023年）
2. 『イラスト解剖学 第10版』（松村譲児著 中外医学社 2021年）

《履修上の留意点》

解剖見学実習は本物の人体を観察し、器官等に触れることのできる貴重な機会です。実習に対するみなさんの積極的なアプローチを期待しています

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	身体の支持と運動 (骨格系・筋系)	骨、軟骨、関節、靱帯の構造および機能、骨および関節の部位 (予習) テキストの該当ページ (復習) 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
2	身体の支持と運動 情報の受容と処理 (運動と各感覚の伝導路)	骨格筋の構造および機能、骨格筋の部位 体幹および体肢の体性感覚と伝導路を構成する諸構造、体性感覚野 (予習) テキストの該当ページ (復習) 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
3	情報の受容と処理 (脳神経、大脳皮質諸領域)	頭部の体性感覚および特殊感覚の伝導路を構成する諸構造、脳神経の種類と部位、大脳皮質の部位と機能、自律神経の構造と機能 (予習) テキストの該当ページ (復習) 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
4	消化器系・呼吸器系 (消化器系・呼吸器系の構造と機能)	消化器系および呼吸器系の器官の構造と機能、門脈、胸膜・腹膜について (予習) テキストの該当ページ (復習) 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
5	循環器系・泌尿器系 (循環器系・泌尿器系の構造と機能)	肺循環および体循環の血管の部位、心臓の構造と機能、泌尿器系の構造と機能 (予習) テキストの該当ページ (復習) 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男

《専門教育科目 専門基礎科目 人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能III	授業科目番号	2208030
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	内分泌系・免疫系 (内分泌系・免疫系の構造と機能)	内分泌腺の部位と機能、生体防御機構として働く諸器官(皮膚・骨髄・胸腺・脾臓・リンパ節等)について (予習) テキストの該当ページ (復習) 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
7	解剖体見学実習	本講義で学んだ諸器官の構造と機能、部位について実習を通して学ぶ (予習) これまでの講義内容の確認 (復習) 実習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
8	解剖体見学実習	本講義で学んだ諸器官の構造と機能、部位について実習を通して学ぶ (予習) これまでの講義内容の確認 (復習) 実習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	栄養学			授業科目番号	2208040
担当者氏名	渡邊 令子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

栄養素とその働き、食物の摂取と消化吸収を学び、生命現象の意義について生化学的側面からとらえ、生体内のエネルギー獲得の仕組みと生体の恒常性の維持に関連して、糖質・たんぱく質・脂質などの代謝を学ぶ。また、栄養評価や、栄養指導、保健指導などの方法を学ぶ。さらに、ライフステージ別の栄養摂取課題、健康づくりについて学ぶ。看護職として臨床や地域の現場で栄養管理や栄養指導ができるための基礎的知識を得るための科目である。

《授業の到達目標》

1. 生体と食べ物との関係を専門用語を用いて説明できる。
2. エネルギー産生栄養素と微量栄養素の栄養学的機能について説明できる。
3. 健康の保持・増進や疾病・障害の予防に対する栄養の関わりについて説明できる。
4. ライフステージ別ならびに主な疾病に対する栄養管理の基本について理解する。

《評価の方法》

①定期試験：70%（到達目標の1, 2, 3, 4）、②小テスト：20% 授業時間内に3～4回実施（到達目標の1, 2, 3）、③学習態度：10% 意欲・積極性（到達目標の1, 2, 3, 4）、

《テキスト》

『系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能3 栄養学』（小野章史 他著 医学書院 2020年）

《参考図書》

『栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学（第4版）』（田地陽一編 羊土社 2020年）

『健康・栄養科学シリーズ 応用栄養学（改訂第7版）』（渡邊令子 他編 南江堂 2020年）

《履修上の留意点》

- ・配布プリントはファイルに綴じて、授業時に必ず持参する。
- ・”We are what we eat.”、「身体は食べ物からできている」を意識して、栄養学の基礎をふまえたうえで「看護と栄養」に関心をもってください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	栄養学とは (栄養、栄養素、食べ物、食品、食事)	ガイダンス(予習・復習や小テスト等について) 栄養の概念について理解を深めたうえで、保健医療や看護からみた食事や栄養補給の意義について学習する。 (予習) テキストp2～14を熟読する。(30分) (復習) テキスト第1章を参照して、配布プリントを読み返して要点をまとめる。(60分)	渡邊 令子
2	栄養管理(ケア・マネジメント)とは (栄養アセスメント、栄養診断、栄養ケアプラン、モニタリング)	健康・栄養状態の評価(栄養アセスメント)・判定の方法、それに基づいた栄養ケア計画、実施、モニタリングと評価という栄養管理の基本について学習する。 (予習) テキストp114～122、p132～149を読む。(30分) (復習) テキスト第6・7章の関連頁を参照し、配布プリントを読み返して要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
3	食べ物と摂食行動 (食品群と栄養素、生体リズムと食物の摂食調節)	食品には各種栄養素や水分の他に多種多様な成分が含まれ、調理加工したものを食事として経口摂取している。「なぜ、規則正しい食事が健康増進や肥満および生活習慣病予防に重要なのか」について理解する。 (予習) 食品群と栄養素について、テキストp98～110を読む。(30分) (復習) 配布プリントで授業を振り返り、特に生体リズムと食物の摂食調節についてまとめる。(90分)	渡邊 令子
4	食べ物(栄養素)の消化・吸収 (消化酵素、管腔内消化と膜消化、栄養素の吸収機構、腸内細菌叢)	管腔内消化と膜消化・吸収の2つのステージからなる消化・吸収過程の概要、さらに栄養素別の消化・吸収過程について学習する。 (予習) テキストp46～58を熟読する。(30分) (復習) 配布プリントで授業を振り返り、テキストp46～58も参照して要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
5	エネルギー産生栄養素の体内代謝(1) 炭水化物(糖質と食物繊維、血糖調節のメカニズム、エネルギー産生)	糖質と食物繊維の栄養生理機能について学習し、特にグルコースからのエネルギー産生機構と血糖調節の重要性を理解する。今回以降の講義では、必要に応じて日本人の食事摂取基準(2020年版)についても学習する。 (予習) テキストp18～21、p40～41、p59～60、p62～66を熟読する。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子

科目名	栄養学	授業科目番号	2208040
担当者氏名	渡邊 令子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	エネルギー産生栄養素の体内代謝(Ⅱ) 脂質(脂肪酸、リポたんぱく質、血漿脂質、エネルギー産生)	水に不溶性の栄養素である脂質と脂肪酸の種類について学習し、脂質の臓器間輸送の役割を担っているリポたんぱく質や、エネルギー源としての脂肪酸の代謝について理解する。 (予習) テキストp21～23、p61～66を熟読する。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
7	エネルギー産生栄養素の体内代謝(Ⅲ) たんぱく質・アミノ酸 (不可欠アミノ酸、代謝回転、たんぱく質の半減期、たんぱく質の栄養価)	たんぱく質は生命現象の中心となる役割を担っている栄養素であることを理解し、構成アミノ酸の特徴やたんぱく質・アミノ酸の体内代謝(臓器差、食後と食間の相違)の概要、摂取たんぱく質の栄養価等について学習する。 (予習) テキストp24～27、p65～72を熟読する。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
8	ビタミンの生理機能と代謝 (脂溶性ビタミン、水溶性ビタミン、欠乏症、過剰症)	体内代謝や生理機能の調節物質としての微量栄養素に関して、ビタミン(13種類)とミネラル(13種類)の各栄養素の生理機能と欠乏症や過剰症について、学習する。 (予習) テキストp27～32を読み、主な欠乏症の病態等を調べる。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
9	ミネラルの生理機能と代謝 (多量ミネラル、微量ミネラル、欠乏症、過剰症)	体内代謝や生理機能の調節物質としての微量栄養素に関して、ミネラル(13種類)の各栄養素の生理機能と欠乏症や過剰症について学習する。また、栄養素としてのミネラルの相互作用や摂取量の適正ゾーンが狭いことも理解する。 (予習) テキストp33～40を読み、主な欠乏症の病態等を調べる。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
10	エネルギー代謝 (エネルギー産生栄養素の生理的燃焼値、基礎代謝、安静時代謝、活動代謝)	エネルギーと水の供給は第一に優先される。エネルギー摂取量とエネルギー消費量の収支が釣り合えば体重変動はみられない。エネルギー代謝の重要性について学習する。 (予習) テキストp74～79、p82～89を熟読する。(30分) (復習) 5～9回目の内容をふまえて授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
11	ライフステージと栄養(Ⅰ) 妊娠期・授乳期、乳児期 (DoHaD、乳汁栄養、離乳食)	母性栄養は胎児栄養を含むという特殊性、乳児期は乳汁栄養から離乳食移行への必要性があることを理解し、各時期の栄養ケアの重要性について学習する。 (予習) テキストp168～p172、p152～156と配布プリントを読む。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
12	ライフステージと栄養(Ⅱ) 幼児期、学童期、思春期 (幼児食、学校給食、第2発育急進期の栄養)	幼児期及び学童期の生理的特徴と栄養ケアのあり方を学習する。また、学童期の後半から始まる第2発育急進期の特徴と栄養学的課題について学習する。 (予習) テキストp157～164と配布プリントを読む。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
13	ライフステージと栄養(Ⅲ) 成人期、高齢期 (栄養過多、肥満、生活習慣病、低栄養、摂食嚥下障害)	成人期、高齢期とも非常に年齢幅が広いので、疾病や健康障害における栄養学的課題も栄養ケアのあり方も多種多様であることを理解する。 (予習) テキストp165～168、p173～186と配布プリントを読む。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
14	疾病と栄養(Ⅰ) 栄養補給法、病院食 (経腸栄養法、経静脈栄養法、輸液、病院食食種)	傷病者の病態や栄養状態は、当然のことながら一人ひとり異なる。医療現場では、看護師も臨床栄養の基本を理解しておくことが必要である。栄養補給法、病院食など基本について学習する。 (予習) テキストp188～199を熟読する。(30分) (復習) 配布プリントとテキストで授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
15	疾病と栄養(Ⅱ) 代表的な疾患別食事療法 (糖尿病、脂質異常症、高血圧症、慢性腎臓病など)	肥満、高血圧、脂質異常症、糖尿病など生活習慣病の食事療法の基本、および消化器疾患の栄養療法の基本について学習する。 (予習) テキストp206～222を熟読する。(30分) (復習) 配布プリントとテキストで授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子

科目名	病理病態学			授業科目番号	2209070
担当者氏名	高塚 尚和			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

基本的な病変の原因、成り立ち、経過、転帰など及び疾病の起こるメカニズムについて学ぶ。具体的には、体液異常、血行障害、炎症、変性・壊死・萎縮・老化、腫瘍、過形成、先天異常、代謝などである。また、患者の示す様々な訴えや診察所見（ショックなど）から原因を探る病態症候論も併せて学習する。解剖学、組織学、生化学、生理学、免疫学など他の学問領域と関連させながら学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 病態生理学の基礎を理解し、免疫、体液調節、血液、循環、呼吸、消化・吸収、腎・泌尿器、内分泌・代謝、脳・神経・筋肉、感覚器の機能と病態生理の基本を説明できる。
2. 身体所見と各病変・疾患とを関連づけることができる。

《評価の方法》

1. 定期試験50%（到達目標1,2）
2. 授業時間内に実施する小テスト50%（到達目標1）

《テキスト》

『系統看護学講座 病態生理学』（土居健太郎著 医学書院 2023年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

指定テキストを必ず持参すること。授業中の私語は厳禁とし、退出を求めることがあります。
看護の基礎となる科目です。しっかりと学習して下さい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	正常と病気の状態、細胞・組織の障害、循環障害、感染症(病理病態学 総論)	病態生理学を学習する際に基礎となる知識をテーマ(キーワード)に基づき学習する。 講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 (予習)テキストp2～20を熟読する(30分)。(復習)授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる(60分)。	高塚 尚和
2	腫瘍、先天異常と遺伝子異常、老化と死(病理病態学 総論)	病態生理学を学習する際に基礎となる知識をテーマ(キーワード)に基づき学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 (予習)テキストp20～32を熟読し、不明な点を事前に明らかにする(30分)。(復習)授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる(60分)。	高塚 尚和
3	免疫反応の過剰、体液・電解質の調節と異常、酸・塩基平衡のしくみと異常、赤血球・白血球の機能と障害、血小板と出血傾向(免疫、体液、血液)	免疫のしくみと病態生理、体液調節のしくみと病態生理、血液のはたらきと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 (予習)テキストp53-59、65-68、73-75、82-84、88-90、92-94は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする(30分)。(復習)授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる(60分)。	高塚 尚和
4	心臓のポンプ機能と病態生理、血圧調節と末梢環境のしくみと病態生理(循環器)	循環のしくみと病態生理を学習する。 講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 (予習)テキストp99-113、117-123は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする(30分)。(復習)授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる(60分)。	高塚 尚和
5	呼吸器系の防御機構の障害、換気障害、呼吸調節障害(呼吸器)	呼吸のしくみと病態生理を学習する。 講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 (予習)テキストp135-137、140-145、147、149-150は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする(30分)。(復習)授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる(60分)。	高塚 尚和

科目名	病理病態学	授業科目番号	2209070
担当者氏名	高塚 尚和		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	咀嚼・嚥下障害、胃・腸管の障害、消化・吸収障害、肝臓・胆嚢の機能と障害、脾臓の機能と障害、腹膜腔・腹膜・腸間膜の機能と障害(消化器)	消化・吸収のしくみと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 (予習)テキストp157-158、161、163-164、167-171、174-177、179、180-181、183-184は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする(30分)。(復習)授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる(60分)。	高塚 尚和
7	腎機能の障害、泌尿器のしくみと病態生理、内分泌のしくみと異常、糖代謝と異常(腎臓、内分泌、代謝)	腎・泌尿器のしくみと病態生理、内分泌・代謝のしくみと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 (予習)テキストp192-193、196-197、203-206、213-215、221-225は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする(30分)。(復習)授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる(60分)。	高塚 尚和
8	脳循環のしくみと障害、髄膜・髄液のはたらきと障害、意識と認知の障害、運動制御・筋収縮・視覚器・聴覚器の機能と異常(神経、感覚器)	脳・神経・筋肉のはたらきと病態生理、感覚器のはたらきと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 (予習)テキストp255-258、266-268、273、277-278、283-284、287-289は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする(30分)。(復習)授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる(60分)	高塚 尚和
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護援助論			授業科目番号	2311020
担当者氏名	樋本 まゆみ、大平 富美、大崎 美奈子、熊倉 良太			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

看護独自の援助を行うために、看護理論を活用し、看護を科学的に進める思考過程である看護過程を学ぶ。看護過程は看護を効果的に実践する方法論の一つであり、対象者のニーズを満たす援助を行うための考える力と基本姿勢を養う。

1. 看護理論と看護過程の関係を理解する
2. 看護過程の構成要素を理解する
3. 情報収集の枠組みとその実際
4. 全体像の描き方とアセスメント
5. 看護上の問題と援助を実践するための看護計画
6. 事例を用いた看護過程の演習 ・事例提示・グループワークのオリエンテーション ・看護過程の演習をグループワークで行う ・各グループで立案した看護計画を発表し質疑応答を行う

《授業の到達目標》

1. 看護過程の意義・目的、看護理論との関係を説明できる。
2. 看護過程の基盤となる考え方(問題解決過程・クリティカルシンキング)を説明できる。
3. 看護過程の構成要素を挙げることができる。
4. 情報収集の枠組みを用いた全体像の描き方を記述できる。
5. 情報の整理と分析によってアセスメントすることが判断できる。
6. 看護上の問題の意義・目的を理解できる。
7. 事例に対する看護計画を立案できる。
8. グループで立案した看護計画を発表し共有できる。

《評価の方法》

定期試験50%（到達目標1,2,3,6） 看護過程演習50%（事前学習準備、グループワークの取り組み、看護過程記録物）（到達目標4,5,7,8）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ』（茂野香おる 他著 医学書院 2023年）
2. 『看護課程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第5版』（秋葉公子 他著 ヌーベルヒロカワ 2023年）

《参考図書》

『実習記録の書き方がわかる！看護過程展開ガイド 第2版』（任和子編 照林社 2022年）

《履修上の留意点》

各回は看護過程の構成要素順に進めていきます。事例への看護過程展開は記録により確認します。演習の時間内で記録が整理できない場合は自己学習しグループワークが効果的に進むよう準備してください。

《備考》

グループワークに主体的に参加しながら進める。またお互いを尊重してチームで協働する意義を学ぶ機会となることを望む。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護を実践するための思考プロセス 看護過程の意義・目的 看護過程と看護理論の関係 (看護実践、看護過程、看護理論)	ガイダンス 看護過程とは何か 看護の定義を復習し看護を実践するための思考を導くプロセスであることを理解する。 看護過程の意義・目的、看護理論との関係について理解する。 ＜予習＞テキストを読む（60分）（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理する（60分）	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
2	問題解決過程思考 クリティカルシンキング (問題解決思考、批判的思考)	看護過程の基盤となる考え方を理解する。 1) 問題解決過程とは何か。身近な例を用い日常的に行われていることを理解する。 2) クリティカルシンキングとは何か。 論理的な探求や推論に関する知識が必要であり、因果関係を考える熟慮思考であることを理解する。＜予習＞事前に提示された課題に取り組む（60分）＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する（60分）	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
3	看護過程の構成要素 (アセスメント、看護上の問題、看護計画、看護の実施、看護の評価)	看護過程の構成要素 1. アセスメント 2. 看護上の問題 3. 看護計画 4. 実施 5. 評価 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する（60分）	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
4	全体像の描き方 アセスメント (全体像、情報収集と分析、主観的データ・客観的データ)	アセスメントと全体像の描き方 枠組みを用いた情報収集、データ収集の手段 データの種類（主観的データ・客観的データ） データ分析の方法 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する（60分）	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
5	看護問題の明確化 共同問題 (看護上の問題、関連因子、看護の方向性)	看護上の問題とは 看護師が責任をもって対処できる健康上の問題 看護上の問題は対象の健康上の問題、問題を解決するための援助の方向 共同問題とは ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護援助論	授業科目番号	2311020
担当者氏名	樋本 まゆみ、大平 富美、大崎 美奈子、熊倉 良太		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	看護計画 (期待される成果、看護計画の立案、実施、評価)	計画とは、目標を挙げて解決策(具体的な援助方法)を立案すること 看護問題の優先順位を決定 看護目標(期待される結果)を示す。達成可能であること。 援助内容の決定(OP:観察計画 CP:看護ケア EP:指導計画) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
7	実施 (看護援助)	計画を実際の行動に移すこと ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
8	評価 看護過程の各段階へのフィードバック (援助の評価)	評価とは実施の結果をアセスメントすることで看護目標の達成度をみること。必要時各構成要素の段階にフィードバックを行う。 看護過程を使う意義・目的は、質の高い看護の提供ができ個別性のあるケアの提供が可能となる。 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
9	看護過程演習①(看護過程)	看護過程演習のガイダンス 事例展開に必要な基礎知識、グループワーク ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
10	看護過程演習②(看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(情報の整理) グループワーク ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
11	看護過程演習③(看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(アセスメント) グループワーク ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
12	看護過程演習④(看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(アセスメント・全体像) グループワーク ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
13	看護過程演習⑤(看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(看護問題の明確化) グループワーク ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
14	看護過程演習⑥(看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(看護計画)(実施)(評価) グループワーク ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太
15	グループ発表(看護過程)	各グループの学習した内容の発表、まとめ ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞事例を用いた看護過程について記録にまとめる(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 熊倉良太

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅱ			授業科目番号	2311040
担当者氏名	大崎 美奈子、大平 富美、熊倉 良太、樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

ヘルスアセスメントの意義を理解し、フィジカルアセスメントの基本技術を学ぶ。シミュレーターを活用し臨床判断能力と自ら学ぶ力が育つように進め、さらに看護技術を人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。また、感染予防の基本技術、日常生活援助行動（食事、排泄）の援助技術について看護援助の必要性を理解し知識・技術を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 看護技術を身に着けるために必要な態度、学習方法を自ら考えて行動できる 2. ヘルスアセスメントの目的、看護の役割を説明できる。 3. 系統的なフィジカルアセスメントの基本的技術を理解し、正確かつ安全・安楽に実施できる。 4. 感染を予防する基本的な技術を理解し実施できる。 5. 日常生活援助（食事、排泄）を実施するために必要な基本的知識をふまえて実施できる。

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標2,4,5）、技術確認20%（到達目標1,3,4）、提出記録物20%（到達目標3,4,5）、課題については講義の中で提示する。演習についてはA4用紙を2枚程度。

《テキスト》

『系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ』（茂野香おる 他著 医学書院 2023年）

『系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅱ』（任和子 他著 医学書院 2021年）

《参考図書》

1. 『看護がみえるvol.1 基礎看護技術』（Medic Media） 2. 『看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント』（Medic Media） 3. 『写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス』（インターメディカ）

《履修上の留意点》

・予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解しておくこと。理解できない箇所は授業中に確認し明確に理解できるようにする。復習としてテキスト、講義資料、参考書を用い学習内容を整理し確実な知識にする。

・実践可能な技術を修得するために時間外に技術の自主練習を計画的に行う。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス ヘルスアセスメントとは （ヘルスアセスメント）	科目ガイダンス ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメント総論（講義） フィジカルアセスメントに共通する技術、バイタルサイン測定 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む（60分） ＜復習＞授業で学んだ内容を整理する（60分）	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
2	ヘルスアセスメント （バイタルサイン測定）	ヘルスアセスメント、バイタルサイン測定（講義/演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む（60分） ＜復習＞授業で学んだ内容を整理する（60分）	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
3	ヘルスアセスメント （バイタルサイン測定）	バイタルサイン測定（演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む（60分） ＜復習＞演習を振り返り、自己の課題を明確にする（60分）	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
4	フィジカルアセスメント （循環器系・呼吸器系）	循環器系・呼吸器系のフィジカルアセスメント（講義） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む（60分） ＜復習＞ 授業で学んだ内容を整理する（60分）	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
5	フィジカルアセスメント （循環器系・呼吸器系）	循環器系・呼吸器系のフィジカルアセスメント（講義/演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む（60分） ＜復習＞演習を振り返り自己の課題を明確にする（60分）	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ

科目名	基礎看護技術演習Ⅱ	授業科目番号	2311040
担当者氏名	大崎 美奈子、大平 富美、熊倉 良太、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	フィジカルアセスメント (循環器・呼吸器・消化器系)	循環器・呼吸器のフィジカルアセスメント(演習) 消化器系のフィジカルアセスメント(講義) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
7	フィジカルアセスメント (消化器系・筋・骨格系および神経系)	消化器系のフィジカルアセスメント(演習) 筋・骨格系および神経系のフィジカルアセスメント(講義) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
8	フィジカルアセスメント (筋・骨格系及び神経系・脳神経系)	筋・骨格系及び神経系のフィジカルアセスメント(演習) 脳神経系のフィジカルアセスメント(講義) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
9	フィジカルアセスメント(脳神経系) ヘルスアセスメント (バイタルサイン測定)	脳神経系のフィジカルアセスメント(演習) 技術習得確認(演習) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
10	ヘルスアセスメント (バイタルサイン測定)	技術習得確認 演習で行った看護技術の中から技術修得の確認を評価する ＜予習＞技術練習(60分) ＜復習＞技術の振り返りを行い自己の課題を明確にする(60分)	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
11	ヘルスアセスメント (バイタルサイン測定) 感染を予防する技術 (感染経路別予防策、洗浄・消毒・滅菌、感染性廃棄物の取り扱い)	技術習得確認 演習で行った看護技術の中から技術修得の確認を評価する 感染を予防する技術(講義) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
12	感染を予防する技術 (感染経路別予防策、洗浄・消毒・滅菌、感染性廃棄物の取り扱い) 食事・栄養摂取を促す技術 (食事の意義)	感染を予防する技術 滅菌手袋装着、ガウン着脱、滅菌物の取り扱い(演習) 食事を促す援助(講義) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
13	食事・栄養摂取を促す技術 (食事介助) 排泄を促す技術 (排泄の意義)	食事を促す援助(演習) 排泄を促す技術(講義) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
14	排泄の援助技術 (便器、おむつ) シミュレーション演習 (呼吸・循環器のアセスメント)	便器、おむつを使用した排泄の援助(演習) シミュレーション演習 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習を振り返り学んだ内容を整理する(60分)	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ
15	シミュレーション演習 (呼吸・循環器のアセスメント)	シミュレーション演習 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習を振り返り学んだ内容を整理する(60分)	大崎美奈子 大平富美 熊倉良太 樋本まゆみ

科目名	公衆衛生看護学概論			授業科目番号	2313060
担当者氏名	平澤 則子、渡邊 路子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-2 多職種と連携・協働する力、○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

本人・家族や集団、組織を含む地域を基盤とした看護活動の考え方、公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護のあり方を学ぶ。また、予防的介入を基盤とした公衆衛生看護活動を具体的に学び、人々の健康に貢献するために看護がどのように機能することが求められているかを考える。

《授業の到達目標》

1. 公衆衛生看護の理念と基盤となる概念を説明できる。
2. 公衆衛生看護の対象・場と健康課題について説明できる。
3. 公衆衛生看護活動について地域診断のプロセスについて説明できる。
4. 公衆衛生看護がヘルスサービスの中でどのように機能するのかを考察できる。

《評価の方法》

定期試験80% (期末試験として、目標到達1～4を最終的に評価する)、課題10% (到達目標1・2)、学習態度10% (毎回のコメントシート、グループワークの参加状況をもとに評価する)

《テキスト》

『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌江、和泉京子編 中央法規出版 2020年）

《参考図書》

『最新 公衆衛生看護学 第3版 2024年版 総論』（宮崎美砂子他著 日本看護協会出版会 2024年）
その他適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

自分の日常生活を通して、地域にどんな人々が暮らしているのか、どんな健康問題があるのか、それらの健康問題がどのように解決されているのかについて関心を持ちながら主体的に参加されることを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況 (予習・復習)	担当教員
1	地域看護と公衆衛生看護の理念 (地域看護、公衆衛生看護の 定義・活動目標、保健指導)	ガイダンス / 地域看護と公衆衛生看護の理念を学ぶ。事例を通して 保健師活動の特徴を考える。 (予習) 地域包括ケア論で学習した内容を復習しておく。(20分) (復習) テキスト(1)p2～5、p10～11をよく読み、公衆衛生看護の定義・ 活動目標を確認する。(20分) (課題) 戦後の保健師活動について沖縄県を題材に調べる。(30分)	平澤 則子
2	公衆衛生看護活動との歴史的 背景①第二次世界大戦から昭 和50年ごろまで(駐在保健婦 国保保健婦 開拓保健婦)	公衆衛生看護の歴史と保健福祉制度における保健師の位置づけを学ぶ。 ①②③についてグループで公衆衛生看護の歴史を整理し発表の準備をす る。 (予習) 保健医療福祉行政論等のテキストで、日本の保健医療福祉施策 の変遷について調べる。(30分) (復習) 保健師活動と社会の要請 や住民の生活実態の変化と結びつけ整理する。(30分)	平澤 則子
3	②疾病構造の変化と予防活動 への取組(感染症 公害 母子 保健 健康づくり 地域ケア) ③公衆衛生看護の歴史的背景 (海外の保健師活動、歴史)	①②③についてグループ発表および全体討議を通して、公衆衛生の歴史 と保健師活動の変遷を学ぶ。 (予習) 保健医療福祉行政論等のテキストで、日本の保健医療福祉施策 の変遷について調べる。(60分) (復習) テキスト(1)p40～52、p561～567をよく読み、社会の要請や住民 の生活実態の変化と結びつけて保健師活動を整理する。(20分)	平澤 則子
4	公衆衛生看護と予防 (疾病予防 生活習慣病 移行 継続性 地域づくり 関係機関 連携)	公衆衛生看護学における予防の考え方を学ぶ。事例を通して疾病予防、 健康な地域づくりにおける保健師活動を考える。 (予習) テキストp11～27をよく読む。(10分) (復習) テキストp28～39をよく読み、疾病予防、健康な地域づくりにお ける保健師活動を整理する。(30分)	平澤 則子
5	公衆衛生看護の基盤となる概 念(社会的公正 アドボカシ ー プライマリヘルスケア ヘルスプロモーション)	これまでの学習を振り返り公衆衛生看護の基盤となる概念を学ぶ。 (予習) テキスト57～71をよく読む。(20分) (復習) 事例を通して、社会的に弱い立場にある人への公衆衛生看護と は何かを考える。400字程度のレポートを第6回に提出する。(60分)	平澤 則子

科目名	公衆衛生看護学概論	授業科目番号	2313060
担当者氏名	平澤 則子、渡邊 路子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	公衆衛生看護のアプローチ方法 (ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ、健康の社会的決定要因)	公衆衛生看護におけるアプローチ方法を学ぶ。健康の社会的決定要因を理解し、健康格差縮小について考える。 (予習) テキスト p 71～p 84 を読んでくる。(30分) (復習) 市町村におけるアプローチ方法の具体例について調べる。(30分)	渡邊 路子
7	公衆衛生看護の対象(ライフステージ、個人・家族・集団・組織・地域)	公衆衛生看護の対象となるライフステージ、健康レベル、地域特性に応じた公衆衛生看護活動について学ぶ。 (予習) テキスト p 84～96 を読んでくる。(30分) (復習) ライフステージ別の健康課題について調べる。(30分)	渡邊 路子
8	公衆衛生看護活動の場① (保健医療福祉行政、保健所、保健センター、)	保健医療福祉行政の場である保健所、保健センターにおける公衆衛生看護活動を理解する。 (予習) テキスト p 119～125 まで読んでくる。(30分) (復習) 居住地域の管轄保健所、保健センターの活動について調べる。(30分)	渡邊 路子
9	公衆衛生看護活動の場② (事業所、学校で活動する看護職)	産業保健の場、学校保健の場における公衆衛生看護活動について理解する。 (予習) テキスト p 126～137 を読んでくる。(30分) (復習) 産業保健、学校保健における課題について調べる。(30分)	渡邊 路子
10	公衆衛生看護活動の場③ (訪問看護ステーション、地域包括支援センター、国際保健活動、外国人に対する保健活動)	訪問看護ステーション、地域包括支援センター等地域で活動する看護職の活動を理解する。さらに、グローバルな視野での活動を理解する。 (予習) テキスト p 138～142 および p 550～548 を読んでくる。(30分) (復習) 地域における看護活動の支援方法と課題について考える。(30分)	渡邊 路子
11	公衆衛生看護活動の展開方法 (理論、地域診断、家庭訪問、健康相談、健康教育)	公衆衛生看護活動の展開方法について理解する。 (予習) テキスト p 146～238 まで読んでくる。(30分) (復習) 地域診断を踏まえた公衆衛生看護活動について具体的な事例を通して理解する。(30分)	渡邊 路子
12	地区活動と地域づくり (社会資源の開発 施策化 事業化 地域ケアシステム化)	グループで事例をよく読み、グループで保健師の支援と社会資源の活用及び社会資源の開発について考える。グループ発表を通して社会資源開発の展開について学ぶ。 (予習) インターネットや雑誌等から保健師が行う社会資源開発の好事例を1つ選び、良く読む。コピーを1部持参する。(40分) (復習) テキスト p 130～146 を読み、保健師活動における施策化についての考え方を整理する。(20分)	平澤 則子
13	公衆衛生看護の倫理 (看護者の倫理綱領 公衆衛生看護の倫理 法と制度 4ステップモデル)	公衆衛生看護活動の基盤となる倫理と倫理的実践における原則を理解する。 (予習) テキスト p 18～22 を読み、公衆衛生看護における倫理について考える。(30分) (復習) 配布資料の事例2について、4ステップモデルを活用して倫理的課題の解決策を考える。(30分)	平澤 則子
14	シンポジウム 公衆衛生看護活動の実践	・産業における公衆衛生看護について学ぶ。 ・学校における公衆衛生看護について学ぶ。 ・保健所における広域的・専門的な公衆衛生看護について学ぶ。 (予習) 産業保健・学校保健の講義資料を読む。(20分)	平澤 則子 渡邊 路子
15	グループワーク 全体討議	グループワークの発表を通して学びを共有する。 “社会の変化と健康課題に対応する保健師活動”をテーマに、公衆衛生看護の役割や期待されることについて考える。ワークシートに記入し授業終了後に提出する。(復習) 公衆衛生看護がヘルスサービスの中でどのように機能するのかを考察する。(30分)	平澤 則子 渡邊 路子

科目名	歴史と文化			授業科目番号	1105050
担当者氏名	浅井 勝利、田邊 幹			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

日本人の伝統文化や生活様式に関する知識を知ることから日本の伝統的な地域文化に関する知識を深める。さらに、長岡の歴史から地域文化を考える。長岡地域を対象として、その歴史的な成り立ちを学び地域文化の理解を深め、さらに他の地域と比較することによって視野を広げる。また、地域社会を歴史的に理解するうえで、文化財の果たす役割にも着目する。近隣に位置する新潟県立歴史博物館において、新潟県の歴史と成果を実際に学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 新潟（長岡）の歴史について説明できる
2. 新潟（長岡）の歴史をもとに新潟（長岡）の文化を考察できる
3. 様々な地域の文化を理解できる

《評価の方法》

期末レポート100%（課題については講義の中で提示するので、必ず提出すること。与えられた課題について、各自の視点から適切にまとめられていることが必要である。提出のない者には単位を与えない。A4用紙800字程度。）

《テキスト》

授業ごとに適宜資料を配布する。

《参考図書》

授業中に適宜紹介する。

《履修上の留意点》

日常的に目にする歴史的、文化的事象に注意を配り、不明なことがあれば積極的に調べる姿勢を身に付けること。見学には必ず参加すること。

期末のレポートは必ず提出すること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	郷土史概説① (史料の解説と分析)	先史時代の新潟の様子を知る (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
2	郷土史概説② (史料の解説と分析)	県内の古墳について調べる (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
3	郷土史概説③ (史料の解説と分析)	奈良平安時代の新潟について知る (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
4	郷土史概説④ (史料の解説と分析)	古地図から過去の様子を探る (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
5	郷土史概説⑤ (史料の解説と分析)	郷土の温泉文化について知る (予習) インターネット等を利用し県内の温泉地について調べる。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利

科目名	歴史と文化	授業科目番号	1105050
担当者氏名	浅井 勝利、田邊 幹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	郷土史概説⑥ (史料の解説と分析)	昔の人びとの災厄意識や現代に伝わる呪い(まじない)等による除災について知る (予習) 身近にある呪いの行事や道具について調べる。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
7	郷土史概説⑦ (史料の解説と分析)	幕藩制社会のしくみについて考える (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
8	郷土史概説⑧ (史料の解説と分析)	戊辰戦争の歴史的立場について世界史的な視点から考える (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
9	郷土史概説⑨ (史料の解説と分析)	幕末から明治期における感染症とその対策について考える (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
10	郷土史概説⑩ (史料の解説と分析)	大正時代の社会と文化について知る (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
11	郷土史概説⑪ (史料の解説と分析)	太平洋戦争と庶民との関わりについて考える (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
12	郷土史概説⑫ (史料の解説と分析)	昭和36年・38年豪雪から自然災害について歴史的視点から考える (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
13	新潟県立歴史博物館見学 (文化財から学ぶ)	郷土の博物館を見学し、先人のあゆみを知る(14回と連続) (予習) 博物館のホームページで概要を確認する。 (復習) 見学レポートを作成する。	浅井 勝利
14	新潟県立歴史博物館見学 (文化財から学ぶ)	郷土の博物館を見学し、先人のあゆみを知る(13回と連続) (予習) 博物館のホームページで概要を確認する。 (復習) 見学レポートを作成する。	浅井 勝利
15	まとめ (史料の解説と分析)	あらためて新潟の歴史的立場づけを考える (予習) これまでの授業内容を振り返る。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利

科目名	感染免疫学			授業科目番号	2209010
担当者氏名	福田 雅夫			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

微生物が引き起こす感染症発症のメカニズム、症状、伝播、生体防御機構について理解する。また、人間の防御機能の障害が起こす現象や、感染症と人間社会の関係、感染予防対策などを理解する。各論においては、細菌、真菌、原虫・寄生虫学、ウイルス等の形態、病原性、疫学、臨床症状、治療及び予防対策について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 微生物の種類と性質について説明できる。 2. 感染に対する生体の防御機構、予防について説明できる。 3. 感染症の検査、診断、治療について説明できる。 4. 感染症の現状と対策について説明できる。 5. 主な病原微生物とその感染症について説明できる。

《評価の方法》

授業態度10%（到達目標1.2.3.4.5） 出席数、授業中の発言、態度をもとに評価する。

定期試験90%（到達目標1.2.3.4.5）

《テキスト》

『感染制御の基本がわかる 微生物学・免疫学』（増澤俊幸著 羊土社 2020年）

《参考図書》

『系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進[4] 微生物学』（南嶋洋一他著 医学書院 2022年）

『練成ゼミ 7. 微生物学』（看護師国試対策委員会監修 メディカルレビュー社 2005年）

《履修上の留意点》

感染症に対する正しい対応を理解するために、微生物の種類や特性、生理学的性質に関する知識を習得する。さらに感染に対する生体の防御機構や治療に関する理解を深めることを希望する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	微生物学の基礎 微生物の種類と特徴 (微生物、パスツール、コッホ)	テキスト第1章と第2章を中心に、微生物の種類や特徴、近代微生物学に関する理解を深める。 (予習) テキスト第1章と第2章を読む。(45分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
2	微生物学の基礎 微生物の種類と特徴 (細菌、真菌、原虫、ウイルス)	テキスト第1章と第2章を中心に、微生物の種類や特徴、近代微生物学に関する理解を深める。 (予習) テキスト第1章と第2章を読む。(45分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
3	感染と感染症、感染の機構 (水平感染、垂直感染、日和見感染、侵入門戸)	テキスト第3章を中心に、感染源や感染の成立過程、感染経路を含む感染機構についての理解を深める。 (予習) テキスト第3章を読む。(45分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
4	感染に対する生体防御機構 自然免疫と獲得免疫のしくみ 1 (抗原、免疫担当細胞、食細胞)	テキスト第4章を中心に、感染に対する生体防御機構、特に自然免疫と獲得免疫のしくみについて理解を深める。 (予習) テキスト第4章を読む。(30分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
5	感染に対する生体防御機構 自然免疫と獲得免疫のしくみ 2 (抗体、アレルギー、血液型)	テキスト第4章を中心に、感染に対する生体防御機構、特に抗原特異的免疫、粘膜免疫のしくみについて理解を深める。 (予習) テキスト第4章を読む。(30分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫

科目名	感染免疫学	授業科目番号	2209010
担当者氏名	福田 雅夫		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	感染症の制御 各種法令とワクチン (感染症法、予防接種、ワクチン)	テキスト第5章を中心に、感染症に対する各種法令と感染症予防に必要なワクチン接種に関する知識を深める。 (予習) テキスト第5章を読む。(30分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
7	滅菌と消毒 (滅菌、殺菌薬、消毒薬)	テキスト第5章を中心に、感染症予防のための滅菌や消毒に関する理解を深める。 (予習) テキスト第5章を読む。(30分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
8	感染症の制御 (感染予防対策)	テキスト第5章を中心に、感染症予防のための対策に関する理解を深める。 (予習) テキスト第5章を読む。(30分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
9	感染症の検査・診断 (細菌検査、分離培養、抗原検査、抗体検査、遺伝子診断)	配布資料を中心に感染症の検査や診断に関する各種手法についての理解を深める。 (予習) 8回までの講義の資料を読み返し、感染症に関する理解を深めておく。(30分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
10	化学療法と耐性菌 (抗菌スペクトル、耐性と感受性)	テキスト第6章を中心に、代表的薬剤耐性菌の性質や特徴について理解を深める。 (予習) テキスト第6章を読む。(30分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
11	薬剤耐性菌とその対策 (作用点、副作用)	テキスト第6章を中心に、代表的薬剤耐性菌の性質や特徴について理解を深める。 (予習) テキスト第6章を読む。(30分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
12	細菌学各論 (細菌、細菌感染)	テキスト第7章を中心に細菌感染症に関する主要な点を各論を通して学び、それらの特徴を理解する。 (予習) テキスト第7章を読む。(45分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
13	ウイルス学各論 (ウイルス、ウイルス感染)	テキスト第8章を中心にウイルス感染症に関する主要な点を各論を通して学び、それらの特徴を理解する。 (予習) テキスト第8章を読む。(45分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
14	真菌学・原虫学各論 (真菌、原虫、真菌感染、原虫感染)	テキスト第9章と第10章を中心に真菌感染症ならびに原虫感染症に関する主要な点をそれらの各論を通して学び、特徴を理解する。 (予習) テキスト第9章と第10章を読む。(60分) (復習) テキスト並びに授業配布資料を読み返す。(45分)	福田 雅夫
15	まとめ	授業全体について振り返り、内容をまとめる。	福田 雅夫

科目名	薬理学			授業科目番号	2209080
担当者氏名	佐合 絵里			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

薬理に関する基礎的な知識を習得するとともに、基本的な薬物について臨床での活用と関連させて学ぶ。総論として、薬物療法の目的、薬理作用、薬物動態、中毒などを学び、各論として医薬品を系統別に分け、疾病の病態と合わせて治療薬の作用機序、使用方法、副作用相互作用、看護上の留意点について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 主な疾患に用いられる代表的な薬剤について説明することができる。
2. 薬剤の体内動態を理解し、有害事象と適正使用について述べることができる。

《評価の方法》

定期試験90%（到達目標1.2） 学習態度10%（到達目標1.2）

《テキスト》

『薬の基本とはたらきがわかる 薬理学』（柳田俊彦編 羊土社 2023年）
『今日の治療薬 2024 解説と便覧』（伊豆津宏二 他編 南江堂 2024年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

解剖生理学・生化学が基礎となります。これらの授業、教科書等を参考にしてください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	薬理学総論 薬害被害 （薬力学・薬物動態 薬物相互作用 有害反応 法律 薬害 チーム医療）	薬が効くしくみ テキスト第1～3章 薬の基礎知識・薬物治療の注意点・くすりと法律 予習 上記テキスト範囲を読む（20分） 復習 授業で提示する確認テストに解答する（10分）	佐合 絵里
2	循環器系疾患治療薬 （血圧 心臓）	循環器の疾患・治療薬の種類 テキスト第10章 高血圧治療薬・狭心症治療薬・心不全治療薬・利尿薬 予習 上記テキスト範囲を読む（20分） 復習 授業で提示する確認テストに解答する（10分）	佐合 絵里
3	循環器系疾患治療薬 内分泌疾患・代謝系疾患治療薬 消化器系疾患治療薬 （脳血管障害 糖尿病 消化性潰瘍）	機能と疾患・治療薬の種類 テキスト第10章 脳血管障害治療薬 テキスト第11章 内分泌疾患・代謝系疾患治療薬 テキスト第12章 消化器系・呼吸器系・泌尿生殖器系疾患治療薬 予習 上記テキスト範囲を読む（20分） 復習 授業で提示する確認テストに解答する（10分）	佐合 絵里
4	輸液 免疫治療薬 末梢神経系に作用する薬 （水分組成 免疫システム 末梢神経）	機能と疾患・治療薬の種類 テキスト第15章 輸液 テキスト第6章 免疫治療薬 テキスト第8章 末梢神経系に作用する薬 予習 上記テキスト範囲を読む（20分） 復習 授業で提示する確認テストに解答する（10分）	佐合 絵里
5	抗炎症薬・鎮痛薬 （アレルギー反応 ステロイド）	疾患・治療薬の種類 テキスト第7章 抗炎症薬・鎮痛薬 予習 上記テキスト範囲を読む（20分） 復習 授業で提示する確認テストに解答する（10分）	佐合 絵里

科目名	薬理学	授業科目番号	2209080
担当者氏名	佐合 絵里		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	感染症治療薬 抗がん剤 (感染 適正使用 がん治療)	疾患・治療薬の種類 テキスト第4章 感染症治療薬 テキスト第5章 抗がん剤 予習 上記テキスト範囲を読む(20分) 復習 授業で提示する確認テストに解答する(10分)	佐合 絵里
7	中枢神経系に作用する薬 (中枢神経系 抗精神病薬 気分安定薬)	疾患・治療薬の種類 テキスト第9章 中枢神経系に作用する薬 予習 上記テキスト範囲を読む(20分) 復習 授業で提示する確認テストに解答する(10分)	佐合 絵里
8	まとめ (患者と薬の関わり・高齢者と薬)	資料プリントを使用 多職種チームによる服薬指導の重要性・高齢者とポリファーマシーの関係 復習 授業で提示する確認テストに解答する(10分)	佐合 絵里
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅰ(循環器)			授業科目番号	2209020
担当者氏名	伊藤 正洋			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

人間の健康を傷害する主な疾患を系統的に取り上げ、病因・病態・診断法・治療法、予後について学習し、看護実践に結び付けるための基礎知識とする。
 ここでは、循環器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、心不全・虚血性疾患、高血圧、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、先天性疾患、挫滅症候群などである。治療方法として、薬物療法および手術療法を含む治療例について学ぶ。

《授業の到達目標》

循環器疾患に関する病態、検査、診断、治療法を正しく理解し、述べることができる。
 循環器疾患に関する正しい情報を、医療関係者ではない人が理解できるように説明することができる。
 将来医療関係者となる時のために、疾患に関する疑問点を自ら調べる方法、考える習慣を身につけ、実践することができる。

《評価の方法》

定期試験90%、学習態度10%で評価する。

《テキスト》

スライド等を使用する。

《参考図書》

『病気がみえる vol.2 循環器』（鶴田ひかる 他監修 Medic Media 2021年）

《履修上の留意点》

予習、復習を行い、疑問点、問題点を早期に解決しながら受講していくことが望ましい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	循環器総論、検査総論（心臓、大血管、心電図、胸部X線、心エコー、心不全）	ガイダンス。循環器の解剖、生理、主要症候を理解する。心不全について理解する。循環器の基本的検査を理解する。 （予習）循環器系（心臓、大血管）の構造と機能に関して、1年時学習内容の確認を行う。	伊藤 正洋
2	虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症、急性冠症候群）	心筋梗塞、狭心症など虚血性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）虚血性心疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
3	不整脈（徐脈性不整脈、頻脈性不整脈）	基本的な不整脈の病態、診断法、治療法を理解する。 基本的な不整脈のモニター心電図が理解できる。 （予習）心電図の基本と不整脈について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
4	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患、感染性心内膜炎、心臓粘液腫）	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
5	心筋疾患、心膜疾患（拡張型心筋症、肥大型心筋症、心外膜炎、心タンポナーデ）	心筋症、心膜疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）心筋症、心膜疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅰ(循環器)	授業科目番号	2209020
担当者氏名	伊藤 正洋		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患(大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症)	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 (予習) 大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患について参考図書等を読んでおく。 (復習) 講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
7	血圧異常、身体診察法(本態性高血圧、二次性血圧、血圧測定、聴診法)	高血圧の病態、診断法、治療法を理解する。 循環器疾患を意識した身体診察を理解する。 (予習) 高血圧、身体診察法について参考図書等を読んでおく。 (復習) 講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
8	先天性心疾患(心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、心内膜症欠損症、動脈管開存症)	先天性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 (予習) 先天性心疾患について参考図書等を読んでおく。 (復習) 講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)			授業科目番号	2209030
担当者氏名	佐藤 和弘、高村 昌昭			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

呼吸器疾患、消化器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
〔佐藤和弘/4回〕呼吸不全、呼吸器感染症、肺循環器障害、気胸、腫瘍などについて学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療法については、手術療法の例を含む。
〔高村昌昭/4回〕消化器疾患の病因から治療までを学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療については、手術療法を含む。

《授業の到達目標》

〔呼吸器〕呼吸器の解剖（胸郭、気道、胸腔、肺実質）の理解及び呼吸器疾患の病態生理が理解できる。結核を含む代表的な呼吸器感染症、びまん性肺疾患、喘息やCOPDといった気道疾患、肺がん、肺血栓塞栓症、肺血管異常、気胸を含めた胸膜疾患を習得する。呼吸器疾患の自覚症状と診察の方法及び診断治療手技について習得する。〔消化器〕消化器系臓器の解剖・生理・病理などの基礎知識を理解し、消化器疾患の疫学的特徴・原因・症状・検査・治療についての知識を深める。

《評価の方法》

〔呼吸器〕授業時の課題（20%）、定期試験（80%）
〔消化器〕授業時間内に実施する小テスト20%、定期試験80%

《テキスト》

〔呼吸器〕『系統看護学講座 成人看護学[2] 呼吸器』（朝倉啓介 他著 医学書院 2024年）
〔消化器〕『系統看護学講座 成人看護学[5] 消化器』（南川雅子 他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

〔消化器〕『内科学書 改訂第9版 第4巻 消化管・腹膜疾患、肝・胆道・脾疾患』（南学正臣 総編集 中山書店 2019年）

《履修上の留意点》

〔呼吸器〕講義中にメモをとらなくても済むように事前に配布資料をお渡しします。
〔消化器〕テキスト(「患者の看護」の章も学ぶ疾患に合わせて)の予習をして下さい。資料は授業時に配布します。授業の理解を深めるために小テストを行います。

《備考》

〔呼吸器〕テキスト以外にも配布資料を追加することがあります。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	呼吸器の解剖と機能（肺循環 気管気管支肺胞）	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。 配布資料とテキストを併用します。	佐藤 和弘
2	呼吸器疾患をもつ患者さんの 診察、検査、治療手技（症状 、身体所見、鑑別疾患、検査 適応）	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。 配布資料とテキストを併用します。	佐藤 和弘
3	呼吸器感染症、びまん性肺疾 患、気道疾患（肺炎、間質 性肺炎、喘息、COPD）	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。 配布資料とテキストを併用します。	佐藤 和弘
4	肺血栓塞栓症、胸膜疾患、肺 腫瘍、（肺癌、胸膜炎気胸、 肺血栓塞栓症の予防と診断）	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。 配布資料とテキストを併用します。	佐藤 和弘
5	消化器の基礎知識（消化器系 臓器の解剖・生理、五大栄養 素）	①消化管の解剖について、②消化・吸収・栄養についての基礎知識、③ 内視鏡検査 （予習）テキストP16～39、P74～112、P120～126を読む。（60分） （復習）資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める （60分）	高村 昌昭

科目名	疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)	授業科目番号	2209030
担当者氏名	佐藤 和弘、高村 昌昭		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	消化管疾患-1(食道がん、胃がん、ピロリ、消化性潰瘍)	①消化性潰瘍、②食道疾患(食道がん・逆流性食道炎)、③胃がん (予習) テキストP42～66、P142～172を読む。(30分) (復習) 資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める(60分)	高村 昌昭
7	消化管疾患-2(大腸がん、感染性腸炎、潰瘍性大腸炎、クローン病)	①大腸・直腸がん、②炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)、③その他の大腸疾患 (予習) テキストP172～210を読む。(30分) (復習) 資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める(60分)	高村 昌昭
8	肝・胆・膵疾患(肝炎ウイルス、肝硬変、胆石、胆嚢がん、膵がん、膵炎)	①肝炎・肝硬変・肝炎ウイルス、②肝がん、③胆石、④胆管がん・膵がん (予習) テキストP210～266を読む。(30分) (復習) 資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める(60分)	高村 昌昭
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅲ（内分泌・代謝・腎）			授業科目番号	2209090
担当者氏名	福居 和人、中野 正明			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

代謝、内分泌疾患、腎疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
 （福居和人/4回）間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、メタボリック・シンドローム、糖尿病などを学び、看護実践の基礎知識とする。
 （中野正明/4回）主な腎疾患と腎機能障害に対する透析療法、腎移植などの治療法を学び、看護実践の基礎とする。

《授業の到達目標》

別紙参照

《評価の方法》

〔内分泌・代謝〕定期試験（選択問題）100%
 〔腎〕定期試験(70%)、授業後の小テスト(20%)、授業への受講態度他(10%)により、総合的に評価する。

《テキスト》

〔内分泌・代謝〕『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』（医療情報科学研究所編 Medic Media 2019年）
 〔腎〕特になし。PPTの配布資料がある。

《参考図書》

〔内分泌・代謝〕『糖尿病治療ガイド2022-2023』（日本糖尿病学会編 文光堂 2022年）
 〔腎〕『系統看護学講座 専門分野 腎・泌尿器』医学書院 『病気がみえる vol.8 腎・泌尿器』Medic Media

《履修上の留意点》

別紙参照

《備考》

別紙参照

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	代謝性疾患の理解 糖尿病とは 糖尿病の診断 糖尿病の治療	糖代謝の仕組みと血糖値が上昇する糖尿病という疾病の特徴を理解する。糖尿病の診断基準、治療方針がわかる。食事療法の基礎、摂取カロリー計算、治療薬の特徴、インスリン注射、血糖測定の手技の実際がわかる。テキストp2～67範囲を解説します。	福居 和人
2	代謝性疾患の療養指導 食事指導、 運動指導、 服薬指導、 生活指導の実際	糖尿病の合併症についての知識を習得する。低血糖などの急性合併症の対応、慢性合併症予防の日常生活のケアの必要性について理解する。患者が適切な療養をつづけられるために、看護師として必要な役割を理解することができる。コレステロールなどの脂質代謝について理解し、脂質異常症の治療方針がわかる。過栄養と低栄養、尿酸の代謝について理解する。テキストP68～151範囲を解説します。	福居 和人
3	内分泌疾患の理解 内分泌とは 内分泌臓器について	内分泌と外分泌の違い、体内で相互に機能を調節するための「ホルモン」の働きについて学習する。下垂体、甲状腺の役割と、ホルモンの異常を来す疾患について理解する。特に甲状腺機能亢進症（バセドウ病）と甲状腺機能低下症（橋本病）について、その特徴的な症状と治療方法を理解する。テキストp196～263範囲を解説します。	福居 和人
4	内分泌疾患各論 甲状腺疾患の診断治療 副腎疾患の診断治療	副甲状腺疾患、副腎疾患について、ホルモンの働きとその異常をきたす疾患について理解する。特に副腎皮質機能低下症である Cushing症候群について、その特徴的な症状と治療方法を理解する。テキストp264～322範囲を解説。	福居 和人
5	腎疾患(1) 腎・尿路の構造と機能。検査。症状とその病態生理。	腎・尿路系の解剖。尿の出来るしくみと尿中異常物質の病的意義。関連する症状と尿および血液の検査異常について。	中野 正明

科目名	疾病治療論III（内分泌・代謝、腎）	授業科目番号	2209090
担当者氏名	福居 和人、中野 正明		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	腎疾患(2) 腎臓の機能と各種疾患の理解。	体液バランス、電解質代謝、酸塩基平衡。主な腎疾患の概要。急性、急速進行性、慢性の各疾患。原発性（一次性）腎疾患を中心に。	中野 正明
7	腎疾患(3) 間質病変、血管系の異常、二次性腎疾患の概要。	尿細管・間質性疾患、各種腎血管系疾患、全身性疾患に伴う腎障害。	中野 正明
8	腎疾患(4) 腎不全とその治療。	急性腎障害、慢性腎臓病、末期腎不全と各種腎代替療法。	中野 正明
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

疾病治療論Ⅲ（内分泌・代謝、腎） シラバス別紙

授業の到達目標

〔内分泌・代謝〕 主な内分泌疾患として甲状腺疾患・副腎疾患、および糖代謝（糖尿病）・脂質代謝・尿酸代謝異常を来す疾患についての概要を理解することができる。各疾患の治療方針がわかる。糖尿病の治療目標を理解し、簡単な療養指導を行うことができる。

〔腎〕 (1)腎・泌尿器系の解剖を理解する。尿の生成過程と尿に異常物質がもたらされる機序を理解する。(2)主要な腎疾患の症状・検査異常・治療法の概略を理解する。(3)急性腎障害・慢性腎臓病の概念を理解する。(4)腎代替療法としての透析療法、腎移植療法を理解する。各国の腎代替療法と比較した我が国の特徴を理解する。

評価の方法

〔内分泌・代謝〕 定期試験（選択問題）100％

〔腎〕 定期試験(70%)、授業後の小テスト(20%)、授業への受講態度他(10%)により、総合的に評価する。

テキスト

〔内分泌・代謝〕 『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』（医療情報科学研究所編 Medic Media 2019年）

〔腎〕 特になし。PPTの配布資料がある。

参考図書

〔内分泌・代謝〕 『糖尿病治療ガイド2022-2023』（日本糖尿病学会編 文光堂 2022年）

〔腎〕 『系統看護学講座 専門分野 腎・泌尿器』（伊澤由香 他著 医学書院 2024年）

『病気がみえる vol.8 腎・泌尿器』（池森（上條） 敦子 他監修 Medic Media 2019年）

履修上の留意点

〔内分泌・代謝〕 各回内容に応じたプリントを配布し、学習到達目標の達成を確認する。内分泌疾患や代謝異常における疾病治療は長期にわたるうえ、根本的に治癒しないことから、患者心理にも配慮した理解が求められる。

〔腎〕 配布資料などにより、十分に復習して、授業内容を確実に理解するように努めること。

科目名	公衆衛生学			授業科目番号	2210030
担当者氏名	鈴木 翼			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力, ○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

集団レベルでの健康増進と疾病の予防について公衆衛生学的な考え方を身につける。人々が関わる社会状況、生活環境、保健医療制度ならびに事業、社会保障および社会福祉など、医学・医療が社会とかわる領域に幅広くまたがる公衆衛生の概念を理解する。そのうえで、公衆衛生の歴史、現代日本の公衆衛生のシステムと政策などを学ぶ。さらに、公衆衛生活動のあらましを理解するとともに、在宅医療、地域保健、途上国などの現場の活動を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 公衆衛生の概念と、疾病リスクと疾病予防の考え方、健康管理の活動、健康増進に関連するライフスタイルを説明できる。
2. 主な疾病の予防対策（感染症・生活習慣病・がん等）について説明できる。
3. 環境保健、学校保健、産業保健、国際保健医療、災害保健の現状について概要を説明できる。

《評価の方法》

定期試験70%（到達目標1,2,3）、グループ課題に対するレポート20%（到達目標1,2）、授業貢献度10%（到達目標1,2,3）
レポートはグループ（A4 3枚程度）と個人（A4 1枚）それぞれで提出。授業貢献度は授業中の発言・態度をもとに評価する。

《テキスト》

『シンプル衛生公衆衛生学2024』（小山洋、辻一郎監修 南江堂 2024年）
『国民衛生の動向 2023/2024』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2023年）

《参考図書》

『FACTFULNESS（ファクトフルネス）』（ハンス・ロスリング 他著 日経BP社 2019年）
『命の格差は止められるか』（イチロー・カワチ著 小学館 2013年） その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

各論のうち、母子保健、小児保健、高齢者保健、精神保健に関しては各専門科目での知識と統合すること。
テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、またニュースやネット等でも公衆衛生に関連する記事に積極的に触れ関心を持つことを望みます。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	衛生学・公衆衛生学序論 （健康の定義、公衆衛生の歴史、公衆衛生活動、地域保健とコミュニティ）	衛生学、公衆衛生学とはどのような学問かについて理解する。公衆衛生の歴史、公衆衛生活動、生命倫理について講義形式で学ぶ。私たちの生活と健康を取り巻く環境のうち、人々の関係やコミュニティに着目して、健康的な地域のあり方について理解する。 （予習）テキスト第1章を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
2	疾病予防と健康管理① （疾病の自然史、一次・二次・三次予防、リスク因子、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ、検診と健診、ナッジ）	疾病の自然史や疾病のリスク要因、疾病予防の段階（一次・二次・三次予防）と段階に応じた予防手段、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ、健康管理活動、ナッジをはじめとする健康管理の技法について理解する。 （予習）テキスト第4章(4-1～4-2)を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
3	疾病予防と健康管理② （健康の社会的決定要因、健康格差、ライフスタイルと健康、健康日本21）	健康の社会的決定要因や健康格差、疾病予防・健康増進に関連するライフスタイルについて理解する。 （予習）テキスト第4章(4-3)を読む。前回の講義スライドを再読する。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
4	生活習慣病・がん・その他疾病の予防対策 （高血圧、心血管疾患、糖尿病の原因と合併症対策、がん、腎疾患、アレルギーの原因と対策、自殺対策）	生活習慣病（高血圧性疾患、心疾患、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム）、がん、腎疾患、アレルギーの疫学、予防対策を理解する。また自殺の現状と予防対策について理解する。 （予習）テキスト第5章(5-2～5-7)を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、疾病治療論の知識と統合する。（90分）	鈴木 翼
5	感染症の予防対策① （感染症の成立条件、感染症予防の原則、ワクチン）	感染症の成り立ちを概観し、生活習慣病と異なる感染症特有の予防対策について理解する。また予防接種を取り巻く現状について理解する。 （予習）テキスト第5章(5-1)、第6章(6-5)を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、感染免疫学の知識と統合する。（90分）	鈴木 翼

科目名	公衆衛生学	授業科目番号	2210030
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	感染症の予防対策② (感染症予防の原則、主要な感染症、感染症を取り巻く公衆衛生的な諸問題)	主要な感染症の特徴や予防対策について理解する。また感染症が原因で起こりうる公衆衛生的な諸問題(格差やスティグマ等)について理解する。 (予習) テキスト第5章(5-1)、第6章(6-5)を読む。前回の講義スライドを再読する。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、感染免疫学の知識と統合する。(90分)	鈴木 翼
7	環境保健① (生態系・環境の評価、生体と環境の関係、環境汚染・地球環境問題、物理的環境要因)	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に、地球の環境・生態系、環境汚染・地球環境問題、生体と環境の関係、環境の把握方法と評価方法、物理的環境要因(気温、騒音、放射線、気圧)について理解する。 (予習) テキスト第6章(6-1～6-3)を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
8	環境保健② (化学的環境要因、水の衛生、新潟水俣病)	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に、化学的環境要因(化学物質、空気)、水の衛生について理解する。また水の衛生が問題となった事例として、新潟水俣病について公衆衛生学の観点から理解を深め、自身なりに意見できるようになる。 (予習) テキスト第6章(6-4、6-6～6-7)を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
9	環境保健③ (廃棄物、衣食住の衛生、公害問題、最近の環境問題と国際的な取り組み、環境管理・リスク管理)	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に廃棄物、衣食住の衛生、公害問題、最近の環境問題と国際的な取り組み、環境管理・リスク管理について理解する。 (予習) テキスト第6章(6-8～6-11)を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
10	学校保健 (子どもの健康状況・学校保健管理・歯科保健・環境管理・保健教育、包括的性教育)	学校の保健対策、子どもの健康状況を知り、学校保健の意義から内容までを理解する。 (予習) テキスト第9章を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
11	産業保健① (働く人々の健康、労働法制と働き方改革、労働災害・職業病、メンタルヘルス対策、健康診断と健康増進)	産業現場の保健対策について、特に働く人々の健康、労働災害、職業病について理解する。また、産業保健を理解する上で重要となる労働法制(働き方のルール)について概観する。 (予習) テキスト第10章を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
12	産業保健② (働く人々の健康、労働法制と働き方改革、労働災害・職業病、メンタルヘルス対策、健康診断と健康増進)	産業現場の保健対策について、健康診断と健康増進、また近年注目されている働き方改革、長時間労働者対策、メンタルヘルス対策、健康経営などについて理解する。 (予習) テキスト第10章を読む。前回の講義スライドを再読する。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
13	国際保健医療・災害保健 (人種・民族・国・開発途上国・国際協力、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、災害対策と疾病予防)	国際保健の現状、日本の国際協力について概観する。特に、発展途上国の人々、女性・子ども、セクシャルマイノリティに関わる健康支援について理解する。また世界で相次ぐ自然災害・NBC災害・テロの現状と、これらが原因で起こりうる疾病・健康障害の予防について理解する。 (予習) テキスト第13章を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
14	グループ課題発表会①	小グループに分かれ、あらかじめ提示した課題に沿って、情報収集と公衆衛生学的考察を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習) 1～13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。(60分) (復習) 他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。(60分)	鈴木 翼
15	グループ課題発表会②	小グループに分かれ、あらかじめ提示した課題に沿って、情報収集と公衆衛生学的考察を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習) 1～13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。(60分) (復習) 他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。(60分)	鈴木 翼

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅲ			授業科目番号	2311050
担当者氏名	熊倉 良太、大崎 美奈子、大平 富美、樋本 まゆみ			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

診断・治療過程にある対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、診療を補助する看護者の役割と技術を学ぶ。具体的な技術として、検査、与薬、症状・生体機能管理、呼吸・循環を整える技術、電法、創傷管理について学ぶ。また診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、正確で安全な技術の修得を図る。

《授業の到達目標》

1. 対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、安全に実施するために必要な基本的知識を述べることができる。
2. 診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、診療を補助する上で必要な基本的技術を実施できる。

《評価の方法》

定期試験：60%（到達目標1）、技術習得確認：20%（到達目標2）、提出記録物：20%（到達目標1）課題は講義の中で事前に提示し、各単元でA4用紙2枚程度。

《テキスト》

『ナースিং・グラフィカ 基礎看護学(3)：基礎看護技術Ⅱ』（松尾ミヨ子 他編 メディカ出版 2022年）

『写真でわかる臨床看護技術① アドバンス』（本庄恵子、吉田みつ子監修 インターメディカ 2020年）

『写真でわかる臨床看護技術② アドバンス』（本庄恵子、吉田みつ子監修 インターメディカ 2020年）

《参考図書》

『系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ』（任和子 他著 医学書院 2021年）

《履修上の留意点》

・予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解しておくこと。理解できない箇所は授業中に確認し明確にしておくこと。復習としてテキスト、講義資料、参考書等を用い学習内容を整理し確実な知識にする。

・実施可能な技術を修得するために時間外に技術の自主練習を計画的に行う。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	診療に伴う看護技術（検査、治療・処置） 症状・生体機能管理技術（検体検査、生体検査）	・科目ガイダンス、診療を補助する看護者の役割 ・検査の種類・検査時の援助 ・検体検査、静脈血採血、生体情報のモニタリング ・採血用ホルダー・真空管採血針のセット・ME機器の取り扱い (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 授業で学んだ内容を整理する。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
2	検体の採取（血液検査、尿検査）	【演習】静脈血採血、尿試験紙検査 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
3	検体の採取（血液検査） 与薬の技術（与薬法）	【演習】静脈血採血、 ・与薬のための基礎知識、技術 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 授業で学んだ内容を整理する。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
4	与薬の技術（注射法） 注射の実際（注射の準備）	・注射の技術：注射に必要な基礎知識、注射の準備 【演習】注射の準備 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習の振り返りとセルフトレーニング。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
5	与薬の技術（皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射） 注射の実際（皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射）	・注射の技術：皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射 【演習】注射法（ジクソー学習） (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ

科目名	基礎看護技術演習III	授業科目番号	2311050
担当者氏名	熊倉 良太、大崎 美奈子、大平 富美、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	注射の実際(皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射)	【演習】注射法(ジクソー学習) (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
7	注射の実際(皮下注射、筋肉内注射)	【演習】皮下注射 【演習】筋肉内注射 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
8	注射の実際(静脈内注射) 与薬の技術(点滴静脈内注射、輸液ポンプ・シリンジポンプによる輸液管理、輸血)	【演習】静脈内注射 ・注射の技術: 点滴静脈内注射 ・輸液ポンプ・シリンジポンプによる輸液管理、輸血 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
9	技術習得確認 (診療の補助)	・演習で行った看護技術の中から選び技術習得度を評価する (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
10	技術習得確認 (診療の補助) 皮膚・創傷を管理する技術(創傷の分類、創傷処置、包帯法)	・演習で行った看護技術の中から選び技術習得度を評価する ・皮膚・創傷を管理するための基礎知識、創傷処置 【演習】創傷処置 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
11	体温を調節する技術(体温調節、電法)	・体温調節の生理的メカニズム、電法の種類と適応 【演習】温電法・冷電法 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
12	呼吸を整える援助技術(呼吸のニーズ、呼吸を楽にする援助)	・呼吸を整える援助の基礎知識、動脈血酸素飽和度(SpO ₂)モニターの測定 ・呼吸のニーズに関するアセスメント、効果的な呼吸方法 ・酸素療法、吸引、吸入療法、体位ドレナージ (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
13	呼吸を整える援助技術(酸素療法、吸引)	【演習】酸素療法 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 技術を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
14	シミュレーション演習(看護過程)	【演習】事例に対する看護過程の展開を行う (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、学んだ内容を整理する。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ
15	シミュレーション演習(看護過程)	【演習】事例に対する看護過程の展開を行う (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、学んだ内容を整理する。(60分)	熊倉良太 大崎美奈子 大平富美 樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学概論			授業科目番号	2312010
担当者氏名	近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, ○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割			

《授業の概要》

成人期にある人々の特性を理解し、援助を展開するために必要な理論や概念について学修する。具体的には、成人期の発達課題と特性、成人の健康に影響を及ぼす要因と健康問題の動向を把握し、保健活動と成人看護の役割を学修する。主要理論・概念ではセルフケア理論、成人学習理論、危機理論、ストレスコーピング、エンパワメント、パートナーシップ、成人にかかわる主な保健医療福祉の法令・施策などについて学ぶ。また、新潟県下の成人の健康問題を考察する。

《授業の到達目標》

1. 成人期にある人々の心理的・身体的・社会的特徴を理解できる。
2. 成人期にある人々の対象者の保健と健康問題を説明できる。
3. 成人期にある人々への看護の基本となる理論・概念を説明できる。
4. 健康レベルに応じた成人看護を説明できる。

《評価の方法》

レポート70%（到達目標1, 2, 4）、授業内小テスト20%（到達目標1, 2, 3）、グループワーク貢献度10%（到達目標1, 2）

《テキスト》

『成人看護学 成人看護学概論 改訂第4版』（林直子 他編 南江堂 2022年）

《参考図書》

『病の語り』（誠信書房） 『おとなの学びを拓く』（鳳書房） 『国民衛生の動向』（厚生労働統計協会）

《履修上の留意点》

1. 各回の予習と復習（約60分）を行い、授業に参加しましょう。
2. 学習課題に対して積極的に資料、文献を収集してグループワークに活用することを期待します。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	健康な成人の成長発達と発達課題 （ライフサイクル、青年期、壮年期、向老期）	時代とともに変化してきたライフサイクル 青年・壮年・向老期の身体的特徴 学習方法：講義、GW 予習：Text第1章1. 「成人とは」を読む。（30分） 復習：時代とともに変化してきたライフサイクル、成人期の区分を整理する。（60分）	近藤ふさえ
2	成人各期の発達課題と健康問題 （発達課題、エリクソン、レビンソン、ハビガースト）	成人各期の発達課題と健康問題 学習方法：GW（チーム基盤型学習TBL） 予習：課題レポート作成（各期の特徴を発達課題をまとめる）（60分） 復習：エリクソン、ハビガースト、レビンソンの理論の概要と相違点を整理する。（30分）	近藤ふさえ
3	成人を取り巻く環境と生活からみた健康 （就労環境、ストレスマネジメント、家族関係）	社会の中で生活を営むということ 働くことと生活、就労環境、家族関係 学習方法：講義、GW 予習：Text第II章1. 2を読む。（30分） 復習：授業資料、成人を取り巻く環境の問題と健康格差を整理する。（60分）	近藤ふさえ
4	保健統計からみた成人の健康の動向 （人口構成、死亡と死因、疾病構造、生活習慣病）	保健統計からみた成人の健康の動向 保健・医療・福祉政策と今日の健康問題 学習方法：講義、WG 予習：Text第III章1. 2を読む。WHO健康のとらえ方の復習をする。（30分） 復習：国民衛生の動向で生活習慣病対策を整理する。（60分）	近藤ふさえ
5	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション① （ヘルスプロモーション、ヘルスプロテクション）	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション 学習方法：GW 予習：Text第III章3をよみヘルスプロモーションの意味を理解する。（30分） 課題レポート作成し発表の準備を行う。（60分）	近藤ふさえ

科目名	成人看護学概論	授業科目番号	2312010
担当者氏名	近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション② (健康問題の動向)	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション 成人にかかわる主な保健医療福祉の法令・施策(講義) 学習方法:グループワークの発表、講義 予習:課題レポート(60分) 復習:健康問題とヘルスプロモーションを整理する。(30分)	近藤ふさえ
7	対象理解と看護のための基本的な理論と概念 (セルフケア、セルフマネジメント、自己効力感、成人学習理論)	成人期の対象者への看護の拠り所となる理論と概念 危機理論、セルフケア、セルフマネジメント、自己効力感、成人学習理論など。 学習方法:講義、GW 予習:Text第IV章を読む。(30分) 復習:主な概念と理論を整理する。(60分)	近藤ふさえ
8	健康の回復過程と健康レベルに応じた看護 (急性期、回復期、慢性期、終末期、病みの軌跡)	健康の回復過程と健康レベルに応じた成人看護の役割と機能 学習方法:事例学習 予習:急性期、回復期、リハビリテーション期、慢性期、終末期のとらえ方を調べる。(60分) 課題学習:事例に対する健康レベルに応じた看護を考察する。(120分)	近藤ふさえ
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	成人看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井 貴子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

成人期にある人を対象とした手術療法と医学的管理、および周手術期看護について学ぶ。手術療法の対象となる疾患の代表的な術式、もたらされる侵襲と術前術後の基本的な医学管理方法についても学ぶ。次いで、急激な身体侵襲から回復安定を必要とする人の看護、生活調整や再構築を必要とする人の看護について事例を通して学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 急性期看護の概念を理解し、病態と治療などの基礎的知識を応用して、成人期の対象特性を統合させて療養生活を支える援助方法を理解できる。
2. 周手術期にある人及び家族に応じた援助方法を理解できる。
3. 救急救命処置の基本的技術を実践できる。

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標1～3）、小テスト20%（到達目標1）、レポート10%（到達目標1、2）、演習参加態度10%（到達目標3）

《テキスト》

1. 『成人看護学 急性期看護Ⅰ（改訂第4版）』（林直子、佐藤まゆみ編 南江堂 2023年）
2. 『成人看護学 急性期看護Ⅱ（改訂第4版）』（佐藤まゆみ、林直子編 南江堂 2023年）

《参考図書》

『ナースンググラフィカ成人看護学②』（吉田澄江 他編 メディカ出版 2022年） 『講義から実習へ高齢者と成人の周手術期看護1～3』（竹内登美子編 医歯薬出版 2019年） ※他参考書については、講義の過程で随時紹介する。

《履修上の留意点》

授業中に小テストを行いますので、解剖・生理学、各疾病論の予習復習をしてください。内容は事前に伝えます。演習を行います。主体的に参加し、チームのメンバーとして協力しておこなってください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	急性期・急性期看護の概念と特徴 (急性期看護の概念と特徴)	ガイダンス 急性期・急性期看護の概念と特徴について 急性期にある対象と家族の特徴について 急性期にある対象を理解するための理論・概念 (予習) テキスト1 p2～35を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
2	救急医療における看護 (プレホスピタルケア)	プレホスピタルケアおよび救急看護 救急医療体制 救急患者の特徴とアセスメントについて 救急救命処置の基本的技術を学ぶ (予習) テキスト2第1章、第3章、p 152～164を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
3	【演習】一次救命処置 (BLS)	一次救命処置(気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED) 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する (予習) テキスト2p 152～164を読む(45分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする(30分)	広井 貴子
4	【演習】一次救命処置 (BLS)	一次救命処置(気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED) 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する (予習) テキスト2p 152～164を読む(45分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする(30分)	広井 貴子
5	周手術期看護について (外科的治療を受ける患者の看護について)	集学的治療について セカンドオピニオンについて 周手術期看護にある患者の特徴について 患者の家族の特徴について (予習) テキスト1p 39～48を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子

科目名	成人看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井 貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	手術前期の看護について (周手術期看護・手術前期)	手術前期の看護について 手術前の準備について 手術を受ける人の意思決定を支える看護について (予習) テキスト1p53～70を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
7	手術期の看護について (周手術期看護・手術期)	手術・麻酔による生体反応・合併症の発症と予防について 手術中の看護について 手術後合併症の予防と援助 (予習) テキスト1 p73～98を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
8	手術後期の看護について (周手術期看護・手術後期)	手術後合併症について 手術後合併症の予防と援助 早期離床への援助 退院に向けた援助 (予習) テキスト1 第4章、5章を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
9	手術後期の看護について (手術直後の看護について)	事例：直腸がん、低位前方切除術の患者 手術後の看護について (予習) テキスト1 p379～384、テキスト2 p55～64(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
10	【演習】手術直後の看護について (手術後の患者の観察)	手術後の創傷管理、疼痛管理、カテーテル・ドレーン管理、モニタリング、観察とアセスメント (予習) テキスト1 p379～384、テキスト2 p55～64 第2章を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
11	【演習】手術直後の看護について (手術後の患者の観察)	手術後の創傷管理、疼痛管理、カテーテル・ドレーン管理、モニタリング、観察とアセスメント (予習) テキスト1 p379～384、テキスト2 p55～64 第2章を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
12	集中治療下での看護 (クリティカルケア)	クリティカルケアを受ける人の治療環境と治療の特徴について クリティカルケアを受ける人の看護について (予習) テキスト2 第2章、第3章を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
13	集中治療および救急医療における倫理について (クリティカルケア)	倫理的課題について 急性期におけるチーム医療と看護師の役割 (予習) テキスト2第4章を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
14	T B Lによる学習：チーム検討 各手術の看護 (手術を受ける患者の看護)	手術を受ける患者の看護について (上部消化管手術、下部消化管手術、循環器系手術、呼吸器系手術、内視鏡下手術、脳神経系手術、生殖器系手術など) (予習) テキストを読む(60分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
15	T B Lによる学習：チーム検討 各手術の看護 (手術を受ける患者の看護) まとめ	手術を受ける患者の看護について (上部消化管手術、下部消化管手術、循環器系手術、呼吸器系手術、内視鏡下手術、脳神経系手術、生殖器系手術など) (予習) テキストを読む(60分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子

科目名	成人看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒 優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

成人期の主要慢性疾患の診断と治療の特徴を理解し、看護上の問題、看護援助について学ぶ。具体的には、慢性疾患の理解と看護上の問題（腎疾患・呼吸器疾患）、地域における生活習慣病の第2次・3次予防（糖尿病・動脈硬化）、慢性疾患患者のセルフケア支援、地域連携クリティカルパスの概要についても学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 慢性疾患の特徴および診断・治療の特徴について説明できる。
2. 慢性疾患を有する人の身体的、心理・社会的特徴について説明できる。
3. 慢性疾患の治療を受ける患者の具体的な援助について説明できる。

《評価の方法》

定期試験：70%、演習：10%、事前・事後レポート：20%

《テキスト》

『成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える』（鈴木久美 他編 南江堂 2023年）

《参考図書》

『系統看護学講座 成人看護学[8] 腎・泌尿器』医学書院 『系統看護学講座 成人看護学[2] 呼吸器』医学書院 『系統看護学講座 成人看護学[6] 内分泌・代謝』医学書院

《履修上の留意点》

事前学習：各臓器（肺・腎臓・大腸・脾臓）の働きについて指定の書式でまとめ、授業開始時に提出する。

事後学習：各単元で学んだことを自分の言葉で説明できるように思考を整理する。

演習の際には、主体的に実施する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	慢性疾患の特徴(慢性疾患)	慢性疾患の特徴、慢性疾患における治療の特徴および療養環境の特徴について学ぶ。 (予習) テキスト1～26 (復習) 慢性疾患の特徴についてまとめる。慢性疾患における施策についてまとめる。地域包括ケアシステムについて、自分の言葉で説明する。	目黒 優子
2	慢性期看護とチーム医療、慢性疾患を有する人の理解(慢性期看護)	慢性疾患を有する人に対する看護の役割およびチーム医療について学ぶ。慢性疾患を有する人の身体的特徴、心理的特徴、生活および社会的特徴について学ぶ。 (予習) テキスト30～37、42～65 (復習) 慢性疾患を有する人に、なぜセルフマネジメントの支援が必要なのか、その理由についてまとめる。	目黒 優子
3	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念(セルフマネジメント、トランスセオレティカルモデル、アドヒアランス、病みの軌跡モデル)	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念について学ぶ。 (予習) テキスト76～81、83～93 (復習) 各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒 優子
4	治療・療養を促進する支援(セルフモニタリング、症状マネジメント、アンドラゴジー)	治療・療養を促進する支援について学ぶ。 (予習) テキスト96～110 (復習) 各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒 優子
5	T B L (Team-based-learning:チーム基盤型学習)による演習の進め方、SBARを活用した報告(SBAR)	T B L、S B A Rについて学ぶ。 【講義/演習】チームアクティビティ、S B A Rを活用した報告 (予習) わかりやすい報告とはどのようなことか自分の言葉でまとめておく。 (復習) S B A Rの構成要素について整理する。	目黒 優子

科目名	成人看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒 優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助(慢性閉塞性肺疾患)	慢性閉塞性肺疾患 (予習) テキスト218～227、「肺の機能」についてまとめる。 (復習) 慢性閉塞性肺疾患の呼吸法について整理する。	目黒 優子
7	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術について学ぶ。 【講義/演習】呼吸法、吸入療法、ピークフローモニタリング (予習) 口すばめ呼吸 (復習) 実施後の学びを整理する。	目黒 優子
8	腎機能系の障害を有する人とその家族への援助(慢性腎臓病、人工透析)	慢性腎臓病、人工透析が必要な患者 (予習) テキスト357～360、「腎臓の機能」についてまとめる。 (復習) 人工透析の適応となる状態を整理する。	目黒 優子
9	腎機能系の障害を有する人へのフィジカルイグザミネーション(内シャント造設、浮腫)	【講義/演習】シャントの管理、両下肢に浮腫のある人へのフィジカルイグザミネーション (予習) 「浮腫」の評価の仕方についてまとめる。 (復習) フィジカルイグザミネーション実施後の学びを整理する。	目黒 優子
10	消化器系の障害を有する人とその家族への援助(潰瘍性大腸炎、クローン病、ステロイド療法)	潰瘍性大腸炎、クローン病 (予習) テキスト315～321 「大腸の機能」についてまとめる。「ステロイド療法」の作用についてまとめる。 (復習) 生活上の留意点について整理する。	目黒 優子
11	消化器系の障害を有する人とその家族への援助(潰瘍性大腸炎、クローン病、ステロイド療法)	潰瘍性大腸炎、クローン病 (予習) テキスト315～322 「大腸の機能」についてまとめる。「ステロイド療法」の作用についてまとめる。 (復習) 生活上の留意点について整理する。	目黒 優子
12	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助(甲状腺機能障害)	甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症 (予習) テキスト350～355、「甲状腺の機能」についてまとめる。 (復習) 生活上の留意点について整理する。	目黒 優子
13	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助(糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定)	2型糖尿病患者の食事療法・運動療法 (予習) テキスト328～332、「膵臓の機能」についてまとめる。 (復習) 2型糖尿病患者の食事・運動療法のポイントを整理する。	目黒 優子
14	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助(糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定)	2型糖尿病患者の薬物療法 (予習) テキスト328～332 (復習) 2型糖尿病患者の薬物療法のポイントを整理する。	目黒 優子
15	代謝・内分泌系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術:自己血糖測定、自己注射(インスリン療法)	【講義/演習】自己血糖測定、インスリン療法、フットケア (予習) テキスト130～134 (復習) 自己血糖測定、インスリン療法、フットケアのポイントを整理する。	目黒 優子

科目名	老年看護学概論			授業科目番号	2312080
担当者氏名	角山 裕美子、袖山 悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

人生の最終段階にある高齢者の理解と高齢者観を育むことを目的とする。高齢者を、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から捉え、成熟現象としての老化が健康に及ぼす影響や日常生活に及ぼす影響を理解し、高齢者の可能性を最大限に活かした高齢者の生き方に寄り添う高齢者看護を理解する。また、高齢者を取り巻く環境では、高齢者及び高齢社会について統計的輪郭から理解を深め、保健医療福祉制度の変遷を知り、高齢者支援における多職種連携の必要性、老年看護の倫理的課題について理解する。

《授業の到達目標》

1. 老いを生きたる高齢者の身体的・心理的・社会的側面を説明できる。2. 高齢者を取り巻く保健医療福祉制度の変遷から課題が述べられる。3. 高齢者支援における多職種連携の必要性が述べられる。4. 老年看護の倫理的課題と対応について考えを述べられる。5. 老年看護学の成立背景と役割が述べられる。

《評価の方法》

授業内で実施する小テスト・課題レポート20%（到達目標1.2.5）、定期試験80%（到達目標1.2.3.4.5）

《テキスト》

- 『系統看護学講座 老年看護学』（北川公子 他著 医学書院 2018年）
- 『系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著 医学書院 2018年）

《参考図書》

『国民衛生の動向』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2022年）

授業で配布するプリント及び授業で紹介する。

《履修上の留意点》

・シラバスに基づきテキストを中心に事前学習をして臨み、配布された資料及び授業で紹介された参考文献等を参照しながら、事後学習をする。小テスト、レポート課題については事前に説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス (老年看護学の概要) (老年期の定義、加齢と老化) (老年期の健康の考え方)	・老年看護学講義ガイダンス、老年看護学の成立背景 ・高齢者、高齢社会の定義 ・加齢と老化の概念 ・老年期の健康 (予習) テキスト1.の第1章を読み、ノートに要点をまとめる(60分)。 (復習) 授業内容を振り返り、ノートにまとめる(60分)。	袖山 悦子
2	加齢に伴う身体的変化 (身体の高齢化) (高齢者の疾患)	・身体的能の老化と日常生活への影響 ・加齢に伴う心理的・社会的側面の変化 ・高齢者疾患の特徴 (予習) テキスト1.pp6～10, テキスト2.pp26～45を読み込む(60分)。 (復習) 授業内容を振り返り、ノートにまとめる(60分)。	袖山 悦子
3	老年期の発達 (身体の高齢化) (老年期の疾患の特徴) (老年症候群)	【レポート①】 ・高齢者の発達と発達課題 ・スピリチュアリティと高齢者 (予習) テキスト1.pp9～21を読み込む(60分)。 (復習) 老化に関して復習をする。レポート課題に取り組む(60分)。	袖山 悦子
4	高齢社会の統計的輪郭 (人口動態) (家族形態) (健康指標) (暮らし) (産業構造)	【小テスト①】 ・老年人口の動態 ・家族形態の変化と高齢者の暮らし ・健康指標からみた高齢者 (予習) テキスト1.pp24～36を読み、統計的データを基に理解が得られるように事前学習する(60分)。 (復習) 授業内容を振り返り、ノートにまとめる(60分)。	袖山 悦子
5	高齢者を取り巻く社会制度 (老人福祉法)(老人保健法) (介護保険制度)	・介護保険制度の成立背景 ・介護保険制度の目的と理念 ・介護保険制度の仕組み ・介護保険サービス、介護予防 (予習) テキスト1.pp36～50を読み、高齢者を支える制度背景を知る(60分)。 (復習) 介護保険制度についてまとめる(60分)。	角山裕美子

科目名	老年看護学概論	授業科目番号	2312080
担当者氏名	角山 裕美子、袖山 悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	高齢者を取り巻く社会環境と今日の課題 (高齢者の権利と看護倫理) (老年看護における倫理的課題)	【小テスト②】 ・成年後見制度 ・日常生活自立支援事業 ・地域包括支援センター ・身体拘束の廃止とその取り組み ・意思決定における倫理的課題 (予習) テキスト1.pp54～67を読む(60分)。 (復習) 高齢者の倫理的課題についてノートに考えをまとめる(60分)	角山裕美子
7	老年看護の基本的考え方① (老年看護の理念・目的) (老年看護活動の多様化) (高齢者を支える多職種連携)	・老年看護の理念、目的 ・老年看護の場と期待される役割 ・高齢者を支える多職種連携 (予習) テキスト1.pp50～54, 78～83を読み込む(60分)。 (復習) 授業内容を振り返り、ノートにまとめる(60分)。	角山裕美子
8	老年看護の基本的考え方② (老年看護における理論・概念の活用)	【レポート②】 ・老年看護における理論・概念 (予習) これまでの学習から老年看護学の特徴を整理する(60分)。 (復習) レポート課題に取り組み、老年観についてまとめる(60分)。	角山裕美子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護学概論			授業科目番号	2312130
担当者氏名	永谷 智恵			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割			

《授業の概要》

子どもとその家族に対する看護援助について健康－健康障害にかかわらず、共通する基本的な考え方やアプローチについて学習する。具体的には小児看護の特徴や理念、子どもの成長・発達の基本的概念、小児期の健康問題や予防接種、子どもと家族を取り巻く社会、保健・医療・福祉・教育の果たす役割などについて学ぶ。さらに、子どもの基本的人権、子ども虐待の背景や実態について学び、医療関係者としての役割について基本的知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 小児看護の理念と責務について、子どもの権利や成長発達の特徴等と関連させて説明できる。
2. 小児各期とその家族に対する生活援助の基本について理解し、健康や発達課題等と関連させて表現できる。
3. 小児期の健康-健康問題について理解し、保健・医療・福祉施策等の主な課題と対策について概要を説明できる。

《評価の方法》

授業時間内に実施する小テスト 50%(到達目標1.2.3)、レポート課題40%(到達目標1.2；授業の中で提示、A4 用紙、2000 字程度)、学習態度 10% (目標1.2.3；授業中の発言、態度)をもとに評価する。

《テキスト》

『ナースング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護』（中野綾美編 メディカ出版 2023年）

《参考図書》

『小児看護学 1 小児と家族への系統的アプローチ』（岡田洋子 他著 医歯薬出版 2010年）

《履修上の留意点》

1. 日常生活の中で多くの子どもたちと接する機会をつくり、子どもに関わるニュースやドラマ等にも関心を持ってください。
2. 幼少期の発育や健康状況等についてご家庭で話題にして、学生さん自身の子ども時代を振り返ってみてください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	小児看護の理念 (子どもの最善の利益とケア)	ガイダンス / 小児看護の対象や目的、最善の利益を目指した看護ケアについてテキストやプリント資料を基に学び、小児看護の理念や特性を踏まえることの意義について理解する。 (予習) テキスト p 16～26、p428～438を熟読し、ノートにまとめておく。(30分) (復習) 授業を振り返り、小児看護の特徴や課題について調べる。(60分)	永谷 智恵
2	小児保健と施策 (保健統計、小児の法律)	母子保健の指標および健康課題とその保健・福祉施策等についてテキストやプリント資料を基に学び、小児の保健医療・福祉に小児看護の指針と責務について理解する。 (予習) テキスト p 38～61を熟読しノートにまとめておく。(30分) (復習) 授業を振り返り、小児期の健康問題とその施策について調べる。(60分)	永谷 智恵
3	小児の成長・発達 (一般原則、発達理論等)	小児の成長・発達の基本概念及び発達や家族等に関わる主な理論についてテキスト、プリント資料やDVD視聴等を基に学び、小児個々の発達特性や家族全体を踏まえた看護ケアの重要性について理解する。 (予習) テキスト p 62～79、p 82～83を熟読し、ノートにまとめておく。(30分) (復習) 授業を振り返り、小児各期の発達段階/課題と健康関連および家族機能について調べる。(60分)	永谷 智恵
4	乳児期の基本的看護 (身体的・心理的・社会的な成長・発達とケア)	乳児期の形態的・機能的、心理・社会的発達の特徴とその看護ケアの基本についてテキストやプリント資料等を基に学び、乳児期の成長・発達の促進及び健康増進のために必要な基礎的知識・技術・態度について理解する。 (予習) テキスト p 83～105、p439～441を熟読しノートにまとめておく(30分) (復習) 授業を振り返り、乳児期の健康問題と看護について調べる。(60分)	永谷 智恵
5	幼児期の基本的看護 (身体的・心理的・社会的な成長・発達とケア)	幼児期の形態的・機能的、心理・社会的発達の特徴とその看護ケアの基本についてテキストやプリント資料等を基に学び、幼児期の成長・発達の促進及び健康増進のために必要な基礎的知識・技術・態度について理解する。 (予習) テキスト p 106～142を熟読しノートにまとめておく。(30分) (復習) 授業を振り返り、幼児期の健康問題と看護について調べる。(60分)	永谷 智恵

科目名	小児看護学概論	授業科目番号	2312130
担当者氏名	永谷 智恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	学童・思春期の基本的看護 (身体的・心理的・社会的な 成長・発達とケア)	学童・思春期の形態的・機能的、心理・社会的発達の特徴とその看護ケアの基本についてテキストやプリント資料等を基に学び、学童・思春期の成長・発達の促進及び健康増進のために必要な基礎的知識・技術・態度について理解する。(予習) テキストp143～177を熟読しノートにまとめておく。(30分) (復習) 授業を振り返り、学童・思春期の健康問題と看護について調べる。(60分)	永谷 智恵
7	小児期の成長・発達と評価 (評価の意義、評価方法等)	成長・発達の評価に関する基本的考え方や基本的評価方法についてテキストやプリント資料等を基に学び、小児個々の成長・発達レベルに応じた看護ケアに活用する意義とそのための具体的な評価方法について理解する。 (予習) テキストp178～186を熟読しノートにまとめておく。(30分) (復習) 授業を振り返り、乳児期の健康問題と看護について調べる。(60分)	永谷 智恵
8	8.学習の総まとめ・小テスト (小児看護の重要ポイント)	第1回から第7回までの授業全体を振り返って学習の総まとめを行い、小児看護の重要ポイントについて理解を深める。 (予習) 活用したテキスト及び配布資料の重要点をノートにまとめておく(30分) (復習) 授業全体を振り返り、小児の成長・発達および健康問題と小児看護の基本について自分の考えを整理しておく(60分)	永谷 智恵
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	母性看護学概論			授業科目番号	2312170
担当者氏名	太田 操			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○1-3 他者の自己決定を擁護する力、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力			

《授業の概要》

リプロダクティブヘルス・ライツの視点から、女性のライフステージ各期における心身の特徴と健康課題及びそのヘルスサポートに関する理解、性と生殖に関わる倫理、母子の子育て世代地域包括支援の意義などを学修し、母性へのサポートができるための知識を修得する。

《授業の到達目標》

1. 母性看護の基盤となる概念を理解し説明できる
2. リプロダクティブヘルスに関する概念を理解し説明できる
3. 女性のライフステージ各期の心身の健康の特徴と健康課題を説明できる
4. リプロダクティブヘルスに関する母子保健統計・制度・法律を理解し説明できる
5. 周産期医療システムや子育て世代地域包括支援の意義や役割を説明できる

《評価の方法》

定期試験90%（到達目標1,2,3,4,5）、授業中の課題10%（到達目標4）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論』（森恵美 他著 医学書院 2021年）
2. 『病気がみえる vol.10 産科』（井上裕美 他監修 Medic Media 2018年）

《参考図書》

『妊産褥婦メンタルケアガイドブック』（日本臨床救急医学会監修 へるす出版 2021年）
『ナースング・グラフィカ 母性看護学(1)』（中込さと子他編 メディカ出版 2024年）

《履修上の留意点》

- ・日常的に母性看護に関する事項と思われるニュースなどに関心を寄せること。
- ・授業の展開および課題（10点分）は、授業開始時に提示する
- ・教科書をしっかり読み理解できること。

《備考》

事前学習を済ませていなければ、授業の参加は難しい。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	母性看護の基盤となる概念 (母性・父性、親性、人間の性、 リプロダクティブヘルス ヘルスプロモーション)	学習内容：授業ガイダンス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、母性看護とウィメンズヘルス看護、ヘルスプロモーションの概念、関連する用語の定義、グローバルな女性の健康課題 授業方法：講義、バズセッション 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操
2	リプロダクティブヘルスに関する生理や倫理の実際 (生殖器の形態・機能 生殖、妊娠のメカニズム 性分化、倫理)	学習内容：男女の生殖器の形態・機能、生殖に関する生理、妊娠のメカニズム、性反応、性の分化、倫理的課題の実際 授業方法：事前課題を想起させながら講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操
3	ウィメンズヘルス1：思春期の心身および社会的特徴 (思春期、初経、二次性徴)	学習内容：思春期男女の身体の変化、初経の発来、社会的特徴、月経の異常、 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操
4	ウィメンズヘルス2：思春期の健康課題 (STD/STU、子宮がんワクチン、 若年妊娠、 人工妊娠中絶、摂食障害)	学習内容：性感染症、子宮頸がんワクチン、若年妊娠と人工妊娠中絶、摂食障害、医療従事者の役割 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操
5	ウィメンズヘルス3：成熟期の心身および社会的特徴と健康課題 (成熟期、有職女性、性反応、 家族計画・避妊、親性、愛着)	学習内容：結婚・離婚・有職女性の動向、性反応、家族計画（避妊）、子育て親性の形成、愛着形成 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操

科目名	母性看護学概論	授業科目番号	2312170
担当者氏名	太田 操		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	ウィメンズヘルス4：更年期・老年期 女性の心身の特徴と健康課題 (更年期、老年期、 空の巣症候群、骨訴訟症)	学習内容：更年期・老年期に現れる症状のメカニズムや健康課題、医療従事者の役割 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操
7	リプロダクティブヘルスに関する母子保健統計・制度・法律 (母子保健統計、母性保護制度・法律、倫理的事例)	学習内容：母子保健統計、母性保護と制度・法規、事例から倫理の実例の検討 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操
8	周産期医療システムや子育て世代地域包括支援や役割 (周産期医療システム、すこやか親子21、子育て包括支援、災害支援、国際社会、在日外国人)	学習内容：母子の周産期医療システム、すこやか親子21・子育て包括支援、災害時の母子支援、国際化社会と看護 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：全8回の講義の振り返りとまとめ 60分	太田 操
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	精神看護学概論			授業科目番号	2312210
担当者氏名	田邊 要補			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

心の健康問題についての理解を深め、現代社会における精神保健・医療・福祉の活動とあり方を考える。また、精神保健福祉に関する法律や制度、精神保健福祉の動向について学び、今後の課題と精神看護の役割について考える。心のしくみと人格の発達、精神の健康と障がいのとらえ方、ストレスと適応、精神を病むことを学ぶ。また、精神医療の歴史、精神医療における倫理や法制度について学び、看護の役割を理解する。

《授業の到達目標》

1. 現代社会と精神看護の役割について説明できる。
2. 心のしくみと人格の発達、ストレスと適応について説明できる。
3. 精神医療の歴史や看護の倫理について説明できる。
4. 地域における精神保健と看護、リエゾン精神看護について説明できる。

《評価の方法》

定期試験75%（到達目標1. 2. 3. 4.）、レポート10%（第7回）（到達目標3）、毎回のコメントシート15%（到達目標1. 2. 3. 4.）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 精神看護学① 精神看護の基礎』（武井麻子 著 医学書院 2021年）
2. 『系統看護学講座 精神看護学② 精神看護の展開』（武井麻子 他著 医学書院 2021年）

《参考図書》

『看護のための精神医学』（中井久夫、山口直彦著 医学書院 2004年）
『精神看護学ノート』（武井麻子著 医学書院 2005年）

《履修上の留意点》

- ①提示した事前学習に関する知識があるものとして授業を進めます。
- ②一方通行ではなく、参加型の授業を基本とします。
- ③精神医療や心の健康に注目して新聞やニュース等をみましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	精神看護学の役割 (精神看護学とは、障がいと 生きにくさ、精神医療の現状 と課題)	精神医療の現状と課題、精神障がい者の生きにくさを知り、看護の役割 について考える。 (予習) 精神看護学①p2-22を読み、概要をノートにまとめる(60分)。 (復習) 授業で学習した範囲を読み返す(60分)。	田邊 要補
2	精神の健康とストレスの影響 (精神の健康と障がい、スト レスの影響)	精神の健康とはどういう者かを知る。さらに、ストレス反応や危機、対 応する個人の力について知る。 (予習) 精神看護学①p24-38を読み、概要をノートにまとめる(60分) 。 (復習) 授業で学習した範囲を読み返す(60分)。	田邊 要補
3	心的外傷と回復、精神障害の 捉え方 (トラウマ、レジリエンス、 ICF)	ストレスと健康の危機、心的外傷が精神の健康に及ぼす影響や回復を支 える力について考える。 (予習) 精神看護学①p38-53を読み、概要をノートにまとめる(60分) 。 (復習) 授業で学習した範囲を読み返す(60分)。	田邊 要補
4	心のしくみと人格の形成(1) (心のはたらき：意識と認知 、感情、学習、心の理論等)	看護にとって重要な人間の様々な心のはたらきについて学習する。 (予習) 精神看護学①p56-79を読み、概要をノートにまとめる(60分) 。 (復習) 授業で学習した範囲を読み返す(60分)。	田邊 要補
5	心のしくみと人格の形成(2) (心のはたらきと人格の発達： 気質、意識と無意識、対象関 係論、ライフサイクル等)	フロイト、エリクソンなどが提唱した諸理論を理解し、心のしくみと人 格の発達について学習する。 (予習) 精神看護学①p79-113を読み、概要をノートにまとめる(60分) 。 (復習) 授業で学習した範囲を読み返す(60分)。	田邊 要補

科目名	精神看護学概論	授業科目番号	2312210
担当者氏名	田邊 要補		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	関係のなかの人間 (コミュニケーションのゆがみ、家族システム、感情表出、グループ)	家族システムの考え方、家族の精神の健康と諸問題について学び理解を深める。 (予習) 精神看護学①p116-142を読み事前課題を提出する(60分)。 (復習) 授業で学習した範囲を読み返す(60分)。	田邊 要補
7	精神医療の歴史 (わが国と欧米諸国、人権、看護の倫理綱領)	わが国、欧米諸国の精神医療の歴史の変遷を学び、精神医療の現状、人権、倫理、これからの課題について考える。 (予習) 精神看護学①p298-322を読み、概要をノートにまとめる(60分)。 (復習) 授業で学習した範囲を読み返す(60分)。	田邊 要補
8	①地域における精神保健 (学校、職場のメンタルヘルス) ②リエゾン精神看護	学校や職場における精神保健と看護を学び、事例をとおして深く理解する。また、リエゾン精神看護の概要を学ぶ。 (予習) 精神看護学②p323-351を読み、概要をノートにまとめる(60分)。 (復習) 授業で学習した範囲を読み返す(60分)。	田邊 要補
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域・在宅看護学概論			授業科目番号	2313170
担当者氏名	平澤 則子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-1 地域のネットワークを共有する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

地域看護学の概念や基本的な考え方をもとに、在宅で療養する人とその家族を理解し、質の高い生活を維持できるようにするための看護のあり方を学ぶ。在宅看護の歴史や社会的な背景をふまえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴を学ぶ。また、在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について学ぶ。さらに、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を考える。

《授業の到達目標》

1. 地域・在宅看護、在宅看護の概念と対象、活動の場、看護活動の特徴について説明できる
2. 地域・在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について説明できる
3. 在宅ケアシステムと地域・在宅看護の役割を考え述べることができる

《評価の方法》

定期試験70%（到達目標1～3の到達度を最終的に評価する）、学習態度30%（予習・復習の内容、授業中の発言、授業への参加態度をもとに評価する。到達目標1～3）

《テキスト》

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤』（河原加代子 他著 医学書院 2022年）

《参考図書》

『ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア』（臺有桂 他編 メディカ出版 2022年）

《履修上の留意点》

地域包括ケア論で学んだ内容と関連するので、復習して授業に臨んでください。
2年から3年にかけて、母性看護、小児看護、成人看護、老年看護、精神看護を学んでいきます。その対象は「在宅」へ戻っていく方々です。他の領域との関連を意識するようこころがけてください。

《備考》

授業は学生とディスカッションしながら展開していきますので、積極的な授業への参加を期待します。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	暮らしの基盤としての地域・暮らしの理解（地域）（暮らし）	ガイダンス / ・人々の暮らしを理解する。 ・地域の定義、地域の多様性について学ぶ。 ・地域・在宅看護の役割・機能（倫理綱領・パートナーシップなど）を学ぶ。 ・システム理論について学ぶ。 (予習)序章を読み地域の中での暮らしと健康について考えをまとめる。(20分) (復習)地域・在宅看護における看護者の視点について考えをまとめる。(p28-29のワークシート) 第2回に提出。(50分)	平澤 則子
2	地域・在宅看護の対象（個人）地域包括ケア	・地域包括ケアと共生社会を学ぶ。 ・地域における対象者のライフステージ・健康レベルの多様性を学ぶ。 ・国際生活機能分類（ICF）を基に対象者の健康について学ぶ。 (予習)自分の暮らす地域の特性を記載する。(p52-53のワークシート)(20分) (復習)健康障害があっても地域で暮らし続けるために必要な地域資源マップを作成する(p54のワークシート)第3回に提出。(30分)	平澤 則子
3	地域・在宅看護の対象（家族）	・家族の定義について学ぶ。 ・家族看護理論、家族システムについて学ぶ。 ・家族のライフステージの理解と看護について学ぶ。 ・対象者と家族の意思決定を支援するプロセス（ACP）を学ぶ。 (予習)自分にとっての家族とは何かを考える。(p96のワークシート)(30分) (復習)事例を通して、看護の対象として家族を理解する。(p01のワークシート) 第4回に400字程度のレポート提出。(30分)	平澤 則子
4	地域・在宅看護実践の場と連携（多職種連携）（関係機関）	・地域・在宅看護実践の場について学ぶ（住まい、医療機関、地域）。 ・地域・在宅看護における多職種連携について学ぶ。 (予習)「働く場は病院だけじゃない 訪問看護師」を視聴し訪問看護師の役割にをまとめる。(30分) (復習)看護師とともに連携して働く職種をあげ、それぞれの役割についてまとめる。400字程度のレポートを第5回に提出。(50分)	平澤 則子
5	暮らしにおけるリスクの理解と災害対策（リスク管理）	・地域・在宅看護における危機管理について学ぶ。 ・日常生活における安全管理について学ぶ。 ・災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理について学ぶ。 (予習)在宅における事故の危険因子について調べる。(20分) (復習)地域での暮らしにおける災害対策について、看護師が果たせる役割について400字程度にまとめる。第6回に提出。(50分)	田辺 生子

科目名	地域・在宅看護学概論	授業科目番号	2313170
担当者氏名	平澤 則子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用(介護保険制度)(訪問看護制度)	・介護保険・医療保険制度について学ぶ。 ・訪問看護制度について学ぶ。 ・権利保障に関する制度について学ぶ。 (予習) 介護保険制度について調べる。(30分) (復習) 介護保険制度と医療保険制度の訪問看護の違いについてまとめる。400字程度のレポートを第7回に提出。(40分)	田辺 生子
7	退院調整の実際(退院調整)	・病院の退院支援について学ぶ。 ・病院と訪問看護ステーション、地域包括支援センター、行政等との連携について学ぶ。 (予習) 病棟における退院支援について調べる。(30分) (復習) 介護保険制度と医療保険制度の訪問看護の違いについてまとめる。400字程度のレポートを第7回に提出。(30分)	田辺 生子
8	グループワーク 全体討議 (在宅ケアシステム)	・“住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らしたいと願う人々への支援”をテーマに、地域・在宅看護の役割や期待されることについて考察する。 (予習) 地域包括ケアの実現に向けて看護職が果たせる役割について考える。(30分) (復習) 在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を考える。(30分)	平澤 則子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ			授業科目番号	2313070
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

地域で生活する個人や家族・集団・組織に対して、そのヘルスニーズに応じた公衆衛生看護活動の展開方法を理解し、保健師の役割・機能を学習する。ライフサイクルと健康課題ごとの看護活動方法を理解する。母子、成人、高齢者保健福祉や精神・障害者に対する地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。さらに、難病対策における看護職の役割・機能を学習する。

《授業の到達目標》

1. 母子、成人・高齢者および障害児・者、難病患者に対する公衆衛生看護活動の基盤となる施策・制度が説明できる。
2. 母子、成人・高齢者の健康課題に応じた公衆衛生看護活動の展開方法が理解でき、保健師の役割を考察できる。
3. 障がい（身体・知的・精神）児・者および家族を取り巻く社会情勢が理解でき、支援方法と保健師の役割が理解できる。
4. 難病対策の歴史的変遷を理解し、健康・生活上の課題に応じた支援方法と地域支援体制づくりの必要性を説明できる。

《評価の方法》

授業貢献度 10%（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
定期試験 90%（期末試験として、目標到達度を最終的に評価する。）（到達目標1, 2, 3, 4）

《テキスト》

- (1)『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2020年）
- (2)『国民衛生の動向 2023-2024』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2023年）

《参考図書》

『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』（中谷芳美 他著 医学書院 2024年）

その他適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

虐待や生活習慣病予防、健康寿命の延伸、障がい者を含めた共生社会等、現代の重要な健康課題について学習していきます。自身や家族の生活習慣や関連する最近のニュース等、様々なことに関心を持って、主体的に学習することを望みます。

《備考》

保健師教育課程必修科目 地域における保健対策がどのように行われているのか、看護師にとっても有益な内容である。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	母子保健活動① (母子保健法、児童福祉法、健やか親子21、保健指導)	ガイダンス / 社会情勢や健康課題、母子保健活動を行う上で重要な健康指標をふまえ、基盤となる施策、制度について学ぶとともに、母子保健における保健師の役割と活動について学ぶ。 (予習) 国民衛生の動向で出生数、妊産婦死亡、周産期死亡、乳児死亡の動向について調べる。(30分) (復習) テキスト(1)p248～263を読む。(30分)	駒形三和子
2	母子保健活動② (乳幼児の成長・発達、乳幼児健康診査)	乳幼児健診における保健師の役割と活動の展開について、講義と映像資料をとおして学ぶ。 (予習) 乳幼児の成長・発達(4か月児、1歳6か月児、3歳児)について調べてくる。(30分) (復習) テキスト(1)p263～266を読む。配布資料の乳幼児の成長・発達と合わせて、乳幼児健診のポイントを整理する。(45分)	駒形三和子
3	母子保健活動③ (未熟児、多胎児、養育医療、育成医療、子どもの虐待)	支援ニーズが高い親子の健康課題と支援について学ぶ。 (予習) 子ども虐待のニュース等について、どのような背景があり、何が課題かを調べてくる。(30分) (復習) テキスト(1)p267～274を読む。(20分)	駒形三和子
4	成人保健活動① (目的と理念、発達課題、健康増進法、健康日本21、高齢者医療確保法、予防モデル)	成人保健活動の目的と健康づくりの基盤となる施策・制度・事業について学ぶ。 (予習) ①テキスト(1)p276～300を読む。自分の出身市町村の健康づくりのための保健事業について調べる。②予防の三段階を確認する。(30分) (復習) 自分の出身市町村の健康づくりのための保健事業について調べる。(30分)	渡邊 路子
5	成人保健活動②生活習慣病予防活動(特定健康診査・特定保健指導、特定保健指導、行動変容ステージ、ポピュレーションアプローチ、ハイレスクアプローチ、ナッジ)	近年の死因の傾向と疾病構造の変化から生活習慣病予防の必要性を理解し、生活習慣病を予防するための施策・制度・事業と保健師の活動を学ぶ。 (予習) テキスト(1)p301～324を読む。(30分) (復習) 講義内容を整理するとともに、市町村で行われている健診受診率向上のための取り組みを調べる。(30分)	渡邊 路子

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ	授業科目番号	2313070
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	成人保健活動③がん対策の展開方法 (がん対策基本法、がん検診)	生活習慣病予防のための保健指導の展開方法と変容ステージに応じた指導のポイントおよび評価について、映像資料や事例を通して学ぶ。 (予習) テキスト(1)p287を読む。(30分) (復習) 配布のレジュメと講義内容から、我が国におけるがん対策をまとめる。(30分)	渡邊 路子
7	成人保健活動④歯科保健活動 (歯科保健活動)	歯科保健活動の歴史と課題、市町村で行われている歯科保健活動について学ぶ (予習) 市町村で行われている歯科保健活動について調べてくる。(30分) (復習) 配布のレジュメと講義内容から、我が国におけるがん対策をまとめる。(30分)	渡邊 路子
8	高齢者の介護予防① (高齢化率、健康寿命、老人保健法、介護保険法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度、介護保険制度)	高齢者保健活動に関する健康指標や基盤となる法律・施策を学び、要介護認定率、介護が必要となった原因の推移をとおして、介護予防の施策・制度・事業と保健師の活動の展開について学ぶ。 (予習) 自分の出身市町村のホームページの最新の介護保険事業計画から要介護認定率、介護が必要となった原因を調べる。(30分) (復習) テキスト(1)p325～339を読む。(30分)	駒形三和子
9	高齢者の介護予防② (フレイル、基本チェックリスト、地域支援事業、介護予防事業、認知予防施策、高齢者虐待)	加齢に伴う高齢者の心身の特徴に応じた高齢者保健活動の実践について、映像や実技をとおして学び、活動の効果と課題を通して保健師の役割を考える。 (予習) 自分の出身市町村で行われている介護予防事業(認知症予防を含む)についてホームページや家族・知人から情報を得て調べる。(30分) (復習) テキスト(1)p340～355を読む。(30分)	駒形三和子
10	障がい児者保健福祉活動① (目的と理念、指標、歴史的変遷、法律、施策、特徴)	講義で提示する事例や統計データ、映像資料をもとに、ノーマライゼーションの視点から、障がいを持つ人の健康と生活上の課題について考える。 (予習) テキスト(1)p 472～484を読み、障がいの分類、障がい児者の定義と障がい者数を確認する。(60分) (復習) 学びを整理してまとめる。(30分)	山崎 節子
11	障がい児者保健福祉活動② (保健活動の実践)	講義で提示する事例や統計データ、映像資料をもとに、地域における障がい児者への支援体制づくりを理解する。 (予習) テキスト(1)p485～488を読み、障がい者を支援する際のポイントを確認する。(60分) (復習) 学びを整理してまとめる。(30分)	山崎 節子
12	精神保健福祉活動① (目的と理念、指標、法律、予防)	講義で提示する事例や統計データをもとに、地域における精神障がい者への支援体制づくりを学ぶ。 (予習) テキスト(1)p453～464を読み、我が国の精神保健福祉の経緯を確認する。(30分) (復習) 学びを整理してまとめる。(30分)	山崎 節子
13	精神保健福祉活動② (今日的課題:依存症・ひきこもり・自殺対策、事例から見た地域精神保健福祉活動の実践)	講義で提示する事例や統計データをもとに、地域精神保健活動の今日的課題と事例を通じた活動の実践を学ぶ。 (予習) テキスト(1)p464～471を読み、我が国の自殺者数・自殺率の動向を調べ、背景要因と精神保健福祉活動の今日的課題を考える。(60分) (復習) 学びを整理してまとめる。(30分)	山崎 節子
14	難病保健福祉活動① (難病、難病対策、QOL)	映像資料もとに難病患者の最善のQOLについて考える。QOLの視点から、難病患者・家族における健康・生活上の課題、患者・家族を支える保健師の役割と活動の展開を学ぶ。難病に関連する施策・制度・事業を学ぶ。 (予習) 難病療養者のドラマや漫画を題材に、患者の生活課題を考える。(30分) (復習) テキストp489～498を読み、難病の定義、難病対策を確認する。(30分)	平澤 則子
15	難病保健福祉活動② (難病法、地域支援体制、ICT)	2015年から始まった新たな難病対策について理解し、地域支援体制づくりにおける課題を理解する。映像資料もとにICT活用長岡モデルを学ぶ。 (予習) 事前配布資料(「難病ケア」にみる保健師活動の源泉)をよく読み、公衆衛生看護の基本的展開について確認する。(30分) (復習) 出身地域で暮らす難病患者と家族の地域支援体制づくりを考える。(30分)	平澤 則子

科目名	災害看護論			授業科目番号	2313140
担当者氏名	春川 一樹			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-1 地域のネットワークを共有する力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, ◎5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

災害看護の基礎としての災害看護の歴史、災害看護の定義、救急医療と災害医療との違いを学ぶ。その上で、実際の現場を想定しながら、災害時医療体制の整備への対応にむけて、災害医療と看護や災害の種類と特徴的疾患、災害サイクルや災害各期の看護支援について理解する。さらに災害時の健康障害やそれを支えるための基礎的な知識を学ぶ。県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震などをテーマに災害看護の学習を深めるために、被災状況の特徴のまとめや、被災体験者からの体験談をもとに、災害時のトリアージや、被災者および看護職としての係わり方を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 災害の定義について述べるができる
2. 災害時の保健医療の概念や特徴を述べるができる
3. 災害時の看護ニーズに対する看護実践の特徴を説明できる

《評価の方法》

定期試験：100%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『新体系 看護学全書 看護の統合と実践② 災害看護学』（小井土雄一、石井美恵子編 メジカルフレンド社 2020年）

《参考図書》

『多職種連携で支える災害医療 身につけるべき知識・スキル・対応力』（小井土雄一、石井美恵子編 医学書院 2017年）

《履修上の留意点》

- ・近年の災害の特徴について調べておきましょう
- ・新潟県内で発生した災害と災害のリスクについて関心を持ち、どのような備えができるか考えましょう

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	災害保健医療	(講義) 災害、災害看護の定義/災害保健医療体制の原則について学ぶ (予習) テキスト1章(p1~46)に目を通し、キーワードについて述べられるようにしておく (復習) 授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する	春川 一樹
2	超急性期・急性期の災害保健医療と看護実践	(講義) 超急性期・急性期の医療ニーズ、病院における災害対応、医療救護所における災害対応、トリアージについて学ぶ (予習) テキスト2章(p47~94)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく (復習) 授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する	春川 一樹
3	亜急性期の災害保健医療と看護実践	(講義) 亜急性期の医療ニーズ、避難所における災害対応について学ぶ (予習) テキスト3(p1~46)章に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく (復習) 授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する	春川 一樹
4	慢性期の災害保健医療と看護実践	(講義) 慢性期の医療ニーズ、在宅における災害対応について学ぶ (予習) テキスト4章(p111~135)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく (復習) 授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する	春川 一樹
5	静穏期の災害保健医療と看護実践	(講義) 防災・減災対策、業務継続計画(BCP)について学ぶ (予習) テキスト5章(p137~152)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく (復習) 授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する	春川 一樹

科目名	災害看護論	授業科目番号	2313140
担当者氏名	春川 一樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	要配慮者への看護	(講義)被災者や要配慮者の生命と健康を維持するための体系的な対応の原則を学ぶ (予習)テキスト6章(p153～181)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく (復習)授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する	春川 一樹
7	災害時のメンタルヘルス	(講義)被災者のメンタルヘルスについて学ぶ (予習)テキスト7章(p183～197)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく (復習)授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する	春川 一樹
8	災害に関連した特殊な医療・看護実践、災害時特有の疾患	(講義)災害時特有の疾患や放射線・原子力災害について学ぶ (予習)テキスト8・9章(p199～225)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく (復習)授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する	春川 一樹
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	看護に活かすコミュニケーション英語			授業科目番号	1102100
担当者氏名	川崎 真理子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、◎5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

職業人として、看護や医療の場面に活用できる英語の基礎的コミュニケーション能力を獲得する。看護や医療で使用されることの多い英語の語彙を習得するとともに、治療や検査、看護援助の場面を想定した状況において、対象者との基本的なコミュニケーションが英語を用いてできるためのリスニングとスピーキング能力を中心に養成する。また、看護や医療に関して書かれた英文を読解できる基礎的な能力を養成する。

《授業の到達目標》

- ①治療や検査、看護援助の場面を想定した状況において、基本的な英語によるコミュニケーションができる。
- ②看護や医療に関して書かれた英文を読解できる。
- ③課題解決の提案に向けて、英語で討議ができる。
- ④辞書や翻訳ツールを活用して、理解し・発信する努力をする。

《評価の方法》

授業参画・英語使用10%(①③④)、多読30%(②③④)、クイズ・テスト40%(①②③)、課題20%(①②③④)

《テキスト》

『Nursing Case Studies（事例で学ぶ看護英語）』（杉田由仁 他著 成美堂 2006年）

《参考図書》

適宜紹介します

《履修上の留意点》

多読や既習事項に基づく練習は必須です。課題には十分に時間をかけてください。授業中に辞書や翻訳ツールが使用できるPCなどを携帯してください。授業は協働学習の場です。互いに学び高め合う姿勢を求めます。言語の使用の実践の場でもありますから、英語でのやり取りを優先させましょう。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	シラバス 運用能力 現状と目標 (Orientation)	シラバスに沿って目的・目標・評価方法・その他授業に関する規則を確認する。各自の英語運用能力(CEFR-Jレベル、語彙サイズ、音読速度、シャドーイング再生率)並びに学習方法の特性を確認する。学習と記憶のしくみについて考える。達成目標を作る。 多読に関する説明 課題1 (パラグラフライティング・Resolution) (4時間)	川崎真理子
2	入浴(Bathing)	多読 Unit 1 Risk for Injury: How to Maintain Safety Unit 2 Self-care Deficit: How to Practice Bathing and Hygiene 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
3	呼吸困難、緩和(Respiratory disorder, relief)	多読 Unit 3 Respiratory Disorders: How to Relieve Respiratory Distress 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
4	体液バランスの管理(Fluid, balance)	多読 Unit 4 Fluid Volume Deficit: How to Maintain Fluid Balance 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
5	睡眠障害、軽減(Insomnia)	多読 Unit 5 Insomnia: How to Promote Rest and Sleep 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	看護に活かすコミュニケーション英語	授業科目番号	1102100
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況 (予習・復習)	担当教員
6	まとめ (Review)	テスト まとめ 授業外学習：多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
7	慢性、痛み (Cronic, pain)	多読 Unit 6 Chronic Pain: How to Minimize or Relieve Pain 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習：多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
8	摂食障害 (Eating disorder)	多読 Ujit 7 Healthy Dietary Practice: How to Gain Adequate Weight 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習：多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
9	排泄 (Urine)	多読 Ujit 8 Urinary Retention: How to Avoid Bladder Distention 看護計画・サマリーを完成させる。 課題2 (ロールプレイ) 授業外学習：多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
10	PBL活動 医療課題 (PBL, writing)	医療課題の発見解決 思考ツール 課題3 (パラグラフライティング・医療問題) 授業外学習：多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
11	整腸 (Constipation, bowel)	多読 Unit 9 Constipation: How to Promote Normal Bowel Function 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習：多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
12	問診ロールプレイ (Assessment, Roleplay)	問診ロールプレイ発表 Unit 10, 11, 12, 13, 14, 15 互いに評価する 授業外学習：多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
13	運動、リハビリ やけど 加齢 (Physical exercise, mobility, burn, aging)	Unit 10 Impaired Physical Mobility: How to Help with Crutch Walking Unit 11 Impaired Skin Integrity: How to Manage Burn Care Unit 12 Visual Alterations: How to Adjust to Visual Disorder 授業外学習：多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
14	手術前後 記憶 生活習慣病 (Operation, memory, lifestyle related diseases)	Unit 13 Surgical Client: How to Cope with Anxiety Unit 14 Memory Impairment: How to Help Strengthen Memory Unit 15 Lifestyle-related Diseases: How to Encourage Health-seeking Behaviors 授業外学習：多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
15	まとめ 運用能力目標達成度確認 (Achievement, proficiency)	テスト、まとめと運用能力確認、目標達成度確認 授業外学習：多読 (15分/日、約1.5時間/週)	川崎真理子

科目名	疾病治療論Ⅳ(造血器・運動器)			授業科目番号	2209050
担当者氏名	山田 修、星野 正			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

運動器疾患、神経疾患、造血器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

(山田修/4回) 白血病などの造血器疾患とその治療法としての化学療法や輸血療法、および放射線療法を学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

(星野正/4回) 骨折などの筋・骨格器の障害、脊髄損傷などの神経障害による運動機能障害および放射線治療や麻酔療法について学び、看護実践の基礎知識とする。

《授業の到達目標》

別紙参照

《評価の方法》

〔造血器〕定期試験50% レポート50%

〔運動器〕定期試験100%

《テキスト》

〔造血器〕『系統看護学講座 成人看護学[4] 血液・造血器』(飯野京子 他著 医学書院 2024年)

〔運動器〕『系統看護学講座 成人看護学[10] 運動器』(田中栄 他著 医学書院 2019年)

『系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論』(池上徹、高橋則子編 医学書院 2023年)

《参考図書》

〔造血器〕『病気がみえる vol.5: 血液』(医療情報科学研究所編 Medic Media 2023年)

《履修上の留意点》

〔造血器〕予習で、初めての専門用語に慣れておく。復習で、不確かな知識を確実にする。友人とのグループ学習は専門用語の習得に役立つ。自分の言葉で疾患の病態生理を説明できるようにする。〔運動器〕本講義にあたり「人体の構造と機能」を理解しておく必要がある。講義で取り上げられない疾患、病態については各自の自習を推奨する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	造血のしくみ、血液の成分と機能、血液疾患の症状と検査、血球の増多と減少、リンパ節腫大、免疫グロブリン異常症、出血性素因、	骨髄と造血幹細胞と血球の分化。末梢血検査と診断的意義。血液疾患を疑う症状と確定診断のための臨床検査。血球の増多や減少を来す血液疾患の鑑別。リンパ節腫大を来す疾患の種類。悪性化のドライバー遺伝子とコンパニオン診断薬。免疫グロブリンの異常を来す疾患。先天性凝固異常症と後天性凝固異常症の特徴と治療。	山田 修
2	貧血の分類。貧血の原因と確定診断。鉄代謝と鉄欠乏性貧血。汎血球減少症の鑑別と治療。溶血性貧血の原因と治療。二次性貧血と鉄過剰症。	貧血の分類：赤血球の大きさによる分類、成因による分類の使い分け。貧血の原因同定に利用される検査と診断的意義。鉄の再利用と1日必要量から鉄欠乏性貧血の病態を考える。汎血球減少の代表的疾患である再生不良性貧血の免疫学的機序と治療法。溶血性貧血の原因別分類と治療法を知る。貯蔵鉄の増加による鉄過剰症の原因と治療法を知る。	山田 修
3	造血器腫瘍の種類と分類。化学療法、放射線治療と副作用。造血器治療と支持療法。造血幹細胞移植。分子標的薬。免疫細胞療法。遺伝子治療。CAR-T治療。	造血器腫瘍の種類と分類：骨髄性、リンパ性、急性、慢性、白血病、リンパ腫。FAB分類とWHO分類の概略を知る。骨髄増殖性腫瘍に含まれる疾患と造血幹細胞腫瘍の理解。骨髄異形成症候群(MDS)の特徴と性質の理解と治療戦略の立て方。造血幹細胞移植の経過と副作用。分子標的薬の作用部位と細胞増殖のシグナル伝達。CAR-T治療の適用と医療費の自己負担について考える。	山田 修
4	一次止血と二次止血。内因性凝固機序と外因性凝固機序。先天性凝固異常症。後天性凝固異常症。血管内凝固症候群(DIC)。免疫性血小板減少症。血液疾患の看護。	正常な止血凝固機序を復習。出血性素因の検査と意義を復習。IgA血管炎(アレルギー性紫斑病、アナフィラクトイド紫斑病といわれていた)。免疫性血小板減少症とピロリ菌感染の問題。血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)と溶血性尿毒症症候群(HUS)の共通点。血友病AとBの違い。後天性血友病の本質と治療。播種性血管内凝固症候群(DIC)の病態と治療。血液疾患の看護では何が問題になるか。	山田 修
5	運動器の構成(運動器の異常、ロコモティブシンドローム)	運動器を構成する器官の病態生理について講義形式で学習する。 (予習) 運動器の構造と機能、病態生理についてテキストを読み、十分に理解しておく。 (復習) 講義内容をノートにまとめる。	星野 正

科目名	疾病治療論Ⅳ(造血器・運動器)	授業科目番号	2209050
担当者氏名	山田 修、星野 正		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	運動器の診断、検査、治療 (画像診断、保存的治療、手術療法)	運動器疾患の診断、検査、治療法について講義形式で学習する。 (予習) 運動器疾患の診断、検査、治療法についてテキストを読み理解しておく。 (復習) 講義内容をノートにまとめる。	星野 正
7	骨粗鬆症と関連疾患 (診断、骨脆弱性骨折診断、治療)	骨粗鬆症の概要、関連骨折の診断、治療、現状について講義形式で学習する。 (予習) 骨粗鬆症とその関連骨折についてテキストを読み理解しておく。 (復習) 講義内容をノートにまとめる。	星野 正
8	麻酔法 (麻酔の目的、麻酔法の種類、骨折と治療法)	整形外科領域の麻酔と骨折について講義形式で学習する。 (予習) 麻酔法、骨折についてテキストを読み、理解しておく。 (復習) 講義内容をノートにまとめる。	星野 正
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

疾病治療論Ⅳ（造血器・運動器） シラバス別紙

授業の到達目標

〔造血器〕血液の中を流れている白血球、赤血球、血小板は元は一つの造血幹細胞に由来すること、それぞれの血球成分の働きとそれらが異常をきたす機序を分子レベルから学ぶ。治療について従来からの抗がん剤治療だけでなく、分子標的薬、造血幹細胞移植、免疫細胞療法、遺伝子治療やそれらの応用であるCAR-T療法などの種類と概要を理解し、看護を実践する際に留意すべき点と結びつけるように学修すること。

〔運動器〕1. 運動器の構成を理解し、運動器疾患の検査、診断、治療を理解し説明できる。 2. 骨粗鬆症とそれに関連する障害について理解し、説明できる。 3. 麻酔法の種類について理解し説明できる。

評価の方法

〔造血器〕 定期試験50％ レポート50％

〔運動器〕 定期試験100％

テキスト

〔造血器〕『系統看護学講座 成人看護学[4] 血液・造血器』（飯野京子 他著 医学書院 2024年）

〔運動器〕『系統看護学講座 成人看護学[10] 運動器』（田中栄 他著 医学書院 2019年）

『系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論』（池上徹、高橋則子編 医学書院 2023年）

参考図書

〔造血器〕『病気がみえる vol.5: 血液』（医療情報科学研究所編 Medic Media 2023年）

履修上の留意点

〔造血器〕予習で、初めての専門用語に慣れておく。復習で、不確かな知識を確実にする。友人とのグループ学習は専門用語の習得に役立つ。自分の言葉で疾患の病態生理を説明できるようにする。

〔運動器〕本講義にあたり「人体の構造と機能」を理解しておく必要がある。講義で取り上げられない疾患、病態については各自の自習を推奨する。

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)			授業科目番号	2209060
担当者氏名	笠井 英世、渡部 和成			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

脳神経疾患、精神疾患の成り立ち、症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

〔笠井英世/4回〕様々な原因による高次機能制御系障害について、検査、診断、治療法について学び、看護実践のための基礎知識を深める。手術療法の例を含めて学ぶ。

〔渡部和成/4回〕精神および行動障害疾患について学び、看護実践のための基礎知識とする。統合失調症などの疾患の他、ストレス関連障害、摂食障害、行動障害、依存症などを含む。

《授業の到達目標》

〔脳神経〕将来チーム医療の一員として、診断／治療方針について討論が出来る。そのためには、医学における共通言語の認知と理解が必須である。暗記を要することが多くなると思われる。しかし、英単語を知らずして英語で討論出来ないのと同様に、最低限の医学知識なしに討論は不可能である。奮闘を期待します。

〔精神〕精神疾患に関する知識を身に付け実際の精神医療で必要な看護実践力の基礎作りができることを目標に講義をする。

《評価の方法》

〔脳神経〕定期試験（看護国家試験形式に準拠した客観テストによる評価） 100%

〔精神〕定期試験100%

《テキスト》

〔脳神経〕『系統看護学講座 成人看護学[7] 脳・神経』（井手隆文 他著 医学書院 2024年）

〔精神〕『系統看護学講座 精神看護学[1] 精神看護の基礎』（武井麻子 著 医学書院 2021年）

《参考図書》

〔脳神経〕指定しない

〔精神〕『わかった！統合失調症のベスト治療』（渡部和成著 星和書店 2018年）

《履修上の留意点》

〔脳神経〕網羅される領域に対しての講義時間が圧倒的に不足しており、予習として「講義テキスト」において次回授業の該当項目を一読し、内容を把握しておく事。講義はパワーポイントを用いた授業形式で行われる。

〔精神〕科学的な眼と人間的な眼でもって講義を聴いて欲しい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	1. 脳／神経の構造と機能 2. 症状と病態生理	1. 神経系の解剖（中枢神経／末梢神経／自律神経）を理解し、その構造と役割を理解する。2. 神経系が傷害された場合、障害部位に対応する症状の種類や特徴を理解する。また、症状の病態生理を理解してより適切な看護の実践につなげる。	笠井 英世
2	3. 検査／診断と治療／処置	3. 神経疾患患者の診察に置いて、問診／病歴の聴取、神経診察の目的を学ぶ。画像検査、電気生理学的検査、脳脊髄液検査、生検など検査概要や目的、適応、禁忌を理解する。神経疾患の治療法を内科的治療法／外科的治療法について理解する。	笠井 英世
3	4. 疾患の理解1（脳疾患／脊髄疾患／末梢神経障害／筋疾患）	障害部位による疾患の分類を学ぶ。 ついで血管障害、自己免疫、感染、変性など原因による疾患の分類と病態を学ぶ。（脳疾患／脊髄疾患／末梢神経障害／筋疾患）	笠井 英世
4	5. 疾患の理解2（神経接合部疾患／脱髄性疾患／感染症／中毒／てんかん／認知症）	障害部位による疾患の分類を学ぶ。 ついで血管障害、自己免疫、感染、変性などによる疾患の分類と病態を学ぶ。（神経接合部疾患／脱髄性疾患／感染症／中毒／てんかん／認知症）	笠井 英世
5	精神医療・精神看護心得（精神医療総論）	①精神の病と社会、②精神医学の歴史、③精神医療とは、の3テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第4、5、6、8章を中心に予習・復習するとよい。	渡部 和成

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)	授業科目番号	2209060
担当者氏名	笠井 英世、渡部 和成		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	統合失調症及び近縁疾患(知覚と思考の病気)	①統合失調症とは、②近縁疾患について、の2テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第4, 5, 6, 8章を中心に予習・復習するとよい。参考図書を読み最先端の臨床に触れることもして欲しい。	渡部 和成
7	気分障害及び神経症性障害(気分と不安の病気)	①うつ病、②双極性障害、③神経症、の3テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第4, 5, 6, 8章を中心に予習・復習するとよい。	渡部 和成
8	パーソナリティ障害、発達障害、摂食障害、依存症、認知症BPSD(注意すべき病気)	①パーソナリティ障害の種類、②BPD、③発達障害、④摂食障害、⑤依存症、⑥認知症の種類とBPSD、の6テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第4, 5, 6, 8章を中心に予習・復習するとよい。	渡部 和成
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論VI（婦人科、免疫・アレルギー・膠原病）			授業科目番号	2209100
担当者氏名	加嶋 克則、中野 正明			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

女性生殖器及び免疫・アレルギー・膠原病の成り立ちと症状・検査・診断・治療について学び、看護実践に結び付けるための基礎とする。

（加嶋克則/全4回）生殖器の疾患：子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫、腫瘍：乳がん、子宮体癌、子宮頸がん、卵巣がん、月経異常：無月経、月経困難症、黄体機能不全、不妊症、更年期障害、閉経後障害（骨粗鬆症・動脈硬化・認知症等）などの女性特有の疾患について学ぶ。（中野正明/全4回）アレルギー反応、アレルギー性鼻炎、全身性エリテマトーデス（SLE）、シェーングレン症候群、減感作療法、皮膚疾患（アトピー性皮膚炎など）含む、アナフィラキシーショック、気管支喘息（小児期からの病態と治療）などである。

《授業の到達目標》

別紙参照

《評価の方法》

〔婦人科〕定期試験100% 試験様式は看護国家試験に準じる。

〔免疫〕定期試験(70%)、授業後の小テスト(20%)、授業への受講態度他(10%)により、総合的に評価する。

《テキスト》

〔婦人科〕特になし

〔免疫〕特になし。PPTの配布資料がある。

《参考図書》

〔婦人科〕『ナースング・グラフィカEX 疾患と看護(9)女性生殖器』（メディカ出版）〔免疫〕『系統看護学講座 専門分野 アレルギー 膠原病 感染症』（医学書院）『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症』（Medic Media）

《履修上の留意点》

〔婦人科〕授業は講義が主体で、配布したプリントとパワーポイントによって行い、板書は必要時のみとする。多くの疾患名や医学用語が続出するので、それらの定義やポイントを正確に理解してもらいたい。

〔免疫〕配布資料などにより、十分に復習して、授業内容を確実に理解するように努めること。

《備考》

〔免疫〕オフィスアワーは授業の前後である。メールアドレスは、manakano@nagachu.jp である。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	月経異常 月経困難症・月経前症候群 更年期症候群	1. 月経異常の種類について学ぶ。 2. 月経困難症および月経前症候群について学ぶ。 3. 更年期症候群の症状・治療について学ぶ。	加嶋 克則
2	不妊症 不育症 性感染症	1. 不妊症の定義・頻度・原因・検査・治療について学ぶ。 2. 不育症の定義・頻度・原因・検査・治療について学ぶ。 3. 性感染症(クラミジア感染症など)の診断・治療・予防について学ぶ。	加嶋 克則
3	子宮筋腫・子宮腺筋症 子宮内膜症 卵巣腫瘍	1. 子宮筋腫や子宮腺筋症の症状・診断・薬物療法・手術療法について学ぶ。 2. 若い女性に多い子宮内膜症の診断・薬物療法・手術療法について学ぶ。 3. 良性卵巣腫瘍の診断・治療について学ぶ。	加嶋 克則
4	子宮頸がん 子宮体がん 卵巣がん	1. 子宮頸がんの原因・診断・治療・予防について学ぶ。 2. 子宮体がんの原因・診断・治療について学ぶ。 3. 卵巣がんの原因・診断・治療について学ぶ。遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）について学ぶ。	加嶋 克則
5	(1) 免疫と疾患、アレルギー疾患の病態と検査	免疫異常としてのアレルギー疾患、自己免疫疾患の理解。アレルギー疾患の分類とその特徴の理解。アレルギー疾患関連の検査についての理解。	中野 正明

科目名	疾病治療論Ⅵ（婦人科、免疫・アレルギー・膠原病）	授業科目番号	2209100
担当者氏名	加嶋 克則、中野 正明		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	(2) アレルギー疾患各論、自己免疫疾患としての膠原病の疾患概念。	気管支喘息、アレルギー性鼻炎、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アナフィラキシー、蕁麻疹、薬物アレルギーの疾患概念の理解。自己免疫疾患、結合組織病、リウマチ性疾患の各疾患概念と膠原病の位置づけの理解。	中野 正明
7	(3) 膠原病各論①	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発筋炎・皮膚筋炎の疾患概念と治療	中野 正明
8	(4) 膠原病各論②	シェーグレン症候群、抗リン脂質抗体症候群、混合性結合組織病、ベーチェット病、血管炎症候群、成人発症スティル病、リウマチ性多発筋痛症の疾患概念と治療	中野 正明
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

疾病治療論Ⅵ（婦人科、免疫・アレルギー・膠原病） シラバス別紙

授業の到達目標

〔婦人科〕婦人科疾患の原因・症状・検査・診断・治療の概要を学び、予防を含む看護実践において有益な基礎的知識を修得することを目標とする。具体的には、月経異常、不妊症、更年期症候群、性感染症などについて自らが説明できるようになり、また、婦人科疾患で、高い罹患率を示す子宮筋腫や子宮内膜症などについて学び、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんなどについて看護の立場より有益な知識となる事柄を学びとることを目標とする。

〔免疫〕①免疫異常としての自己免疫（膠原病）、アレルギーの疾患概念を理解し、さらに自己免疫疾患と膠原病との関係も説明できる。②膠原病・アレルギー疾患の検査について理解し、説明できる。③各種膠原病の症状、診断、治療法について理解し、説明できる。④各種アレルギー疾患の症状、治療法について理解し、説明できる。

評価の方法

〔婦人科〕定期試験100% 試験様式は看護国家試験に準じる。

〔免疫〕定期試験(70%)、授業後の小テスト(20%)、授業への受講態度他(10%)により、総合的に評価する。

テキスト

〔婦人科〕特になし

〔免疫〕特になし。PPTの配布資料がある。

参考図書

〔婦人科〕『ナースング・グラフィカEX 疾患と看護(9)女性生殖器』（苛原稔、渡邊浩子編 メディカ出版 2020年）

〔免疫〕『系統看護学講座 専門分野 アレルギー 膠原病 感染症』（岩田健太郎 他著 医学書院 2020年）

『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症』（森尾友宏 他監修 Medic Media 2018年）

履修上の留意点

〔婦人科〕授業は講義が主体で、配布したプリントとパワーポイントによって行い、板書は必要時のみとする。多くの疾患名や医学用語が続出するので、それらの定義やポイントを正確に理解してもらいたい。

〔免疫〕配布資料などにより、十分に復習して、授業内容を確実に理解するように努めること。

科目名	保健統計学			授業科目番号	2210010
担当者氏名	鈴木 翼			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○4-1 看護学を探究する意欲, ○4-2 看護を追究する基礎的研究能力, ◎5-1 地域・ 国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

保健統計に関する統計情報として、人口の静態統計、動態統計、生命表などの人口統計の基礎について学ぶ。また基幹統計の意味、国勢調査や人口動態調査、国民生活調査、国民健康・栄養調査や感染症発生動向調査などの既存の資料を素材にして各種データの読み取り方を学ぶ。またそれらの、保健医療情報の収集の方法と実際を学ぶとともに、保健医療情報に関する法令・指針・原則についても学び、実際の現場で保健医療情報を活用できる基礎的能力を養う。

《授業の到達目標》

1. 保健医療の現場での問題解決力を養うための基幹統計や各種統計資料の収集方法、データの読み取り・加工・解釈について説明できる。
2. 保健医療情報を収集・取り扱うにあたって必要となる法令・指針、またプライバシーや個人情報等の倫理的事項について説明できる。

《評価の方法》

定期試験70%（到達目標1,2）、グループ課題に対するレポート20%（到達目標1）、授業貢献度10%（到達目標1,2）
レポートはグループ（A4 3枚程度）と個人（A4 1枚）それぞれで提出。授業貢献度は授業中の発言・態度をもとに評価する。

《テキスト》

『はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第4版』第13～18章（日本疫学会監修 南江堂 2024年）

『国民衛生の動向 2023/2024』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2023年）

《参考図書》

『健康を食いにするメディアたち』（朽木誠一郎著 ディスカヴァー・トゥエンティワン社 2018年）

『世界一わかりやすい「医療政策」の教科書』（津川友介著 医学書院 2020年） その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際にデータを触って知識を定着させること、またニュースやネット等でも統計に関する記事に積極的に触れ関心を持つことを期待します。数字を扱うことが多いため、電卓の持参を推奨します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	保健統計学概論 (医療情報の利活用、健康情報 の見極め方)	統計学を学ぶ意義について理解する。統計調査の基本的な方法論、信頼 できる健康情報の見極め方を習得する。 (予習) 政府統計の総合の窓口(e-stat)のホームページで国が行う統 計調査の概要を調べる。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
2	基本的な統計データの読み方 (尺度、基本統計量、相関と 回帰、母集団、疫学的因果関 係)	統計データの種類や性質を表す基本的な用語を理解する。また、統計デ ータを正しく表現・解釈するための技法を習得する。 (予習) テキスト第14章を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
3	人口統計① (人口ピラミッド、将来推計 人口、国勢調査)	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口静態統計について、そ の調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 (予習) テキスト第16章-Aを読む。国民衛生の動向やe-statで該当する 統計調査について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで 調査の実データに触れてみる。(90分)	鈴木 翼
4	人口統計② (出生率、死亡率、死因統計 、生命表、平均寿命、健康寿 命)	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口動態統計について、そ の調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 (予習) テキスト第15章、第16章-Bを読む。国民衛生の動向やe-statの ホームページで該当する統計調査について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで 調査の実データに触れてみる。(90分)	鈴木 翼
5	保健医療に関わる基幹統計① (国民生活基礎調査、患者調 査)	保健医療に関わる基幹統計(国民生活基礎調査、患者調査)について、 その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 (予習) テキスト第16章-D,Eを読む。国民衛生の動向やe-statで該当す る統計調査について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで 調査の実データに触れてみる。(90分)	鈴木 翼

科目名	保健統計学	授業科目番号	2210010
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	保健医療に関わる基幹統計② (医療施設調査、学校保健統計調査、社会生活基本調査)	保健医療に関わる基幹統計(医療施設調査、学校保健統計調査、社会生活基本調査)について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 (予習) 国民衛生の動向やe-statで該当する統計調査について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで調査の実データに触れてみる。(90分)	鈴木 翼
7	厚生労働統計 (国民健康・栄養調査、地域保健・健康増進事業報告、全国在宅障害児・者等実態調査、介護保険事業状況報告)	保健医療に関わる基礎的な統計(国民健康・栄養調査等)について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 (予習) テキスト第16章-Cを読む。国民衛生の動向やe-statで該当する統計調査について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで調査の実データに触れてみる。(90分)	鈴木 翼
8	疾病・障害の定義と分類/医療経済統計 (国際疾病分類、国際生活機能分類、国民医療費)	疾病・障害を定義・分類する方法について理解する。医療経済に関わる統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 (予習) テキスト第16章-Fを読む。国民衛生の動向やe-statで該当する統計調査について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで調査の実データに触れてみる。(90分)	鈴木 翼
9	医療情報に関する法令・指針・原則/活用可能なデータベースの基本 (個人情報保護、研究倫理、セキュリティ、データヘルス計画)	保健医療情報を扱う上で必要となる、個人情報保護、情報公開とセキュリティ、研究倫理等を習得する。 (予習) テキスト第13,17,18章を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
10	保健医療分野での地理情報システム(GIS)の活用 (地理情報システム(GIS)、空間的思考)	保健医療はじめ各分野で急速に利活用が進む地理情報システムについて、その概要や利点を学び、データを空間的に捉える考え方を理解する。 (予習) 保健医療分野での地理情報システム利用の実例について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
11	保健統計各論① (地域保健と統計、災害・救急医療と統計)	地域保健(生活習慣病、高齢者保健、介護保険等)や、災害・救急医療に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 (予習) 地域保健や災害・救急医療に関わる統計調査について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。(90分)	鈴木 翼
12	保健統計各論② (がんと統計、感染症と統計、学校保健と統計)	がん、感染症、学校保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 (予習) がん、感染症、学校保健に関わる統計調査について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。(90分)	鈴木 翼
13	保健統計各論③ (精神保健と統計、母子保健と統計、産業保健と統計)	精神保健、母子保健、産業保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 (予習) 精神保健、母子保健、産業保健に関わる統計調査について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。(90分)	鈴木 翼
14	グループ課題発表会① (医療情報の利活用)	小グループに分かれ、あらかじめ各々が設定した課題に沿って、適切な統計調査の検索、データの加工と解釈を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習) 1~13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。(60分) (復習) 他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。(60分)	鈴木 翼
15	グループ課題発表会② (医療情報の利活用)	小グループに分かれ、あらかじめ各々が設定した課題に沿って、適切な統計調査の検索、データの加工と解釈を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習) 1~13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。(60分) (復習) 他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。(60分)	鈴木 翼

科目名	疫学			授業科目番号	2210050
担当者氏名	鈴木 翼			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

地域での根拠に基づく保健医療の現場の看護活動のために、疫学の概念と考え方や方法を学ぶ。疫学とは何か、疫学がどのように疾病予防に貢献してきたかを学ぶ。そのうえで、集団の健康状態の把握のための指標について、疾病頻度の指標・暴露効果の指標・寄与危険などについて学ぶとともに、疫学的研究方法についてや、スクリーニング、対象別、疾患別疫学の特徴などを学ぶ。統計分析法、公衆衛生学、保健統計学と関連させて学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 根拠に基づく保健看護活動を実践するために、疫学の概念と考え方を習得する。
2. 疾病頻度の指標、曝露の指標、因果関係、交絡など、集団の健康状態を表す指標について説明できる。
3. コホート研究、症例対照研究、介入研究など、疫学調査の種類やその意義・利点と限界について説明できる。
4. 各領域で用いられる疫学の実例を学び、関心を深める。

《評価の方法》

定期試験70%（到達目標1,2,3,4）、レポート20%（到達目標2,3,4）、授業貢献度10%（到達目標1,2,3,4）
レポート課題は講義の中で提示する（A4 2〜3枚程度）。授業貢献度は授業中の発言・態度をもとに評価する。

《テキスト》

『はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第4版』第1〜12,19章（日本疫学会監修 南江堂 2024年）
（保健統計学と同一のテキストを使用する。）

《参考図書》

『疫学 新型コロナ論文で学ぶ基礎と応用』（坪野吉孝著 勁草書房 2021年）
『データ栄養学のすすめ』（佐々木敏著 女子栄養大学出版部 2018年） その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

集団の健康を扱う疫学の基本的な考え方を習得するために、テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際に手を動かして計算を行うなど関心を持って講義に臨むことを期待します。講義内で計算を行うため、電卓の持参を推奨します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	疫学概論 （疫学の3要素、疫学の歴史、曝露と危険因子、因果関係）	授業ガイダンス 疫学の歴史や基本的事項を通じて、疫学を学ぶ意義と考え方、因果関係について理解する。 （予習）テキスト第1〜2章、第10章を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
2	疾病と曝露の指標① （割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡率）	疫学で頻用する指標（割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡率等）について、計算方法とその意義を理解する。 （予習）テキスト第3章-Aを読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
3	疾病と曝露の指標② （相対危険と寄与危険、オッズ比）	疫学で頻用する指標（相対危険と寄与危険、オッズ比、集団の設定等）について、計算方法とその意義を理解する。 （予習）テキスト第3章-Bを読む。前回の講義スライドを再読する。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
4	疫学調査法① （集団の設定、記述疫学、生態学的研究、横断研究）	疫学研究を行うために必要な対象選択や標本抽出の方法について理解する。疫学調査（記述疫学、生態学的研究、横断研究）の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキスト第4〜5章、第6章-1を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
5	疫学調査法② （症例対照研究、コホート研究）	疫学調査（症例対照研究、コホート研究）の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキスト第6章-2、3を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼

科目名	疫学	授業科目番号	2210050
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	疫学調査法③ (介入研究、システマティックレビュー)	疫学調査(介入研究、システマティックレビュー)の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 (予習) テキスト第7～8章を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
7	疫学調査法④ (バイアス、交絡因子)	疫学調査に影響を及ぼすバイアスと交絡因子について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 (予習) テキスト第9章を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
8	スクリーニング (感度、特異度、検査の信頼性)	スクリーニング調査の意義やその実例、スクリーニングで用いられる用語について実例提示を交えて理解を深める。 (予習) テキスト第11章を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
9	疫学調査の実際 (調査法の種類、質問紙の作成)	疫学調査を実際に行う際に考慮しておきたい事項について、実際の疫学調査の質問紙を参照しながら理解を深める。 (予習) テキスト第12章を読む。(30分) (復習) 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
10	各論① (生活習慣病の疫学、難病の疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 (予習) 日本生活習慣病予防協会のホームページ(https://seikatsusyukanbyo.com/)で、生活習慣病に関する統計調査や危険因子について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
11	各論② (がんの疫学、母子保健の疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 (予習) 国立がん研究センターがん情報サービスのホームページ(https://ganjoho.jp/)で、がんに関する統計調査や危険因子について調べる。(30分) (復習) 講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
12	各論③ (感染症疫学、栄養疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 (予習) テキスト第19章-1、4を読む。(30分) (復習) 講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
13	各論④ (社会疫学・政策疫学、臨床疫学、災害の疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 (予習) テキスト第19章-5を読む。(30分) (復習) 講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
14	計算問題演習	第1～13回までに扱った各種疫学指標について、計算問題演習を通じて理解を深める。 (予習) 第1～13回の講義資料等を再読する。(30分) (復習) 講義資料を再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
15	まとめ	一連の講義を総括して知識を整理し、今後の保健医療活動に疫学の知識をどのように活用するか考えを深める。 (予習) 第1～13回の講義資料等を再読する。(30分) (復習) 保健医療現場での疫学の活用について考えをまとめておく。(90分)	鈴木 翼

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2311080
担当者氏名	大崎 美奈子、樋本 まゆみ、大平 富美、熊倉 良太			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

療養している対象者を一人受け持ち、対象者や家族と援助の人間関係を深め、対象者の生活における基本的ニーズの観点から情報収集、アセスメント、計画立案という看護の系統的思考過程の展開を学ぶ。看護を科学的根拠を持って実践することで看護実践の基礎を身につける。また、実習を通して責任ある行動・態度を習得する。

《授業の到達目標》

1. 患者と援助の人間関係を築くことができる。 2. 患者の状態に応じて適切に情報を収集することができる。 3. 入院生活および健康障害、治療が患者に及ぼす影響について理解できる。 4. 患者の個別性に沿った看護計画を立案できる。 5. 患者の状態に応じて安全・安楽・自立を考えながら日常生活援助を実践できる。 6. 実習を通して学んだことを振り返り自己の課題を明らかにすることができる。 7. 実習を通して責任ある行動・態度を理解することができる。

《評価の方法》

実習態度、実習内容および実習記録、課題レポートを実習評価表で評価する。(到達目標1～7)

《テキスト》

《参考図書》

看護援助論および基礎看護学で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

《履修上の留意点》

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。実習要項を熟読して実習に臨むこと。常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、秘密の保持、安全への配慮、倫理面への配慮を十分に行い実習すること。実習共通要項に従った見だしなみ、準備、態度を実習参加の条件とする。

《備考》

1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：病院 3. 実習内容：実習要項参照

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	1日目 (学内実習)	学内実習 <予習>事前に提示された課題に取り組む。(120分) <復習>実習での学びを整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
2	2日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 <予習>患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) <復習>実習での学びを整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
3	3日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 <予習>患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) <復習>実習での学びを整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
4	4日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 <予習>患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) <復習>実習での学びを整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
5	5日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 <予習>患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) <復習>実習での学びを整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他

科目名	基礎看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2311080
担当者氏名	大崎 美奈子、樋本 まゆみ、大平 富美、熊倉 良太		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	6日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 ＜予習＞患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) ＜復習＞実習での学びを整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
7	7日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 ＜予習＞患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) ＜復習＞実習での学びを整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
8	8日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 ＜予習＞患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) ＜復習＞実習での学びを整理する(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
9	9日目 (学内実習)	学内実習 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む、実習での学びを振り返る(120分) ＜復習＞実習での学びを振り返り、自己の課題を明確にする。(120分)	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 他
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	成人看護援助論Ⅲ			授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

成人看護援助に必要な技術について、科学的根拠を確認しながらより実践的に学ぶ。

成人看護援助論Ⅰ、Ⅱで学習した看護技術や看護援助過程について実践的に学習する。成人看護学実習の事前学習として手術からの回復期の看護を含む周手術期の看護援助技術の習得、および慢性疾患をもつ対象者に対するセルフマネジメントにつながる健康支援について、より具体的で実践的に演習を行うことによって学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 看護過程の基礎的知識、看護理論と看護過程の関係性について述べることができる。
2. 事例をとらえて機能障害における看護実践を行うことができる。

《評価の方法》

定期試験60%、レポート20%、演習参加態度20%

《テキスト》

1. 『ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント』（渡邊トシ子編 ニューヴェルヒロカワ 2011年）
2. 『成人看護学 急性期看護Ⅰ（改訂第4版）』（林直子、佐藤まゆみ編 南江堂 2023年）
3. 『看護診断ハンドブック 第12版』（リンダ J. カルペニート著 医学書院 2023年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

演習では、各チームで話し合い、それを基にして実施します。チーム内で各人が役割を果たすためには、個人の事前学習が大切になります。チーム内で協力して演習を行いましょう。4～15コマ目は、2つのクラスに分かれ、慢性期演習（6コマ）、急性期演習（6コマ）をそれぞれ行います。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	【合同講義】授業ガイダンス 機能的健康パターンの枠組み (看護過程)	ゴードンの機能的健康パターンに基づくアセスメントガイドの構成 (予習) 看護過程の意義・目的 看護過程と看護理論の関係 (復習) パターンの枠組みの内容について	広井 貴子 目黒 優子
2	【合同講義】看護過程における看護診断 (看護診断)	・看護過程における看護診断について(看護過程における看護診断の位置づけ、看護診断の3つのタイプの特徴、看護診断を構成する要素) (予習) 看護過程の構成要素についてまとめる (復習) 看護診断の3つのタイプの特徴、看護診断を構成する要素をまとめる	目黒 優子 広井 貴子
3	【合同講義】①看護過程を活用するために必要な基礎的スキル②アセスメント(スクリーニング・アセスメント、フォーカス・アセスメント)	・看護過程の展開・アセスメントの進め方について(情報収集の基本、スクリーニング・アセスメント、フォーカス・アセスメント、仮の看護診断の抽出・検証、看護診断の決定) (予習) スクリーニング・アセスメントとフォーカス・アセスメントの違いについてまとめる(復習) 授業内で挙げた看護診断名の定義・診断指標・関連因子・危険因子を整理する	目黒 優子 広井 貴子
4	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・2型糖尿病の一般的な〈病態関連図〉グループ間での発表、主観的情報/客観的情報の区別、面接技法について・事例(A氏): 壮年期、男性、2型糖尿病: ゴードンの機能的健康パターンに基いたの情報収集・整理、パターンごとの分析、仮の診断、不足の情報 (予習) 型糖尿病の病態生理、治療、看護についてまとめる (復習) 段階を追ったアセスメントの展開とは何かを整理する	目黒 優子 広井 貴子
5	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・2型糖尿病の一般的な〈病態関連図〉グループ間での発表、主観的情報/客観的情報の区別、面接技法について・事例(A氏): 壮年期、男性、2型糖尿病: ゴードンの機能的健康パターンに基いたの情報収集・整理、パターンごとの分析、仮の診断、不足の情報 (予習) 型糖尿病の病態生理、治療、看護についてまとめる (復習) 段階を追ったアセスメントの展開とは何かを整理する	目黒 優子 広井 貴子

科目名	成人看護援助論III	授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)情報収取から不足の情報について、ゴードンの機能的健康パターンの全パターン毎に情報を整理する。A氏に〈不足の情報〉について、問診・視診・触診を実施して必要な情報を収集する。結論・仮の診断を検証する。(予習)ゴードンの機能的健康パターン毎の情報収集の視点(復習)演習内で全体討議ができなかった残りのパターンについて各自で結論を導き出しておく	目黒 優子 広井 貴子
7	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)情報収取から不足の情報について、ゴードンの機能的健康パターンの全パターン毎に情報を整理する。A氏に〈不足の情報〉について、問診・視診・触診を実施して必要な情報を収集する。結論・仮の診断を検証する。(予習)ゴードンの機能的健康パターン毎の情報収集の視点(復習)演習内で全体討議ができなかった残りのパターンについて各自で結論を導き出しておく	目黒 優子 広井 貴子
8	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)看護診断の確定、優先順位、看護の方向性、問題リスト、期待される成果について ・事例(A氏)演習のまとめ (予習)優先順位を決定する根拠とは (復習)看護診断過程について、2型糖尿病患者の看護	目黒 優子 広井 貴子
9	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)看護診断の確定、優先順位、看護の方向性、問題リスト、期待される成果について ・事例(A氏)演習のまとめ (予習)優先順位を決定する根拠とは (復習)看護診断過程について、2型糖尿病患者の看護	目黒 優子 広井 貴子
10	【急性期演習】 (周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 (予習)変形性股関節症(疾患、症状、検査、治療、看護など) 事例の発達段階について 事例の個別性について (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井 貴子 目黒 優子
11	【急性期演習】 (周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 (予習)変形性股関節症(疾患、症状、検査、治療、看護など) 事例の発達段階について 事例の個別性について (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井 貴子 目黒 優子
12	T B Lによる学習：実施・チーム検討 (周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 (予習)変形性股関節置換術をうけた人の看護について 退院後の生活について (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井 貴子 目黒 優子
13	【急性期演習】 (周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 (予習)変形性股関節置換術をうけた人の看護について 退院後の生活について (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井 貴子 目黒 優子
14	【急性期演習】患者の状態にあわせた自立への援助 (手術からの回復期の看護)	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する (予習)手術からの回復期の看護 (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井 貴子 目黒 優子
15	【急性期演習】患者の状態にあわせた自立への援助 (手術からの回復期の看護)	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する (予習)手術からの回復期の看護 (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井 貴子 目黒 優子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312090
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一、本庄 幸代、袖山 悦子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

老年期にある対象とその家族、およびそれを支える人びとを対象とし、加齢に伴う心身機能の変化とアセスメントの特徴、老年期の健康障害に応じた看護に必要な知識・技術について学ぶ。また、老年期にある対象を捉えるために生活機能・目標志向型思考でアセスメントを行い、高齢者のQOL向上に向けた看護を学ぶ。さらに、高齢者の家族や関わる人々との関係性や地域社会（社会資源）を活用した援助を学び、高齢者の尊厳を守る看護について考察する。

《授業の到達目標》

1. 高齢者の生活機能・日常生活行動のアセスメント方法が述べられる。
2. 高齢者に特徴的な疾患と看護が説明できる。
3. 高齢者の倫理上の課題について討議し自己の考えが表現できる。
4. 高齢者の治療上の特徴と看護が説明できる。
5. 高齢者の日常生活を支える看護が説明できる。
6. 治療・介護を必要とする高齢者の家族への看護の必要性が表現できる。

《評価の方法》

- ①レポート:15%（到達目標1,3,5,6）
- ②小テスト:15%（到達目標2）
- ③定期試験:70%（到達目標1,2,3,4,5,6）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 老年看護学』（北川公子 他著 医学書院 2023年）【2年次購入】
2. 『系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著 医学書院 2023年）【2年次購入】

《参考図書》

『実践！ 高齢者のフィジカルアセスメント』（角濱春美著 メディカ出版 2017年）

ほか授業で資料配布、参考図書紹介

《履修上の留意点》

事前・事後学習を前提に、授業時間内に小テストを実施する。なお、レポートについては、形式・提出期限等、別途説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス 生活機能・目標志向型思考の老年看護 ヘルスアセスメント（ヘルスアセスメント、生活行動モデル、目標志向型思考）	授業概要、評価方法 ・生活機能・目標志向型思考の老年看護の考え方 ・ヘルスアセスメント（感覚器） （予習）テキスト1のPP.86～102、PP.408～410を熟読し、まとめる（120分）。（復習）授業や資料を振り返り、高齢者のアセスメント方法について整理する（120分）。	青柳 直樹
2	呼吸・循環機能障害を支える看護 （肺炎、COPD、高血圧、心不全）	・呼吸器系、循環器系の老化 ・老年期に起こりやすい呼吸器系疾患（肺炎・COPD）と看護 ・老年期に起こりやすい循環器系疾患（高血圧・心不全）と看護 （予習）テキスト2のPP.34～36、PP.164～186を熟読し、まとめる（120分） （復習）授業や資料を振り返り、高齢者の呼吸器系・循環器系の加齢変化、疾患について看護について整理する（120分）【小テスト 3点】	青柳 直樹
3	脳・神経障害の看護 （認知症、BPSD、うつ、せん妄）	・認知症増加の背景 ・認知症の診断と治療 ・認知症の評価と看護 ・BPSD、うつ、せん妄と看護 （予習）テキスト1:PP296-315,P391, テキスト2:PP26-30,PP135-149, PP300-302,P312を熟読し、まとめる（120分）。 （復習）授業を振り返り、今後の認知症の看護についてまとめる（120分）。【小テスト：3点】	袖山 悦子
4	脳血管障害障害を支える看護 排泄を支える看護 （脳梗塞、脳出血、慢性硬膜下血腫、尿失禁、尿路感染症）	・老年期に起こりやすい脳血管疾患（脳梗塞、脳出血）と看護 ・老年期に起こりやすい排泄障害と看護 （予習）脳神経の解剖生理、排泄系の解剖生理、及びテキスト1:PP161-168, テキスト2:PP150-158,PP220-229を熟読し、まとめる（120分）。 （復習）授業を振り返り、脳血管疾患、及び排泄障害を患う高齢者の看護について整理する（120分）。【小テスト：3点】	青柳 直樹
5	食生活を支える看護 （歯・口腔器、摂食嚥下障害、低栄養、脱水、排便障害）	・老化による栄養・食事の変化と栄養障害（低栄養） ・老化による摂食・嚥下障害の看護（脱水、窒息） ・老年期の歯口腔器疾患（う蝕・歯周病） ・老年期の排便障害と看護 （予習）歯口腔系・消化器系の解剖生理、及びテキスト1:PP107-108,PP146-161,PP168-170,PP238-240, テキスト2:PP36-39,PP81-85,PP259-264について熟読し、まとめる（120分）。 （復習）高齢者の食生活を支える看護について整理する（120分）。	角山裕美子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312090
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一、本庄 幸代、袖山 悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	歩行・移動を支える看護① (運動器、骨粗鬆症、骨折)	・運動器系の老化 ・高齢者に起こりやすい運動器疾患(骨粗しょう症・大腿骨頸部骨折)と看護 (予習)運動器系の解剖生理、及びテキスト 1:PP111-118,PP122-146,PP.278-181,テキスト 2:PP42-43,PP73-77,PP230-237,PP284-287,PP296-298 を熟読し、まとめる(120分)。(復習)高齢者の運動器系疾患の看護について整理する(120分)。【小テスト:3点】	角山裕美子
7	歩行・移動を支える看護② (老年症候群、褥瘡、倫理的課題)	・老年症候群と看護 ・老年期に起こりやすい皮膚疾患(褥瘡)と看護 ・高齢者の人工的・水分栄養についての倫理的課題 (予習)皮膚の解剖生理、及びテキスト 1:PP94-96,PP248-253,PP353-355,テキスト2:PP48-92について熟読し、まとめる(120分)。(復習)授業を振り返り、高齢者の倫理的課題について整理する(120分)。【小テスト:3点】	多田 健一
8	治療を受ける高齢者の看護① (診療・検査)	・高齢者の診療・検査における留意点と看護 (予習)テキスト1:PP318-320,テキスト2:PP114-122を熟読し、まとめる(120分)。 (復習)授業を振り返り、治療(診療・検査)を受ける高齢者の看護について整理する(120分)。	袖山 悦子
9	治療を受ける高齢者の看護② (手術療法・薬物療法)	・手術を受ける高齢者の看護 ・薬物療法を受ける高齢者の看護 ・高齢者の入院時の看護 (予習)テキスト1:PP321-344,テキスト2:PP272-277を熟読し、まとめる(120分)。 (復習)授業を振り返り、治療(手術療法・薬物療法)を受ける看護について整理する(120分)。	袖山 悦子
10	高齢者の尊厳と看護 (倫理的課題、身体拘束)	・事例を通して高齢者の倫理的課題と看護を考察する。 ・高齢者の倫理的課題と看護 (予習)テキスト1:PP54-63,及びPP353-355を熟読し、まとめる(120分)。 (復習)事例検討を振り返り、身体拘束について考えを整理する(120分)。【倫理的課題レポート:10点】	多田 健一
11	生活リズムを整える看護 (活動と休息、睡眠障害)	・高齢者に特徴的な生活リズムの変化と看護 ・高齢者と生活リズム、睡眠と覚醒の変化、生活リズムのアセスメント、生活リズムを整える看護 (予習)自分の生活リズムと高齢者の生活リズムについて考える。さらに、テキスト1:P89,PP185-196を熟読しまとめる(120分) (復習)授業を振り返り、高齢者も生活リズムを整える看護について整理する(120分)	青柳 直樹
12	高齢者における地域包括ケア (介護予防、認知症予防、日常生活支援総合事業)	・地域でくらす高齢者のケア ・地域包括ケアシステムの実際 (予習)テキスト1:PP26-28,PP360-383について熟読し、まとめる(120分)。 (復習)事例から考えられたことを整理する(120分)。	角山裕美子
13	高齢者の家族看護 (家族形態と介護家族) (高齢者支援の多職種連携)	・高齢者の家族とは ・高齢者と家族の関係の変化 ・高齢者・高齢者家族を取り巻く社会資源(多職種連携含む) (予習)家族とは何か、高齢者の世帯の家族構成について調べる。さらに、テキスト1:PP373-383について熟読し、まとめる(120分)。 (復習)授業を振り返り、高齢者の家族への支援について整理する(120分)。	本庄 幸代
14	高齢者の時代背景 (インタビュー)	・高齢者が生きてきた時代についてインタビューなどから調べ学習を行う。 (予習)テキスト1:PP90-91を熟読し、高齢者の方とコミュニケーションを図り、高齢者が生きてきた時代について整理する(120分)。(復習)発表を通して、高齢者の生きてきた時代について整理する(120分)。 【高齢者の時代背景調べレポート:5点】	多田 健一
15	終末期高齢者の看護 (エンド・オブ・ライフケア、意思決定支援、終末期医療、多職種連携、死生観)	・高齢者にとっての死、高齢者の意思決定支援、家族による代理決定 ・エンド・オブ・ライフケア ・多職種連携による終末期を支える支援 (予習)テキスト1:PP348-357、テキスト2:PP313-318を熟読し、まとめる(120分)。(復習)授業を振り返り、高齢者の終末期の看護について整理する。さらに、今までの学習から老年看護援助論Ⅰの到達目標について整理する(120分)。	青柳 直樹

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312140
担当者氏名	沼野 博子、伊藤 文子、船岡 未恵、永谷 智恵			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

小児期の代表的な疾患の基礎知識や治療の動向、急性期・周術期・慢性期において子どもの成長発達の特性をふまえた症状アセスメントと看護について学ぶ。

健康障がいによる子ども・家族の状況を理解し、その人らしく生活するための身体的・心理的・社会的援助について学ぶ。一人の人として子どもを尊重し、医療環境や地域社会の中で健やかな成長を支える看護について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 子どもの健康問題の病態生理、症状、検査、治療を成長・発達の特徴と関連させ述べることができる。
2. 健康問題が子ども・家族の心身・社会・発達に及ぼす影響について述べることができる。
3. 目標1・2を踏まえ、子どもの人権を尊重した看護援助の必要性について述べることができる。

《評価の方法》

事前・事後課題30% (到達目標1)

定期試験70% (到達目標1・2・3)

《テキスト》

『ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護』（中野綾美編 メディカ出版 2023年）

『ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護』（中村友彦、西沢博子編 メディカ出版 2023年）

《参考図書》

『系統看護学講座 小児看護学[2] 小児臨床看護各論』（奈良間美穂 他著 医学書院 2020年）

『新体系 看護学全書 小児看護学②』（小林京子、高橋孝雄編 メヂカルフレンド社 2022年）適宜紹介する

《履修上の留意点》

予習・復習に取り組み、講義に対応するテキストを熟読・動画を視聴し理解しておく。課題内容、提出方法・期限については講義内で説明する。疑問点は講義中・後に確認し明確にする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	急性期の子どもと家族の看護 (発熱、発疹、けいれん、初期判断)	乳幼児に見られる主な感染症と症状について理解する。 発熱・発疹・けいれん症状のある子ども・家族に必要な看護について理解する。 感染隔離されている子ども・家族の看護について理解する。 【予習】テキストを読み、提示された課題に取り組む(小児感染症)(60分) 【復習】提示された課題に取り組む(熱性けいれん)(60分)	沼野博子
2	急性期の子どもと家族の看護 (チアノーゼ、短絡、無酸素発作、虚血性心疾患)	循環器疾患の子どもと家族の看護について理解する 【予習】テキストを読み、提示された課題に取り組む(ファロー四徴症、川崎病)(90分) 【復習】授業資料とテキストを読み授業の振り返りを行う(30分)	伊藤文子
3	急性期の子どもと家族の看護 (嘔吐、下痢、脱水)	嘔吐・下痢・脱水症状のある子ども・家族の看護について理解する 【予習】テキストを読み、提示された課題に取り組む(感染性胃腸炎、腸重積)(90分) 【復習】提示された課題に取り組む(脱水)(30分)	船岡未恵
4	慢性期にある子どもと家族の看護 (呼吸困難、セルフケア支援、学校連携)	アレルギー疾患の子どもと家族の看護について理解する 【予習】テキストを読み、提示された課題に取り組む(気管支喘息、食物アレルギー)(90分) 【復習】授業資料とテキストを読み授業の振り返りを行う(30分)	船岡未恵
5	慢性期にある子どもと家族への看護 (浮腫、腎代替療法、セルフケア支援、学校連携)	腎疾患の子どもと家族の看護について理解する 【予習】テキストを読み、提示された課題に取り組む(ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、慢性腎臓病)(90分) 【復習】授業資料とテキストを読み授業の振り返りを行う(30分)	伊藤文子

科目名	小児看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312140
担当者氏名	沼野 博子、伊藤 文子、船岡 未恵、永谷 智恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	子どもの意思決定のための心理的支援 (プレパレーション、子どもの権利擁護、子どもの病氣理解・ストレス)	検査や処置を受ける子どもの理解や医療体験をふまえ、プレパレーションの必要性・方法を理解する 【予習】テキストを読み、提示された課題に取り組む(子どもの権利擁護、子どもの病氣理解、プレパレーション)(60分) 【復習】提示された課題に取り組む(検査を受ける子どものプレパレーションについてまとめる)(60分)	沼野博子
7	手術を受ける子どもと家族の看護 (子どもの手術の特徴、周術期看護、疼痛緩和ケア)	手術を受ける子どもと家族の術前・術後看護について理解する 【予習】テキストを読み、提示された課題に取り組む(子どもの手術の特徴、術前・術後の看護)(90分) 【復習】提示された課題に取り組む(口唇口蓋裂、術前・術後管理、子どもの疼痛緩和ケア、術後合併症)(30分)	沼野博子
8	集学的治療を受ける子どもと家族の看護 (化学療法、症状マネジメント、疼痛緩和ケア)	小児がんの子どもと家族の看護について理解する 【予習】テキストを読み、提示された課題に取り組む(小児がん、小児白血病)(90分) 【復習】提示された課題に取り組む(化学療法中の看護、腰椎穿刺、骨髄穿刺)(30分)	沼野博子
9	心身障害のある子どもと家族の看護 (育児支援、家族支援、療育、合理的配慮)	心身障害のある子どもと家族の看護とそれにかかわる多職種連携と看護職の役割について理解する 【予習】テキストを読み、提示された課題に取り組む(重症心身障害、発達障害)(90分) 【復習】授業資料とテキストを読み授業の振り返りを行う(30分)	伊藤文子 船岡未恵
10	慢性期にある子どもと家族の看護 (ケトアシドーシス、セルフケア支援、学校連携、成人移行期支援)	糖尿病の子どもと家族の看護について理解する 【予習】テキストを読み、提示された課題に取り組む(1型・2型糖尿病)90分 【復習】授業資料とテキストを読み授業の振り返りを行う(30分)	伊藤文子
11	先天的な健康問題のある子どもと家族の看護 (障がい受容、発達支援)	先天的な健康問題のある子どもと家族の看護について理解する 【予習】テキストを読み提示された課題に取り組む(先天異常、ダウン症候群、障がい受容)(60分) 【復習】提示された課題に取り組む(事例に対する障がい受容支援に関する考えをまとめる)(60分)	船岡未恵
12	ハイリスク新生児と家族の看護 (胎外生活への適応、ディベロップメンタルケア、子ども家族中心ケア)	低出生体重児の生理的特徴と疾患、看護について理解する 【予習】テキストを読み提示された課題に取り組む(低出生体重児の特徴、呼吸窮迫症候群、NICU、ディベロップメンタルケア)(60分) 【復習】提示された課題に取り組む(映像を視聴し、ディベロップメンタルケアについてまとめる)(60分)	沼野博子
13	不適切な養育と子どもの健康障害 (児童虐待、法律、リスク因子、通告)	不適切な養育と子どもの健康障害と看護について理解する 【予習】提示された専門用語について調べ、まとめる(30分) 【復習】授業資料とテキストを読み授業の振り返りを行う。提示された課題に取り組む(児童虐待事例に対する考えをまとめる)(60分)	伊藤文子
14	外来における子どもと家族の看護 (緊急性の判断、環境調整、感染予防、ホームケア支援)	外来受診する子どもと家族の援助と外来看護の果たす役割について理解する 【予習】テキストを読み、提示された課題に取り組む(小児外来の特徴、PAT、予防接種)(30分) 【復習】授業資料とテキストを読み授業の振り返りを行う(30分)	伊藤文子
15	在宅における子どもと家族の看護 (在宅移行期支援、医療的ケア児、地域包括ケア)	医療的ケア児のご家族・支援者のお話を聴き、在宅療養を必要とする子どもの特徴と在宅療養移行期における看護について理解する。地域・在宅看護援助論Ⅰとの合同講義となる。 【予習】テキストを読み課題に取り組む(医療的ケア児、在宅移行支援)(60分) 【復習】提示された課題に取り組む(在宅療養移行期における看護についてまとめる)(60分)	沼野博子 非常勤講師

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312180
担当者氏名	森 美由紀、太田 操、佐藤 初美			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

周産期女性の身体的・心理的・社会的特徴や胎児・新生児の発育発達過程およびその女性を取り巻く家族についても理解する。妊婦・産婦・褥婦・胎児・新生児および家族の健康上の諸課題を理解し、正常に経過するための援助や自己決定能力・セルフケア能力を高めるための看護援助に活用できる知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 周産期（妊娠期・分娩期・産褥期）にある女性、胎児および新生児の生理的变化を理解できる。
2. 周産期にある女性と夫またはパートナー、家族の心理的・社会的特徴を理解できる。
3. 周産期にある女性および新生児の生理的变化に対する看護援助の方法を述べることができる。
4. 周産期各期および新生児の正常、又は逸脱に対する看護援助の方法を述べることができる。

《評価の方法》

①妊娠期・分娩期：提出物20%（到達目標1,2,3）＋小テスト2回30%＝50%（到達目標1,2,3,4） ②産褥期・新生児期：定期試験50%（到達目標1,2,3,4） ③不合格時は妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の筆記試験を実施して判断する。

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著 医学書院 2021年）
2. 『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子、村上睦子監修 インターメディカ 2020年）

《参考図書》

『イラストで学ぶ新生児の生理と代表的疾患』メディカ出版 『イラストで学ぶ妊娠・分娩・産褥の生理』メディカ出版
『病気が見えるvol.10 産科（第4版）』Medic Media 『新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ・Ⅱ』中央法規出版

《履修上の留意点》

・事前か講義開始後、学習課題を提示するので、期日までに提出してください。教科書や講義資料をもとに学習に取り組んでください。Web情報を鵜呑みにしてはいけません。事前学習は、授業で課題発表等で共有する。

・前期で学んだ母性看護学概論の既習知識と関連づけながら積極的に学んでほしい。また、不明確なところは復習する。

《備考》

・疑問をそのままにせず、直接聞きにきて解決してください。時間の許す限りお答えします。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	妊娠期の看護① (妊娠の成立, 胎児の発育)	授業ガイダンス 妊娠の定義, 女性生殖器官を踏まえた妊娠の成立過程, 妊娠の診断検査, 胎児の心身の発育と特徴 ＊課題学習やshort事例検討で(講義・GW等で)学ぶ 予習・復習各30分	森美由紀
2	妊娠期の看護② (妊婦の身体的・心理的・社会的特性)	妊娠による母体の変化, 妊婦・家族の心理社会的特徴, 妊娠の経過に伴う胎児の変化, 妊娠と薬と放射線と環境汚染物質 ＊課題学習やshort事例検討で(講義・GW等で)学ぶ 最後にまとめ リフレクション 予習・復習各30分	森美由紀
3	妊娠期の看護③ (妊婦・胎児, 家族のアセスメントと看護)	妊婦と胎児のアセスメント, 基礎的情報のアセスメント, 妊婦の健康診断, 母子健康手帳, 日常生活に関するアセスメント, 胎児の発育と健康状態の診断 ＊課題学習やshort事例検討で(講義・GW等で)学ぶ 最後にまとめ リフレクション 予習・復習各30分	森美由紀
4	妊娠期の看護④ (妊婦の異常と看護) 小テスト(妊娠期)	妊娠期の異常(ハイリスク妊娠, 感染症, 妊娠高血圧症候群, 妊娠糖尿病等), ハイリスク妊娠(甲状腺機能亢進症, SLE, てんかんなど), 妊娠期の感染症, 高血圧症候群, 糖尿病と妊娠糖尿病, 切迫早産, 常位胎盤早期剥離, 前置胎盤, 双胎, 精神障害 ＊課題学習やshort事例検討で(講義・GW等で)学ぶ,最後にまとめ リフレクション 小テスト(妊娠期) 30分	森美由紀
5	分娩期の看護① (分娩の経過)	正常分娩の経過: 分娩期の定義, 分娩の経過 バースプランについて, 実際にプランの作成。 ＊視聴覚教材によってイメージしながら学ぶ 最後にまとめ リフレクション 予習・復習各30分	太田操

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312180
担当者氏名	森 美由紀、太田 操、佐藤 初美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	分娩期の看護② (産婦と胎児の健康状態)	分娩の3要素(娩出力:陣痛・腹圧,産道:軟産道・骨産道,娩出物:胎児・胎児付属物) 分娩経過(分娩第1期～第4期) *課題学習やshort事例展開で(講義・GW等)学ぶ 最後にまとめ リフレクション 予習・復習各30分	太田操
7	分娩期の看護③ (産婦・胎児,家族のアセスメントと看護)	分娩が母体・胎児に及ぼす影響,胎児モニタリング 産婦と家族の看護(産婦のニード,分娩第1期の看護の実際,分娩第2期の看護の実際,分娩第3期,4期の看護の実際),産痛の緩和に対応した看護,産婦と家族の心理への看護 *課題学習やshort事例展開で(講義・GW等)学ぶ 最後にまとめ リフレクション 予習・復習各30分	太田操
8	分娩期の看護④ (産婦の異常と看護) 小テスト(分娩期)	分娩期のハイリスクおよび異常(狭骨盤,CPD,子宮破裂,微弱陣痛・過強陣痛,胎児の異常,前置胎盤,常位胎盤早期剥離,臍帯の異常,胎児機能不全,前期破水)の状態にある産婦の看護,産科処置・産科手術(帝王切開)と看護 *課題学習やshort事例展開で(講義・GW等)学ぶ 最後にまとめ リフレクション 小テスト(分娩期)30分	太田操
9	産褥期の看護① (産褥期の身体的・心理的・社会的特性)	産褥期の定義,産褥期の身体的変化(退行性変化:全身の変化,生殖器の変化,分娩による損傷,進行性変化:乳房の変化,褥婦と家族の心理・社会的変化),産褥期の身体的・心理社会的変化 *課題学習やshort事例展開で(講義・GW等)学ぶ 最後にまとめ リフレクション 予習・復習各30分	森美由紀
10	産褥期の看護② (褥婦のアセスメント)	産婦のアセスメント項目,退行性変化(生殖器の復古,全身状態の回復,退行性変化に影響する因子)のアセスメント,進行性変化と母乳育児に関するアセスメント,心理的变化と母親への適応過程のアセスメント,家族の適応過程のアセスメント,退位後の生活・社会環境のアセスメント *課題学習やshort事例展開で(講義・GW等)学ぶ 最後にまとめ リフレクション 予習・復習各30分	森美由紀
11	産褥期の看護③ (褥婦と家族の看護)	退行性変化を促すための看護(褥婦の日常生活とセルフケア,食生活の教育),進行性変化と母乳育児への看護,母親になることへの看護(育児技術獲得への支援,母親役割獲得への支援,母乳育児支援,バースレビュー),家族関係再構築への看護,母子の愛着形成の支援,家族の再調整 *課題学習やshort事例展開で(講義・GW等)学ぶ 最後にまとめ リフレクション 予習・復習各30分	森美由紀
12	産褥期の看護④ (産褥の異常と看護)	退行性変化に関連する異常(子宮復古不全,産褥熱,尿路感染症),進行性変化に関連する異常(乳房・乳頭トラブル,乳腺炎等),妊娠・分娩に関連する異常(産褥血栓症,感染症褥婦),心理・社会的側面に関する異常(産後の精神障害:マタニティブルーズ,産後うつ病),帝王切開を受けた褥婦,特別な支援を要する褥婦の看護 *課題学習やshort事例展開で(講義・GW等)学ぶ 予習・復習各30分	森美由紀
13	新生児期の看護① (新生児の生理)	新生児の定義,新生児の分類,新生児の適応生理(子宮外への適応,呼吸器系,循環器系,体温調節,ビリルビン代謝,糖代謝,消化器系,腎機能,免疫系,神経系,感覚器,皮膚) *事前課題学習(30分)やshort事例展開を織り交ぜながら講義等で学ぶ 最後にまとめ リフレクション 復習30分	佐藤初美
14	新生児期の看護② (新生児のアセスメントと看護)	新生児の診断(ハイリスク児の要因,出生直後の評価,発育,黄疸,意識レベル,スクリーニング検査)の評価,健康状態(基礎的情報収集,子宮外生活への適応,生活)のアセスメント,出生直後から生後24時間以内(移行期)の看護～出生直後のケア,出生後24時間以内のケア,24時間以降から退院に向けたケア *事前課題30分やshort事例展開を織り交ぜ講義等で学ぶ 最後にまとめ リフレクション 復習30分	佐藤初美
15	新生児期の看護③ (新生児の異常と看護)	ハイリスク新生児の特徴,呼吸不全,循環不全,体温調節の異常,消化器の異常,代謝の適応不全,神経学的異常,分娩との関連,母体疾患と新生児の異常(糖尿病母体からの出生,GBS感染症),早産児・低出生体重児の特徴,先天異常がある新生児と看護 *事前課題学習(30分)やshort事例展開を織り交ぜながら講義等で学ぶ 最後にまとめ リフレクション 復習30分	佐藤初美

科目名	精神看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山 稔、藤田 勇			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割			

《授業の概要》

精神に健康問題を持つ人と家族への看護を展開するためのアセスメントの視点とその方法を理解し、精神的な健康の回復、保持・増進に必要な援助方法を学習する。また、精神医療、地域精神保健福祉における法制度の内容と看護者の倫理、関連する専門職種との役割と連携を理解し、看護の役割について学習する。

《授業の到達目標》

1. 精神の健康障害に対するアセスメント方法と対人関係を基盤とした支援技法について説明できる。
2. 代表的な精神疾患の病態とそれに応じた看護について説明できる。
3. 精神医療福祉に関する法律の概要と看護者の倫理について説明できる。
4. 精神医療福祉における関係職種の連携と看護の役割について説明できる。

《評価の方法》

定期試験70%（到達目標1・2・3・4）、授業内で実施する3回の小テストの合計20%（到達目標1・2・3・4）、授業中の発言や参加態度10%（到達目標1・2・3・4）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 精神看護学① 精神看護の基礎』（武井麻子 他著 医学書院 2023年）
2. 『系統看護学講座 精神看護学② 精神看護の展開』（武井麻子 他著 医学書院 2023年）

《参考図書》

『精神看護学 学生 - 患者のストーリーで綴る実習展開』（田中美恵子編著 医歯薬出版 2015年）
『新版 精神看護学』（遠藤淑美、末安民生 編 中央法規出版 2020年）

《履修上の留意点》

予習（事前学習）として、事前に配付される資料の内容と記載されているテキストの該当ページの内容を読んでおくこと。
復習（事後学習）として、授業中に配付するプリントの最後にある問題を必ず解くこと。間違った問題については、プリントやテキストを参考にして必ず確認しておくこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	精神障害者の理解 （精神症状、統合失調症、気分障害）	精神疾患に伴う代表的な精神症状を理解する。自分がもつ精神疾患や精神症状に対するイメージについて考えるとともに、精神症状をもつその人にとっての症状の意味を理解する。 （予習）精神看護学概論の学習内容について授業資料を読み返しておく（90分） （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）	板山 稔
2	精神看護におけるアセスメント方法 （セルフケア、ストレングス、エンパワメント、リカバリー、レジリエンス）	セルフケア理論、対人関係理論を用いて精神疾患患者の健康障害をアセスメントする方法を学ぶ。対象者のストレングス（強み）に着目したアセスメント方法を理解する。 （予習）事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく（90分） （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）	板山 稔
3	精神看護における基本的技法 （参加観察、コミュニケーション、アクティブリスニング、リスクマネジメント）	精神看護における特徴的な観察の方法と観察項目を理解する。症状の安定や回復を促進するコミュニケーションの基本的技法を学ぶとともに、精神科におけるリスクマネジメントの特徴を学ぶ。 （予習）事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく（90分） （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）	板山 稔
4	病の体験を聴く （病の体験、リカバリー、エンパワメント、ストレングス）	社会福祉施設を利用しているゲストスピーカーから病気や生活の体験を聴く。精神疾患をもつことでの生きづらさとともに、ストレングスやリカバリーについて理解し、看護の役割等を考える。 （予習）これまでの授業を踏まえ、ゲストスピーカーに質問したいことを考えておく（60分） （復習）精神障害者の地域生活支援の課題についてまとめる（60分）	板山 稔
5	精神看護における治療的人間関係 （治療的人間関係、共同意思決定、プロセスレコード、自己一致）	患者－看護師間の人間関係が生み出す治療的意味を理解する。対人関係の構築における自己活用の意味とそれを育むための自己理解、患者－看護師の治療的援助関係の発展過程、共同意思決定、プロセスレコード等について学ぶ。第1回小テスト。 （予習）事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく（90分） （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）	板山 稔

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山 稔、藤田 勇		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	精神医療・保健福祉制度の法律 (精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法)	精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法等の内容を学び、精神医療・保健福祉制度における法律の体系と精神科看護における重要点を理解する。日本の精神科医療施策の問題点・課題について考える。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔
7	地域精神保健福祉と看護 (アウトリーチ、障害者総合支援法、多職種協働、ピアサポート、ケアマネジメント、地域包括ケアシステム)	精神障害者の退院促進および地域生活定着に向けた支援のあり方について、訪問看護、デイケア、多職種協働の実践例、障害者総合支援法による支援の実際などを通して理解する (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔
8	精神疾患の治療① (薬物療法、有害事象、電気けいれん療法)	精神疾患に対しての身体に働きかける治療(薬物療法、電気けいれん療法など)を理解し、必要とされる看護について学ぶ。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔
9	精神疾患の治療② (精神療法、作業療法、認知行動療法、心理教育、社会生活技能訓練)	精神疾患に対しての精神や心理、活動に働きかける治療(精神療法、認知行動療法、作業療法など)を理解し、看護のあり方について学ぶ。第2回小テスト。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔
10	統合失調症患者の看護① (幻覚妄想、思考障害、精神運動興奮、無為・自閉)	統合失調症の発症から寛解までの回復過程を理解し、事例を通して精神症状についてアセスメントする。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	藤田 勇
11	統合失調症患者の看護② (薬物療法、服薬アドヒアランス、心理教育、セルフマネジメント)	統合失調症の急性期から慢性期における病態の特徴とその看護を理解し、社会参加や社会生活の定着に向けた看護支援のあり方について学ぶ。 (予習) 事前配付した資料の事例について自己の考えを記入しておく(90分) (復習) 配付資料の事例について、講義後の自己の考えについてまとめる(60分)	藤田 勇
12	気分障害患者の看護 (うつ病、躁病、双極性障害、薬物療法、認知行動療法)	気分障害の病型と特徴的な病態を理解し、それらに対する看護支援について学ぶ。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	藤田 勇
13	不安性障害、パーソナリティ障害、発達障害の患者の看護 (パニック障害、強迫性障害、境界性パーソナリティ障害、発達障害)	不安性障害(不安障害、パニック障害、強迫性障害)、パーソナリティ障害、発達障害(ADHD、自閉スペクトラム症、LD)の病態の特徴を理解し、看護支援について学ぶ。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔
14	依存症、アディクションの患者の看護 (アディクション、アルコール依存症、薬物依存症、摂食障害)	アルコール依存症、摂食障害を中心に、依存症・アディクションの特徴を理解し、看護支援について学ぶ。第3回小テスト。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔
15	精神医療における倫理 (倫理原則、人権、倫理カンファレンス)	精神科医療における倫理的問題について理解し、倫理的問題に気づく視点を養うとともに、グループワークによる事例検討を通して倫理的問題に対する意思決定のプロセスを学ぶ。 (予習) 事前配付した事例を読み、倫理的問題点についてまとめる(90分) (復習) 精神科医療における患者の人権の尊重と看護者の倫理について、自己の考えをまとめる(60分)	板山 稔

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2313180
担当者氏名	山崎 節子、渡邊 路子、駒形 三和子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力、◎3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

対象別に在宅療養者とその家族に対する理解を深めるとともに、看護援助の方法を学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術について学ぶ。そして、訪問看護ステーションの役割と機能、病院から在宅への移行のための退院調整、家族のケア、家族間調整、多職種との連携・調整などを学び、家族構成や地域の環境などを包括した在宅療養者のケアについて考える。

《授業の到達目標》

1. 在宅療養をする対象に応じた、生活の場で提供される看護援助の方法を説明できる。
2. 訪問看護師の業務の流れを理解し、基本的な訪問のマナーを踏まえた家庭訪問を行うことができる。
3. 健康上の問題を抱えて地域・在宅で生活する人々とその家族の特徴について説明できる。
4. 生活の場で提供される地域・在宅看護の特徴、訪問看護の役割について考察することができる。

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標の1.3.4）、提出物20%（到達目標の1.3.4）
態度（含むグループワーク）10%（到達目標の1.2.3.4）、技術演習10%（到達目標の2）

《テキスト》

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践』（河原加代子 他著 医学書院 2022年）

《参考図書》

『地域・在宅看護論』（尾崎章子・佐野けさ美 他著 医歯薬出版 2021年）
『看護学生のためのわかりやすい法律・制度』（望月聡一郎 中央法規出版 2023年）

《履修上の留意点》

各疾病治療論、各看護学概論、援助論等の既習内容と結び付けて学習を進めて下さい。
授業に関しては、小児看護学領域との合同講義や訪問看護の実践者、ケアマネジャーによる講義もあります。いずれも学生の皆さんとの対話を期します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 暮らしを支える看護技術① (対話 コミュニケーション 倫理 リスクマネジメント ハラスメント)	・セルフケアを支えるコミュニケーションと在宅看護における倫理やハラスメントについて学ぶ。 (予習)在宅における活動と休息の支援のポイントについてノートに整理する。(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	山崎 節子 田辺 生子
2	暮らしを支える看護技術② (療養環境調整 活動・休息)	・在宅における療養環境整備、活動・休息に関するアセスメントと援助のポイントについて学ぶ。 (予習)療養環境整備、活動・休息の支援のポイントについてノートに整理する。(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	山崎 節子 田辺 生子
3	暮らしを支える看護技術③ (食生活・嚥下 排泄)	在宅療養者の食生活・嚥下、排泄に関するアセスメントと援助のポイントについて学ぶ。 (予習)食生活・嚥下、排泄の支援のポイントについてノートに整理する。(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	山崎 節子 田辺 生子
4	暮らしを支える看護技術④ (清潔・衣生活 苦痛の緩和・安楽確保)	在宅療養者の清潔・衣生活 苦痛の緩和・安楽確保に関するアセスメントと援助のポイントについて学ぶ。 (予習)清潔・衣生活の支援のポイントについてノートに整理する。(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	山崎 節子 田辺 生子
5	暮らしを支える看護技術⑤ (呼吸・循環 創傷管理)	在宅療養者の呼吸・循環、創傷管理に関するアセスメントと援助のポイントについて学ぶ。 (予習)呼吸と循環のフィジカルアセスメントのポイントについてノートに整理する(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	山崎 節子 田辺 生子

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2313180
担当者氏名	山崎 節子、渡邊 路子、駒形 三和子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	暮らしを支える看護技術⑥ (時期別の看護)	健康な時期、外来受診期、入院時、在宅療養準備期(退院前)、在宅療養移行期、在宅療養安定期、急性増悪期、終末期(グリーフケアを含む)、在宅療養終了期の看護目標、看護計画について学ぶ。 (予習)支援のポイントについて1,2年生で学んだことをノートに整理する。(60分) (復習[課題])講義で学んだことをノートにまとめる。要提出。(60分)	山崎 節子 田辺 生子
7	暮らしを支える看護技術⑦ 演習(ロールプレイ)	対象者・家族との信頼関係の構築を目指した初回訪問時の対応(マナー、訪問計画、必要物品、情報収集のポイント)をロールプレイで学ぶ。 (予習)初回訪問時のマナーについて調べる。(60分) (課題[課題])ワークシートにロールプレイの観察内容を記録する。(60分)	山崎 節子 渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
8	地域・在宅看護の展開① 地域在宅における看護過程 (アセスメント 看護計画)	・物語の観点をもち、訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ方法について映像資料を交え、学ぶ。 (予習)在宅での事例を1例以上持参する。(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	山崎 節子 田辺 生子
9	地域・在宅看護の展開② 事例の検討(1) (認知症療養者 統合失調症療養者)	・物語の観点をもち、訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。 ・グループでの事例検討を通じて、チーム全体のケアを学ぶ。 (予習)事例を読み、わからない用語を調べる。(60分) (復習)本日の事例について用語を含めて整理する。(60分)	山崎 節子 田辺 生子
10	地域・在宅看護の展開③ 事例の検討(2) (脳卒中療養者 がん終末期療養者)	・物語の観点をもち、訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。 ・グループでの事例検討を通じて、チーム全体のケアを学ぶ。 (予習)事例を読み、わからない用語を調べる。(60分) (復習)本日の事例について用語を含めて整理する。(60分)	山崎 節子 田辺 生子
11	地域・在宅看護の展開④ 事例の検討(3) (難病[ALS]療養者)	・物語の観点をもち、訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。 ・グループでの事例検討を通じて、チーム全体のケアを学ぶ。 (予習)事例を読み、わからない用語を調べる。(30分) (復習)本日の事例について用語を含めて整理する。(60分)	山崎 節子 田辺 生子
12	地域・在宅看護の展開⑤ 事例の検討(4) (難病[パーキンソン病]療養者)	・物語の観点をもち、訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。 ・グループでの事例検討を通じて、チーム全体のケアを学ぶ。 (予習)事例を読み、わからない用語を調べる。(30分) (復習[課題])2つの難病療養者の事例(ALS・パーキンソン病)の違いにいてまとめる。(90分)	山崎 節子 田辺 生子
13	地域・在宅看護の事例展開⑥ (訪問看護とケアマネジメン トの実際)	・訪問看護ステーションの看護師とケアマネジャーより在宅における支援の活動の実際について学ぶ。 (予習)これまでの学習内容を復習し、講師への質問を1つ以上考える。(30分) (復習「課題」)実際の活動報告から感じたこと、考えたことを400字程度にまとめる。(90分)	山崎 節子 田辺 生子
14	地域・在宅看護の事例展開⑦ (地域連携の実際) ※小児看護学領域との合同講義	医療的ケア児の退院支援から地域生活への移行と療養生活の継続までの一連の過程を関係者および当事者の語りから学ぶ。 (予習)他の医療的ケア児の事例を読む。(60分) (復習[課題])合同講義から学んだことや考えたことを400字程度でまとめる。(60分)	山崎 節子 田辺 生子
15	在宅療養を支える健康危機・ 災害対応 まとめ	在宅療養における健康危機、災害サイクル別に見た在宅療養者支援について学ぶ。 (予習)在宅療養の場における災害への備えについて調べる。(60分) (復習[課題])地域における災害対応について400字程度でまとめる。(60分)	山崎 節子 田辺 生子

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ			授業科目番号	2313080
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

地域の健康危機管理の概念、活動体制と行政看護職の機能・役割、災害、感染症予防等の健康危機の種別に応じた活動方法を学ぶ。さらに、地域生活集団を対象とした看護管理を学び、既存事業の改革や事業化について考える。また、学校保健活動と看護、産業看護職の役割と機能について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 行政分野における保健師の看護管理の目的と機能を理解し、保健師に求められる役割を考察できる。
2. 感染症の予防の原則を理解し、感染症の特徴に応じた個人・集団、自治体・国レベルの予防対策を説明できる。
3. 学校保健および産業保健における対象の健康課題と健康課題に応じた支援方法を説明できる。
4. 学校保健および産業保健における関係職種を理解し、多職種連携における看護職の役割を考察できる。

《評価の方法》

授業貢献度 10% （授業中の発言、態度をもとに評価する。）（到達目標1.2.3.4）

定期試験 90% （到達目標1.2.3.4）

《テキスト》

- (1)『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2022年）
- (2)『国民衛生の動向 2023-2024』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2023年）

《参考図書》

『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』（中谷芳美 他著 医学書院 2024年）

その他適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

様々な活動分野における看護職の役割について考えながら授業を進めていきます。小児看護学・成人看護学、公衆衛生看護学、感染免疫学等の既習の知識を踏まえ積極的にディスカッションしながら授業に参加することを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目 健康危機管理、感染症対策等看護師にも重要な講義内容です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	公衆衛生看護管理① (事例管理、地区管理、事業業務管理、組織運営管理、予算管理、人材育成・人事管理、情報管理)	ガイダンス / 公衆衛生看護管理の目的を理解し、保健師活動にみられる管理機能について学ぶ。 (予習) テキスト第4部p572～591を読む。(30分) (復習) 公衆衛生看護管理(事例管理、地区管理、事業業務管理、組織運営管理、予算管理、人材育成・人事管理、情報管理)について整理する。(30分)	平澤 則子
2	公衆衛生看護管理② (行政分野、看護管理、キャリアラダー、公衆衛生看護倫理)	保健師に求められる能力と管理機能について事例を通して学び、これからの保健師に求められる看護管理機能について考える。 (予習) 先回の講義内容を確認する。(30分) (復習) 講義を踏まえてテキスト第4部p572～591をまとめる。(30分)	平澤 則子
3	健康危機管理 (健康危機管理、災害、感染症)	健康危機管理の理念と目的を理解し、健康危機管理における保健師の活動と役割について学ぶ。 (予習) 災害、感染への備えとして自分自身が行っていることと、その理由が述べられるように準備する。(30分) (復習) テキスト(1)p499～510を読む。(30分)	駒形三和子
4	感染症予防の原則 (感染症成立の3要因、感染症予防の3原則、感染症法、感染症類型、全数把握、定点把握)	感染症保健① 感染症成立の要因と予防の原則および感染力や重篤性から分類した感染症類型の特徴を理解し、感染症保健活動の基盤となる根拠法の制定の背景と予防対策のポイントを学ぶ。 (予習) テキスト(2)p127～128を読む。(15分) (復習) テキスト(1)p422～429を読む。(20分)	駒形三和子
5	感染症の特徴に応じた予防対策 (結核、HIV/AIDS、新型インフルエンザ、結核発生時の保健活動の実際 等)	感染症保健② 感染症の最近の流行状況を踏まえながら代表的な疾患とその予防対策を学ぶ。 結核発生時の保健活動の実際について外部講師から学ぶ。 (予習) テキスト(1)p433～452を読む。(30分) (復習) テキスト(2)p203～217を読む。(30分)	駒形三和子

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ	授業科目番号	2313080
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	感染症拡大防止対策と予防接種 (感染症届出基準、感染症発生動向調査、検疫、予防接種)	感染症保健③ 感染症の蔓延を防ぐための国・自治体レベルの予防対策と予防接種法に基づく予防接種について学ぶ。 (予習) テキスト(1)p429～433を読む。(15分) (復習) テキスト(2)p147～153を読む。(15分)	駒形三和子
7	感染症集団発生の演習 (感染症集団発生の定義、アウトブレイク、パンデミック、食中毒と感染症)	感染症保健④ 感染症集団発生を引き起こしやすい疾患、原因、予防対策についてグループ演習を通して学ぶ。 (予習) 演習ワークシート(事前学習)を各自学習し演習に臨む。(60分) (復習) 演習ワークシート記入。次回講義開始時に提出。(45分)	駒形三和子
8	産業保健の目的と労働衛生管理体制(産業保健の目的(ILO)、歴史、労働基準法、労働安全衛生法、OSHMS、産業保健の行政組織、産業保健の社会資源)	産業保健① 事例を通して、産業保健の目的、歴史、根拠法令と労働衛生管理体制について学ぶ。 (予習) 会社等に勤務している家族・知人に、健康管理がどのように実施されているか聞いてくる。(30分) (復習) テキスト第3部p381～388を読む。(30分)	渡邊 路子
9	産業保健師の活動 (労働衛生の5管理、産業医、総括衛生管理者、衛生管理者、衛生委員会、職場巡視)	産業保健② 産業保健師の職務を通して、産業保健活動の展開と求められる役割を学ぶ。 (予習) テキストp388～p400を読む。(30分) (復習) 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる(60分)	渡邊 路子
10	職業性疾病と特殊健康診断 (職業性疾病と業務上疾病、じん肺、有機溶剤中毒、電離放射線、腰痛、VDT作業等)	産業保健③ 職業性疾病とその対応および、様々な健康診断について学ぶ。 (予習) テキストp400～408を読む。(30分) (復習) 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる(60分)	渡邊 路子
11	メンタルヘルス対策、治療と仕事の両立支援、高年齢労働者への支援(4つのケア、ストレスチェック制度、過重労働対策、両立支援、高年齢労働者)	産業保健④ 産業保健の大きな課題であるメンタルヘルス対策と、心身ともに影響の大きい長時間労働対策および、労働安全衛生法の縛りのない中小企業のサポートシステムを学ぶ。 (予習) テキストp409～411を読む。(30分) (復習) 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる。(60分)	渡邊 路子
12	産業保健の実際 (事業所の特性と健康課題、勤務形態、労働衛生管理の実際、産業保健師のやりがい、心がけていること)	産業保健⑤ 産業保健の実際について外部講師から学ぶ。 (予習) 産業保健①～④までを復習する(30分) (復習) 講義内容と合わせて学びを整理する。(30分)	渡邊 路子
13	学校保健の対象と関係職員の役割(学校保健安全法、学校教育法、学校給食法、養護教諭、保健主事、学校三師、養護教諭の歴史、職務内容、学校保健計画)	学校保健① 学校保健活動の対象を理解し、対象の特性に応じた学校保健活動を展開するための根拠法令と学校保健関係職員の活動内容を学ぶ。 (予習) 自分が今まで出会った養護教諭との印象的なエピソードを200文字程度でまとめる。(30分) (復習) テキスト第3部p356～370を読む。(30分)	渡邊 路子
14	養護教諭の活動内容と健康課題に応じた支援活動(保健教育、保健管理、保健室経営、いじめ、不登校、慢性疾患をもつ児童・生徒、医療的処置の必要な児童・生徒)	学校保健② 学校保健活動の中心的役割を担う養護教諭の活動を通して、学校保健活動の展開方法と求められる役割を学ぶ。 (予習) テキストp370～380を読む。(30分) (復習) 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる。(60分)	渡邊 路子
15	学校保健の実際 (養護教諭の一日、今日的健康課題とその対応、関係者との連携、養護教諭としてこころがけていること)	学校保健③ 学校保健の実際について外部講師から学ぶ。 (予習) 学校保健①②の講義の内容を復習する。(30分) (復習) 授業で使用した過去問の振り返る。(30分)	渡邊 路子

科目名	公衆衛生看護支援技術Ⅰ			授業科目番号	2313210
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子、山崎 節子、田辺 生子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

公衆衛生看護の理念に基づき、住民の家庭、地域社会生活の場において提供する地域看護援助方法を学び、対象の特性に応じた支援における保健師の役割、機能を考える。個人・家族を対象とした家庭訪問・健康相談、集団を対象とした健康教育・健康学習の方法と技術および地域におけるグループ支援の方法と技術を学ぶ。そして、地域住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を考える。

《授業の到達目標》

1. 個人・家族の健康課題に応じた個別保健指導（家庭訪問・健康相談）の目的と展開方法を説明できる。
2. 集団を対象とした健康教育のねらいを理解し、企画・実施・評価をする際の留意点を説明できる。
3. 家庭訪問・健康相談の演習を通して、保健指導における保健師の役割を考察できる。
4. 地域におけるグループ支援および地域ケアシステム構築の目的と保健師の役割を考察できる。

《評価の方法》

授業貢献度 10%（授業中の発言、態度をもとに評価する。）（到達目標1.2.3.4）

技術演習 40%（到達目標1.3）、定期試験 40%（到達目標1.2.4）、レポート 10%（到達目標4）

《テキスト》

- (1)『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2022年）
- (2)『国民衛生の動向 2023-2024』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2023年）

《参考図書》

『最新 公衆衛生看護学 第3版 2024年版 総論』（宮崎美砂子他著 日本看護協会出版会 2024年）

適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

家庭訪問・健康相談の演習は楽しい演習になると思いますが、準備がとても重要です。授業時間外の時間を有効に活用して担当教員との意見交換を密にして授業に臨んでください。学生同士のグループワークでは、お互いを尊重しグループダイナミクスを最大限に発揮できる様、協力して課題に向かうことを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目 地域での保健師の支援方法を学ぶことは、看護師としての視野を広げることにもつながります。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	保健指導 (保健師、保健指導)	ガイダンス 保健師が行う保健指導の特徴と保健指導の技術について学ぶ。 (予習) 1年次の概論で学んだ保健師助産師看護師法における保健指導について確認する。(30分) (復習) テキスト(1)p146～154を読む。 保健指導で活用できる理論について整理する。(30分)	駒形三和子
2	健康相談・家庭訪問 (個人、家族、保健指導)	健康相談の目的、方法を理解し、健康相談の展開過程の実際を学ぶ。 家庭訪問の目的・対象、援助方法を学ぶ。 (予習) テキスト(1)p170～174（健康相談）、p156～161（家庭訪問）を読む。(30分) (復習) 健康相談・家庭訪問の対象と支援の特徴についてポイントを整理する。(30分)	駒形三和子
3	家庭訪問 (家庭訪問計画、記録)	家庭訪問の展開方法を学ぶ。 (予習) テキスト(1)p161～169を読む。(15分) (課題) 後半の演習までに事例を読んで家庭訪問計画、健康相談計画を立てる。(45分)	駒形三和子
4	健康教育① (健康教育の特徴、場の理論、動機づけ、KAPモデル、保健信念モデル、ヘルスビリーフモデル、ヘルスリテラシー)	保健師の行う健康教育の目的を理解し、健康教育を企画するための理論およびモデルを踏まえた健康教育の展開方法について学ぶ。 (予習) テキスト(1)第5章p186～193を読む。(30分) (復習) 健康教育の理論について学びを整理する。(30分)	渡邊 路子
5	健康教育② (テーマ、対象把握、学習内容、教材案、評価計画、演習準備)	健康教育を企画・実施・評価するための具体的な方法を事例を通して学ぶ。また、対象者の理解を深めるためのシナリオ・媒体を作成する際の留意点について学ぶ。 (予習) テキスト(1)p194～202を読む。(30分) (復習) 健康教育を企画・実施・評価する際のポイントを整理する。(30分)	渡邊 路子

科目名	公衆衛生看護支援技術Ⅰ	授業科目番号	2313210
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子、山崎 節子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	グループ支援 (グループ支援の定義・理念、目的、対象、特徴、進め方、地域活動の特徴)	グループの理論について概観し、保健師活動に係るグループの種類と特性について学ぶ。グループの発展過程における支援のあり方と役割について学ぶ。 (予習) グループワーク等のグループ活動のメリットとデメリットを各々3つ考える。(30分) (復習) 配布資料およびテキスト(1)p203～212を読み、学びを整理する。(60分)	山崎 節子
7	地区組織活動 (定義・理念、目的、展開)	地区組織活動の展開における保健師の役割について事例や映像資料を活用しながら考える。 (予習) テキスト(1)p213～218を読む。(30分) (課題) グループ支援における保健師の役割について800字程度にまとめ、提出する。(90分)	山崎 節子
8	社会資源の開発 (社会資源、開発、事業化、施策化)	社会資源の開発の目的、特徴について、学ぶ。保健師が行う事業化、施策化とはどのようなものかを理解する。事例を通じて保健師が行う社会資源の開発の実践について理解する。 (予習) 今までの学習の中で、健康上の問題で地域を巻き込んで解決したほうが良いと思われる課題を1つ以上挙げる。(30分) (復習) テキスト(1)p289～245を読み、講義内容と合わせ学びをまとめる。(30分)	平澤 則子
9	地域ケアシステム (地域ケアシステム、地域づくり・まちづくり、地域共生社会)	地域ケアシステム構築において、課題になること、保健師活動として目指すもの、活動の評価について事例を展開しながら学ぶ。 (予習) テキスト(1)p289～245を読んでくる。(30分) (課題) 地域ケアシステムにおける保健師の役割について800字程度にまとめ提出する。(30分)	平澤 則子
10	家庭訪問演習計画 (こんにちは赤ちゃん訪問、家庭訪問計画、乳幼児の発育・発達)	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いた家庭訪問計画を立案し、教員から指導を受け修正する (事前課題) 「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を読んで家庭訪問計画を立て、指定された日時までに提出する。(60分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
11	家庭訪問演習① (家庭訪問のプロセス、訪問時のマナー、乳児の体重測定、1日体重増加量)	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画～訪問～訪問記録のプロセスを体験する。 (事前課題) 指定された日時までに、修正した家庭訪問計画のコピーを提出する。(45分) (当日持参物品) 母子手帳、電卓	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
12	家庭訪問演習② (家庭訪問のプロセス、訪問時のマナー、乳児の体重測定、1日体重増加量、訪問記録)	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画～訪問～訪問記録のプロセスを体験する。 (課題) 記録の提出(60分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
13	健康相談演習計画 (特定健康診査、特定保健指導。ヘルスビリーフモデル)	「特定保健指導」の事例を用いた健康教育計画を立案し、教員から指導を受け修正する (事前課題) 「特定保健指導」の事例を読んで健康相談計画を立て、指定された日時までに提出する。(60分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
14	健康相談演習① (特定保健指導、ヘルスビリーフモデル)	「特定保健指導」の事例を用いて、健康相談計画～健康相談～相談記録のプロセスを体験する。 (事前課題) 指定された日時までに、修正した健康相談計画のコピーを提出する。(60分) (当日持参物品) 聴診器	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
15	健康相談演習② (特定保健指導、ヘルスビリーフモデル)	「特定保健指導」の事例を用いて、健康相談計画～健康相談～相談記録のプロセスを体験する。 (課題) 記録の提出(60分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子

科目名	統計分析法			授業科目番号	1101030
担当者氏名	船津 誠也			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○4-1 看護学を探究する意欲, ◎4-2 看護 を追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

統計に必要な数字やデータ間の関係性を明らかにする方法だけでなく、実践的な例題を通じてデータが持つ「意味」を考える機会とします。講義では、「データから読み取れる特徴、集計、整理する方法」「一部のデータから全体を推計する方法」「データ間の関係性を分析する方法」を学び、受講者の興味関心に基づき、医療分野のみならず、趣味や日常生活に統計学が役立つイメージの理解」に結びつけることを目標にします。

《授業の到達目標》

基本的な統計用語を説明できる。検定、推定の仕組みを説明できる。統計ソフトを使用して平均、分散の検定ができる。各種のデータに関して、どのような処理をすればよいか考えることができる。

《評価の方法》

課題提出により評価する。課題80% 学習態度20%

《テキスト》

《参考図書》

《履修上の留意点》

Excelを使用して実習を行なう。
課題は必ず自分で作成すること。（他人のものを流用した場合は失格とする。）

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス	授業の進め方および日常生活における統計等について解説する。さらに統計を使うことの利点、統計の限界などについて説明する。	船津 誠也
2	変数の相関	変数の相関についてExcelを使って学修する。	船津 誠也
3	正規分布	正規分布についてExcelを使って学修する。	船津 誠也
4	母集団と標本の関係	母集団と標本の関係についてExcelを使って学修する。	船津 誠也
5	標本統計	標本統計についてExcelを使って学修する。	船津 誠也

科目名	統計分析法	授業科目番号	1101030
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	推定	調査対象のデータから全体の特徴を推定する方法を解説し、Excelを使って学修する。	船津 誠也
7	質的データのばらつきを表やグラフで要約する	質的データの特徴と分布の意味を解説する。	船津 誠也
8	量的データのばらつきを表やグラフで要約する	量的データのばらつきを記述する方法、情報の読み取り方を解説する。	船津 誠也
9	データのばらつきを数値でまとめる	分母の特徴を数値で表すことの意味、代表値としての平均値、中央値、最頻値の特徴を解説する。	船津 誠也
10	アンケート調査 1	調査の目的と質問項目の作成、検討を行なう。	船津 誠也
11	アンケート調査 2	調査の目的と質問項目の作成、検討を行なう。	船津 誠也
12	データの解釈 1	データの解釈と統計的手法を用いた検定を行なう。	船津 誠也
13	データの解釈 2	データの解釈と統計的手法を用いた検定を行なう。	船津 誠也
14	統計データの活用	世の中にある統計データを概観し、データの解釈を行なう。	船津 誠也
15	まとめ	これまで学修した内容をまとめる。	船津 誠也

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	医療英語			授業科目番号	1102110
担当者氏名	川崎 真理子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

「ベーシック英語」「看護に活かすコミュニケーション英語」で獲得した能力を基盤とし、看護や医療に関連する英語読解力、英語表現力を発展させる。看護や医療に関する英語による情報を（ニュースや学術論文）を聴解・読解し、内容を口頭や文面で発信する力を養う。同時に、英語による看護実践に必要な英語力を向上させる。加えて、国際社会・多様な文化における看護職の役割を認識する。

具体的には次の3点を検討・考察する： ① 健康課題と取組み ② EBP（実証に基づいた実践） ③国際社会における今後の看護職に求められる役割や責任

《授業の到達目標》

- ① 英語による看護実践や研究に必要な英語運用能力を身に付けている。
- ② 保健・医療・福祉の現状と課題について理解できる。
- ③ EBPの必要性を理解し、必要な研究報告を読み取れる。
- ④ Society 5.0において看護職に求められる役割や責任を認識している。

《評価の方法》

授業内情報共有20%(①④)、医療英語小テスト30%(①②③)、課題(レビュー、プレゼンテーション、レポート)50%(①②③④)

《テキスト》

『Because We Care, 2nd Ed』（井上真紀、伊原正著 センゲージラーニング株式会社 2020年）

《参考図書》

適宜紹介

《履修上の留意点》

データベース等による文献検索や文献の引用方法を理解しておいてください。本授業は学修コミュニティとし、主体的・対話的で深い学びを実現するよう協働することを全員に求めます。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 文献検索	シラバス確認（授業の進み方、評価方法、評価基準） グループ・担当分担、自己分析、目標設定 データベースや電子ジャーナル・グーグルスカラーを活用し縦横に文献を検索し、テーマをしぼる 授業外学習：多読多聴・課題（約2時間／週）	川崎真理子
2	医療英語 論文 (Body parts, musculoskeletal system, abstract, Introduction)	医療英語(Body parts, musculoskeletal system) 概要、背景や目的を読む ムーブ・表現を確認する 授業外学習：多読多聴・課題（約4時間／週）	川崎真理子
3	医療英語 論文 (cardiovascular, respiratory,method,results)	医療英語(Cardiovascularand respiratory systems) 方法と結果を読む ムーブ・表現を確認する レビュー論文を選ぶ 授業外学習：多読多聴・課題（約4時間／週）	川崎真理子
4	医療英語 論文 (digestive system, brain, conclusion, discussion)	医療英語(Digestive system, brain) 結論と考察を読む ムーブ・表現を確認する 授業外学習：多読多聴・課題（約4時間／週）	川崎真理子
5	医療英語 EBP (ESP, Urinary, reproduction, endocrine)	医療英語(Urinary, reproductive, endocrine systems) EBP レビュー中間発表 授業外学習：多読多聴・課題（約4時間／週）	川崎真理子

科目名	医療英語	授業科目番号	1102110
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	医療英語 PBL (Mental disorder, cancer, PBL, Critical thinking)	医療英語(Mental disorders, cancer) PBL(仮題解決型学習) 授業外学習:多読多聴・課題(約4時間/週)	川崎真理子
7	医療英語 (Presentation)	医療英語(BLS and ALS) 授業外学習:多読多聴・課題(約4時間/週)	川崎真理子
8	課題発表 (Presentation, Discussion)	発表を行い、意見交換を行う 最終課題 授業外学習:多読多聴・課題(約4時間/週)	川崎真理子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	保健医療福祉行政論			授業科目番号	2210020
担当者氏名	五十嵐 直子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

保健医療福祉行政論は、公衆衛生看護を实践するための基礎となるとともに、地域で包括的に住民をケアするための基礎となる科目でもあり、保健師にとっても看護師にとっても必要な科目である。そこで、地域住民がより良い暮らしを営むことを支援する基盤となる保健医療福祉の歴史を理解することから始まり、制度と行政の仕組みを理解する。また、現在の日本の保健医療福祉行政の現状を知り、評価と課題を抽出し、対策を考える。

《授業の到達目標》

1. 保健医療福祉行政の根拠、公衆衛生の定義を説明できる。
2. 保健医療福祉行政のしくみと保健師の役割について説明できる。
3. 保健医療福祉計画の経過と評価についてそのプロセスを説明できる。
4. 日本の保健医療福祉行政の現状から課題と対策を考察できる。

《評価の方法》

学習態度10%、授業中の発言、態度をもとに評価する（到達目標の1．2．3．4）
定期試験90%（到達目標の1．2．3）

《テキスト》

『標準保健師講座 別巻[1] 保健医療福祉行政論』（藤内修二著 医学書院 2021年）
『国民衛生の動向 2022/2023』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2022年）
適宜ハンドアウト配布

《参考図書》

《履修上の留意点》

保健医療福祉行政を理解することは、地域における保健師業務のみならず臨床で看護を含めた看護職全体に必要な不可欠であり、広い視野と幅広い分野で活躍出来る看護職として行政の仕組みを理解することは重要である事を認識し履修すること。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	保健医療福祉行政の基本となるもの (日本国憲法第25条、健康の定義、公衆衛生、ヘルスプロモーション、ソーシャルキャピタル)	ガイダンス 保健医療福祉行政の根拠、公衆衛生の理念と戦略について理解する。 (予習)教科書P2～18を読む。(60分) 自分にとっての健康の意味を考えてみる (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
2	保健医療福祉制度の変遷 ー公衆衛生の基盤形成 (英国で始まった近代公衆衛生の歴史と日本の近代公衆衛生の歴史)	公衆衛生の歴史から公衆衛生の本質と現在の施策の連続性を学ぶ。 (予習)教科書p22～34を読む。(60分) (復習)ポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
3	保健医療福祉制度の変遷 保健医療福祉行政の動向(平成以降) (保健所法から地域保健法へ) 各分野における政策の転換と充実1	保健所法から地域保健法への改正とその内容。少子化対策の進展。平成以降の保健医療福祉行政について各分野における政策の転換について学ぶ。(生活習慣病対策、母子保健対策、児童虐待防止対策) (予習)教科書P35～43を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
4	保健医療福祉制度の変遷 保健医療福祉行政の動向(平成以降) 各分野における政策の転換と充実2	平成以降の保健医療福祉行政について各分野における政策の転換について学ぶ。(障害者(児)対策、高齢者保健福祉対策、認知症対策、精神保健対策、自殺対策・依存症対策) (予習)教科書P43～51を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
5	保健医療福祉制度の変遷 保健医療福祉行政の動向(平成以降) 各分野における政策の転換と充実2(感染症法、難病対策、災害対策)	第4回に続いて各分野における政策の転換について学ぶ。 (歯科口腔保健対策、感染症対策、がん対策、難病対策、災害対策) (予習)教科書P51～58を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子

科目名	保健医療福祉行政論	授業科目番号	2210020
担当者氏名	五十嵐 直子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	国・都道府県・市区町村の行政のしくみと役割 行政における保健師の役割と活動 (保健行政、保健師活動指針、統括保健師)	保健行政の体系と役割の理解及び、様々な行政部門で働く保健師の業務や体制を理解する。 (予習) 教科書P60～78を読む。(60分) (復習) 講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
7	保健医療福祉の財政 公衆衛生に関する国際的な活動 (財政、予算、国際協力)	国と地方公共団体の財政のしくみについて理解する。 保健医療分野の国際協力のしくみについて理解する。 (予習) 教科書P79～92を読む。(60分) (復習) 講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
8	地域保健行政と保健師活動 地域保健体系における都道府県と市町村の役割分担と保健師活動 (保健所都市町村保健センター)	地域保健行政における公的機関 都道府県と市町村の役割分担と保健師活動、関係機関との連携について学ぶ (予習) 教科書96～121を読む。(60分) (復習) 講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
9	社会保障制度と政策 社会保障制度の理念としくみ 医療制度と政策 (社会保障の法規、医療制度と医療保険のしくみ)	社会保障制度の概念・目的・制度体系について学ぶ。 医療制度と医療保険のしくみについて理解する。 (予習) 教科書P124～139を読む。(60分) (復習) 講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
10	社会保障制度と政策 医療制度としくみ医療提供体制の管理と整備 (医療提供体制、医療安全、医療計画、地域医療構想)	医療対策と医療提供体制について学ぶ。 医療安全のための対策について学ぶ。 (予習) 教科書P139～153を読む。(60分) (復習) 講義内容をノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
11	介護保険制度 (介護保険、介護保険サービス、地域包括支援センター 地域支援事業、保健師の役割)	社会保障制度としての介護保険制度について学ぶ。 介護保険制度の概要、介護保険サービスの内容、地域包括ケアシステム等と保健師の役割。 (予習) 教科書P154～167を読む。(60分) (復習) 講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
12	社会保障・社会福祉の制度 (公的年金、公的扶助、児童福祉)	社会保障制度のうち公的年金制度、労働保険について学ぶ。 社会福祉の制度について、生活保護、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉の概要について学ぶ。 (予習) 教科書P168～188を読む。(60分) (復習) 講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
13	保健医療福祉の計画と評価 地方公共団体の保健医療福祉計画 保健計画の策定プロセス (基本構想と分野別計画、保健計画策定への住民参加)	地方公共団体の保健医療福祉計画の種類とその目的について理解する。 地方公共団体における保健計画策定のプロセスについて学ぶ。 (予習) 教科書P190～212を読む。(60分) (復習) 講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
14	保健医療福祉の計画と評価 保健計画の策定プロセス 保健計画の推進と評価 (目標値の設定方法、エンパワメント、住民への周知、評価の実際)	13回に続いて保健計画のプロセスについて学ぶと共に保健計画の推進と評価について学ぶ。 (予習) 教科書P212～227を読む。(60分) (復習) 講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
15	演習：保健事業の立案プロセスを学ぶ 保健医療福祉行政論のまとめ	事例から保健事業の実際についてプロセスを学ぶ。 授業全体について振り返り内容をまとめる。 (予習) 教科書P228～248を読む。事例について自分ならどうするか考えてみる。(60分) (復習) 事例についてもう一度講義内容に沿ってまとめる。(60分)	五十嵐直子

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護倫理			授業科目番号	2311060
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○1-3 他者の自己決定を擁護する力			

《授業の概要》

看護倫理の歴史の変遷から倫理的課題と概念を理解し、倫理の原則、倫理規定から看護職者に求められる倫理観について学習する。また、医療・看護の場で直面する倫理的問題やジレンマについて理解を深め、その問題解決のために活用できる法的仕組みや意思決定理論を学習する。また、事例を用いて倫理的な問題・葛藤についてグループワークで検討し、その患者にとって最も適切であると判断・行動できるための理論的根拠を考察し、看護職者として責務が果たせる基礎的能力を身につける。

《授業の到達目標》

- 1. 看護倫理の基礎が理解できる
- 2. 徳の倫理・原則の倫理・ケアの倫理について理解し、看護倫理の重要な用語について説明できる
- 3. 倫理的問題・ジレンマに対して倫理的意思決定のステップを用いて学習しグループワークにおいて検討できる

《評価の方法》

定期試験70%(達成目標1.2.3) 倫理的意思決定のステップ（グループワークの取り組み、記録物）30%（到達目標1.3）

《テキスト》

『看護倫理 良い看護・よい看護師への道しるべ 改訂版第3版』（小西恵美子編 南江堂 2021年）
『看護職の基本的責務』（手島恵 監修 日本看護協会出版会 2024年）

《参考図書》

『看護実践の倫理』（サラ T. フライ 他著 日本看護協会出版会 2010年）

《履修上の留意点》

授業中に対応する教科書のページを熟読しておくこと。倫理はそれぞれの価値の違いを知る学問でもあるため、積極的に意見交換ができることを望みます。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護倫理についての基礎知識	科目のガイダンス（学習目的・到達目標・学習方法・受講上の注意など） 看護倫理の基礎知識と歴史の変遷 （予習）指定教科書第1章を熟読する（約30分） （復習）受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく（60分）	樋本まゆみ
2	看護倫理のアプローチ	徳の倫理・原則の倫理・ケアの倫理、看護職の倫理綱領について事例を交えながら説明されたことを理解する。 （予習）指定教科書第2章を熟読する（約30分） （復習）受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく（60分）	樋本まゆみ
3	看護倫理に関係する重要な言葉	倫理に関係する重要な言葉（和、コンパッション、共感、道徳的感受性と道徳的レジリエンスなど）について理解する。 （予習）指定教科書第3章を熟読する（約30分） （復習）受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく（60分）	樋本まゆみ
4	看護倫理に関係する重要な言葉	倫理に関係する重要な言葉を理解する。（対象者を中心とした看護、患者の尊厳、看護アドボカシー、協力と協働、パターナリズムなど） （予習）指定教科書第3章を熟読する（約30分） （復習）受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく（60分）	樋本まゆみ
5	看護職の責任－倫理的責任と法的責任、	看護職の責任－倫理的責任と法的責任について理解する。 （予習）指定教科書P109～P130を熟読する（約30分） （復習）受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく（60分）	樋本まゆみ

科目名	看護倫理	授業科目番号	2311060
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	事例検討	倫理的意決定のステップと事例検討、原則の倫理や看護職の倫理綱領について理解する。 (予習) 指定教科書第4章を熟読する(約30分) (復習) 受講後、グループワークでまとめたステップシートと根拠をまとめる(60分)	樋本まゆみ
7	事例検討と発表	倫理的意決定のステップと事例検討、原則の倫理や看護職の倫理綱領に基づく検討を行う。 (予習) ステップシートの作成を行う(約30分) (復習) グループワークと発表の振り返りとまとめる(60分)	樋本まゆみ
8	事例発表と全体のまとめ	倫理的意決定のステップと事例検討、原則の倫理や看護職の倫理綱領に基づく検討の発表と全体のまとめ (予習) ステップシート完成させる(約30分) (復習) ステップシートについて根拠をまとめる。(60分)	樋本まゆみ
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	老年看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312100
担当者氏名	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、本庄 幸代			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

高齢者のあらゆる健康レベルや多様な療養・生活の場に応じた看護を展開するために、事例を用いて、生活行動モデルに基づく看護過程の展開を学ぶ。高齢者の特徴である加齢に伴う諸機能の変化、複数の疾患や薬剤による影響、環境変化から日常生活に及ぼす影響を捉え、目標志向型思考により高齢者の望む生活の実現にむけた看護を学ぶ。また、老年看護に必要なコミュニケーション技法および日常生活援助技術を体験型の演習で学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 体験型演習を通して、高齢者の心身機能の変化を捉え、必要な看護ケアを説明できる。 2. 高齢者の状態をアセスメントし、生活機能を整える看護を計画できる。 3. 認知症をもつ高齢者のコミュニケーション方法を述べられる。 4. 高齢者の多様な生活・療養の場における看護を述べられる。 5. 高齢者のリスクマネジメントについて述べられる。 6. エンドオブライフケアで求められる老年看護の役割を述べられる。

《評価の方法》

課題レポート・小テスト50%(到達目標1.2.3)、定期試験50%(到達目標3.4.5.6)

《テキスト》

- 『系統看護学講座 老年看護学』（北川公子 他著 医学書院 2018年）【2年次購入済】
- 『系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著 医学書院 2018年）【2年次購入済】

《参考図書》

- 『ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程 生活機能に焦点をあてたアセスメント 第2版』（奥宮暁子編著 医歯薬出版 2019年）
- 『生活機能からみた老年看護過程 第4版』（山田律子他編集 医学書院 2020年）

《履修上の留意点》

シラバスに基づきテキストを中心に予習をして臨み、配布されたプリント及び授業時に提示された参考文献等を参照しながら提示された復習すること。なお、課題レポートの提出期限や提出場所については、授業で説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス (高齢者の特徴を生かした看護過程、生活行動モデルによる看護過程、目標志向型思考)	授業ガイダンス ・高齢者の特徴をいかした看護過程 ・生活行動モデルによる看護過程 ・目標志向型思考 ・演習事例の看護過程の展開方法 (予習) 高齢者の特徴をいかした看護過程、看護過程の展開 テキスト1.pp408～410を読む(30分) (復習) 本日の授業内容の整理(30分)	角山裕美子
2	高齢者疑似体験 (高齢者疑似体験)	《高齢者疑似体験》 演習① ・高齢者体験グッズを着用した高齢者疑似体験 (予習) 既習の高齢者に関する知識の復習(30分) (復習) 演習後、課題レポート①にまとめる(30分)	角山裕美子 青柳 直樹 多田 健一 本庄 幸代
3	看護過程の展開 (事例展開)	《事例展開》 演習② ・介護老人保健施設に入所している高齢者の事例展開についての説明 ・介護老人保健施設に入所している高齢者の小グループでの事例展開(アセスメント) (予習) 事例を読み込んでおく(30分) (復習) 生活機能の観点からアセスメントをする(30分)	角山裕美子 青柳 直樹 多田 健一 本庄 幸代
4	看護過程の展開 (事例展開)	《事例展開》 演習③ ・介護老人保健施設に入所している高齢者の小グループでの事例展開(アセスメント/全体像) (予習) アセスメントした内容から、不明な点を明らかにしておく(30分) (復習) 生活機能の観点からアセスメントした内容をもとに、全体像を捉える(30分)	角山裕美子 青柳 直樹 多田 健一 本庄 幸代
5	看護過程の展開 (事例展開)	《事例展開》 演習④ ・介護老人保健施設に入所している高齢者の小グループでの事例展開(アセスメント/全体像) (予習) 捉えた全体像から看護課題を見出す(30分) (復習) 捉えた全体像から、優先順位を見出す(30分)	角山裕美子 青柳 直樹 多田 健一 本庄 幸代

科目名	老年看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312100
担当者氏名	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、本庄 幸代		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	看護過程の展開 (事例展開)	《事例展開》 演習⑤ ・介護老人保健施設に入所している高齢者の小グループでの事例展開(看護計画) (予習) 抽出された看護課題から看護目標を立てる(30分) (復習) 具体的な看護計画となっているか確認する(30分)	角山裕美子 青柳 直樹 多田 健一 本庄 幸代
7	看護過程の展開 (事例展開)	《事例展開》 演習⑥ ・介護老人保健施設に入所している高齢者の小グループでの事例展開(看護計画) (予習) 具体的な看護計画となっているか確認する(30分) (復習) 個別性のある看護計画となっているか確認する(30分)	角山裕美子 青柳 直樹 多田 健一 本庄 幸代
8	認知症高齢者とのコミュニケーション(認知症高齢者、コミュニケーション技術)	《講義》 ・認知症高齢者のコミュニケーション能力 ・認知症高齢者とのコミュニケーション方法 ・小テスト (予習) テキストや参考書で認知症に関する知識を復習する(30分) (復習) 授業資料をもとに復習する(30分)	角山裕美子
9	認知症高齢者とのコミュニケーション(認知症高齢者、コミュニケーション技術)	《演習》 演習⑦ ・認知症高齢者とのコミュニケーションの実際 (予習) テキストや参考書で認知症に関する知識を復習する(30分) (復習) 授業資料をもとに復習する(30分)	角山裕美子
10	高齢者の食生活を支える看護技術 (口腔ケア、ポジショニング)	《演習》 演習⑧ ・高齢者の食生活を支える口腔ケア、ポジショニングの実際をグループ単位で体験型演習で学ぶ。 (予習) 事前課題に取り組む(30分) (復習) 事後課題に取り組む(30分)	角山裕美子 青柳 直樹 多田 健一 本庄 幸代
11	高齢者の排泄を支える看護技術 (陰部洗浄) (おむつ交換)	《演習》 演習⑨ ・高齢者の排泄を支える看護技術であるおむつ交換、陰部洗浄の実際をグループ単位で体験型演習で学ぶ。 (予習) 事前課題に取り組む(30分) (復習) 事後課題に取り組む(30分)	角山裕美子 青柳 直樹 多田 健一 本庄 幸代
12	多様な生活・療養の場での老年看護 (介護老人保健施設) (特別養護老人ホーム) (地域密着型サービス) (介護予防)	外部講師による講義 ・保健医療福祉施設での老年看護 ・居住施設での老年看護 ・地域に暮らす高齢者の介護予防 (予習) テキスト1.pp365～373を読む(30分) (復習) 本日の授業内容の整理(30分)	角山裕美子
13	人生100年時代に求められる老年看護 (最新の老年看護)	老人看護専門看護師(GCNS)による講義 ・老年看護エキスパートによる実践事例の紹介 ・老年看護の最新技術 ・次世代に求められる老年看護の役割 (予習) GCNSの役割について調べておく(30分) (復習) 本日の授業内容の整理(30分)	角山裕美子
14	高齢者のリスクマネジメント (医療安全) (救命救急) (災害)	・高齢者と医療安全 ・高齢者と救命救急 ・高齢者と災害 (予習) テキスト1.pp388～406を読む(30分) (復習) 本日の授業内容の整理(30分)	角山裕美子
15	エンドオブライフケア (意思決定支援) (終末期医療) (多職種連携)	・高齢者にとっての死、高齢者の意思決定支援、高齢者の終末期医療 ・多職種連携による生を支える援助 (予習) テキスト1.p 348～358を読む(30分) (復習) 今までの学習から老年看護の役割をまとめる(30分)	青柳 直樹

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312150
担当者氏名	沼野 博子、伊藤 文子、船岡 未恵、永谷 智恵			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

子ども・家族の健康問題を解決するために、安全・安楽を保証しながら、子どもの特性に基づいた看護技術を提供できることを目指す。「子ども・家族との関係形成」「生活援助技術」「診療に伴う援助技術」「看護過程の展開」を小グループの演習形式で実践的に学ぶ。事例を通して、一人の人として子どもを理解し尊重する看護、発達段階や子ども・家族の状況に応じた看護についてグループディスカッションを行い理解を深める。

《授業の到達目標》

1. 小児の特徴をとらえ、病態・治療、成長・発達、生活、家族のアセスメントから子どもと家族の看護を導き出すことができる
2. グループ活動を通して、主体的に学習に取り組み、互いに協力し合いながら、積極的に課題を達成することができる
3. 小児看護に必要な看護援助技術を根拠に基づき実践できる

《評価の方法》

提出物（事前・事後学習課題、演習記録）（80％）（到達目標1・2・3）

グループワークの参加度、役割達成度（20％）（到達目標2）

《テキスト》

1. 『ナースング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術』（中野綾美編 メディカ出版 2023年）
2. 『発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程 第2版』（荃津智子 編著 医歯薬出版 2021年）

《参考図書》

『写真でわかる小児看護技術 アドバンス』（山元恵子監修 インターメディカ 2022年）

《履修上の留意点》

テキスト、小児看護学概論・小児看護援助論Ⅰのテキスト・講義資料を精読し、事前学習課題に取り組んだ上で受講すること。課題は「ワークブック」として提示する。疑問点は演習中に質問し、理解を深めること。小児看護技術や看護過程の演習を含む授業であり、実際に参加することが重要である。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	小児看護学援助論Ⅱのオリエンテーション：講義 看護過程・演習の概要と進め方 (ゴードンの機能的健康パターン)	○オリエンテーション 看護過程演習の目的・目標・進め方 各記録用紙の記載方法、事例の提示、演習グループの発表 看護技術演習の目的・目標・進め方 【事後課題】事例の情報を読み、担当するアセスメント項目に関連する情報をアセスメント用紙に書き出す、わからない用語等を調べる（120分）	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
2	看護技術演習① 身体計測、採尿 経口与薬、プリパレーション (小児の与薬の特徴、病気の理解、子どもの主体性、正確性・安全安楽への配慮)	Aグループ 身体計測、採尿 【事前・事後課題】ワークブック（事前課題90分、事後課題30分） Bグループ 経口与薬、プリパレーション 【事前・事後課題】ワークブック（事前課題90分、事後課題30分）	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
3	看護技術演習② 身体計測、採尿 経口与薬、プリパレーション (小児の与薬の特徴、病気の理解、子どもの主体性、正確性・安全安楽への配慮)	Aグループ 身体計測、採尿 【事前・事後課題】ワークブック（事前課題90分、事後課題30分） Bグループ 経口与薬、プリパレーション 【事前・事後課題】ワークブック（事前課題90分、事後課題30分）	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
4	看護技術演習③ 身体計測、採尿 経口与薬、プリパレーション (小児の与薬の特徴、病気の理解、子どもの主体性、正確性・安全安楽への配慮)	Aグループ 経口与薬、プリパレーション 【事前・事後課題】ワークブック（事前課題90分、事後課題30分） Bグループ 身体計測、採尿 【事前・事後課題】ワークブック（事前課題90分、事後課題30分）	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
5	看護技術演習④ 身体計測、採尿 経口与薬、プリパレーション (小児の与薬の特徴、病気の理解、子どもの主体性、正確性・安全安楽への配慮)	Aグループ 経口与薬、プリパレーション 【事前・事後課題】ワークブック（事前課題90分、事後課題30分） Bグループ 身体計測、採尿 【事前・事後課題】ワークブック（事前課題90分、事後課題30分）	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵

科目名	小児看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312150
担当者氏名	沼野 博子、伊藤 文子、船岡 未恵、永谷 智恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	看護技術演習⑤ バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 末梢静脈内点滴 (小児の点滴管理の特徴、安全安楽、シミュレーション)	Aグループ バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分) Bグループ 末梢静脈内点滴 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分)	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
7	看護技術演習⑥ バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 末梢静脈内点滴 (小児の点滴管理の特徴、安全安楽、シミュレーション)	Aグループ バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分) Bグループ 末梢静脈内点滴 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分)	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
8	看護技術演習⑦ バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 末梢静脈内点滴 (小児の点滴管理の特徴、安全安楽、シミュレーション)	Aグループ 末梢静脈内点滴 【事前・事後学習課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分) Bグループ バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 【事前・事後学習課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分)	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
9	看護技術演習⑧ バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 末梢静脈内点滴 (小児の点滴管理の特徴、安全安楽、シミュレーション)	Aグループ 末梢静脈内点滴 【事前・事後学習課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分) Bグループ バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 【事前・事後学習課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分)	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
10	事例に基づく看護過程演習① 情報整理、アセスメント (アセスメントパターンを用いた情報整理、根拠に基づいたデータ解釈・分析)	情報分析、アセスメント 【事前課題】アセスメント用紙に情報を整理し、アセスメントを記載して事例を理解し、グループワークに活用できるようにする(90分) 【事後課題】演習をふまえ事前課題の修正をする(30分)	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
11	事例に基づく看護過程演習② 情報整理、アセスメント (アセスメントパターンを用いた情報整理、根拠に基づいたデータ解釈・分析)	情報分析、アセスメント 【事前課題】アセスメント用紙に情報を整理し、アセスメントを記載して事例を理解し、グループワークに活用できるようにする(90分) 【事後課題】演習をふまえ事前課題の修正をする(30分)	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
12	事例に基づく看護過程演習③ 関連図、問題の明確化 (成長発達、家族、生活の変化との関連性、対象の強み)	関連図、問題の明確化 【事前課題】関連図・看護問題の明確化を記載して事例を理解し、グループワークに活用できるようにする(90分) 【事後課題】演習をふまえ事前課題の修正をする(30分)	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
13	事例に基づく看護過程演習④ 関連図、問題の明確化 (成長発達、家族、生活の変化との関連、対象の強み)	関連図、問題の明確化 【事前課題】関連図・看護問題の明確化を記載して事例を理解し、グループワークに活用できるようにする。(90分) 【事後課題】演習をふまえ事前課題の修正をする(30分)	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
14	事例に基づく看護過程演習⑤ 看護計画立案 (RUMBAの法則、対象の個別性、根拠に基づく具体的援助)	看護計画立案 【事前課題】看護計画記載して事例を理解し、グループワークに活用できるようにする(90分)	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
15	事例に基づく看護過程演習⑥ 看護計画発表 (主体的参加、フィードバック、役割責任)	看護計画発表 グループで作成した看護計画について発表し全体討議 【事後課題】演習をふまえ事前課題の修正をする(30分)	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵

科目名	母性看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312190
担当者氏名	佐藤 初美、森 美由紀、太田 操			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

妊娠・出産・育児期の健康問題や家族支援にかかわる看護援助の方法論をもとに、母子の事例を用いた看護過程の学習と看護技術を学ぶ。褥婦の全身・生殖器の復古と回復を助けるための看護援助、母親・家族の役割適応を支援する看護援助を学ぶとともに、新生児の出生直後から胎外生活への移行や退院までのウェルビーイングを助長する看護援助、退院後の生活指導に關する看護援助について学ぶ。

《授業の到達目標》

母性看護学実習に向けて、

1. 臨地実習で看護実践するための基礎である看護過程の展開（情報整理、アセスメント、看護診断、看護計画）を修得することができる。
2. 臨地実習で求められるケア技術を演習により習得できる。

《評価の方法》

看護過程演習50%：詳細は演習ガイド評価表-1参照（到達目標1）

技術演習50%：事前・事後レポート15%、授業態度15%、技術試験20%（到達目標2）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著 医学書院 2021年）
2. 『新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子 他著 インターメディカ 2020年）
3. 『ウェルネスの視点にもとづく母性 看護過程第4版』（太田操編著 医歯薬出版 2024年）

《参考図書》

1. 『パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護』（堀内成子編 照林社 2017年）
2. 『病気がみえる vol.10 産科』（井上裕美 他監修 Medic Media 2018年）

《履修上の留意点》

- ・母性看護援助論Ⅰで学んだ知識等を想起し母性看護援助論Ⅱでさらに知識・技術を習得し臨地実習に臨くことができる。
- ・提示された事前学習をした上で授業に参加すること。（看護過程は毎回60分～90分の予習・復習、技術演習は毎回事前課題60分～90分、事後課題60分程度を要する） ・記録の提出は期日を厳守すること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	・母性看護援助論Ⅱガイダンス ・看護過程1 （母性看護過程、ウェルネス看護診断、短期目標と長期目標、セルフケア）	母性看護援助論Ⅱで修得する知識・技術についての概要を理解できる。母性看護学実習に必要な看護過程と看護実践力を育成するための知識と方法の理解を図る。最初に母性看護における看護過程（ウェルネス看護診断を含む）とは何かを学習し、実習での情報収集・アセスメント・看護診断・看護計画に活用できるようになる。 予習：援助論Ⅰの講義資料やテキストを復習しておく 復習：配布資料による復習	太田操 佐藤初美 森美由紀
2	看護過程2 （産褥・新生児への影響要因、退行性変化）	(1)事例に則って、基礎情報から産褥・新生児期に与える影響についてアセスメントできる (2)(1)を考慮しながら退行性変化(褥婦の全身の復古、生殖器の復古)について情報収集・アセスメント・アセスメント結論を導くことができる 予習：援助論Ⅰで履修した産褥新生児期の看護を参考に事例の看護過程を展開しておく 復習：事例の看護過程の課題をすすめる	太田操 森美由紀 佐藤初美
3	看護過程3 （進行性変化、母乳育児）	(3) 進行性変化(乳房の変化、母乳育児の状況)について(1)を考慮しながら情報収集・アセスメント・アセスメント結論を導くことができる。 予習：援助論Ⅰで履修した産褥進行性変化を参考に事例の看護過程を展開しておく 復習：事例の看護過程の課題をすすめる	太田操 森美由紀 佐藤初美
4	看護過程4 （新生児、胎外生活適応、母児相互作用、親性形成、子育てサポート）	(4) 新生児の健康状態、母（父）児相互作用や親性の形成・子育てサポート体制について(1)を考慮しながら情報収集・アセスメント・アセスメント結論を導くことができる。 予習：援助論Ⅰで履修した新生児期の看護、親性、子育てサポートを参考に事例の看護過程を展開しておく 復習：事例の看護過程の課題をすすめる	太田操 森美由紀 佐藤初美
5	看護過程5 （アセスメント結論、統合図、ウェルネス看護診断、看護計画の立案）	(5) (2)～(4)のアセスメント結論から統合図を作成し、看護診断を導くことができる。また、統合図から看護診断の優先度を根拠をもって導くことができる。確定した看護診断から1つを選択し、看護計画（短期目標および達成日、具体策：OP，TP，EP）を立案する。 予習：配布された看護過程の資料を読み本日の事例の看護過程を展開しておく 復習：事例の看護過程の課題をすすめる	太田操 森美由紀 佐藤初美

科目名	母性看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312190
担当者氏名	佐藤 初美、森 美由紀、太田 操		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	技術演習1：妊娠期および分娩期 (妊婦健康診査、レオポルド触診、最良聴取部位、浮腫、分娩監視装置、産痛緩和)	①妊娠期の支援(妊婦健康診査技術支援)：レオポルド触診(最良聴取部位の確認)・胎児心拍数聴取・浮腫の観察を学ぶ。 ②分娩期の支援：分娩監視装置装着と図の判断・産痛緩和・呼吸法に関する技術をDVD視聴で学ぶ。 予習：技術演習の事前課題①② 復習：技術演習①②の事後課題を提出	佐藤初美 森美由紀 太田操
7	技術演習2：産褥期1-1 (退行性変化、進行性変化、母乳育児支援、ポジショニング、ラッチオン)	③子宮復古への支援(子宮底・硬度・悪露の観察とアセスメントなど)の実際を学ぶ。 ④母乳育児支援(乳房の観察、ポジショニング・ラッチオンの観察とアセスメント)の実際を学ぶ。 予習：技術演習③④の事前課題 復習：技術演習③④の事後課題の提出	佐藤初美 森美由紀 太田操
8	技術演習3：産褥期1-2 (退行性変化、進行性変化、母乳育児支援、ポジショニング、ラッチオン)	③子宮復古への支援(子宮底・硬度・悪露の観察とアセスメントなど)の実際を学ぶ。 ④母乳育児支援(乳房の観察、ポジショニング・ラッチオンの観察とアセスメント)の実際を学ぶ。 予習：技術演習③④の事前課題 復習：技術演習③④の事後課題の提出	佐藤初美 森美由紀 太田操
9	技術演習4：新生児1-1 (新生児の観察、バイタルサイン測定、沐浴の可否、新生児のケア)	⑤新生児の観察(バイタル・黄疸・体重測定)の実際を学び、沐浴の可否を考えることができる。 ⑥新生児のケア技術(抱き方、着替え、おむつ交換、排気の方法など) 予習：技術演習⑤⑥の事前課題 復習：技術演習⑤⑥の事後課題の提出	佐藤初美 森美由紀 太田操
10	技術演習5：新生児1-2 (新生児の観察、バイタルサイン測定、沐浴の可否、新生児のケア)	⑤新生児の観察(バイタル・黄疸・体重測定)の実際を学び、沐浴の可否を考えることができる。 ⑥新生児のケア技術(抱き方、着替え、おむつ交換、排気の方法など) 予習：技術演習⑤⑥の事前課題 復習：技術演習⑤⑥の事後課題の提出	佐藤初美 森美由紀 太田操
11	技術演習6：新生児2-1 (新生児の清潔支援、沐浴) 看護過程6 (グループワーク)	⑦新生児の清潔への支援(沐浴)の実施 残りのグループ：看護過程の完成に向けて学習を続ける。また、最終日のグループ発表に向けて準備する。 予習：技術演習⑦の事前課題・沐浴DVDの視聴 復習：技術演習⑦の事後課題を提出 残りのグループは看護過程の課題をすすめる	佐藤初美 森美由紀 太田操
12	技術演習7：新生児2-2 (新生児の清潔支援、沐浴) 看護過程6 (グループワーク)	⑦新生児の清潔への支援(沐浴)の実施 残りのグループ：看護過程の完成に向けて学習を続ける。また、最終日のグループ発表に向けて準備する。 予習：技術演習⑦の事前課題・沐浴DVDの視聴 復習：技術演習⑦の事後課題を提出 残りのグループは看護過程の課題をすすめる	佐藤初美 森美由紀 太田操
13	技術演習8：新生児2-3 (新生児の清潔支援、沐浴) 看護過程6 (グループワーク)	⑦新生児の清潔への支援(沐浴)の実施 残りのグループ：看護過程の完成に向けて学習を続ける。また、最終日のグループ発表に向けて準備する。 予習：技術演習⑦の事前課題・沐浴DVDの視聴 復習：技術演習⑦の事後課題を提出 残りのグループは看護過程の課題をすすめる	佐藤初美 森美由紀 太田操
14	技術演習9：産褥期 (背部マッサージ、産褥体操)	⑧産褥期ケアの実際：ケア計画案(背部マッサージ、産褥体操など)作成、実施 予習：技術演習⑧の事前課題 復習：技術演習⑧の事後課題の提出	佐藤初美 森美由紀 太田操
15	看護過程7 (看護過程の発表)	これまで行ってきた看護過程・計画の発表をグループ毎に行う。 予習：グループで立案した看護過程を発表できるように準備 復習：展開した看護過程を完成させ提出	太田操 森美由紀 佐藤初美

科目名	精神看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312230
担当者氏名	田邊 要補、板山 稔、藤田 勇			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

精神に健康問題を持つ人とその家族についての事例を通して、入院から社会生活までの看護を理解するとともに、精神に特徴的な疾患や症状をもつ人に対する具体的な看護援助方法を学習する。さらに地域で暮らす精神に障がいをもつ人の看護についても理解する。

《授業の到達目標》

1. 精神に特徴的な疾患や症状に応じた看護方法を理解できる。
2. 精神看護学で看護過程を展開する方法を理解できる。
3. 精神に障がいのある方の理解を深める。

《評価の方法》

定期試験50%（到達目標1. 3）、事例展開（個人）30%（到達目標1. 2. 3）、事例展開（グループ）20%（到達目標1. 2. 3）で算出し、60点以上を合格とする。

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 精神看護学① 精神看護の基礎』（武井麻子 他著 医学書院 2021年）
2. 『系統看護学講座 精神看護学② 精神看護の展開』（武井麻子 他著 医学書院 2021年）

《参考図書》

参考書：『精神科リハビリテーション看護（精神看護エクスペール）』（坂田三允 総編集 中山書店 2009年）『これからの精神看護学』（森千鶴著 ピラールプレス 2016年） 配布資料：授業に関連したDVD

《履修上の留意点》

シラバスをふまえ、授業で取り上げるテーマについて、テキストを中心に予習して授業に臨むこと。配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	統合失調症患者の症状アセスメント うつ病患者の症状アセスメント (統合失調症、うつ病、アセスメント)	DVDの視聴内容をもとに症状をアセスメントする。 (予習) 統合失調症、うつ病およびアセスメントの視点について予習してくる(60分)。 (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること(60分)。	田邊 要補
2	統合失調症患者の疑似体験 (患者・看護師体験)	VRをもとに、どのような対応をするか考える。 (予習) 統合失調症患者のケアについて予習してくる(60分)。 (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること(60分)。	藤田 勇 田邊 要補 板山 稔
3	事例を用いた看護過程の展開 ① 個人作業による情報の整理 (統合失調症、うつ病、情報の整理)	統合失調症、うつ病の患者の事例を通して、看護過程の展開において必要となる対象者の情報を整理する。 実習で用いる記録用紙を使用し、説明(講義)と個人作業による演習を交互に行う。 (予習) 事例を読み、分からない用語等を調べておく(60分)。 (復習) 記録用紙に沿って、情報の整理を完成させる(60分)。	板山 稔
4	事例を用いた看護過程の展開 ② 個人作業によるアセスメント (アセスメント、セルフケアモデル)	統合失調症、うつ病の患者の事例を通して、得られた情報をもとに、個人でアセスメント記録用紙にそって分析・解釈を行う。 (予習) 精神看護援助論Ⅰの第2回「精神看護におけるアセスメント方法」の資料を読んでおく(60分)。 (復習) 記録用紙にそって記入を進め、期限までに提出する(提出内容と方法については講義内で別途指示する)(60分)。	板山 稔
5	精神科臨床に用いられる尺度など (GAF、PANSS、ハミルトンうつ病評価尺度、CP換算値など)	精神科臨床で用いられる代表的な尺度について理解する。また、CP換算値についても理解する。 (予習) 精神科臨床で用いられる代表的な尺度について各自で調べてくる(60分)。 (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること(60分)。	田邊 要補

科目名	精神看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312230
担当者氏名	田邊 要補、板山 稔、藤田 勇		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	プロセスレコードを用いたカンファレンスの体験 (プロセスレコード、カンファレンス、グループリフレクション)	各自が記載したプロセスレコードを用いてグループメンバーと振り返り、自己の感情・思考と言動との不一致に気づき、対象との対人関係で生じている事象や自己の対人関係の特徴などについて理解を深める。 (予習) プロセスレコードを作成し、事前に提出しておく(提出方法については別途指示する)(60分)。 (復習) プロセスレコードの振り返りシートを記入する(60分)。	板山 稔
7	精神科における治療的技法の体験① 元気回復行動プラン (自分自身の取り扱い説明書)	各自のストレス解消法を基に元気回復行動プランを理解する。 (予習) 自分自身のストレス解消法をまとめてくる(60分)。 (復習) 自分自身の元気回復行動プランを作成する(60分)。	田邊 要補
8	事例を用いた看護過程の展開③ グループワークによるアセスメント (アセスメント、セルフケアモデル)	統合失調症、うつ病の患者の事例について、個人作業でアセスメントしたそれぞれの結果をもとにグループワーク行う。より多面的にアセスメントし、看護上の課題を検討する。 (予習) 精神看護援助論Ⅰの第10・11回「統合失調患者の看護」、第12回「気分障害患者の看護」の資料を読んでおく(60分)。 (復習) グループワークの結果を記録用紙にそってまとめる(60分)。	板山 稔 田邊 要補 藤田 勇
9	事例を用いた看護過程の展開④ グループワークによる看護ケアの立案 (ケアプラン)	統合失調症、うつ病の患者の事例について、グループワークを通して看護ケアプランを作成する。 (予習) 精神看護援助論Ⅰの第10・11回「統合失調患者の看護」、第12回「気分障害患者の看護」の資料を読んでおく(60分)。 (復習) グループワークの結果を記録用紙にそってまとめ、期限までに提出する(提出方法については講義内で別途指示する)(60分)。	板山 稔 田邊 要補 藤田 勇
10	事例を用いた看護過程の展開⑤ グループワークによる看護過程の発表・統合失調症事例 (統合失調症、アセスメント、ケアプラン)	統合失調症事例を担当したグループが看護過程の結果を発表する。発表以外のグループを含めて全体での質疑応答や意見交換を行い、統合失調症患者の看護について理解を深める。(予習) 発表グループは発表の役割分担を決め、準備を整えておく。それ以外のグループは、発表に対して質問や意見を述べられるように事例を読んでおく(60分)。 (復習) 他のグループの発表内容を参考にし、各自の内容を加筆する(60分)。	板山 稔 田邊 要補 藤田 勇
11	事例を用いた看護過程の展開⑥ グループワークによる看護過程の発表・うつ病事例 (うつ病、アセスメント、ケアプラン)	うつ病事例を担当したグループが看護過程の結果を発表する。発表以外のグループを含めて全体での質疑応答や意見交換を行い、うつ病患者の看護について理解を深める。(予習) 発表グループは発表の役割分担を決め、準備を整えておく。それ以外のグループは、発表に対して質問や意見を述べられるように事例を読んでおく(60分)。 (復習) 他のグループの発表内容を参考にし、各自の内容を加筆する(60分)。	板山 稔 田邊 要補 藤田 勇
12	精神科における治療的技法の体験② 認知行動療法 (柔軟な思考、問題解決能力)	認知行動療法について理解する。 (予習) 自分なりに認知行動療法を調べてくる(60分)。 (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること(60分)。	田邊 要補
13	精神科における治療的技法の体験③ SST (社会生活技能訓練)	SSTの目的、方法、看護師の役割を理解する。 (予習) 援助論Ⅰで学修したSSTについて調べてくる(60分)。 (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること(60分)。	藤田 勇
14	精神症状の観察と援助 シミュレーション演習① (事前テスト、オリエンテーション)	幻聴のある統合失調症患者の事例に対し、グループに分かれて課題を検討し、対処方法を考える。 (予習) 入院形態、統合失調症の症状、治療内容、治療環境について調べてくる(60分)。 (復習) 事前テストの内容について間違った問題は教科書等で確認する(60分)。	藤田 勇 田邊 要補 板山 稔
15	精神症状の観察と援助 シミュレーション演習② (ブリーフィング、シミュレーション、デブリーフィング)	幻聴のある統合失調症患者の事例に対し、グループに分かれて課題を検討し、対処方法を考える。 (予習) 入院形態、統合失調症の症状、治療内容、治療環境について調べてくる(60分)。 (復習) 事前テストの内容について間違った問題は教科書等で確認する(60分)。	藤田 勇 田邊 要補 板山 稔

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2313190
担当者氏名	山崎 節子、駒形 三和子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力, ○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

在宅療養者と家族の実際の生活に根ざした看護実践のために必要な知識・技術について、講義と演習を通して学ぶ。具体的には、訪問看護に関わる制度や統計データ、地域・在宅看護学の枠組みに沿った看護計画の立案、一般的なケア、専門的なケア、緊急的なケア、社会資源、多職種連携などについてグループワークを通じて多角的な視点から習得する。

《授業の到達目標》

1. 在宅療養者と家族の生活の質を高めるための看護援助を考え、述べることができる。
2. 在宅療養者とその家族の紙上事例に対する看護過程を展開することができる。
3. 在宅療養者とその家族の状況に応じた看護技術を実施することができる。
4. 在宅療養者と家族の生活の質を高めるための社会資源の活用を対象者の状況に応じて考えることができる。

《評価の方法》

提出物 90%（演習に係る学習の記録物70%、看護計画の内容20%）（到達目標の1.2.3.4）

授業（グループワークを含む）への取り組み状況 10%（到達目標の1.2.3.4）

《テキスト》

『ナースিং・グラフィカ 地域・在宅看護論①『地域療養を支えるケア』（臺有桂他編 メディカ出版 2022年）

『ナースিং・グラフィカ 地域・在宅看護論②『在宅療養を支える技術』（臺有桂他編 メディカ出版 2022年）

『系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令』（森山幹夫著 医学書院 2024年）

《参考図書》

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践』（河原加代子 他著 医学書院 2022年）

『地域・在宅看護論』（尾崎章子・佐野けさ美 他著 医歯薬出版 2021年）

《履修上の留意点》

- ・事前に提示する課題に真摯に取り組む。
- ・講義で使用した資料および教科書の復習をする。
- ・講義内容と関連する科目の復習をする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 在宅療養者と家族への看護① (訪問看護師の仕事)	【講義】訪問看護師の仕事の実際について映像資料等から学ぶ。 【演習】訪問かばんを用意し、地域・在宅看護学実習室2で在宅療養場面を体験する。 (予習) 訪問かばんに入れるものを調べ、訪問看護師の1日の仕事の流れをイメージする。(30分)	山崎 節子 田辺 生子
2	在宅療養者と家族への看護② (初回訪問)	【演習】信頼関係の構築を目指した初回訪問時の対応をロールプレイを通じて学ぶ(訪問時のマナー、訪問計画、訪問時の必要物品、情報収集等)。 (予習) 家庭訪問の基本について自己学習する。(30分) (復習[課題]) 実施したロールプレイについて振り返り、評価する。(30分)	山崎 節子 駒形三和子 田辺 生子
3	在宅療養者と家族への看護③ (地域・在宅における看護過程)	【講義】地域・在宅における看護過程を物語の視点とゴードンの看護理論を用いて展開する方法について学ぶ(記録用紙の説明を含む)。 (予習) 2年次配布事例(Aさん～Hさん)を読む。(30分) (復習) 講義内容について各自が使いやすいように工夫してまとめる。(30分)	山崎 節子 田辺 生子
4	在宅療養者と家族への看護④ 事例の展開(1) (事例の理解) (看護目標・看護計画の立案)	【講義】事例(COPD)について映像資料を含めた解説から考える。 【演習】グループで事例を読み、看護目標・看護計画を立案する。 (予習) 事例を読み、わからない用語について調べる。(30分)	山崎 節子 田辺 生子
5	在宅療養者と家族への看護⑤ 事例の展開(2) (初回訪問 看護過程)	【演習】グループで初回訪問の看護計画等を立案・展開する。 (予習) 看護計画の立案について復習し、記録記録用紙・記載方法を確認する。(30分) (復習) 立案した計画を修正する。(30分)	山崎 節子 田辺 生子

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2313190
担当者氏名	山崎 節子、駒形 三和子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	在宅療養者と家族への看護⑥ 事例の展開(3) (2回目訪問・1週間後 看護過程)	【演習】グループで2回目訪問(1週間後)の看護計画等を立案・展開する。 (予習) 事例を読み、気づいたことを記載し、自分なりの看護計画を考える。(30分) (復習) 立案した計画を修正する。(30分)	山崎 節子 田辺 生子
7	在宅療養者と家族への看護⑦ 事例の展開(4) (経時変化・2年後/6年後の看護目標・看護計画の立案)	【演習】グループで2年後/6年後の看護計画を立案する。 (予習) 事例を読み、気づいたことを記載し、自分なりの看護計画を考える。(30分) (復習) 立案した計画を修正する。(30分)	山崎 節子 田辺 生子
8	在宅における状況に応じた看護技術① 専門的なケア(1) (医療機器)	【演習】在宅酸素療法の機器について医療機器メーカー看護師から学ぶ。 (予習) 在宅酸素療法の管理について、観察ポイントを調べる。(30分) (復習[課題]) 演習から学んだことや考えたことを500字程度でまとめる。(60分)	山崎 節子 駒形三和子 田辺 生子
9	在宅における状況に応じた看護技術② 専門的なケア(2) (災害)	【演習】災害に関するDVDを視聴し、グループで話し合い、発表する。 (復習[課題]) 在宅における災害時の対応のポイントを500字程度でまとめる。(60分)	山崎 節子 駒形三和子 田辺 生子
10	在宅における状況に応じた看護技術③社会資源(1) (法制度 多職種連携)	【演習】グループで分担して2年次配布事例(A～Hさん)に係る法律・制度・社会資源についてシートにまとめる。 (予習) 在宅療養を支える制度や社会資源について調べる。(30分)	山崎 節子 田辺 生子
11	在宅における状況に応じた看護技術④ (困難例 シナリオロールプレイ)	【演習】グループで分担し、2年後と6年後の事例のシナリオを作成し、ロールプレイを行う。 (予習) ロールプレイのシナリオを考え、作成する。(30分) (復習) ロールプレイの記録と評価を行い、対応に関して振り返る。(30分)	山崎 節子 駒形三和子 田辺 生子
12	在宅における状況に応じた看護技術⑤ (洗浄ボトル オムツ体験 服薬管理)	在宅で使用する物品について、紙おむつの装着を体験、服薬管理の工夫、ペットボトルで洗浄ボトルを作りについてグループで話し合う。 (予習) 当日までに1日間、紙おむつとパッドを装着する。(30分) (復習) 訪問看護における物品の使用の工夫についてシートまとめる。(30分)	山崎 節子 駒形三和子 田辺 生子
13	在宅における状況に応じた看護技術⑥専門的なケア(2) (ストーマ・褥瘡)	【演習】在宅での皮膚・排泄ケアについて認定看護師から学ぶ。 (復習[課題]) 講師の講義から学んだことや考えたことを500字程度でまとめる。(60分)	山崎 節子 駒形三和子 田辺 生子
14	在宅における状況に応じた看護技術⑦社会資源(2) (法施制度 多職種連携)	【演習】グループで分担して2年次配布事例(A～Hさん)に係る法律・制度・社会資源についてシートにまとめ、PPTを作成し、発表する。 (予習) 在宅療養を支える制度や社会資源について調べる。(30分)	山崎 節子 駒形三和子 田辺 生子
15	地域・在宅における看護まとめ (グループ討議)	これまでの学びを全体で共有する。 (予習) これまでの学びを振り返り、わからない点を3つ挙げる。(30分)	山崎 節子 田辺 生子

科目名	公衆衛生看護支援技術Ⅱ			授業科目番号	2313220
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子、田辺 生子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

事例を基にした地域看護診断を通して、地域の特性と地域で生活する人々の健康と生活のニーズをアセスメントし、健康課題を明らかにするプロセスを実践的に学ぶ。健康課題に優先順位をつけ、健康課題を解決するための保健事業計画を地域の社会資源を踏まえ立案し、公衆衛生看護活動における保健師の役割を考える。

《授業の到達目標》

1. 地域に顕在あるいは潜在する健康課題を把握するために必要な地域診断の方法とプロセスを活用できる。
2. 地区踏査の意義を理解し、観察ポイントを意識した地区踏査計画を立案できる。
3. 既存資料の分析と地区踏査をふまえ健康課題を抽出し、優先順位をつけることができる。
4. 健康課題を解決するための方法を考え、保健事業計画を立案できる。

《評価の方法》

授業貢献度 10% （授業中の発言、態度をもとに評価する。）

演習 40%、定期試験 40%、レポート 10% （到達目標1, 2, 3, 4）

《テキスト》

適宜資料配布

《参考図書》

『地域特性がみえてくる地域診断』（都築千景 編著 医歯薬出版 2020年）

『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著 医歯薬出版 2018年）

《履修上の留意点》

3年次前期の「地域診断論」に続く演習科目です。本講を選択する場合は、「地域診断論」を必ず受講してください。

《備考》

保健師教育課程必修科目 地域診断論で学んだ内容を深め、整理して具体的な地域看護活動につなげていく科目です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	地域の情報収集①[既存資料] (総合計画、市勢要覧、各種統計資料、市報、市町村ホームページ、県ホームページ)	ガイダンス 演習事例の紹介 地域診断論での既存資料の収集・分析の知識と体験を活用し、事例についての既存資料から必要なデータを収集する。 (予習) 地域診断のプロセスについて振り返る(30分) (復習) 授業中に収集しきれなかった地域の情報を収集する(30分)	駒形三和子
2	地域の情報収集②[既存資料] (資料の読み取り、分類、比較)	事例についての既存資料から得られたデータをよみとりアセスメントし、足りない情報や明らかにしたいことをまとめる。 (予習) 地域診断論での既存資料の収集～分析の流れを確認する(30分) (課題) 指定された日時までに収集した資料の整理とアセスメントをした資料を提出。(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
3	地域の情報収集③[地区踏査計画] (地区踏査計画、住民へのインタビュー計画)	グループに分かれ、学生同士で地区踏査計画を立て、出会えた住民へのインタビュー内容とインタビューの際の留意点についてまとめる。 (予習) 地区視診ガイドラインを確認する(20分) (課題) 指定された日時まで地区踏査計画と住民へのインタビュー内容を提出 (40分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
4	地域の情報収集④[地区踏査] (地区踏査、地区視診、ウィンドシールドサーベイ、地区踏査の実施、地域の観察ポイント、住民インタビュー)	グループに分かれ大学周辺地域の地区踏査を実施し、出会えた住民にインタビューの許可を得た後にインタビューする。 (予習) 住民インタビューを想定し、インタビューの練習をしておく(20分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
5	地域の情報収集⑤[地区踏査] (地区踏査、地区視診、ウィンドシールドサーベイ、地区踏査の実施、地域の観察ポイント、住民インタビュー)	グループに分かれ大学周辺地域の地区踏査を実施し、出会えた住民にインタビューの許可を得た後にインタビューする。 (復習) 得られた情報から、地区踏査の意義と計画を立てる際に必要な視点、住民インタビューの際の留意点を振り返る。(30分) (課題) 個人で大学周辺地域の地区踏査で得られた情報を地区踏査記録にまとめる。(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子

科目名	公衆衛生看護支援技術Ⅱ	授業科目番号	2313220
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	地域の情報分析① (データとアセスメントの整理、分類・統合、マッピング)	個人でデータ収集・アセスメントした資料を持ちよりグループで共有する。グループで話し合い、グループとしての資料の整理をしながらアセスメントを深める。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
7	地域の情報分析② (データとアセスメントの整理、分類・統合、マッピング、地域アセスメント)	地域アセスメント記録を活用して、グループで話し合いながら情報を整理し、地域の健康問題や地域の強みを集約し健康課題を明らかにする。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
8	健康課題の抽出 (健康問題、健康課題、顕在的課題、潜在的課題、支援の方向性)	地域アセスメントから考えられる健康課題を列記し、潜在的な課題や支援の方向性をグループで話し合いながら、保健分野で解決可能な健康課題に絞り込む。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
9	優先順位の判断と資料化 (優先順位の考え方、対象理解、プレゼンテーション準備)	抽出した健康課題のグループとしての優先順位を話し合い、優先順位の根拠を文章化する。 プレゼンテーションする対象者にとって見やすい資料を心がけながら、資料を作成する。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
10	地域診断のプレゼンテーション (プレゼンテーション、事業化)	演習地域の情報とアセスメントから捉えた保健師として取り組むべき健康課題とその解決の方向性についてプレゼンテーションし、活動を事業化する過程をディスカッションを通して学ぶ。 (課題) 保健事業計画として計画を立てる健康課題をグループで話し合い、次回講義までに決めておく。(45分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
11	保健事業計画策定の実際と策定のポイント (総合計画、保健計画、保健事業計画、計画策定プロセス、事業化、施策化)	外部講師より保健事業計画策定の実際について説明を聞き、保健事業計画作成のプロセスと策定のポイントについて考える。 (予習) 地域診断論で学んだ地域診断～保健事業計画へのプロセスを振り返る。(30分) (復習) 外部講師の説明と既習の知識をまとめ、保健事業計画作成のプロセスと策定のポイントについてノートにまとめる。(30分)	駒形三和子 外部講師
12	保健事業計画立案のグループ演習① (長期目標、短期目標)	保健事業計画として取り上げた、健康課題の解決に向けた活動についてグループで話し合い、課題が解決された姿をイメージした長期目標と年度内に到達可能な具体的な短期目標を設定する。 (課題) 時間内に終了しなかった場合は、次回までにまとめる。(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
13	保健事業計画立案のグループ演習② (対象選定、保健事業、会場、予算、従事者、活動内容)	目標達成のための活動計画を具体的に6W3H1Fを念頭に作成する。 (課題) 時間内に終了しなかった場合は、次回までにまとめる。(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
14	保健事業計画立案のグループ演習③ (評価計画、企画評価、実施評価、結果評価)	活動計画の評価について、長期目標、短期目標と照らし合わせながら考え企画評価、実施評価、結果評価について評価項目を設定する。 保健事業計画をまとめ、プレゼンテーションの準備をする。 (課題) 時間内に終了しなかった場合は、次回までにまとめる。(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
15	保健事業計画のプレゼンテーションとまとめ	グループ毎に保健事業計画のプレゼンテーションを実施し、ディスカッションの中で公衆衛生看護活動における保健師の役割を考える。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子

科目名	地域診断論			授業科目番号	2313100
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

ヘルスプロモーションの理念に基づき、健康で暮らしやすい地域づくりをめざした地域看護活動の目的と方法について学習する。地域を看護の対象として認識し、社会との関連で健康課題を理解し、地域で生活する人々の健康と生活のニーズを、多角的にアセスメントする具体的方法を学ぶ。また、人々のニーズをいかした地域看護活動計画について考える。

《授業の到達目標》

1. 地域における地域診断の意義と技法を理解し活用することができる。
2. 地域診断に必要な情報（データ）の種類を知り、データ分析してアセスメントできる。
3. 地域の健康課題の抽出及び健康課題の優先順位の決定方法を説明できる。
4. 地域の健康課題・健康問題に添った活動計画を立案する際のポイントを説明できる。

《評価の方法》

授業貢献度 10% （授業中の発言、態度をもとに評価する。）

技術演習 40%、定期試験 40%、レポート 10% （到達目標1, 2, 3, 4, ）

《テキスト》

- (1) 『地域特性がみえてくる地域診断』（都築千景 編著 医歯薬出版 2020年）
- (2) 『国民衛生の動向 2022-2023』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2022年）

《参考図書》

『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著 医歯薬出版 2018年）

『地域看護診断 第2版』（金川克子・田高悦子 編 東京大学出版会 2011年）

《履修上の留意点》

2年次までの公衆衛生看護学概論および援助論ⅠⅡ、公衆衛生学、保健統計学、疫学の学びを統合して理解を深めるとともに、既習の学びを活用してデータ分析・アセスメントすることを心がけてください。技術演習は個人ワークとグループワークを織り交ぜて展開する予定です。担当教員との積極的な意見交換で、有意義な講義・演習となることを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目 病院での看護診断と保健師の行う地域看護診断との共通点と相違点を学ぶことができる科目です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	地域診断の意義 (地域診断の目的、地域特性、鳥の目、虫の目、コミュニティ・アズ・パートナーモデル、プリシード・プロセスモデル、エスノグラフィ)	ガイダンス 保健師の行う地域診断の目的と特徴および地域診断の技法について、活用できる理論やモデルと関連させながら学ぶ (予習) 自分の出身地(または居住地)の市町村のホームページを閲覧し、①地域の特徴②強み③改善した方が良いところについて200文字程度でまとめる(30分) (復習) テキスト(1) p1～p5を読む(20分)	駒形三和子
2	地域診断の展開過程① (地区視診、地区踏査、既存資料、マッピング、資料の読み取り、分類、比較、分析)	地域診断に必要な情報(データ：地域の特性、環境、地域で活用できる資源等)の種類とその入手方法、地域特性を掴むためのデータ分析・アセスメントの技法を事例をもとにしたミニ演習をとおして理解する (予習) テキスト(1) p24～p29を読む(15分) (課題) 次回までに、ミニ演習の事例の分析から考えられる健康課題を1つあげる(30分)	駒形三和子
3	地域診断の展開過程② (データの記述、推論、要約、看護問題、健康課題、要因、背景、優先順位、地域ケア実践の方向性)	アセスメントした資料の取捨選択・整理・統合、健康課題の抽出、優先順位付けの考え方や資料化のポイントを学ぶ (予習) テキスト(1) p6～p18を読む(30分) (復習) 講義で解いた保健師国家試験問題の振り返り(20分) 【次回ノートPC持参】	駒形三和子
4	地域診断演習①【個人】 (地域特性の把握)	演習ガイダンス 対象地域の情報収集と分析 (予習) 前回までの講義資料の振り返り(30分) (復習) 収集したデータの読み取りと整理(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
5	地域診断演習②【個人】 (データ分析・アセスメント)	データの比較・分析・推論 (予習) 整理したデータの分類、比較データの収集、不明な点を担当教員に確認(60分) (復習) 分析したデータの整理(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子

科目名	地域診断論	授業科目番号	2313100
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	地域診断演習③【個人】 (健康課題の抽出)	分析・推論したデータの取捨選択と加工、健康課題の抽出 (予習) 分析したデータを担当教員に提出し、意見交換(60分) (復習) 資料の整理、抽出した健康課題の要因・背景を考え記述(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
7	地域診断演習④【グループ】 (健康課題の優先順位、地域ケアの方向性)	グループ内発表 グループ毎に各自が捉えた地域特性と健康課題の発表を行い、それぞれの共通点、相違点を話し合う。グループとしての地域特性と健康課題をまとめ、健康課題の優先順位、地域ケアの方向性を検討 (予習) テキスト(1) p17～p23を読む(20分) (復習) グループで話し合った内容を整理し、全体発表準備(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
8	地域診断から地域看護活動へ (地域看護活動計画、目標設定、事業評価)	全体発表、質疑 地域診断にもとづいた地域看護活動計画の立案、評価 (課題) 課題レポート「保健師活動における地域診断の意義について考えたこと」演習自己評価表と共に提出期限までに提出(60分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	健康教育論			授業科目番号	2313110
担当者氏名	渡邊 路子、駒形 三和子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○2-3 エビデンスに基づく看護実践力, ○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

人々が地域において健康な生活を送るうえで、個人・家族・集団に対して、看護専門職が教育的役割を果たすことが求められていることから、教育指導力の基礎となる知識や方法を習得することを目的とする。対象者が主体的に行動変容し自己管理能力を高めるための健康教育の根拠となる理論やモデルを学ぶとともに、健康教育の対象、場、方法を理解し、対象者の特性に応じた効果的な健康教育の展開方法を習得する。

《授業の到達目標》

1. 公衆衛生看護における健康教育の位置づけについて述べることができる。
2. 健康教育に関連する理論やモデルについて述べることができる。
3. 健康教育の技術について述べることができる。
4. 効果的な健康教育をの展開することができる。

《評価の方法》

演習 60%(到達目標1.2.3.4) ・ レポート30%(到達目標1.2.3)

学習態度10 %

《テキスト》

『標準保健師講座[2]公衆衛生看護技術』（中村裕美子 他著 医学書院 2023年）

《参考図書》

適宜、ハンドアウトを配布する。

《履修上の留意点》

2年次後期公衆衛生看護支援技術Ⅰで学んだ知識をもとに、ブラッシュアップした健康教育の展開を目指します。地域診断論の知識をもとに健康教育を企画・実施・評価します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 公衆衛生看護における健康教育と展開方法(健康教育・健康課題の抽出・展開過程)	ガイダンス / 公衆衛生看護における健康教育の展開方法についての一連の過程について確認する。 (予習) テキスト6章および2年次後期公衆衛生看護支援技術Ⅰ配布のレジュメを読む。地域でどのような健康教育が行われているか調べてくる。(60分) (復習) 地域のニーズ・健康課題から健康教育の展開について再確認する。(30分)	渡邊 路子
2	健康教育の展開① (地域のニーズ・健康課題の抽出・内容の絞り込み)	地域のニーズ・健康課題から健康教育のテーマを設定する。グループワーク (予習) 地域のニーズ・健康課題・健康教育のテーマを考えてくる。(30分) (復習) 抽出された健康課題・テーマについて、再確認する。(30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
3	健康教育の展開② (企画書)	健康教育の企画書の作成。グループワーク (予習) 地域の健康課題から抽出された健康教育のテーマに沿って企画書(案)を考えてくる。(30分) (復習) 企画書の内容が、健康教育の対象者・目的に沿っているか再度確認する。(30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
4	健康教育の展開③ (指導案・シナリオ)	健康教育の指導案・シナリオを作成する。グループワーク (予習) 企画書をもとに指導案を考えてくる。(30分) (復習) 企画書と指導案及びシナリオの整合性を確認する。(30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
5	健康教育の展開④ (媒体作成)	健康教育の指導案作成の技術と実施の過程について理解する。グループワーク (予習) 媒体の準備。(60分) (復習) 効果的な媒体であるか再確認する。(30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子

科目名	健康教育論	授業科目番号	2313110
担当者氏名	渡邊 路子、駒形 三和子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	健康教育の展開⑤ (リハーサル)	健康教育の媒体作成とリハーサルを行い、効果的な健康教育実施に向けて準備する。グループワーク (予習) シナリオのインプット、媒体の確認。(60分) (復習) リハーサルを踏まえて、本番に向けて準備す。(60分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
7	健康教育の実際 (健康教育)	健康教育を実施する。プレゼンテーション (予習) 実施に向けて準備する。(30分) (復習) 実施した健康教育を振り返る。(30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
8	健康教育の評価・まとめ (評価指標、PDCAサイクル、 地域の健康課題解決)	実施した健康教育を評価する。さらに、授業全体を振り返り、対象者の 特定を踏まえた効果的な健康教育とはについて考える。グループワーク 他 (予習) 第1回～7回の講義・演習を振り返る。(30分) (復習) 健康教育に関連する過去の国家試験問題を調べて解いてみる。 (30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	災害看護活動論Ⅰ			授業科目番号	2313150
担当者氏名	春川 一樹			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○2-3 エビデンスに基づく看護実践力, ◎5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

過去の災害の経験と教訓を共有し、災害対応における共通の言語と原則、被災者の生命と健康の維持のために必要な知識や応急処置について、演習やグループワークを通じて学ぶ。災害看護論を基盤に実際に県内外で発生した地震・雪害・台風・豪雨・原子力災害について振り返り、看護職および地域住民の視点から災害種別毎の被害想定や防災・減災対策を考える。また、居住地のハザードマップを確認し、災害への備えを検討する。

《授業の到達目標》

1. 大規模災害時のマネジメントにおける基本的な考え方（CSCATTT）を述べるができる
2. START法のトリアージを行うことができる
3. 災害時の応急処置（三角巾による固定、搬送）を行うことができる
4. 地域特性を踏まえた地震・雪・台風・豪雨・原子力災害の被害を想定することができ、防災・減災対策を考えることができる

《評価の方法》

授業態度：60% グループワークによる発言や参加態度をもとに評価します（到達目標1.2.4）

実技確認：40% （到達目標3）

《テキスト》

『新体系 看護学全書 看護の統合と実践② 災害看護学』（小井土雄一、石井美恵子編 メジカルフレンド社 2020年）

『看護診断ハンドブック 第12版』（リンダ J. カルベニート 医学書院 2023年）

《参考図書》

『多職種連携で支える災害医療 身につけるべき知識・スキル・対応力』医学書院

『ファーストエイド すべての看護職のための緊急・応急処置』へるす出版

《履修上の留意点》

- ・ご自身の居住地のハザードマップに関心を持ち、居住地の災害のリスクを知りましょう。
- ・演習やグループワークでは活発なディスカッションをして、皆さんと学びを共有しましょう。
- ・災害看護初期対応の演習では、『看護診断ハンドブック 第12版』を使用します。

《備考》

応急処置の演習では、三角巾を使用しますので各自が準備してください。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	災害看護初期対応	(講義・演習) 大規模災害時のマネジメントにおける基本的な考え方（CSCATTT）について学ぶ (予習) テキスト1章（p1～46）に目を通し、CSCSTTTの概念について述べられるようにしておく (復習) 演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
2	災害看護初期対応	(講義・演習) 大規模災害時のマネジメントにおける基本的な考え方（CSCATTT）について、多数傷病者の受け入れ準備について学ぶ (予習) テキスト1章（p1～46）に目を通し、CSCSTTTの概念について述べられるようにしておく (復習) 演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
3	災害看護初期対応	(講義・演習) START法のトリアージ、トリアージエリア別の看護についてについて学ぶ (予習) テキスト2章（p61～66）に目を通し、START法トリアージについて述べられるようにしておく。看護診断、看護計画について再学習しておく (復習) 演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
4	災害看護初期対応	(講義・演習) トリアージエリア別の看護について学ぶ (予習) 看護診断、看護計画について再学習しておく (復習) 演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
5	災害時の避難所設営	(講義・演習) 地震災害発生直後に、自らの生命を守るための行動を学ぶ (予習) テキスト6章（p153～181）に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく (復習) 演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹

科目名	災害看護活動論Ⅰ	授業科目番号	2313150
担当者氏名	春川 一樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	災害時の避難所設営	(講義・演習) 要配慮者対応の共通言語(CSCAHHH)を学ぶ (予習) テキスト6章(p153~181)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく (復習) 演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
7	災害時の避難所設営	(講義・演習) 避難所の生活環境をアセスメントし、避難所で生じやすい健康問題と予防対策について学ぶ (予習) テキスト6章(p153~181)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく (復習) 演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
8	災害時の避難所設営	(講義・演習) 避難所の生活環境を改善する方法を学ぶ (予習) テキスト6章(p153~181)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく (復習) 演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
9	応急処置(三角巾、包帯、搬送)(A・Bチーム)	(講義・演習) 災害時の応急処置(三角巾による固定と搬送方法)について学ぶ (予習) 参考図書などをもとに、三角巾の使用方を学習しておく (復習) 演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
10	応急処置(三角巾、包帯、搬送)(A・Bチーム)	(講義・演習) 災害時の応急処置(三角巾による固定と搬送方法)について学ぶ (予習) 参考図書などをもとに、三角巾の使用方を学習しておく (復習) 演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
11	ガイダンス・地震災害	(講義・グループワーク) 地域特性を踏まえた地震災害による被害を想定し、防災・減災対策を検討する (予習) 学校や居住地のハザードマップを確認しておく (復習) 講義・演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
12	雪害(大雪)	(講義・グループワーク) 地域特性を踏まえた雪害(大雪)による被害を想定し、防災・減災対策を検討する (予習) 学校や居住地のハザードマップを確認しておく (復習) 講義・演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
13	台風・豪雨災害	(講義・グループワーク) 地域特性を踏まえた台風・豪雨災害による被害を想定し、防災・減災対策を検討する (予習) 学校や居住地のハザードマップを確認しておく (復習) 講義・演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
14	原子力災害	(講義・グループワーク) 地域特性を踏まえた原子力災害による被害を想定し、防災・減災対策を検討する (予習) 学校や居住地のハザードマップを確認しておく (復習) 講義・演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹
15	被害想定演習	(講義・グループワーク) ハザードマップをもとに、居住地の被害想定と課題を明らかにする (予習) 学校や居住地のハザードマップを確認しておく (復習) 講義・演習の内容を振り返り再学習する	春川 一樹

科目名	看護学研究法			授業科目番号	2314070
担当者氏名	板山 稔、近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○4-1 看護学を探究する意欲、○4-2 看護を 追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

看護学における研究（看護研究）に必要な基礎的な知識を習得する。看護研究の意義や目的を理解し、研究デザインに応じたデータ収集方法や分析手法、倫理的配慮等について学ぶ。これらの知識をもとに文献検索、文献レビュー、文献クリティークを行い、研究計画書の作成を体験する。

《授業の到達目標》

1. 看護における研究の意義や目的を説明できる。
2. 研究における一連のプロセス（文献検討、研究課題の明確化、研究デザインの検討、研究方法の具体化、データ収集と分析、結果と考察のまとめ）が説明できる。
3. 研究における倫理的問題と具体的配慮について説明できる。
4. 研究論文のクリティーク方法を理解し、論文のクリティークを行うことができる。
5. 関心のある研究課題について、様式にそって研究計画書を作成することができる。

《評価の方法》

研究計画書70%（到達目標1・2・3・4・5）、クリティーク課題20%（到達目標2・3・4）、授業参加態度10%（到達目標1・2・3・4・5）

《テキスト》

『系統看護学講座 看護研究』（坂下玲子 他著 医学書院 2023年）

《参考図書》

他の参考図書等は授業内で適宜紹介する

《履修上の留意点》

各回に示された予習・復習を確実にに行い、授業に臨むようにしてください。

4年次の看護課題研究（卒業研究）につながる重要な科目です。授業の配付資料等は必ずファイルに綴じ、4年次に活用してください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	看護研究とは (看護研究、研究疑問、研究プロセス、研究計画書)	研究の意義・目的、看護研究と看護実践との関連等について理解し、研究のプロセスや研究計画書の基本事項、研究論文の構造について学ぶ。 予習：テキスト第1章を読む(60分) 復習：講義内容を振り返り、自己の研究疑問をリストアップしてみる(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
2	研究疑問の立て方と研究デザイン (リサーチクエスション、研究デザイン)	リサーチクエスションの立て方や研究デザインの種類を理解する。自己の疑問をリサーチクエスションとして精練させる方法について学び、研究デザインに照らし合わせて考える。 予習：テキスト第2章を読む(60分) 復習：講義内容を振り返り、リサーチクエスションと研究デザインを検討してみる(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
3	文献レビューとその方法 (文献検索、文献レビュー、データベース、クリティーク)	文献検索の方法を理解し、実際にデータベースを活用して興味のあるテーマに関連する文献を検索する。 予習：テキスト第3章を読む(60分) 復習：文献検索を継続し、関心があるテーマに関連した文献を読んでみる(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
4	質的研究デザイン 質的研究の特徴と分析方法 (質的記述的研究、インタビュー、コード、カテゴリー)	質的研究のデザインの特徴を理解し、質的研究における研究参加者の条件や選び方、データの収集方法、データ分析の方法と結果の示し方等について学ぶ。 予習：テキスト第5章の「質的研究デザイン」、第6章の「インタビューデータの収集」第7章「質的データ分析」を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
5	文献研究と事例研究 (文献研究、文献レビュー、事例研究)	文献研究や事例研究の目的・方法・成果を理解し、研究のまとめ方や研究論文としての構成について学ぶ。 予習：テキスト第12章の「文献研究」を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める(60分)	板山 稔 近藤ふさえ

科目名	看護学研究法	授業科目番号	2314070
担当者氏名	板山 稔、近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	量的研究デザイン① 量的研究の特徴 (量的研究、標本抽出、アンケート、尺度、実験研究)	量的研究のデザインの特徴を理解し、量的研究における標本抽出の方法、アンケートや測定等によるデータの収集方法について学ぶ。 予習：テキスト第5章の「量的研究デザイン」、第6章の「アンケートデータ収集」を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
7	量的研究デザイン② 量的研究の分析方法 (帰無仮説、対立仮説、有意水準)	量的研究のデザインに応じた基本的な統計的検定の方法や結果の示し方等について学ぶ。 予習：テキスト第7章の「量的データ分析」を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
8	研究における倫理的配慮 (倫理原則、倫理的配慮、インフォームドコンセント、個人情報保護、倫理審査委員会)	研究において遵守すべき倫理原則や擁護すべき権利について理解し、倫理的配慮の具体的な対応方法について学ぶ。 予習：テキスト第4章を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
9	文献クリティーク① (クリティーク、論文構成)	量的・質的研究のクリティークのポイントを理解し、論文の構成を意識して深く読み込み、様式にそってクリティークを行う。 予習：テキスト第3章の「文献の読み方」、第9章の「付録 文献クリティークの実践」を読む(60分) 復習：様式にそって指定された文献をクリティークし、期限までに提出する(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
10	文献クリティーク② (クリティーク、論文構成)	行ったクリティークの結果をグループ内で発表し、ディスカッションを通して文献クリティークを深める。 予習：自己課題のクリティークの内容をグループ内で説明できるように準備しておく(30分) 復習：自己のクリティーク内容を振り返り、不足していた内容について加筆修正する(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
11	文献クリティーク③ (クリティーク)	自己のクリティーク内容と照らし合わせながら量的・質的研究のクリティークの解説を聞き、クリティークのスキルを高める。クリティークのポイントを踏まえて、自分の研究課題に関連する文献を読み込む。 予習：自分の研究課題に関連する論文を探しておく(60分) 復習：クリティークのポイントを踏まえて、自分の研究課題に関連する文献を読み込む(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
12	研究論文の書き方・発表の仕方 (論文構成、抄録、口演発表、示説発表)	論文の構成と内容、書き方の基本事項を理解する。発表形式の相違と特徴を理解し、効果的なプレゼンテーションの方法を理解する。 予習：テキスト第9章を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理する(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
13	研究計画書の作成① (研究テーマ、研究背景、研究目的、研究方法、倫理的配慮)	研究計画書の意義、形式(記載項目)と内容、作成上の注意点について理解する。自己の研究疑問に合わせて、配付する用紙にそって研究計画のアウトラインを検討する。 予習：テキスト第8章を読む(60分) 復習：研究計画書の項目にそって研究計画書のアウトラインを検討する(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
14	研究計画書の作成② (研究テーマ、研究背景、研究目的、研究方法、倫理的配慮)	これまでの学習内容をもとに、研究計画書作成における疑問点に関して教員の指導や助言を受けながら研究計画書の作成を進める。 予習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする(90分) 復習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
15	研究計画書の作成③ (研究テーマ、研究背景、研究目的、研究方法、倫理的配慮)	これまでの学習内容をもとに、研究計画書作成における疑問点に関して教員の指導や助言を受けながら研究計画書を完成させる。 予習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする(90分) 復習：研究計画書の項目にそって記載を進め、期限までに研究計画書を完成させる(90分)	板山 稔 近藤ふさえ

科目名	家族看護論			授業科目番号	2315010
担当者氏名	斎藤 まさ子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎3-2 多職種と連携・協働する力, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

家族をシステムとしてとらえ看護する家族看護の理論を学ぶ。具体的には家族の発達周期、システムとしての家族の理解、アセスメントモデルなどである。また看護過程を学び、臨床から在宅まで、それぞれの場で暮らす家族を地域の中で看護する方法について事例を通して学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 家族の概念や形態、機能について、説明できる。
2. 家族の健康問題によって発生する家族問題と援助の必要について、説明できる。
3. 家族看護過程の概要について、説明できる
4. 地域の資源と多職種連携について説明できる。

《評価の方法》

- ①レポート課題 50% 課題は講義の中で提示。A4用紙1600字程度（到達目標1, 2, 4）
②学習態度 50% 授業中の発言や参加度で評価(到達目標 3,4)

《テキスト》

《参考図書》

『あなたの知らない「家族」』（柳原清子著 医学書院 2001年）
『系統看護学講座 家族看護学』（上別府圭子他著 医学書院 2024年）

《履修上の留意点》

①講義と演習形式で進めます。②提示した事例について、家族看護過程を考え発表してもらい、皆さんと意見交換します。活発なディスカッションを望みます。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	家族看護とは(1)(家族の多様性、家族看護、特徴、ねらい)	家族の多様性～事例を読み家族について考える～。 （予習）家族がテーマの小説や映画1つを選び、家族について考えたことをノートに記してくる(120分)。 （復習）授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
2	家族看護とは(2)(事例を読み解く、家族の多様性)	(1)の事例の家族メンバーの様々な思いについてディスカッションする。 （予習）事例について振り返りノートにまとめる(120分)。 （復習）授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
3	家族の情報整理(家族の概念、家族の健康、家族構造、ジェノグラム)	家族の健康、家族の構造について学習し、事例を用いてジェノグラムを実際に書いてみる。 （予習）配布資料をノートにまとめる(120分)。 （復習）授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
4	・家族の機能と現代家族の課題(育児機能、セルフケア機能、家族の様相と健康ニーズ)	家族の育児やセルフケア、現代家族の様相と課題について学習する。 （予習）配布資料をノートにまとめる(120分)。 （復習）授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
5	看護と家族の接点(危機理論、家族システム理論、地域の資源と多職種協働)	看護対象として家族を知る、さらに看護介入の基礎を理解する。 （予習）自分の家族を援助対象として捉えると仮定して、どう説明するか。実際に書いてくる(120分)。 （復習）授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子

科目名	家族看護論	授業科目番号	2315010
担当者氏名	斎藤 まさ子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	成人と家族看護(1)(家族アセスメント、家族の適応状況、家族の対応能力、発達課題)	事例をととして家族看護過程の構造を学ぶ。 (予習) 配布資料をノートにまとめる(120分)。 (復習) 授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
7	成人と家族看護(2)(事例展開)	ある家族像の把握、アセスメント演習を行う。 (予習) 配布資料をノートにまとめる(120分)。 (復習) 授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
8	家族援助について(看護の役割、援助姿勢、エンパワメント)	ある家族の事例から看護者の役割、姿勢について学ぶ。 (予習) これまでの学びを整理してくる(120分)。 (復習) 授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
9	小児と家族看護(1)病気や障害のある子ども、社会的、身体的・心理的背景、事例展開)	小児患者の家族について学習し、事例をアセスメントする。 (予習) 事例を読みノートにまとめて来る(120分)。 (復習) 事例アセスメントの見直しをする(60分)。	斎藤まさ子
10	小児と家族看護(2)(事例展開)	事例の援助の方向性について考える。 (予習) 事例の援助の方向性について整理してくる(120分)。 (復習) 学びを整理する(60分)。	斎藤まさ子
11	高齢者介護と家族看護(1)(介護負担、介護における幸福感、高齢者虐待)	高齢者介護を行う家族について学習し、事例をアセスメントする。 (予習) 事例を読みノートにまとめて来る(120分)。 (復習) 事例アセスメントの見直しをする(60分)。	斎藤まさ子
12	高齢者介護と家族看護(2)(事例展開)	事例の援助の方向性について考える。 (予習) 事例の援助の方向性について整理してくる(120分)。 (復習) 学びを整理する(60分)。	斎藤まさ子
13	精神を病む人と家族看護(1)(社会的・文化的背景、身体的・心理的背景)	精神障害者と暮らす家族について学習し、事例をアセスメントする。 (予習) 事例を読みノートにまとめて来る(120分)。 (復習) 事例アセスメントの見直しをする(60分)。	斎藤まさ子
14	精神を病む人と家族看護(2)(事例展開、まとめ)	事例の援助の方向性について考える。 (予習) 事例を読みノートにまとめて来る(120分)。 (復習) 学びを整理する(60分)。	斎藤まさ子
15	まとめ、レポート作成	家族看護について振り返る。 (予習) 授業全体の資料を見て気付いたことや疑問点を書いてくる(120分)。 (復習) 学びを整理する(60分)。	斎藤まさ子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2312050
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力、◎2-4 自己の看護実践を振り返る力				

《授業の概要》

急性期・周手術期にある成人を受け持ち、患者とその家族の健康上の問題を理解し、問題解決に向けた看護援助を主体的に考え、集中管理・治療・ケアなどの生命の危機状態にある患者や家族ケアを学ぶ。看護過程を展開していく過程で、患者とその家族の個性を捉え、変化に応じた看護援助のあり方を考え、看護を創造し発展できる能力を養う。さらに、退院にむけて保健医療福祉チームにおける多職種連携において看護の役割を学ぶとともに自己の看護観を発展させる。

《授業の到達目標》

実習前オリエンテーションにおいて、説明する。

《評価の方法》

実習における看護援助（実習態度、意欲を含む）カンファレンスの参加状況、実習記録、面談など実習評価表で評価する。
（到達目標1～7）

《テキスト》

《参考図書》

実習中に必要に応じて指定する。

《履修上の留意点》

履修要件：基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱ、成人看護援助論Ⅲを修得していること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所、実習内容、実習時間（予習・復習含む）については、実習要項を参照する。	広井 貴子 目黒 優子 近藤ふさえ
2		3. 事前学習：1) 受け持ちが予測される疾患の病態生理、症状、検査、術式、治療と生体の影響、看護。2) 急性期における合併症（呼吸、循環、消化器系、疼痛、神経障害、術後せん妄、感染など）3) 退院支援への援助（120分）看護技術について；1) バイタルサイン測定（血圧は電子血圧計）とフィジカルアセスメント2) 臥床患者のベッドメイキング3) 車いすの移乗・移送4) 清潔の援助5) 排泄の援助（陰部洗浄）（120分）	
3			
4			
5			

科目名	成人看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2312050
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2312060
担当者氏名	目黒 優子、近藤 ふさえ、広井 貴子、林 友子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	3単位	時間	135時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力， ○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

慢性的な疾患をとともに生活している対象者および家族を理解し、QOLの維持・向上を目指したセルフケア能力や健康問題に適応する能力を支援する看護実践について学修する。

《授業の到達目標》

成人看護学実習Ⅱ 実習要項 Ⅱ．実習目標 1～7 参照

《評価の方法》

成人看護学実習Ⅱ 実習要項 V．評価 1）、2）参照

《テキスト》

適宜提示します。

《参考図書》

成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲで引用したテキストおよび配布資料

《履修上の留意点》

実習オリエンテーションで提示された事前学習に取り組んで実習に臨むこと。各自で健康管理に留意し体調を整えて実習に臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		成人看護学実習Ⅱ 実習要項 参照 【実習施設】長岡西病院、小千谷さくら病院、見附市立病院	目黒 優子 近藤ふさえ 広井 貴子 林 友子
2			
3			
4			
5			

科目名	成人看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2312060
担当者氏名	目黒 優子、近藤 ふさえ、広井 貴子、林 友子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2312110
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一、本庄 幸代			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

介護老人保健施設に入所している高齢者を受け持ち、看護過程を展開する。看護過程の展開にあたり援助的関係を築き、高齢者の発達課題、家族の状況、疾病や老化が日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、健康の維持・増進を考え、高齢者のQOL向上をめざした看護を実践する。また、高齢者の生活を支える看護職や他職種との連携の実際を知り、看護師の役割を考察する。

《授業の到達目標》

実習要項の実習目標を参照

《評価の方法》

実習要項の実習評価を用いて評価する（100%）（到達目標1～5）

《テキスト》

老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱの講義資料、及びテキスト

《参考図書》

『生活機能からみた 老年看護過程』（山田律子、内ヶ島伸也編 医学書院 2020年）

『実践！ 高齢者のフィジカルアセスメント』（角濱春美著 メディカ出版 2017年）

《履修上の留意点》

事前学習：老年看護学概論、老年看護援助論ⅠおよびⅡの講義資料とテキストをもう一度復習しておくこと。

さらに、看護技術が実践できるように、各自技術の復習を行っておくこと。

事後学習：実習の一連の過程を経て、自己の老年看護観の変化をレポートとしてまとめること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：介護老人保健施設（桃李園、ぶんすい、サンブラザ長岡） 3. 実習内容：実習要項参照 4. 事前学習：（1）高齢者の身体的・精神的・社会的状況、（2）高齢者に多くみられる疾患、（3）介護老人保健施設の目的・役割・機能、看護職が果たす役割と多職種連携について、ノートにまとめる（180分）。	青柳 直樹 角山裕美子 多田 健一 本庄 幸代
2			
3			
4			
5			

科目名	老年看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2312110
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一、本庄 幸代		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	老年看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2312120
担当者氏名	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、本庄 幸代			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎3-2 多職種と連携・協働する力、○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

地域で生活する高齢者の健康保持・増進・疾病予防・介護予防や日々の暮らしを様々な側面からサポートする仕組み、保健医療福祉・介護の連携・協働、地域住民の生活を守る包括的・継続的支援について学ぶ。地域密着型サービスのケアを通し、高齢者がくらし慣れた地域で生活していくためのケアのあり方を考察する。地域包括支援センターでは、高齢者のくらしを地域でサポートするための拠点として、「介護予防ケアマネジメント」「包括的・継続的ケアマネジメント」「総合相談」「権利擁護」の実際を通して、個人・地域特性に応じた健康環境づくりや健康保持増進に関連する地域の組織的な取り組みや社会資源開発を学び、高齢者の暮らしを地域で包括的・継続的に支援することの意義を考察する。

《授業の到達目標》

実習要項の実習目標を参照

《評価の方法》

実習要項の実習評価を用いて評価する（100％）（到達目標1～5）

《テキスト》

老年看護学概論、老年看護援助論ⅠおよびⅡの講義資料、テキスト

《参考図書》

『地域特性がみえてくる地域診断 地域包括支援センターの活動充実を目指して』（都筑千景 編著 医歯薬出版 2020年）

《履修上の留意点》

事前学習：実習要項の事前学習を参照

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：地域包括支援センター（長岡市、見附市）、高齢者総合ケアセンターこぶし園（各サポートセンター）、シルバー人材センター 3. 実習内容：実習要項参照 事前学習：実習要項に記載している内容について、テキスト等を用いてノートにまとめること。（180分）	角山裕美子 青柳 直樹 多田 健一 本庄 幸代
2			
3			
4			
5			

科目名	老年看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2312120
担当者氏名	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、本庄 幸代		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護学実習			授業科目番号	2312160
担当者氏名	沼野 博子、伊藤 文子、船岡 未恵、永谷 智恵			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

あらゆる健康段階の子ども・家族を理解し、医療・地域社会の中で一人の人として尊重され、その子どもらしく生活できるように成長発達や健康段階に応じた看護援助を実践できる基礎的能力を養う。病棟・外来・障がい児施設において子どもを受け持ち、その子ども・家族の健康問題や成長発達・生活に及ぼす影響、取り巻く環境について考察し、ニーズに応じた看護援助を実践する。既習の知識や技術を発展させ根拠に基づく看護援助を目指す。保育園実習では地域で暮らす子どもの成長発達や健康増進に向けた支援を実践的に学ぶ。

子ども・家族のニーズに応じた多職種連携や小児看護の役割について理解する。

《授業の到達目標》

実習要項を参照

《評価の方法》

実習目標の到達度について、実習記録、実習態度、実習レポートを総合して評価表で評価する(100%) (到達目標1～6)

《テキスト》

なし

《参考図書》

小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト、参考図書、授業資料を積極的に活用する

《履修上の留意点》

実習前オリエンテーションには必ず出席する。実習要項を熟読し、事前学習に取り組み実習に臨むこと。必要な講義資料及び演習で学習した資料をファイリングし実習期間中は必ず持参すること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：病院、障がい児施設等・保育園 3. 実習内容：実習要項参照 4. 事前課題：実習要項参照(120分)	沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵
2			
3			
4			
5			

科目名	小児看護学実習	授業科目番号	2312160
担当者氏名	沼野 博子、伊藤 文子、船岡 未恵、永谷 智恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	母性看護学実習			授業科目番号	2312200
担当者氏名	佐藤 初美、太田 操、森 美由紀			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

周産期にある母性看護の対象者（妊産褥婦・新生児、胎児を含む）とその家族に対して、既習の知識・技術・対度を統合し、ウェルネス看護の視点で個別性のある看護過程を展開する。

実習は病院やクリニックの産婦人科病棟、外来（助産師外来、母乳外来）などで学ぶ。また、女性と家族が次世代を産み育てるために、家庭や地域における継続的な母子支援も体験する。具体的には、産後ケア施設や子育て支援施設での実習、地域で活動する助産師の沐浴や新生児訪問への同行、母親学級を見学するなど、多様な場で学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 産褥期にある母性の特性と健康問題の理解を深め、看護過程を展開できる。2. 母子支援は妊娠期から子産み子育て期まで継続して実践されていることを説明できる。3. 妊娠分娩産褥期および早期新生児期にある母性の特性と健康問題に応じた看護実践ができる。4. 生命の尊厳の認識を深めると共に自らの母性・父性・親子・家族について考えケア提供者としての成長を図ることができる。

《評価の方法》

到達目標に則った行動目標20項目に対し、実習記録、学習態度、自己学習状況、カンファレンスへの参加状況に基いて、評価基準1～5点を配し、評価する（到達目標1,2,3,4）。60点以上を合格とする。

《テキスト》

『系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著 医学書院 2021年）

『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子、村上睦子監修 インターメディカ 2020年）

《参考図書》

『ウェルネス看護診断にもとづく 母性看護過程』医歯薬出版

『病気が見えるvol.10 産科（第4版）』Medic Media

《履修上の留意点》

実習前には、母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱで学んだ知識を整理し、実習事前ノートを作成して臨むこと。母性看護学実習対象者の特性を考慮して、対象者の安全・安楽、羞恥心やプライバシーに配慮し、人権尊重の理念と個人情報保護を徹底する。そのためにも実習前に技術練習をして臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	母性看護学実習	1. 実習場所： 1) 病院：柏崎総合医療センター、小千谷総合病院 長岡赤十字病院、レディースクリニック石黒 立川総合病院、たかき医院 2) 助産所：無床助産所（3か所）	佐藤 初美 太田 操 森 美由紀
2	（継続的な母子支援）	3) 子育て施設・産後ケア施設： ＜長岡市運営＞ 産後ケア施設：ままりラ西・ままりラ三和 子育て支援施設：子育ての駅てくてく・子育ての駅ちびっこ広場 ＜個人運営＞ 産後ケアハウスねんねこ	
3	（周産期・妊産褥婦の看護・ウェルネス看護の視点・産褥期変化・胎外生活適応過程）	2. 実習期間：2週間 1) 病院の病棟実習1週間 2) 病院の外来・地域実習1週間：産婦人科外来・子育て施設・産後ケア施設・無床助産所の同行訪問実習	
4		3. 実習内容 母性看護学実習要項参照	
5		4. 事前学習 1) 指定項目に基づいた産褥・新生児期の看護に必要な基礎的知識・妊婦健康診査など外来実習に必要な基礎的知識 180分 2) 実習に必要な看護技術について事前学習 90分	

科目名	母性看護学実習	授業科目番号	2312200
担当者氏名	佐藤 初美、太田 操、森 美由紀		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	精神看護学実習			授業科目番号	2312240
担当者氏名	田邊 要補、板山 稔、藤田 勇			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-4 自己の看護実践を振り返る力、 ○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

精神看護学実習では、患者－看護師関係を築きながら、精神に障がいをもつ個人を生物的・心理的・社会的に捉え、強みを活かした健康回復への支援を実施する。関係構築の過程を通して対象者の体験を把握する能力と自己洞察の能力を養う。さらに、精神保健福祉における多職種チームの中での看護師の役割について理解し、看護者として対象者が地域で生活を営む上での必要な援助について理解する。病棟実習、社会復帰施設での実習を行う。

《授業の到達目標》

1. 対象者との相互関係の中で精神に障がいを持つ人を多面的な視点でとらえ、説明することができる 2. コミュニケーション技術を用いて、対象者との関係を発展させることができる 3. 対象者を一人の生活者としてとらえ、セルフケア能力を高めるための個別的援助をすることができる 4. 対象者が地域で生活するために、多職種と連携し、社会資源を活用した援助方法を考えることができる 5. 地域で行われている精神保健・医療・福祉活動を知り、看護の役割を述べるができる。

《評価の方法》

実習中は適宜面接を行い、最終的には実習目的・実習目標の達成度について、評価表を用いて評価する（100％）（到達目標1．2．3．4．5）。

《テキスト》

学科作成の実習要項。精神看護学実習に関連する授業のテキストおよび資料。

《参考図書》

『精神看護学 学生－患者のストーリーで綴る実習展開』（田中美恵子編著 医歯薬出版 2015年）
『パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護』（萱間真美編 照林社 2015年）

《履修上の留意点》

実習に関連した既習学習をしっかりと復習して臨むこと。
体調を整え、積極的に実習に臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：田宮病院、デイケア、社会福祉施設 3. 実習内容：実習要項参照 事前学習：精神看護の基本的技法、主な精神疾患の特徴と治療・看護、精神保健福祉法、地域精神保健福祉制度など（120分）。	田邊 要補 板山 稔 藤田 勇
2			
3			
4			
5			

科目名	精神看護学実習	授業科目番号	2312240
担当者氏名	田邊 要補、板山 稔、藤田 勇		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域・在宅看護学実習			授業科目番号	2313200
担当者氏名	山崎 節子、渡邊 路子、駒形 三和子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ◎2-4 自己の看護実践を振り返る力, ○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

訪問看護ステーションでは、在宅療養者のご自宅を訪問し、療養環境を踏まえた訪問看護過程を展開する。そのために、療養者と家族の思いを実際に聴き、人生の物語の観点から課題を抽出し、看護目標・計画を考えていく。さらに、地域の中の社会資源を知り、その活用の実際と多職種連携について考える。また、複数の多様な訪問看護ステーションでの実習の経験を学内カンファレンスで共有し、地域・在宅看護のあり方について考察する。これらを通じて、地域で生活するさまざまな健康レベルにある人びとへの看護のあり方を理解し、看護実践の基盤とする。

《授業の到達目標》

1. 訪問看護を通して、在宅療養者とその家族の特徴を理解し述べることができる。 2. 在宅療養において、援助課題を評価し、本人と家族の特徴に応じた訪問看護計画を立案・実施することができる。 3. 訪問看護の実習を通して在宅で行う看護技術の特徴とその方法を説明することができる。 4. 在宅療養を支援する社会資源と多職種連携について述べるができる。 5. 在宅ケアシステムにおける訪問看護ステーションの機能と訪問看護の役割について述べるができる。

《評価の方法》

実習状況 70%（実習内容30%・態度20%・カンファレンス20%）（到達目標の1.2.3.4.5）

提出物 30%（実習記録20%・レポート10%）（到達の1.2.3.4.5）

《テキスト》

『ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論①：地域療養を支えるケア』（臺有桂他編 メディカ出版 2022年）

『ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論②：在宅療養を支える技術』（臺有桂他編 メディカ出版 2022年）

《参考図書》

『系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論2』（河原加代子他 ,医学書院, 2022年）

『看護学生のためのわかりやすい法律・制度』（望月聡一郎, 中央法規出版, 2023年）

《履修上の留意点》

1. 実習共通要項・地域・在宅看護学実習要項・事前学習を踏まえて、実習に臨む。
2. 常に療養者と家族の立場を考え、尊厳、人権擁護、守秘義務、安全・倫理面への配慮に留意して実習する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習時間：2週間（2単位90時間） 2. 実習場所：訪問看護ステーション 3. 実習内容（実習要項参照） 事前学習（180分）の内容については実習要項を参照こと。	山崎 節子 渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
2			
3			
4			
5			

科目名	地域・在宅看護学実習	授業科目番号	2313200
担当者氏名	山崎 節子、渡邊 路子、駒形 三和子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	日本語Ⅳ			授業科目番号	1102060
担当者氏名	渡邊 有紀恵			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力、◎5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

日本語Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語Ⅲで養った内容を基盤とする科目である。これまでに学んだ日本語の特徴を基盤に、質の良いデジタルプレゼンテーションの方法を学び、体験する。プレゼンテーションには、言語情報・聴覚情報・視覚情報があることを踏まえ、よいプレゼンテーションは言語情報を論理的に伝えることとともに非言語情報を意識することも重要であることを理解する。実際にテーマに沿ってプレゼンテーションファイルを作成し、発表を体験する。

《授業の到達目標》

1. MicroSoftPowerPointソフトを使用して資料を作成し、操作しながら、プレゼンテーションをすることができる。
2. 効果的なプレゼンテーションに必要な言語表現や図表の使用について理解し、使うことができる。
3. 発表内容をより効果的に伝えるための発表態度について理解し、実際に行うことができる。

《評価の方法》

期末プレゼンテーション50% 個人発表及び質疑応答をもとに評価する / 課題40% 提出されたppt資料をもとに評価する / 学習態度10% 授業中の発言、態度等をもとに評価する ※全て到達目標1. 2. 3

《テキスト》

指定無し

《参考図書》

『プレゼンテーション・パターン 創造を誘発する表現のヒント』（井庭崇著 慶應義塾大学出版会 2013年）

《履修上の留意点》

授業を履修する学生は、1回目の授業までに自己紹介をするためのパワーポイント資料を作成すること。毎回出される課題について期限を守り提出すること。最終発表時には、発表者及び聴衆として積極的に質疑応答に参加すること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス プレゼンテーションをしてみよう① (自己紹介)	授業ガイダンス パワーポイント資料による自己紹介 (予習) 自己紹介のためのパワーポイント資料を作成する。(60分) (復習) 自分のプレゼンを振り返り、気づいたことをレポートにまとめる。(60分)	渡邊有紀恵
2	事前準備 (発表目的、スライド作成プラン)	・最終プレゼンテーションの準備として、プレゼンする相手、テーマ、プレゼンの目的、構成を考える。なんのために話すのか、細かい論点についても考えていく。 (予習) プレゼンテーションのテーマを考えてくる。(30分) (復習) 相手・目的・メッセージに関する理解を深める課題を行う。(90分)	渡邊有紀恵
3	資料構成 (ストーリー、構成)	第2回で考えたテーマと構成に合わせたスライドを実際に作成する。自分の目的のために、どのような構成でスライドを作成するか考え、実際に作成していく。 (予習) 第2回で決定したテーマと構成に合わせた資料作成(60分) (復習) 資料の初稿を完成させる。(60分)	渡邊有紀恵
4	発表内容と表現① (論理展開、内容パタン、表現パタン)	・資料全体を通した論理性についてグループで検討する。 ・短く簡潔に自分の伝えたいことを伝えるための言語表現について理解し、自身の資料に反映させる。 (予習) 論理展開に関する資料を読む。(30分) (復習) 学んだことを踏まえ、資料を改訂する。(90分)	渡邊有紀恵
5	発表内容と表現② (魅せ方に関するパタン)	・スライドのデザインによる伝わり方について理解する。タイトル、見出し、説明、図表、写真等、自分が伝えたい内容が伝わる工夫をする。必要に応じて音声挿入の方法を理解し実践する。 ・アニメーション機能の効果的な使い方について学び、実践する。 (予習) 魅せ方に関する予習課題を行う。(60分) (復習) 学んだことを踏まえ、自身の資料を改訂する。(60分)	渡邊有紀恵

科目名	日本語Ⅳ	授業科目番号	1102060
担当者氏名	渡邊 有紀恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	ふるまいと質疑応答 (発表態度)	- 効果的な動きや話し方、目線、声の大きさ等プレゼンテーション時のふるまいについて学ぶ。 - 自身のプレゼンテーションにおいて出される質問を想定し、その応答について考え、回答を準備する。 (予習) ふるまいに関する資料を読む。(30分) (復習) 学んだことを踏まえ、自身の資料を改訂する。(90分)	渡邊有紀恵
7	総まとめ 期末プレゼン準備	これまで学んだことを踏まえ、最終プレゼンテーションの資料を完成させる。グループにおいて模擬発表を行い、質疑応答、相互評価を経て、最終資料を完成させる。 (予習) 第2回～第6回に使用した資料を復習する。(60分) (復習) 自身の模擬発表を撮影したものをしながら、ふるまいについて改善させる。最終資料を完成させる。(60分)	渡邊有紀恵
8	期末プレゼン 相互評価	- クラス全体を前に、最終プレゼンテーション、質疑応答を行う。 - 相互評価を実施し、よりよいプレゼンテーションのためのヒントを得る。 (予習) プレゼンテーションの準備を行う。(60分) (復習) 相互評価の結果を振り返り、今後の課題についてまとめる。(60分)	渡邊有紀恵
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	韓国語			授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄 仁祚			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

看護の国際化を鑑み、隣国である韓国の文化の理解と教養を養う。具体的には、韓国語の学び方の特徴、韓国語がどのような言語であるかをまず学ぶ。そのうえで、ハングル文字と発音にフォーカスして文字と発音が一致することを修得する。また、簡単なあいさつなどの日常会話を学ぶ。韓国文化を理解するために、韓国の歴史、文化などを講義の中で多数紹介していく。韓国語の基本を学ぶとともに、韓国文化の理解に努める科目である。

《授業の到達目標》

1. 韓国語の文字の読み、書きができる。
2. 入門レベルによる、基礎文法を理解し、簡単なコミュニケーションをとることができる。
3. 韓国の社会と文化を理解する。

《評価の方法》

定期試験 60%。(到達目標1. 2. 3)、小テスト 20%。(到達目標1. 3)
学習態度 20% 授業中の発言、態度をもとに評価する。(到達目標の1. 2. 3)

《テキスト》

『最新チャレンジ！韓国語 <第2版>』（阪堂千津子、金 順玉 著 白水社 2024年）

《参考図書》

『楽しく学べる韓国語』（李 美賢、李 貞暎 著 白水社 2016年）

《履修上の留意点》

ペアー活動が多いため、積極的に授業に参加することを希望する。また、はじめて学ぶ言語なのでCDを活用しながら習った単語や文章を朗読することも必要である。

《備考》

授業の理解度を問う小テストを2回程度実施する。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	韓国語とハングル (韓国語の特徴とハングルの仕組み)	ガイダンス 韓国語の特徴とハングルの仕組みを学び、理解する。また、韓国語で自己紹介をする。 予習：p p. 6～7 CDを聞いて読んでくる。(20分) 復習：ハングルの仕組みをノートに整理する。(40分)	黄 仁祚
2	1課 基本母音と合成母音① (基本母音、合成母音)	基本母音10個と合成母音11個の中、4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習：p p. 8～10 CDを聞いて読んでくる。(20分) 復習：p p. 9～11 表と問題を完成する。 p9 単語をすべて覚える。(40分)	黄 仁祚
3	2課 基本子音① (基本子音)	基本子音14個の中、4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習：p p. 12～13 CDを聞いて読んでくる。(20分) 復習：p 13 基本母音と習った子音を組み合わせ書いて読む。学習した基本母音の単語をローマ字で書く。(40分)	黄 仁祚
4	2課 基本子音② (基本子音)	基本子音14個の中、5個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習：p p. 12～13 CDを聞いて激音を読んでくる。(30分) 復習：p 13 基本母音と習った子音を組み合わせ書いて読む。学習した基本母音の単語をローマ字で書く。(60分)	黄 仁祚
5	2課 基本子音③ (激音)	基本子音14個の中、激音4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習：p p. 12～14 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習：p p. 14～15 CDを聞いて問題を完成する。 p 14 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚

科目名	韓国語	授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄 仁祚		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	2課 ほかの子音 (濃音)	他の子音である濃音5個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習：p p. 16～17 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習：p p. 16～17 CDを聞いて問題を解く。p 18 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚
7	3課 合成母音② (合成母音)	合成母音11個の中、7個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習：p 18 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習：p 19 表と問題を完成する。p 19 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚
8	4課 パッチム① (パッチム)	パッチム「ng」、「n」、「m」、「l」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習：p p. 22～23 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習：パッチム「ng」「n」「m」「l」の配った資料をノートにまとめること。p 22 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚
9	4課 パッチム② (パッチム)	パッチム「k」、「t」、「p」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習：p p. 23～25 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習：パッチム「k」「t」「p」の配った資料をノートにまとめること。p 24 問題を完成する。(60分)	黄 仁祚
10	4課 発音上手になるためのコツ (連音化)	発音が上手になるため連音化を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習：p p. 26～27 読んでくる。(30分) 復習：授業中で解いた問題をまとめる。(60分)	黄 仁祚
11	日本語のハングル表記 (日本語のハングル表記のルール)	日本語のハングル表記のルールを学び、理解した上で、日本の都市名や自分の名前をハングルで書くトレーニングをする。 予習：p p. 20～21 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習：授業中で解いた問題をまとめ、読む。(60分)	黄 仁祚
12	2つの子音のパッチム (2つの子音のパッチムの読み方)	2つの子音のパッチム11個とその読み方を学び、理解した上で、短文読みトレーニングをする。 予習：p 28 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習：授業中で配ったプリントを読んでまとめておく。(60分)	黄 仁祚
13	5課 私は～です (～は～です(か)、～ではありません)	名詞の肯定文「～は～です」とその否定文「～ではありません」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習：p p. 30～33 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習：p p. 32～33 CDを聞いて問題を解く。p p. 32～33 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚
14	5課 私は～です (かしこまった「です、ます」体)	動詞のかしこまった「です、ます」体を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。(30分) 予習：p p. 34～36 CDを聞いて読んでくること。 復習：授業中に配ったプリントを読んで問題を解く。p 36 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚
15	復習 韓国語の表現について (構文)	授業全体について振り返り、内容をまとめる。 予習：既習内容の疑問点をまとめておく。(60分) 復習：既習内容のCDを聞きながら、発音練習をする。(60分)	黄 仁祚

科目名	中国語			授業科目番号	1102070
担当者氏名	白 雪晴			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

看護の国際化を鑑み、隣国である中国の文化の理解と教養を養う。具体的には、中国語がどのような言語であるのかをまず学ぶ。そのうえで、発音の基礎、簡単な決まり文句、挨拶などの日常会話、自己紹介などを学ぶ。また、動詞、目的語や時を表す名詞の位置などの基本的な語順についても学ぶ。中国文化を理解するために、テーマを設定して調べ学習をする。言語の基本を学ぶこととともに、中国文化の理解に努める科目である。

《授業の到達目標》

中国語の基礎をしっかりと身につけ、各自が自習できる程度に達するように。中国の文化及び現状に触れ、日中文化に対して考えるようになり、日本の社会に役立つ人間づくりに努める。自信がつくられ、より魅力的な人間を目指す。

《評価の方法》

定期試験60% 提出物20% 授業態度20%

《テキスト》

『ニーハオ！ニッポンーふりむけば、中国語。』（相原茂、朱怡穎 著 朝日出版社 2018年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

テキスト購入を必須の要件とする。
授業後、教材についているCDを繰り返し聞くこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	中国と中国語について 発音 1 と自己紹介	中国について。中国語はどういう言語か 声調、単母音、子音を繰り返し発音し、一人ひとりに気を配り、自分の 名前の読み方を覚え、自己紹介をできるように。練習問題も出す、提出 が必要。	白 雪晴
2	中国の現状など 発音 2 とあいさつ	中国のコロナ事情や最新ニュース 1 回目の勉強内容を復習してから、母音の半分を進む。簡単な挨拶の勉 強。練習問題を出して、ピンインや簡体字を書いてもらう。提出が必要 。	白 雪晴
3	中国の旧暦の祝日 発音 3	中国の旧暦は何か 1回目と2回目の内容を復習し、母音を全部マスターする。これで中国語 のピンインが完了 練習問題を出して、授業中完成してもらう。	白 雪晴
4	中国の新暦の祝日 発音 4 中国語発音のルール	婦人の日、教師の日など ピンインの復習 第三声の変調、「一」「不」の変調、轻声、r 化 練習問題	白 雪晴
5	中国の句の話す 第5課 動詞述語文	判断する動詞「～是～」 「の」に相当する「的」 人称代名詞 推測する「吧」 練習問題	白 雪晴

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	中国語	授業科目番号	1102070
担当者氏名	白 雪晴		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	中国の新語 第6課 助動詞の「想」	動詞の「姓」「叫」、名前の言い方 指示代名詞 動詞の「在」 練習問題	白 雪晴
7	中国の若者文化 第7課 形容詞述語文	疑問視の「多」 数の数え方 「動詞+过」 練習問題	白 雪晴
8	中国の職業事情 第8課 連動文	量詞 動詞の「有」 時間量の言い方 練習問題	白 雪晴
9	中国の世界遺産 第9課 疑問詞	疑問詞疑問文 中国のお金の単位 「二」「両」 練習問題	白 雪晴
10	小テスト 第10課 「怎么」の2つの使い方	年月日、曜日の言い方 年齢の言い方 練習問題	白 雪晴
11	中国のなぞなぞを使用 第11課 副詞と前置詞	「也」と「都」 実現した「了」 2つの否定「不」と「没」 「在」の動詞、前置詞の違い 練習問題	白 雪晴
12	中国の早口言葉練習 第12課 反復疑問文	動詞文と助動詞入る文の反復疑問文 変化の「了」 動詞の重ね型 時刻の言い方	白 雪晴
13	中国の飲食文化 第13課 進行形の3つの形	選択疑問文の「～还是～」 「～が好きです」の「喜欢」 練習問題	白 雪晴
14	中国の酒文化 第14課 動詞の持続形	「動詞+着」の持続形 方位詞 3つのできる。「会」「能」「可以」 練習問題	白 雪晴
15	まとめと復習 第15課 動詞の補語	結果補語と方向補語 しなければならないの「得」 練習問題	白 雪晴

科目名	キャリアデザインIII			授業科目番号	1104030
担当者氏名	藤田 勇			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎4-1 看護学を探究する意欲, ○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

キャリアデザインとは何かを理解し、何を大切に仕事に取り組むのかを考える。また、自己の傾向を知り、自己理解と他者理解にむけてグループディスカッションを行う。さらに、専門職とは何か、プロフェッショナルとして求められる倫理、役割、機能について考える。また、看護師・保健師・助産師に関する情報を収集し、3年間の学びを振りかえるとともに看護専門職としての自己の将来像を考える。そして、これらのグループワークで得たものを発表・意見交換する。

《授業の到達目標》

1. 自分の人生におけるキャリアについてまとめることができる。
2. キャリアデザインについて理解し、自分の職業に対する価値観について述べるができる。
3. 専門職者として働き、学び続ける意義について述べるができる。

《評価の方法》

課題レポート 30% (到達目標3) 毎回のコメントシートの評価 30% (到達目標1・2)
自分史の作成及び発表 (プレゼンテーション含む) 40% (到達目標1)

《テキスト》

《参考図書》

1. 『看護師のためのキャリアデザインBOOK』(濱田安岐子監修 つちや書店 2018年)
2. 『看護師のためのキャリアナビ』(荒神裕之監修 秀和システム 2021年)

《履修上の留意点》

キャリアデザインⅠとⅡのまとめである。内容が重複することもある。
講義でパソコンを使用するので各自準備する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況 (予習・復習)	担当教員
1	イントロダクション (キャリア理論)	本授業の学習内容、方法について概説する。 (予習) キャリアデザインⅠ、Ⅱで学んだことを振り返る。 キャリアデザインⅢで学びたいことをまとめる。(30分) (復習) 配布資料に目を通す。(30分)	藤田 勇
2	キャリアアンカーとは (キャリアアンカー)	臨床で求められるキャリア形成について理解する。“キャリアアンカーとは何か”について理解し、自己の職業に対する価値について振り返る。 (予習) 自己の職業観を振り返る。(30分) (復習) 配布資料に目を通す。(30分)	藤田 勇
3	キャリアアップ (専門看護師・認定看護師の 仕事紹介、学び続けるために)	看護専門職として学び続けることの意義について学ぶ。 (予習) 専門看護師・認定看護師について既習の知識の確認をする。(30分) (復習) 映像を視聴し、感想をまとめる。(30分)	藤田 勇
4	専門職として求められる看護師像 (専門職、看護師像)	グループワーク。“求められる看護師像”についてパワーポイントにまとめ発表する。 (予習) “求められる看護師像”について自分の考えをまとめる。(30分) (復習) “求められる看護師像”について振り返る。(30分)	藤田 勇
5	自己理解、他者理解 (チーム、人間関係、自己理解)	グループワーク。チームの中での人間関係について学び、自己の傾向を知る。 (復習) 本日の学びを振り返る。(30分)	藤田 勇

科目名	キャリアデザインIII	授業科目番号	1104030
担当者氏名	藤田 勇		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	自分史作成Ⅰ (キャリアデザイン、自分史)	演習Ⅰ。パワーポイントで、ライフサイクルにおける自分のキャリアデザインを作成する。	藤田 勇
7	自分史作成Ⅱ (キャリアデザイン、自分史)	演習Ⅱ。自分史を完成させ発表の準備をする。	藤田 勇
8	自分史の発表 (キャリアデザイン、自分史)	演習Ⅲ。自分史の発表をし、他者が作成したキャリアデザインを共有する。 (復習)感想をまとめる。(60分)	藤田 勇
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅲ			授業科目番号	2312070
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ、林 友子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	1単位	時間	45時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○3-1 地域のネットワークを共有する力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

成人期の健康についての地域特性や社会資源に関する資料・健康指標、健康に対する考え方を外来看護師への相談内容、外来通院の患者、健康増進活動をしている地域住民との交流を通して知り、個人及び地域の健康課題を見出す。次に、地域住民の生活習慣病に対する認識を高め、健康の維持・増進にむけた地域住民向けのイベントの企画・運営をしてヘルスプロモーション活動につなげる。また、成人期の発達課題である子育て、仕事や老親の扶養など健康との関連について考察する。

《授業の到達目標》

1．地域特性や社会資源に関する資料・健康指標を活用して、地域の健康問題について説明できる。3．地域住民との交流から、健康に対するニーズや健康課題について明らかにする。2．地域（自分の居住地あるいは長岡市）のフィールドワークを行い保健医療福祉施設マップを作成する。3．地域住民との交流から、健康に対するニーズや健康課題について明らかにする。4．成人期の健康課題に対するヘルスプロモーション活動を創造する。

《評価の方法》

実習における態度、意欲、カンファレンスの参加状況、実習記録、面談など実習評価表で評価する。（到達目標1～4）

《テキスト》

《参考図書》

実習中に必要に応じて指定する。

《履修上の留意点》

履修要件：基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱ、成人看護援助論Ⅲを修得していること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習期間：1週間 2. 実習地域：学生が生活している地域 3. 実習時間：9時～16時（余った時間は復習時間とする）	広井 貴子 目黒 優子 近藤ふさえ 林 友子
2		実習内容：成人期の健康についての地域特性や社会資源に関する資料・健康指標、健康に対する考え方を健康増進活動をしている地域住民との交流を通して知り、個人及び地域の健康課題を見出す。次に、地域住民の生活習慣病に対する認識を高め、健康の維持・増進にむけた地域住民向けのヘルスプロモーション活動を学ぶ。また、成人期の発達課題である子育て、仕事や老親の扶養など健康との関連について考察する。	
3		事前学習 1) 新潟県下の成人期の健康問題について調べる。（120分） 2) 地域で生活する人の健康増進活動について調べる。（180分）	
4			
5			

科目名	成人看護学実習III	授業科目番号	2312070
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ、林 友子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動展開論実習			授業科目番号	2313120
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子、山崎 節子、田辺 生子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	3単位	時間	135時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○2-4 自己の看護実践を振り返る力, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

保健所および市町村の組織について担当者から説明を受け、保健所・市町村における保健事業・地域看護活動に参加し、公衆衛生看護の目的・目標について理解を深め、地域住民の健康を支援する保健師の役割を学ぶ。また、保健医療福祉チームにおける保健師の役割と連携・協働の重要性を学び、行政看護領域における看護管理の実際と行政保健師の役割を学ぶ。また、産業保健における看護活動の実際を理解し、職業生活を支える労働衛生管理のあり方と看護職の役割について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 実習地域の健康課題を把握し、実習施設（保健所、市町村）で取り組まれている保健事業や地域看護活動との関連について考察し、保健師の役割を理解する。 2. 産業保健における看護活動の実際を理解し、職業生活を支える看護職の役割について理解する。 3. 学校保健活動の実際を理解し、学齢期の健康課題に応じた養護教諭の役割を理解する。述べることができる。 ※詳細については実習要項参照

《評価の方法》

評価表をもとに、実習状況（実習内容、態度、目標の達成度）、実習記録、レポートによって総合的に評価する。（到達目標1.2.3）

《テキスト》

- 1) 『標準保健師講座[1] 公衆衛生看護学概論』（標美奈子 他著 医学書院 2020年）
- 2) 『標準保健師講座[2] 公衆衛生看護技術』（中村裕美子 他著 医学書院 2021年）
- 3) 『標準保健師講座[3] 対象別公衆衛生看護活動』（松田正己 他著 医学書院 2019年）

《参考図書》

『国民衛生の動向 2023-2024』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2023年）

《履修上の留意点》

実習要項を熟読して実習に臨む。

※3年次の配当科目〔生涯発達と看護〕〔地域社会と看護〕におけるすべての実習科目を修得していること、およびへき地看護論、看護関係法規を除き、すべての保健師教育家庭の科目を修得していることが必要です。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習時間：3週間（3単位135時間） 2. 実習場所：長岡保健所・長岡市または柏崎保健所・柏崎市 長岡市内の事業所、新潟大学長岡附属小中学校 3. 実習内容:実習要項参照 4. 事前課題:実習要項の通り(120分)	渡邊 路子 平澤 則子 駒形三和子 山崎 節子 田辺 生子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動展開論実習	授業科目番号	2313120
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子、山崎 節子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	個人・家族・集団・組織の支援実習			授業科目番号	2313130
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○2-4 自己の看護実践を振り返る力, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

大学周辺の地区をフィールドとして実習を行う。担当した地区の地域診断を行い、明らかになった健康課題解決に向けて健康相談会や健康教育を実施する。

前半実習は、地区踏査、高齢者世帯等への家庭訪問、地域組織の代表者（町内会長、民生委員、健康推進員、食生活改善推進員等）や関係機関（コミュニティセンター、地域包括支援センター等）への聞き取りを実施して、地域で生活する人々の健康課題を健康、生活、社会的条件との関連から検討し、健康課題解決に向けて公衆衛生看護活動計画を立案する。

後半実習は、1週目の実習内容をふまえ、地区で生活する住民とともに地区の健康課題や解決策を考え、健康課題解決に向けて健康相談会や健康教育を実施する。

《授業の到達目標》

1. 地域診断を実施して、地域で生活する人々の健康課題を健康、生活、社会的条件と関連させ、述べることができる。
2. 健康課題解決に向けて地域の強みを踏まえた公衆衛生看護活動計画を立案することができる。
3. 立案した公衆衛生看護活動計画をもとに、個人、家族、集団、組織を対象とした支援活動を実施することができる。
4. 実習を通して地域で生活する人々とのパートナーシップと協働活動について考察することができる。

《評価の方法》

評価表をもとに、実習状況（実習内容、態度、目標の達成度）、実習記録によって総合的に評価する。（到達目標1, 2, 3, 4）

《テキスト》

- 1) 『標準保健師講座[1] 公衆衛生看護学概論』（標美奈子 他著 医学書院 2019年）
- 2) 『標準保健師講座[2] 公衆衛生看護技術』（中村裕美子 他著 医学書院 2020年）
- 3) 『地域看護診断 第2版』東京大学出版会
- 4) 『国民衛生の動向 2023-2024』厚生労働統計協会

《参考図書》

- 1) 『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著 医歯薬出版 2018年）
- 2) 『コミュニティ アズ パートナー 地域看護学の理論と実際 第2版』（エリザベス T. アンダーソン他編 医学書院 2007年）

《履修上の留意点》

1. 実習要項を熟読して実習に臨む。
2. 実習共通要項、個人・家族・集団・組織の支援実習要項に従った身だしなみ、服装、態度を実習参加の条件とする。
3. 常に対象者の視点に立ち、個人情報の保護に留意して実習する。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習時間：2週間（2単位90時間） 2. 実習場所：長岡市深才地域 3. 実習内容（実習要項参照） 事前課題：実習要項参照	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
2			
3			
4			
5			

科目名	個人・家族・集団・組織の支援実習	授業科目番号	2313130
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	看護管理論			授業科目番号	2314010
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, ◎4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

看護を提供するために必要な組織づくりや看護管理の考え方について学ぶ。「看護管理」のもつ印象は、看護管理者のための職務と捉えられやすい。今日、管理の概念や知識は看護職が専門職業人として当然にもつべき必要な概念として位置づけられる。看護管理の目的・機能について理解し、質の高い看護を提供するためのシステムの基礎を学ぶ。組織、医療制度と法律、人的資源管理、看護の提供システム、看護の質保証、継続教育などについて学習し、組織の一員として、また保健医療チームの一員としての役割と責任について理解する。

《授業の到達目標》

1. 看護管理の基礎が理解できる。
2. 組織、医療制度と法律を含む看護提供システムが理解できる。
3. 保健医療チームの一員としての役割と責任が理解できる。

《評価の方法》

レポート課題 10%（到達目標の1.2）
定期試験 90%（到達目標の1.2.3）

《テキスト》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[1] 看護管理』（上泉和子 他編 医学書院 2024年）

《参考図書》

『看護職の基本的責務』（手島恵 監修 日本看護協会出版会 2024年）

《履修上の留意点》

書籍の予習・復習をするとともに、インターネット等で時事問題などを含む情報を看護管理に引き寄せながら学ぶこと。授業の復習を必ず行うこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護におけるマネジメント	ガイダンス・看護管理とは何か、看護におけるマネジメントが理解できる。（看護管理の定義・マネジメントの変遷、考え方） （予習）指定教科書第1章を熟読する（30分） （復習）講義内容を理解できるようにまとめておく（90分）	樋本まゆみ
2	看護ケアのマネジメント	1. 看護ケアのマネジメントが理解できる。（看護職の機能・患者の権利の尊重・チーム医療・看護業務の実践） （予習）指定教科書第2章を熟読する（30分） （復習）講義内容を理解できるようにまとめておく（90分）	樋本まゆみ
3	看護職としてのセルフマネジメント	1. 看護職としてのセルフマネジメントが理解できる。（看護職のキャリア形成・看護職の専門職としての成長・ストレスマネジメント） （予習）指定教科書第3章を熟読する（30分） （復習）講義内容を理解できるようにまとめる（90分）	樋本まゆみ
4	看護サービスマネジメント	1. 看護サービスマネジメントについて理解できる。（組織・看護サービス提供システム・人・物の管理など） （予習）指定教科書第4章を熟読する（30分） （復習）講義内容を理解できるようにまとめる（90分）	樋本まゆみ
5	マネジメントに必要な知識と技術	1. マネジメントに必要な知識と技術について理解できる。（人を動かす理論と組織について） （予習）指定教科書第5章を熟読する（30分） （復習）講義内容を理解できるようにまとめる（90分）	樋本まゆみ

科目名	看護管理論	授業科目番号	2314010
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	看護を取り巻く諸制度	1.看護職について理解できる。(看護職の法と制度・看護教育・専門看護師など) (予習) 指定教科書第6章を熟読する(30分) (復習) 講義内容を理解できるようにまとめる(90分)	樋本まゆみ
7	看護を取り巻く諸制度	1.医療制度、看護制度と制作について理解できる。(医療制度・医療法・診療報酬など) (予習) 指定教科書第6章を熟読する(30分) (復習) 講義内容を理解できるようにまとめる(90分)	樋本まゆみ
8	まとめ	授業全体を振り返り、内容をまとめる。 (予習) 今までの授業内容を外観し纏める(30分) (復習) 全ての講義内容について、総復習を行う(90分)	樋本まゆみ
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	国際看護論			授業科目番号	2314020
担当者氏名	中村 勝			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

グローバル化社会にともなう多様な文化や医療・看護に対する視野を広げ、国際保健医療（グローバルヘルス）や看護の在り方について学ぶ。具体的には、世界の宗教と文化や保健医療の実践について理解し、人々の生活に関連する異文化看護についての基本的な知識を習得する。さらに日本に求められる国際支援政策、国際協力活動における看護師の役割、そして、医療や看護における諸外国との協力関係について具体例をとおして学ぶ。

異文化看護について、国際保健医療の視点を交えて教授する。また、国内の在留外国人に対応するコミュニケーション方法や看護について具体的に説明する。我が国の国際支援政策、国際協力活動における看護師の役割や諸外国との協力関係について、国連の政策をもとに教授する。

《授業の到達目標》

1. 国際看護の主要概念やグローバルヘルスの基礎知識を説明できる。
2. 国際協力の仕組みや諸外国との協力をはじめとする国際看護活動を説明できる。
3. 世界の保健医療に関する現状と看護について理解できる。
4. 多様な文化社会的背景をもつ対象者への看護を理解できる。

《評価の方法》

学習態度 10% 授業中の発言、態度をもとに評価する。
レポート課題 90% 課題については講義の中で提示する。

《テキスト》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[3]災害看護学・国際看護学』（庄野泰乃 他編 医学書院 2024年）
毎回、資料を配付する。

《参考図書》

適宜紹介する。

《履修上の留意点》

テーマごとに自己学習を行い、基本的知識を得て出席することが望ましい。日常生活の中で国際保健に関わるニュース等に関心を持つようにしてください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	国際看護学 グローバル化 世界人権宣言 三大感染症 国際救援 国際協力	・ガイダンス ・国際看護学とは何か （予習）テキストp234～249を熟読し、ノートにまとめる。 （復習）授業を振り返り、国際看護の意義について調べる。	中村 勝
2	グローバルヘルス 人間の安全保障 持続可能な開発目標	・グローバルヘルスの沿革と課題 （予習）テキストp251～259を熟読し、ノートにまとめる。 （復習）授業を振り返り、グローバルヘルスの意義について調べる。	中村 勝
3	国際機関 政府機関 国際救援の調整 開発協力 国際協力機構（JICA）	・国際機関と国際協力のしくみ （予習）テキストp259～268を熟読し、ノートにまとめる。 （復習）授業を振り返り、国際機関と国際協力のしくみについて調べる。	中村 勝
4	文化理解 異文化理解 レイニンガーの看護理論	・異文化と看護 （予習）テキストp270～273を熟読し、ノートにまとめる。 （復習）授業を振り返り、文化を考慮した看護の重要性について調べる。	中村 勝
5	国際看護活動の展開過程 コミュニティ・アズ・パート ナーモデル PDCAサイクル プロジェクト・サイクル・マ ネジメント	・国際看護活動の展開 （予習）テキストp277～281を熟読し、ノートにまとめる。 （復習）授業を振り返り、国際看護活動の展開方法について調べる。	中村 勝

科目名	国際看護論	授業科目番号	2314020
担当者氏名	中村 勝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	開発途上国 プライマリヘルスケア ヘルスプロモーション 貧困 社会的弱者	・国際協力と看護 (予習) テキストp283～302を熟読し、ノートにまとめる。 (復習) 授業を振り返り、国際協力と看護の役割について調べる。	中村 勝
7	国際救援活動 災害医療 災害関連死 災害とこころのケア	国際救援と看護／災害看護学の基本概念 (予習) テキストp303～350を熟読し、ノートにまとめる。 (復習) 授業を振り返り、国際救援と看護の役割について調べる。	中村 勝
8	未定	トピック／まとめ (予習) テキストを再度熟読し、理解する。 (復習) 授業を振り返り、グローバルヘルスと看護職の役割について理解する。	中村 勝
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	統合実践演習			授業科目番号	2314050
担当者氏名	目黒 優子、沼野 博子、藤田 勇、佐藤 初美、多田 健一			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○2-4 自己の看護実践を振り返る力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

本演習では、各専門分野で学修した基礎的な知識および技術の統合を図るとともに、チームメンバーとの協働および看護実践に対する自己の課題を明確化して「統合実践実習」に繋げていくことを目的とする。演習の課題としては、複数受け持ち患者の観察および対応、タイムスケジュール管理、危険予知トレーニング（KYT）などが挙げられる。演習の方法としては、チーム検討をもとに、VRやシミュレーションを活用して実践的に学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 事例の患者の看護実践を理解し、看護計画を立案できる。
2. 複数患者の看護援助を、優先順位と時間管理を考慮して実践できる。
3. 医療現場に潜む危険について予測し、発生を予防する行動ができる。
4. 看護専門職者としての自己の課題について述べるができる。

《評価の方法》

レポート:60%、演習参加態度:40%

《テキスト》

《参考図書》

1. 『系統看護学講座 看護の統合と実践[1] 看護管理、看護の統合と実践[2] 医療安全』医学書院
2. 『ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践(1):看護管理、看護の統合と実践(2):医療安全』メディカ出版

《履修上の留意点》

学びを深めるためにはチームワークおよびコミュニケーションが重要となります。さらに各個人がチームとして協力していくことで、初めて成果が生まれます。そのためには、各個人であらかじめ事前学習をして積極的に取り組むようにしましょう。本演習で経験したことから自己の学習課題を明確にして、統合実践実習につなげましょう。

《備考》

演習時の記録用紙は、ポータルサイトからダウンロードが可能です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション(アセスメント)	オリエンテーション 演習1:事例のアセスメント・看護問題の明確化 (予習)「アセスメントを行う時のポイント」「フィジカルアセスメント」についてまとめておく。 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
2	VRによる患者の状態観察(VR演習、グループワーク)	演習2:各患者の観察の実施(VR演習:A氏、F氏の状態をVRで観察を行う) (予習)「2型糖尿病」「誤嚥性肺炎」の病態生理、症状、治療、看護についてまとめておく。 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
3	VRによる患者の状態観察(VR演習、グループワーク)	演習2:各患者の観察の実施(VR演習:A氏、F氏の状態をVRで観察を行う) (予習)「2型糖尿病」「誤嚥性肺炎」の病態生理、症状、治療、看護についてまとめておく。 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
4	VRによる患者の状態観察(VR演習、グループワーク)	演習2:各患者の観察の実施(VR演習:A氏、F氏の状態をVRで観察を行う) (予習)「2型糖尿病」「誤嚥性肺炎」の病態生理、症状、治療、看護についてまとめておく。 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
5	受け持ち患者を複数受け持った時の対応(シミュレーション演習、複数受け持ち患者、グループワーク)	演習3:複数患者の状態・環境の確認(受け持ち患者の病室を訪し、それぞれの患者の状態および環境を確認してアセスメントする) (予習)「受け持ち患者を複数受け持つ時のポイント」についてまとめておく。 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一

科目名	統合実践演習	授業科目番号	2314050
担当者氏名	目黒 優子、沼野 博子、藤田 勇、佐藤 初美、多田 健一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	受け持ち患者を複数受け持った時の対応(シミュレーション演習、複数受け持ち患者、グループワーク)	演習3: 複数患者の状態・環境の確認(受け持ち患者の病室を訪室し、それぞれの患者の状態および環境を確認してアセスメントする) (予習)「受け持ち患者を複数受け持つ時のポイント」についてまとめておく。 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
7	受け持ち患者を複数受け持った時の対応(シミュレーション演習、複数受け持ち患者、グループワーク)	演習3: 複数患者の状態・環境の確認(受け持ち患者の病室を訪室し、それぞれの患者の状態および環境を確認してアセスメントする) (予習)「受け持ち患者を複数受け持つ時のポイント」についてまとめておく。 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
8	受け持ち患者を複数受け持つ時のタイムスケジュール管理(複数受け持ち患者、グループワーク)、危険予知トレーニング	演習4: 複数受け持ち患者のタイムスケジュール管理(タイムマネジメント管理、患者対応課題)〈全体発表〉〈多重課題のまとめ〉 (予習)「危険予知(KYT)」について調べる。 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
9	受け持ち患者を複数受け持つ時のタイムスケジュール管理(複数受け持ち患者、グループワーク)、危険予知トレーニング	演習4: 複数受け持ち患者のタイムスケジュール管理(タイムマネジメント管理、患者対応課題)〈全体発表〉〈多重課題のまとめ〉 (予習)「危険予知(KYT)」について調べる。 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
10	受け持ち患者を複数受け持つ時のタイムスケジュール管理(複数受け持ち患者、グループワーク)、危険予知トレーニング	演習4: 複数受け持ち患者のタイムスケジュール管理(タイムマネジメント管理、患者対応課題)〈全体発表〉〈多重課題のまとめ〉 (予習)「危険予知(KYT)」について調べる。 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
11	危険予知トレーニング(VR演習、グループワーク)	演習5: 危険予知トレーニング(VR演習) (予習)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
12	危険予知トレーニング(VR演習、グループワーク)	演習5: 危険予知トレーニング(VR演習) (予習)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
13	危険予知トレーニング(VR演習、グループワーク)	演習5: 危険予知トレーニング(VR演習) (予習)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
14	危険予知トレーニング(シミュレーション演習、演習まとめ)	演習6: 危険予知トレーニング(シミュレーション演習)〈危険予知トレーニングの演習まとめ〉 (予習)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
15	危険予知トレーニング(シミュレーション演習、演習まとめ)	演習6: 危険予知トレーニング(シミュレーション演習)〈危険予知トレーニングの演習まとめ〉 (予習)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則 (復習)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	統合実践実習			授業科目番号	2314060
担当者氏名	渡邊 路子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, ◎4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

これまでに学んだ知識・技術・態度を統合し、実習の目的・目標を達成するために学生が、教員指導のもとで実習計画を立案し、保健医療福祉チームの一員として医療施設から地域への切れ目のない支援では、地域包括ケア病棟・地域連携室での実習において多職種連携に参加し、看護の継続性の実際から、看護職としてのメンバーシップならびにリーダーシップを学ぶ。また、多面的な看護体験を通して看護管理者の役割と機能について学ぶ。複数患者を受け持ち、優先度を判断した看護実践を行う基礎的能力を習得するとともに、自らの看護実践能力の開発にむけて学び続ける姿勢や課題探究能力の基盤を養う。

《授業の到達目標》

1. これまでの実習体験から自己の課題を明確にし、それに合う実習計画を立案し主体的に実施できる 2. 複数患者を受け持ち優先順位を考え患者の個性に合わせた看護援助を実践できる 3. 専門的知識と確かな技術に基づいた安全な看護の提供と適正な評価ができる 4. チームアプローチを含む看護活動体験を通して、医療チームに関わる人びとの協働の意義を説明できる 5. 実習を通して、これまでの学習体験を統合し、自らの学習課題に対する学びと今後の課題を表現できる

《評価の方法》

実習中は適宜面接を行う。最終的には、実習目的・実習の到達目標の達成度について評価表を用いて評価する

《テキスト》

《参考図書》

《履修上の留意点》

事前学習：看護実践演習、看護管理論の講義資料及び演習を復習しておくこと。実習先の特性に合わせた事前学習をすること。さらに、これまでの実習での自己の課題を明確にし、実習計画を担当教員に提出し、実習先の情報収集をして臨むこと。

事後学習：実習の一連の過程を経て今後の学習課題を明確にすること。

《備考》

実習場所に関しては、指定の実習先の受け入れ状況と学生の希望調査に基づき決定する。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：オリエンテーション時に提示する 3. 実習内容：学内オリエンテーション、臨地で実習、学内で実習の振り返り、全体発表会 4. 予習・復習 60分/日 詳細は、実習要項を参照する	各担当教員
2			
3			
4			
5			

科目名	統合実践実習	授業科目番号	2314060
担当者氏名	渡邊 路子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	看護課題研究			授業科目番号	2314080
担当者氏名	近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	通年（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○4-1 看護学を探究する意欲、○4-2 看護を 追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

研究課題別・指導教員別にグループに分かれ、1・2年次の「情報処理法」「情報活用法」「問題解決法」「統計分析法」や、3年次の「看護研究法」などで修得した知識を生かして、研究計画、研究発表会、実施報告書の完成までのプロセスを学ぶ。

研究課題は看護実践に関するものとし、各自の研究計画を設定する。グループまたは個別の指導を受けながら、資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返し、研究成果に関する成果発表へと結び付ける。これらの過程を通して、看護研究の実践的な方法や最新の知識と技術を自ら学び続ける素養を身につける。

《授業の到達目標》

1. 看護学における関心や疑問に基づき研究テーマを探求し、文献検討を踏まえて研究目的を明確にできる
2. 目的に沿った研究方法を検討し、研究計画書の構成に沿って計画書を作成できる
3. 研究を実施する上で必要な倫理的配慮を検討できる
4. 研究計画書に基づきデータを収集・分析し、結果を既存の知識と関連付け考察できる
5. 作成規定に従い研究論文を作成し、口頭発表することができる

《評価の方法》

「看護研究課題 評価表」（資料5）を参考に、研究への取り組み、研究計画書、研究論文などを考慮して指導教員が総合的に評価する。

《テキスト》

特に指定なし

《参考図書》

『系統看護学講座 看護研究』（坂下玲子 他著 医学書院 2023年）

《履修上の留意点》

看護学研究法での学習内容を復習して参加する。研究は各指導教員の指示に従い、積極的に実施する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		ゼミナール形式で実施する。 ・研究テーマの決定 ・研究計画書の作成 ・倫理チェック ・研究の実施	各担当教員
2		・論文作成 ・研究の口頭発表 期間：4月～11月 内容：「看護課題研究」要項を参照	
3			
4			
5			

科目名	看護課題研究	授業科目番号	2314080
担当者氏名	近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	リハビリテーション看護			授業科目番号	2315030
担当者氏名	近藤 ふさえ、沼野 博子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

生活機能に障がいをもった人とその家族が生活の再構築をはかり、その人にとっての最適な生活の営みを目指したリハビリテーション看護の理論と方法論を学修する。

主に運動機能障害、高次脳機能障害、嚥下機能障害、排泄機能障害を事例をとおして、リハビリテーション看護の役割と機能および倫理的諸問題を考察する。

《授業の到達目標》

1. リハビリテーション看護の概念と変遷を説明できる。
2. リハビリテーション看護における対象理解に関連する主要概念を説明できる。
3. 生活機能障害のある人への援助を説明できる。
4. 他職種チームの連携と協働を説明できる。

《評価の方法》

授業内小テスト40%（到達目標1,2,3） レポート60%（到達目標2,3,4）

《テキスト》

指定はありません。授業内で資料を配布します。

《参考図書》

『リハビリテーション看護』南江堂 『ナース・グラフィカ：リハビリテーション看護』メディカ出版

《履修上の留意点》

1. 各回の予習と復習（約60分）を行い、授業に参加しましょう。
2. 日常生活における生活機能（姿勢保持、認知、みる、聞く、話す）に興味をもちましょう。

《備考》

臨地実習で遭遇した事例をとおしてリハビリテーション看護を理解を深めていきましょう。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	リハビリテーション看護（リハビリテーション、障がい、看護の専門性） 生活の再構築へのアセスメントと援助（ICF、二次障害、廃用症候群、ADL評価）	ガイダンス／リハビリテーション・リハビリテーション看護の概念と変遷および看護の専門性／不動・低活動がもたらす弊害とその予防（活動・参加の促進） 学習方法：講義 予習：リハビリテーションの語源と変遷を調べる。（30分） 復習：リハビリテーション看護の専門性、役割と機能を整理。（60分） 活動の促進に向けた予防的リハビリテーションを考える。	近藤ふさえ
2	生活機能障害のある人とその家族の理解 （スティグマ、喪失と悲嘆、受容、QOL、セルフケア）	障がい経験の多様性 セルフケア支援のためのセルフケアのとらえ方 学習方法：講義、GW 予習：病者役割、スティグマの意味を調べる。（45分） 復習：リハビリテーションにおけるセルフケア支援を考察する。（45分）	近藤ふさえ
3	回復過程とリハビリテーション看護 （急性期、回復期、維持期、終末期）	急性期、回復期、維持期、終末期リハビリテーション期の看護 学習方法：講義、GW 予習：健康の回復過程を調べる。（30分） 復習：事例における各期の特徴、看護の目的と視点を整理する。（90分）	近藤ふさえ
4	障がいのある子どもの「リハビリテーション」 （発達過程における機能障害、生活への影響）	障がいを有する子どものリハビリテーションの特徴と看護 学習方法：講義、事例学習 予習：鎖肛・食道閉鎖について調べる（30分） 復習：発達段階毎の特徴と支援を整理する（30分）	沼野 博子
5	生活機能障害とリハビリテーション2 （運動機能/ 高次脳機能障害）	「運動機能」と「認知機能」に障がいのある成人期の人と家族の看護 学習方法：講義、事例学習 予習：認知、高次脳機能障がいの意味、症状を調べる。（45分） 復習：資料を読み返す。国家試験過去問題を行う。（45分）	近藤ふさえ

科目名	リハビリテーション看護	授業科目番号	2315030
担当者氏名	近藤 ふさえ、沼野 博子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	生活機能障害とリハビリテーション3 (嚥下機能障害、排泄機能障害)	生活機能の中でも「嚥下機能」と「排泄機能」に障がいのある人と家族の看護 学習方法：講義、事例学習 予習：嚥下プロセス、排泄プロセスを再確認する。(45分) 復習：資料を読み返す。国家試験過去問題を行う。(45分)	近藤ふさえ (非常勤講師 順天堂大学・准教授)
7	他職種連携と協働 (地域包括ケアシステム、他職種、連携、協働)	姿勢が生活行動へ及ぼす影響 ケアに活かすポジショニング、移動起居動作介助のポイント リハビリテーションセンターの役割と病棟での看護ケアに期待すること 予習：基礎看護学(ボディメカニズム、姿勢)(30分) 復習：多職種間連携における看護の役割を考える。(60分)	近藤ふさえ (長岡西病院 理学療法士)
8	倫理的問題および法律、施策 (アドボカシー、倫理的問題、障害者総合支援法)	リハビリテーション看護における倫理的諸問題 障害者の権利に影響する施策の変遷 学習方法：講義、GW 予習：障害者のアドボカシーの意味を調べる。(30分) 復習：倫理的諸問題への対応を考察する。(90分)	近藤ふさえ
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	へき地看護論			授業科目番号	2315020
担当者氏名	平澤 則子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

へき地の意味と地域特性、その生活と健康の関連を考え、へき地で求められる看護の役割を考える。そのうえで、新潟県について学習を進める。新潟県は山間部や離島があり、医療偏在という課題を抱えている。交通条件及び自然的、経済的、社会的条件に恵まれない山間地や離島など、医療の確保が困難である地域における看護活動について、地域の基幹病院の果たす役割も含めて理解する。また、調べ学習をグループで行い、現状から課題を抽出し、看護に求められる役割について考察するとともに、自己の課題についても考察する。

《授業の到達目標》

1. へき地に住む人々の生活を理解し、人々の健康との関連を説明することができる。
2. へき地における看護活動の現状と地域の社会資源の整備状況を捉え、看護の機能・役割を述べることができる。
3. へき地医療、へき地看護活動の特徴と課題を考えることができる。

《評価の方法》

定期試験50%（到達目標2・3）と課題レポート40%（到達目標1・2・3）、授業参加態度10%（到達目標2・3）により目標達成度を最終的に評価する。試験は講義に基づく内容から出題する。

《テキスト》

第7次新潟県地域医療計画（概要版）（新潟県ホームページから各自印刷する。）

《参考図書》

『自分たちで生命を守った村』（菊地武雄著 岩波書店 1968年）

《履修上の留意点》

新潟県医療構想と新潟県第8次医療計画を読むための時間を確保して、授業が始まるまでに読み進めておくこと。各回の授業で次回までの課題を提示するが、準備して臨むこと。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ルーラルな視点からみた「へき地看護」の基本を理解する。 実践者の体験記録をとおして「へき地看護」の魅力を実感する。（へき地看護）	新潟県内のへき地に住む人々の、健康と生活の質が向上するための保健・医療・福祉及び関係機関や住民との連携・協働の実態を知る。 （事前学習）「へき地とは？」「へき地に暮らす人々の健康を支援する専門職」について調べる。（30分） （復習）体験発表を参考に、他のへき地の生活環境及びへき地における看護実践について調べる。（30分）	平澤 則子
2	へき地の意味を理解し、地域特性と生活の関連について情報収集およびグループワークを通して探る。（へき地 暮らし）	調べ学習の発表と討議を通して、へき地の地域特性と生活の関連についての理解を深める。 （事前学習）へき地を1つ選び、その地域の歴史的・文化的・地理的・社会的特徴と、それらが人々の生活・健康に与える影響についてまとめる。（30分）（復習）へき地に住む人々の生活を理解し、人々の健康との関連を考察する。（30分）	平澤 則子
3	岩手県沢内村の医療、国のへき地保健医療対策、新潟県第7次地域医療計画の取り組みを理解する。（沢内村 地域医療計画）	国のへき地保健医療対策の経緯を理解する。乳児と老人医療を無料にした岩手県沢内村の保健活動を理解する。新潟県第8次地域医療計画と取組を理解する。 （事前学習）参考図書、インターネット等を参考に、沢内村の保健活動について調べる。（30分）（復習）国のへき地医療保健対策と比較しながら新潟県第8次医療計画を読み、県版計画の特徴を考える。（30分）	平澤 則子
4	粟島浦村における地域医療と看護を学ぶ。（オンライン診療 テレナーシング）	粟島出張診療所の看護師が担う地域医療・看護の実際を学ぶ。 （予習）インターネットから粟島へき地出張診療所、村上総合病院のオンライン診療、テレナーシングについて調べる。他の地域における取組についても調べる。（30分） （復習）へき地で求められる看護の役割を考える。（20分）	平澤 則子
5	へき地看護に必要な概念を学ぶ①（プライマリ・ヘルスケア、協働連携） へき地看護に必要な概念を学ぶ②（セルフケア、慢性疾患ケアモデル）	プライマリ・ヘルスケア、セルフケア、慢性疾患ケアモデルの概念を理解する。関係機関や住民との協働連携の実態を理解する。 （事前学習）上記の概念について調べ、ワークシートに記載する。（30分） （復習）講義資料を読み、へき地看護に必要な概念を確認する。（30分）	平澤 則子

科目名	へき地看護論	授業科目番号	2315020
担当者氏名	平澤 則子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	県内外のへき地における看護の特徴や機能・役割、課題について情報収集し分析する。(へき地看護)	第2回で取上げたへき地における看護実践を調べ、特徴や機能・役割、課題について情報収集し分析する。 (事前学習) 配布資料を読み、必要な情報とデータの所在、分析方法を考える。(30分) (復習) 分析を深める。(40分)	平澤 則子
7	分析結果を発表する。(へき地看護)	分析結果を発表し、各地におけるへき地看護の実際について共有する。 (事前学習) プレゼンテーションの準備をする。資料はパワーポイントで作成する。(60分) (復習) へき地で生活する人々の健康問題を総合的にとらえて、人々の生活の質の向上を図る看護活動を展開するための看護職の専門性と能力について考察を深める。(30分)	平澤 則子
8	へき地で働く看護職に求められる専門性と能力について討議を通して考える。「へき地における看護とは」をレポートして、まとめる。(へき地看護)	ディスカッションを通してへき地で働く看護職に求められる専門性と能力について考えるとともに、へき地看護のこれからの課題について考える。 (予習) 事前課題レポートを作成し、持参する。(60分) (復習) へき地で求められる看護の役割を深く考える。(20分)	平澤 則子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	リーダーシップ論			授業科目番号	1103030
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-1 地域のネットワークを共有する力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, ○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

リーダーシップとは、対人関係に現れる影響関係をいう。グループが目標を達成する過程で、互いにどのような影響を受けるのか、リーダーシップとは何か、ラボラトリー方式の体験学習と集団決定法を組み合わせる。グループの中で、自己の態度や行動の傾向を知り、自己のありようを検討する。体験を通して自己理解、他者理解を深め、互いの関係性の中から、リーダーシップの役割や責任について理解する。また、保健医療チームの一員として、看護者のリーダーシップのあり方について考える。

《授業の到達目標》

- 1.組織の中でのリーダーシップとメンバーシップを理解する
2.リーダーシップに関する理論を理解する
3.リーダーシップの体験学習の中から自己理解と他者理解をする

《評価の方法》

- 1.筆記試験 50%（到達目標1.2.3） 2.グループワーク 50%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『看護にいかすリーダーシップ 状況対応とコーチングの体験学習』（諏訪茂樹著 医学書院 2021年）

《参考図書》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[1] 看護管理』（上泉和子 他編 医学書院 2024年）（看護管理の必修授業で購入済みである）

《履修上の留意点》

事前に指示された教科書のページを読んでおくこと。積極的にディスカッションを行うこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス リーダーシップとは	科目の説明（授業方法、テスト、グループワーク、課題に関すること） リーダーシップとは （予習）看護管理 看護の統合と実践1 第5章を熟読する（30分） （復習）事前に学習した内容と授業での学びを整理する（90分）	樋本まゆみ
2	組織マネジメントとリーダーシップ・メンバーシップ	組織とは、集団の中のリーダーシップの定義を理解する （予習）看護管理 看護の統合と実践1 第5章を熟読する（30分） （復習）事前に学習した内容と授業での学びを整理する（90分）	樋本まゆみ
3	リーダーシップの歴史的変遷	リーダーシップの歴史的変遷を理解する （予習）指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する（30分） （復習）事前に学習した内容と授業での学びを整理する（90分）	樋本まゆみ
4	リーダーシップの理論	さまざまなリーダーシップ理論に関する説明について理解する（交流分析を含む） （予習）事前に配布した資料と、指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する（30分） （復習）事前に学習した内容と授業での学びを整理する（90分）	樋本まゆみ
5	リーダーシップと理論のワーク	交流分析手法を使用し、自身の傾向と他者の傾向を理解する （予習）指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する（30分） （復習）事前に学習した内容と授業での学びを整理する（90分）	樋本まゆみ

科目名	リーダーシップ論	授業科目番号	1103030
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	動機づけとリーダーシップ	集団、集団過程、集団力学、組織文化、コミュニケーションを理解する(予習) 看護管理学のリーダーシップとマネジメントを熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
7	リーダーシップの体験学習説明	リーダーシップ学習の重要性、意識と行動を変化させる体験学習について理解する (予習) 指定教科書のリーダーシップの体験学習を熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
8	リーダーシップの体験学習演習・リフレクション	リーダーシップの体験学習とリフレクション (予習) 指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
9	リーダーシップの体験学習説明(発達適応モデル)	発達適応モデルの説明 (予習) 指定教科書の発達適応モデルを熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
10	リーダーシップの体験学習(発達適応モデルに基づく演習)	ラウンドモデルの体験学習を行う (予習) 指定教科書のラウンドモデルのところを熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と気づきのノートで学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
11	リーダーシップの体験学習(発達適応モデルに基づく演習のリフレクション)	ラウンドモデル体験学習リフレクションを行い体験と理論を結びつける (予習) 前回の演習のまとめの振り返りをしておく(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
12	リーダーシップの体験学習説明(保健医療チームにおけるアサーション)	アサーションが理解できる 保健医療チームの中の看護師 (予習) アサーションを熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
13	リーダーシップの体験学習	保健医療チームの看護師としてのアサーションの体験学習 (予習) アサーションについてまとめる(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での気づきと学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
14	リーダーシップの体験学習(リフレクション)	アサーションの体験学習後のリフレクション (予習) アサーションについての気づきと学びをまとめる(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での気づきと学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
15	まとめ リーダーシップについて	リーダーシップ・メンバーシップをとおして、自己理解、他者理解をについてまとめ 保健医療チームの一員として看護者の在り方を理解する (予習) いままでの学習の振り返りを行う(30分) (復習) 今までの振り返り内容と授業での気づきと学びを整理する(90分)	樋本まゆみ

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間の理解》

科目名	民族と宗教			授業科目番号	1105060
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

世界の主要宗教と民族性についての基礎知識を学ぶ。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教を取り上げる。現代社会において、宗教や信仰の問題が持つ意味について民族性と関連させて考えを深める。後半では、日本の民族性と仏教を中心に学ぶ。正月やお盆の生活文化に意味を考えるとともに、本学と同母体である長岡西病院の仏教に基づくホスピスで法曹の講話を聞く機会を設け、現代における仏教の意義、ターミナルケアに対して果たしうる役割についても考察する。

《授業の到達目標》

世界の宗教と民族の多様性を理解し、自文化を捉え直すと共に、人間関係や医療等の文化的背景を考えることによって学習者自身の認識及び生活感覚への理解を深め、医療福祉の社会的／文化的基盤を成す宗教性や民族性への理解を到達目標とする。

《評価の方法》

終講レポート（50%）、小レポート（30%）、授業参画度（20%）をもって評価する。

《テキスト》

特に指定しないが、毎回レジュメや資料を配布し、テーマごとの参考文献や資料を提示する。

《参考図書》

『文化人類学〔カレッジ版〕』（波平恵美子編 医学書院 2021年）

『宗教ってなんだろう？』（島藺進著 平凡社 2017年）

《履修上の留意点》

必要な資料はその都度配布する。又、できるだけ視覚資料（PPT等）を使用する。
多様性を尊重し、他民族・他宗教・他者への差別的発言などに注意していただきたい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス	本科目の内容、講義の概要及びレポート等について説明を行う。多文化や多様性とは何かについて考えて、他者や異文化との出会いと共生について考える。	郷堀ヨゼフ
2	民族とは何か、宗教とは何か、文化とは何か	宗教学及び民族学（文化人類学）の主要な概念とキーワードについて紹介する。民族性・宗教・信仰・スピリチュアリティなどを中心に考える。	郷堀ヨゼフ
3	人生の旅1：誕生	妊娠・出産・誕生にまつわる文化的現象を取り上げて、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。スーダン・メキシコなどを事例を提示し、通過儀礼としての誕生・出産について考え、近現代の出産のあり方（文化）について考える。	郷堀ヨゼフ
4	人生の旅2：成長	子どもにまつわる文化や成熟の儀（成長の儀礼）にフォーカスし、日本と世界の宗教・民族（南アジア）の相違点と共通点について論じる。	郷堀ヨゼフ
5	人生の旅3：婚姻と家族	男女関係・婚礼の文化に注目しながら、日本と世界の宗教・民族（中央アジア）の相違点と共通点について論じる。	郷堀ヨゼフ

科目名	民族と宗教	授業科目番号	1105060
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	人生の旅4:死	看取り・死の概念・葬送儀礼の文化に注目しながら、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。看取りやターミナルケアにおける宗教、特に仏教の役割や意義について考える。	郷堀ヨゼフ
7	人生の旅5:死後の世界	先祖・異界・死後の世界にフォーカスし、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。悲嘆(グリーフケア)における宗教、特に仏教の役割と意義について考える。	郷堀ヨゼフ
8	世界の宗教1:ユダヤ教	ユダヤ教の教義と教理、そして歴史についてレビューし、タルムードなどの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、ユダヤ教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
9	世界の宗教2:仏教	仏教の教義と教理、そして歴史についてレビューし、仏典を紹介しながら、そのエッセンスについて考えると共に上座部仏教と大乘仏教に代表される各地の仏教のあり方をみていく。さらに、仏教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
10	世界の宗教3:キリスト教	キリスト教の教義と教理、そして歴史と宗派についてレビューし、聖書などの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、各地のキリスト教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
11	世界の宗教4:イスラム教	イスラム教の教義と教理、そして歴史や宗派についてレビューし、クルアーンなどの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、イスラム教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
12	世界の宗教5	ヒンズー教など世界各地の宗教や土着信仰について紹介し、それぞれの特徴を取り上げながらそのエッセンスについて考える。	郷堀ヨゼフ
13	日本の民族性・日本の宗教性	日本の年中行事などを紹介しながら、これらの根底に流れている宗教・信仰の基盤について考える。日本人の死生観や異界観(他界観)について紹介し、現代人にとっての意義・意味について考える。	郷堀ヨゼフ
14	宗教と看護	長岡西病院のビハーラ病棟などの実践を紹介しながら、宗教と医療(看護)との接点や関係性について考える。	郷堀ヨゼフ
15	まとめ	全体の振り返りを行い、宗教・信仰の在り方や意味について考える。医療従事者(看護師)の視点から民族・宗教に関する知識・認識の意味・意義・重要性について整理する。	郷堀ヨゼフ

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会の理解》

科目名	経済と政策			授業科目番号	1106040
担当者氏名	鯉江 康正			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割			

《授業の概要》

政治と経済には密接なかわりがあることを理解する。経済は「物の流れ、通貨の流れ、人の流れ、情報の流れ」として現れることを具体的な事例を基に理解する。一方、政治は経済の流れを調整する役割を持っていることを理解する。政治の動きで経済は重要な影響を受ける。それは、日本の政治だけでなく、世界の政治が影響することを事例で学習する。例えば、アメリカ大統領選挙や国防の問題などである。それらを踏まえて、日本における経済政策と労働・社会保障、医療等の社会政策についての基礎を学習する。

《授業の到達目標》

1. 経済社会の仕組みを述べるができる。（例：なぜ、高所得者と低所得者がいるのか。生活水準の違いは何が原因しているのか。インフレ率が違うのはなぜか。就職氷河期はなぜ起こるのか。） 2. 経済へのより機敏な参加者になる。（例：自分の所得のどれだけを消費し、どれだけを貯蓄し、その貯蓄をどのように運用するのか。） 3. 経済政策の影響を判断できる。（例：増税による公共投資か減税か。健康投資と経済成長。市場システムと計画経済の評価。）

《評価の方法》

学習態度15%（ミニッツペーパーにおいて、講義内容を記入すること）、課題15%（講義中の練習問題と同様の形式）、定期試験70%（持ち込み不可、講義中の練習問題および課題と同様の形式）

《テキスト》

『マンキュー入門経済学（第3版）』（N. グレゴリー・マンキュー著 東洋経済新報社 2019年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	経済学の十大原理 (希少性、効率性と公平性、 トレードオフ、機会費用、限 界原理、インセンティブ、交 易)	ガイダンス／経済学を学ぶ上で基礎となる考え方を講義する。具体的には、人々は目標の間のトレードオフに直面していること、行動の費用は機会費用によって測られること、限界的便益や限界的費用をもとに行動すること、人々はさまざまなインセンティブに反応すること、交易は人を豊かにすることなどを学ぶ。（予習）第1章のp.4～p.14を読んでおくこと(30分)。（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと(60分)	鯉江 康正
2	経済学の十大原理 (市場経済、計画経済、市場 の失敗、外部性、市場支配力 、政府の役割、生産性、イン フレーション、失業)	経済学を学ぶ上で基礎となる考え方を講義する。具体的には、通常の場合には市場が人々の効用を最大化すること、例外的に市場の失敗が存在する場合には政府の役割が重要であること、生産性が生活水準を決定すること、社会はインフレと失業のトレードオフに直面していることなどを学ぶ。（予習）第1章のp.14～p.26を読んでおくこと(30分)。（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第1章の課題を出します(90分)	鯉江 康正
3	需要と供給の作用 (市場、競争市場、需要曲線 、正常財、劣等財、代替財、 補完財、供給曲線)	活動主体である売り手と買い手の行動を表す需要と供給を講義する。需要量の決定要因には財の価格、所得、代替財および補完財の価格、嗜好、予想、買い手の数などがある。また、供給量の決定要因には生産する財の価格、投入価格、技術、予想、売り手の数などがある。これらの決定要因の変化の影響を学ぶ。（予習）第4章のp.99～p.117を読んでおくこと(30分)。（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと(60分)	鯉江 康正
4	需要と供給の作用 (市場均衡、均衡価格、均衡 取引量、超過供給、超過需要 、市場均衡の変化)	市場均衡を説明し、さまざまな要因が変化した時の市場均衡を講義する。需要と供給の理論を用いることによって、市場経済において需要と供給がどのように価格を決定するのか、またその価格が経済の希少な資源をどのように配分するのかなどを学ぶ。（予習）第4章のp.117～p.129を読んでおくこと(30分)。（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第4章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
5	政府の政策 (価格の上限規制、家賃規制 、価格の下限規制、最低賃金 、価格規制の評価)	政府が家賃規制や最低賃金などの価格規制をかけた時の影響を講義する。具体的事例として、原油価格の引き上げによって生じたガソリン・スタンドの行列を引き起こしたのは誰か、家賃統制の短期と長期の影響、最低賃金は本当に若年労働者を救うのかどうかを学ぶ。（予習）第5章のp.135～p.150を読んでおくこと(30分)。（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと(60分)。	鯉江 康正

科目名	経済と政策	授業科目番号	1106040
担当者氏名	鯉江 康正		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	政府の政策 (税金、売り手への課税、買い手への課税、弾力性と税の帰着)	政府が売り手や買い手に課税した時の影響を講義する。税金を売り手から取る場合と買い手から取る場合の違いを考える。また、議会が給与税を企業側に負担させようと考えた時にそれが可能かどうかを学ぶ。さらに、負担割合が決まる仕組みを弾力性という概念を用いて学ぶ。(予習)第5章のp.150～p.162を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第5章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
7	市場の効率性 (厚生経済学、支払許容額、消費者余剰、費用、生産者余剰、総余剰、効率性、公平性、市場の失敗)	余剰の概念を用いて、通常市場が効率的であることを講義する。取引から生じる買い手の便益が消費者余剰で測られ、売り手の利得が生産者余剰で測られることを示す。その上で、競争市場における取引が社会全体の余剰を最大化することを学ぶ。例外として、市場の失敗があることを紹介する。(予習)第6章のp.181～p.204を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第6章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
8	外部性 (正の外部性、負の外部性、外部性の内部化、外部性に対する公共政策、矯正税、コースの定理、取引費用)	外部性を説明し、外部性がある場合には市場が効率的でないことを講義する。外部性が存在する場合には、私的費用と社会的費用、私的価値と社会的価値が乖離するため、競争市場は社会全体の余剰を最大化できない。その場合にできる公共政策、当事者間による解決法を学ぶ。(予習)第7章のp.227～p.253を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第7章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
9	国民所得の測定 (ミクロ経済学、マクロ経済学、国内総生産GDP、消費、投資、政府支出、純輸出、名目GDP、実質GDP、GDPデフレーター)	GDPとそれに関連する指標について講義する。GDPとそれに関連する指標の違いを説明する。また、GDPの構成要素をアメリカと日本の実際の値を用いて紹介する。さらに、名目GDPと実質GDPの違いを理解したうえで、GDPは経済厚生の良い尺度であるかどうかを考える。(予習)第8章のp.261～p.287を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第8章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
10	生計費の測定 (消費者物価指数、インフレ率、コアCPI、生産者物価指数、物価スライド制、名目利子率、実質利子率)	さまざまな物価指数の違いを説明し、生計費の実質と名目の違いを講義する。インフレーションはマクロ経済的成果に影響を与える一項目として多くの注目を集めている。ここではインフレ率をどのように測定するのか、異時点間の金額比較をどのようにするのかを学ぶ。(予習)第9章のp.293～p.317を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第9章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
11	生産と成長 (生産性、物的資本、人的資本、天然資源、技術知識、生産関数、限界生産力逓減、キャッチアップ効果)	一国経済の生活水準を決定する要因について講義する。世界の国々の経済成長を概観し、生活水準は生産性に依存していることを認識する。その上で、生産性を決定する要因を学び、生産性を向上させる公共政策を考える。(予習)第10章のp.323～p.355を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第10章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
12	貯蓄、投資と金融システム (金融システム、金融市場、債券、株式、金融仲介機関、投資信託、国民貯蓄、民間貯蓄、政府貯蓄、財政黒字、財政赤字、貸付資金市場)	金融システムを説明したうえで、様々な政策が利率に及ぼす影響を講義する。具体的には、金融システムとマクロ経済変数、とりわけ貯蓄と投資の関係を検証する。その後、金融市場において、利率が価格の役割を果たし、資金の需給をバランスさせるように調整されることを学ぶ。(予習)第11章のp.381～p.412を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第11章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
13	総需要と総供給 (景気後退、不況、総需要と総供給のモデル、総需要曲線)	景気変動を説明したうえで、それに影響を与える総需要曲線について講義する。物価水準と産出量の関係を示す総需要曲線が右下がりである理由を説明し、その後、どのような要因が総需要曲線をシフトさせるのかを学ぶ。(予習)第12章のp.441～p.458を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと(60分)。	鯉江 康正
14	総需要と総供給 (総供給曲線)	景気変動に影響を与える総供給曲線について講義する。物価水準と産出量の関係を示す総供給曲線が右上がりである理由を説明し、その後、どのような要因が総供給曲線をシフトさせるのかを学ぶ。(予習)第12章のp.458～p.471を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと(60分)。	鯉江 康正
15	総需要と総供給 (マクロ経済変動分析、長期均衡、均衡物価水準、自然産出量水準、総需要のシフトの影響、総供給のシフトの影響)	社会現象や政策によって、物価水準と産出量はどう変化するかを講義する。総需要曲線をシフトさせた出来事として、大恐慌と第2次世界大戦、2008年～2009年の大不況を紹介する。また、総供給曲線をシフトさせた出来事として、石油ショックを紹介する。最終講義のため、講義内で課題を実施する。(予習)第12章のp.471～p.489を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと(60分)。	鯉江 康正

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会の理解》

科目名	国際ボランティア論			授業科目番号	1106050
担当者氏名	川崎 真理子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

国際社会の平和と安定について、現在の世界の情勢を知り、平和とは何かについて自己の考えを明確にする。また、平和な社会の実現のためにどのような貢献ができるかについて、国際的視野で考える。貢献の一つであるボランティア活動の歴史的背景や理念・方針について先行研究等より知り、各自の考えを共有・討議する。活発かつ持続している国内外のボランティア活動を取り上げ、課題について考え、報告・発表する。

《授業の到達目標》

- ①国際社会の多様性を理解し、適切に行動できる。
- ②平和と安定を実現するための共生・協働の重要性を認識し、実現の努力ができる。
- ③自分の見解を根拠を示してまとめることができる。
- ④国内外のボランティア活動に関心を持ち、自分にできる貢献についての考えを発表できる。

《評価の方法》

授業への参画30%（②④）、ミニリサーチペーパー（紹介、意見、提案等）40%（①②③④）、プレゼンテーション20%（①②③④）、その他提出物10%（①②③④）

《テキスト》

なし

《参考図書》

適宜紹介する

《履修上の留意点》

授業は協働学習の場です。主体的に取り組みに加えて、他者との活発な意見交換・討議・協働を求めます。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ボランティア活動にいて知る (自己評価、ボランティア、異文化理解)	授業方針と計画ならびに評価方法を確認します。 ボランティア活動について、知っていることや考えていることをシェア しましょう 授業外学習：課題1 ボランティア活動の歴史的背景、理念、意義等を分 担して調べてまとめる（約4時間／週）	川崎真理子
2	ボランティア活動と文化 (歴史、文化、宗教)	課題1の発表と討議 授業外学習：課題2 ボランティア意識と文化・宗教の関係について調 べてまとめる（約4時間／週）	川崎真理子
3	ボランティア意識と文化、 JICA (ボランティア意識、文化、 宗教)	課題2の発表と討議 授業外学習：課題3 資料1を読んで、概要をまとめる（約4時間／週）	川崎真理子
4	JICAとその活動 (JICA、国際支援活動)	課題3の発表と討議 JICA（国際協力機構）の活動を知る その意義と課題を考える 授業外学習：課題4 資料2を読んで、概要をまとめる（約4時間／週）	川崎真理子
5	MSFとその活動 (MSF、国際支援活動、ミニ リサーチ)	課題4の発表と討議 MSF（国境なき医師団）の活動を知る その意義と課題を考える 授業外学習：課題5 資料1と資料2に対して自己の立場を明らかにする 。自己の立場を支持する資料を探し、ミニリサーチペーパーを書き始め る（約4時間／週）	川崎真理子

科目名	国際ボランティア論	授業科目番号	1106050
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	ボランティア活動の課題、今後ボランティア活動 (批判的検討、問題発見、課題解決)	ミニリサーチペーパーにおける論理の展開を考える。 互いの立場、論拠を批判的に検討し合うことにより、自己の主張をわかりやすく論述する 授業外学習：課題6 ミニリサーチペーパーを仕上げる(約4時間/週)	川崎真理子
7	アカデミックプレゼンテーション (リサーチペーパー、プレゼンテーション)	ミニリサーチペーパーを提出する プレゼンテーションの組み立て 授業外学習：課題7 プレゼンテーションのスライドと原稿を作成する(約4時間/週)	川崎真理子
8	プレゼンテーション、ピアレビュー、リフレクション (ピアレビュー、リフレクション)	ミニリサーチペーパーの発表と質疑応答・好評	川崎真理子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	病理病態学			授業科目番号	2209070
担当者氏名	高塚 尚和			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

臓器組織の差を超えて共通にみられる基本的な病変の原因、成り立ち、経過、転帰などについて再度学習する。具体的には、体液異常、血行障害、炎症、変性・壊死・萎縮・老化、腫瘍・過形成、先天異常、代謝異常などである。また、患者の示す様々な訴えや診察所見（ショックなど）から原因を探る病態症候論も併せて学習する。

《授業の到達目標》

1. 免疫、体液調節、血液、循環、呼吸。消化・吸収、腎・泌尿器、内分泌・代謝、脳・神経・筋肉、感覚器等に係る病変の原因、成り立ち、経過、転帰等を臓器組織を超えて統合的に説明できる。
2. 患者が示す様々な訴えや診察所見等を病態生理に基づいて説明できる。

《評価の方法》

1. 定期試験50%（到達目標1,2）
2. 授業時間内に実施する小テスト50%（到達目標1）

《テキスト》

『系統看護学講座 病態生理学』（土居健太郎著 医学書院 2023年）

《参考図書》

『看護のための臨床病態学改訂5版』（浅野嘉延、吉山直樹 編 南山堂 2023年）、『病気がみえる vol.1～15』Medic Media

《履修上の留意点》

指定テキストを必ず持参すること。授業中の私語は厳禁とし、退出を求めることがあります。
4年前期までに学んだ種々の疾患の復習も目的としています。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	循環障害、細胞・組織の障害、感染症、腫瘍、先天異常と遺伝子異常、老化と死、皮膚の生体防御、体温調節（病理病態学 総論）	病態生理の基礎知識、皮膚・体温調節のしくみと病態生理について学習する。 （予習）テキストp2-32を通読し、p32の復習と課題の解答を考慮しておくこと（60分）。 （復習）授業を振り返りノート等にまとめる（30分）。 講義の最後には確認テスト（小テスト）を実施する。	高塚 尚和
2	免疫のしくみ、免疫の低下と過剰、体液・電解質の調節、酸・塩基平衡、骨髄・赤血球・白血球の異常、血小板、DIC（病理病態学 総論）	免疫のしくみと病態生理、体液調節のしくみと病態生理、血液のはたらきと病態生理について学習する。 （予習）テキストp46-94を通読し、p59、76、94の復習と課題の解答を考慮しておくこと（60分）。 （復習）授業を振り返りノート等にまとめる（30分）。 講義の最後には確認テスト（小テスト）を実施する。	高塚 尚和
3	狭心症、不整脈、先天性心疾患、弁膜症、心筋症、心タンポナーデ、心不全、血圧調整、末梢循環障害（循環器）	心臓のポンプ機能と病態生理、血圧調節と末梢循環のしくみと病態生理について学習する。 （予習）テキストp96-124を通読し、p124の復習と課題の解答を考慮しておくこと（60分）。 （復習）授業を振り返りノート等にまとめる（30分）。 講義の最後には確認テスト（小テスト）を実施する。	高塚 尚和
4	呼吸困難・不全、呼吸器感染症、気管支喘息、拘束性障害、閉塞性障害、肺梗塞・塞栓症、過換気症候群、呼吸時無呼吸症候群、悪性腫瘍（呼吸器）	呼吸器の構造と機能、呼吸困難と呼吸不全、防御機構・換気・ガス拡散・肺循環・呼吸調節の障害について学習する。 （予習）テキストp126-150を通読し、p150の復習と課題の解答を考慮しておくこと（60分）。 （復習）授業を振り返りノート等にまとめる（30分）。 講義の最後には確認テスト（小テスト）を実施する。	高塚 尚和
5	誤嚥、胃潰瘍、過敏性腸症候群、イレウス、肝炎、脂肪肝、肝硬変、胆石、膵炎、腹膜炎、悪性腫瘍（消化器）	消化器の構造と機能、咀嚼・嚥下、胃・腸管、消化・吸収、肝細胞・肝小葉、肝代謝機能、胆道の各障害、黄疸、膵臓の障害、腹膜・腹水の異常について学習する。 （予習）テキストp152-184を通読し、p184の復習と課題の解答を考慮しておくこと（60分）。 （復習）授業を振り返りノート等にまとめる（30分）。 講義の最後には確認テスト（小テスト）を実施する。	高塚 尚和

科目名	病理病態学	授業科目番号	2209070
担当者氏名	高塚 尚和		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	腎炎、腎不全、尿路感染症、前立腺肥大、悪性腫瘍(腎臓、泌尿器)	腎臓・泌尿器の構造と機能、腎臓及び泌尿器の障害について学習する。 (予習) テキストp186-206を通読し、p206の復習と課題の解答を考えておくこと(60分)。 (復習) 授業を振り返りノート等にまとめる(30分)。 講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。	高塚 尚和
7	視床下部、甲状腺、副甲状腺、副腎皮質、糖尿病、脂質異常、痛風、骨粗鬆症(内分泌、代謝)	内分泌・糖代謝・脂質代謝・尿酸代謝・カルシウム・リン代謝の異常について学習する。 (予習) テキストp208-233を通読し、p233の復習と課題の解答を考えておくこと(60分)。 (復習) 授業を振り返りノート等にまとめる(30分)。 講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。	高塚 尚和
8	脳出血・梗塞、脳腫瘍、高次脳機能障害、大脳基底核異常、筋疾患、緑内障、白内障、眩暈(神経、感覚器)	脳循環・髄液のしくみと障害、脳腫瘍、意識・認知障害、運動制御障害、視覚器・聴覚器・味覚・臭覚・皮膚感覚の機能と障害について学習する。 (予習) テキストp250-293を通読し、p278、293の復習と課題の解答を考えておくこと(60分)。 (復習) 授業を振り返りノート等にまとめる(30分)。 講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。	高塚 尚和
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	看護関係法規			授業科目番号	2210040
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割, ○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

質の高い看護を提供できる専門職として、理解しておかなければならない法について、看護法、医事法、保健衛生法、薬務法等について学ぶ。知識として学ぶだけではなく、その内容の根拠や看護との関係に着目しながら学習する。それまで学んだ他の科目や日常生活での経験、マスメディアやインターネットからの情報、実習での経験と関連付けて学び、日常生活とかけ離れたものではないことも学習するとともに、社会人となるためのレディネスとしての保健・医療・福祉関連の法の学修を統合させる。

《授業の到達目標》

1. 日本国憲法と関係法規の関連を説明できる。
2. 看護法、医事法、薬務法の基本を説明できる。
3. 保健衛生法、福祉法とその他の関係法規との基本を説明できる。
4. 看護職として仕事をする上での看護関連法規の重要性を再認識できる。

《評価の方法》

定期試験90%、授業貢献度10%（到達目標1, 2, 3, 4）

《テキスト》

適宜資料配布

《参考図書》

『系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令』（森山幹夫著 医学書院 2024年）

《履修上の留意点》

《備考》

保健師教育課程必修科目 本科目は4年次に履修することから、それまでに学修した科目との統合を図ること。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 法の概念と保健師助産師看護師法（関係法規・基本となる法規）	当該科目のガイダンスを受ける。法の概念を学び、関係法規とは何か、なぜ関係法規を学ぶのかを考え、その意義を見出す。具体的には、日本国憲法、衛生法、厚生行政のしくみを理解する。また、保健師助産師看護師法が必須であることを理解する。 （予習）日本国憲法を確認する。（30分） （復習）法の概念についてノートにまとめる。（30分）	平澤 則子
2	保健師助産師看護師法と看護師の人材確保の促進に関する法律（保健師・助産師・看護師・免許取得要件・業務・義務・人材確保）	保健師助産師看護師法について、目的・定義・付属法令・免許・業務・義務等について講義で理解する。また、国家試験について自身の受験をイメージしながら理解する。さらに、看護師の人材確保の促進に関する法律の目的や定義を社会状況と照らし合わせながら理解する。（予習）保健師助産師看護師法、看護師の人材確保の促進に関する法律の目的や定義を確認する。（30分）（復習）授業内容をノートにまとめる（30分）	平澤 則子
3	医療法、医師法、その他の資格に関する法（医療法・医師に関する法律・他職種に関する法律）	医療法の目的・定義について理解する。保健医療福祉に関係した看護職以外の職種を規定する法規について理解する。 （予習）大学と関連する病院や施設（実習等で学んだ施設）の概要を確認する。（30分） （復習）講義内容をノートにまとめる。（60分）	田辺 生子
4	医療を支える法規（医療・介護・移植医療・人の死・緊急時）	医療・介護の提供に関する法、移植医療に関する法、人の死に関する法、緊急時の看護・医療に関する法について理解する。 （予習）医療を支えるさまざまな法の名称を調べる。（30分） （復習）講義内容をノートにまとめる。（60分）	田辺 生子
5	共通保健法と分野別保健法（地域保健・健康増進・精神保健・母子保健・学校保健・高齢者保健）	地域保健法と健康増進法について、目的や内容を講義を通して、また既存の学習内容とも照らし合わせて理解する。また、分野別の保健法について、目的や内容を講義を通して、さらに既存の学習内容とも照らし合わせて理解する。 （予習）保健法にはどのようなものがあるか、テキストの目次を活用して名称を調べる。（30分）（復習）授業内容をノートにまとめる。（60分）	渡邊 路子

科目名	看護関係法規	授業科目番号	2210040
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	薬機法、その他の法 (薬事・環境衛生・社会保険・福祉・労働)	薬機法・環境衛生法・社会保険法・福祉法・労働法・環境法に関する法について、目的や内容を講義を通して、また既存の学習内容とも照らし合わせて理解する。 (予習) 薬務やその他の法にはどのようなものがあるか、テキストの目次を活用して名称を調べる。(30分) (復習) 授業内容をノートにまとめる。(60分)	渡邊 路子
7	感染症、食品に関する法 (感染症予防・感染症の患者に対する医療・新感染症・食品安全)	感染症に関する法の目的や内容について、既存の学習内容と照らし合わせて理解する。感染症予防、食品安全に関して、普段の生活を送るうえでの関連法の必要性について考える。 (予習) 感染症に関する法と食品に関する法にはどのようなものがあるか、テキストの目次を活用して名称を調べる。(30分) (復習) 授業内容をノートにまとめる。(30分)	駒形三和子
8	看護と法についてのまとめ (看護関係法令・健康支援・社会保障)	看護関係法規を理解することが、対象の健康支援につながることを講義を通して理解する。関係法規に関する様々な国家試験レベルの問題を解きながら、本講義内容のまとめをする。 (予習) 7回目までの講義内容の確認をする。(45分) (復習) 自己の学習が不十分と思われる内容を再学習する(30分)	駒形三和子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	災害看護活動論Ⅱ			授業科目番号	2313160
担当者氏名	古澤 弘美			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-1 地域のネットワークを共有する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

静穏期における災害看護について、災害看護活動論Ⅰで行ったフィールドワークを基に看護職者として災害時の看護方策を考える。一般市民に対し、平時における減災に向けた防災指導について企画することができる。被災地でのトリアージ、各災害場面におけるチーム医療・看護者としての役割について理解を深める。

《授業の到達目標》

1. 地域に発生しやすい自然災害を理解し、減災にむけて知識を深め、備えについて説明できる。
2. シミュレーションから被災現場からトリアージ・応急処置・病院受け入れまでの流れを理解し、看護職の役割を述べることができる。
3. 中越地震や東日本大震災、原発被害地などの発災から復興までを学ぶことができる。

《評価の方法》

1. グループワーク参加態度、事前課題の準備20%（到達目標1.2.3）
2. レポート：地域への指導案20%（到達目標1）、見学感想20%（到達目標1.2）、まとめのレポート40%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

1. 『シミュレーションで学ぶ避難所の立ち上げから管理運営 HAPPY』（山崎達枝監修 荘道社 2016年）

《参考図書》

『事例を通して学ぶ避難所・仮設住宅の看護ケア』（黒田裕子、神崎初美著 日本看護協会出版会 2012年）
『演習で学ぶ災害看護』（小原真理子監修 南山堂 2010年）

《履修上の留意点》

演習、現地見学、災害支援の考察などから災害看護に関して多様な学びを深めます。積極的に参加できるように予習や必要物品の準備を忘れないようにそろえること。

《備考》

中越地震被災地見学、長岡震災アーカイブセンターの見学は現地集合、現地解散。交通費・施設見学費は実費になります。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	災害発生時急性期の避難所運営 (HUG(避難所運営ゲーム)、避難所)	(演習)・(模擬)教室や体育館の平面図に避難所として受け入れ体制を企画する。多数被災者の受け入れ、多職種との関わりなど、管理運営を模擬体験する。 (予習)テキスト1をよく読み込み。意見交換できるよう手法を理解し授業に望むこと(120分)(復習)次の授業では、各グループで立案した企画を発表することができるよう再確認し備える(60分)	古澤 弘美
2	災害発生時急性期の避難所運営 (HUG(避難所運営ゲーム)、避難所)	(演習)(模擬)平面図にどれだけ適切に配置できたのか、工夫した点などを各グループ発表し、全体討議としより学びを深める。 (予習)テキスト1をよく読み込み演習につなげられるよう熟読する。(120分)(復習)各グループでまとめた企画が、円滑な避難所運営に繋がれたか、被災者に適切な対応につながったのか、よくできた点とできなかった点を振り返る。(60分)	古澤 弘美
3	傷病者への手当 (三角巾・包帯での被覆・骨折時の固定)	(演習)三角巾・包帯を用いた被覆、適切に圧迫されていること、出来上がりが綺麗であること。骨折時の固定ができること。 (予習)3年生時に配布したプリントを参照し三角巾を用いた被覆法の練習を行う。(30分) (復習)演習で学んだこと、スムーズにポイントを抑えて綺麗に被覆できるように練習すること。(30分)	古澤 弘美
4	傷病者への手当 (三角巾・包帯での被覆・骨折時の固定) ・担架による傷病者の搬送)	(演習)前授業の復習、担架による搬送訓練(平坦・階段の搬送) (予習)三角巾・包帯の被覆の練習(30分) (復習)演習で行った実技、上手くできないところを練習する。(30分)	古澤 弘美
5	段ボール使用した簡易ポータブルトイレの作成 (災害時用トイレ)	災害発生時、ライフラインが途絶えた場合にトイレの問題は喫緊であり、あるものを工夫して利用することで健康障害を回避できるようにする。 (演習)段ボールを利用してポータブルトイレの作成 (予習)作成方法(資料)をよく読み理解し授業に望むこと 段ボールを準備する(30分)	古澤 弘美

科目名	災害看護活動論Ⅱ	授業科目番号	2313160
担当者氏名	古澤 弘美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	DIG(災害図上訓練) 1 (防災・減災)	想像力を高めて「もしも」に備える！ 自然災害をイメージし、防災・減災につながる行動へ (グループワーク) 長岡市ハザードマップ、等高線、気象概要などから長岡市内の自然災害に関する被災状況を理解し発表する。 (予習) ハザードマップを入手し事前学習(60分) (復習) 次の授業で指導案が作成できるよう不足部分を準備する。(60分)	古澤 弘美
7	DIG(災害図上訓練) 2 (防災・減災)	(グループワーク) 前授業1で行った結果を基に、地域への指導案を作成し、発表しグループ間で意見交換。 (予習) 指導案作成に向けて準備。(60分) (復習) 指導案の不足部分を追加修正 1週間後に提出する。(60分)	古澤 弘美
8	中越地震被災地見学 1 (災害復興)	中越地震被災地見学 (予習) 宮本 匠氏・稲垣文彦氏などの中越地震後の復興に関する論文を読むこと。(60分) (復習) 本日の見学の内容をまとめる。(30分)	古澤 弘美
9	中越地震被災地見学 2 (災害復興)	中越地震被災地見学 中越地震の被災地を見学し、復興について考える。 (予習) 中越地震に関する書物を読み知識を得て被災地を訪問する。(60分) (復習) 感想文を1600字程度にまとめ、1週間後に提出する(60分)	古澤 弘美
10	長岡震災アーカイブセンター 見学1	中越地震による被害や地震からの復興に関して学びを深める。 震災アーカイブスを見学し、説明を聞くことで震災への備え、被災人対応等について学ぶ。 (予習) 中越地震について調べる(120分) (復習) 本日の学びをまとめる。(60分)	古澤 弘美
11	長岡震災アーカイブセンター 見学2	中越地震による被害や地震からの復興に関して学びを深める。 震災アーカイブスを見学し、説明を聞くことで震災への備え、被災人対応等について学ぶ。 (予習) 中越地震について調べる (復習) 本日の学びをまとめる。	古澤 弘美
12	能登半島地震における支援と復興について考える	能登半島地震における被災者支援について、報道資料から課題と支援について考え、災害対応に関する理解を深める。グループワークで支援内容をまとめる。 (予習) 能登半島地震に関して被災者の報道資料を収集し、確認する(120分) (復習) 本日の学びをまとめる(60分)	古澤 弘美
13	能登半島地震における支援と復興について考える	能登半島地震における被災者支援について、報道資料から課題と支援について考え、災害対応に関する理解を深める。グループワークで支援内容をまとめる。 (予習) 能登半島地震に関して被災者の報道資料を収集し、確認する(60分) (復習) 本日の学びをまとめる(60分)	古澤 弘美
14	東日本大震災被災地の被害状況と復興について	被災地の被害と復興状況を文献、映像等の情報から調べてまとめる。 (予習) 関連する文献、情報を調べる。(120分) (復習) 学びをまとめる(60分)	古澤 弘美
15	まとめ	授業から学んだことをグループワークする。 学びを2000字程度にレポートする。タイトルは問わないが、自身が考える災害に関する看護職の役割に関して内容に加える。講義終了後1週間以内に提出する。	古澤 弘美

科目名	看護情報論			授業科目番号	2314030
担当者氏名	田邊 要補			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○3-1 地域のネットワークを共有する力			

《授業の概要》

看護におけるさまざまな「データ・情報・知識」について、蓄積・検索・分析・活用という観点から学習し、看護情報学の基礎を身につける。個人情報の保護に関する法律やガイドラインに基づく適切な情報の取り扱いなど、情報倫理や情報管理の意義について学ぶ。学術情報の検索と活用、医療情報システム、健康教育や患者教育における情報の活用方法、健康情報とメディア等、幅広く理解を深める。また、看護・医療における情報活用の意義及び看護活動における記録や報告等の情報の伝達の仕方、個人情報の取扱い、病院の情報システムにおける情報管理、地域保健医療ネットワークについて理解する。

《授業の到達目標》

1. 看護におけるデータ・情報の特徴について説明できる。
2. コンピュータリテラシーと情報リテラシーおよび情報倫理と法について説明できる。
3. 看護の現場でコンピュータを使用した情報がどのように活用され管理されているのか説明できる。

《評価の方法》

定期試験 90%（到達目標1. 2. 3） 授業への参加度 10%（到達目標1. 2. 3）

《テキスト》

『エッセンシャル看護情報学 2024年版』（太田勝正、前田樹海 編著 医歯薬出版 2024年）

《参考図書》

『系統看護学講座 別巻 看護情報学 第3版』（中山和弘著 医学書院 2021年）

《履修上の留意点》

テキストを事前に読んで、授業に臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション （看護情報学）	本授業の学習内容と学び方、評価について概説する。看護情報を何のために学ぶのかについて説明し、看護情報学教育の歴史と現状について理解する。 （予習）テキストp1～11を読む（60分）。 （復習）配布資料に目を通す（60分）。	田邊 要補
2	看護情報とは （看護データ・情報の特徴、 情報の活用と記録）	看護におけるデータ・情報の特徴や情報の活用の概要について理解する。 （予習）テキストp12～21を読む（60分）。 （復習）配布資料に目を通す（60分）。	田邊 要補
3	コンピュータリテラシー （情報の定量化、コンピュータの 基本構成、インターネット）	コンピュータに関する基礎的知識やインターネットに仕組みについて理解する。 （予習）テキストp22～41を読む（60分）。 （復習）配布資料に目を通す（60分）。	田邊 要補
4	情報リテラシー （情報リテラシー、情報セキュ リティ、情報発信）	情報リテラシーや情報セキュリティについて理解する。 （予習）テキストp42～56を読む（60分）。 （復習）配布資料に目を通す（60分）。	田邊 要補
5	情報倫理と法① （情報倫理、プライバシーと 守秘義務）	情報倫理およびプライバシーと守秘義務について理解する。 （予習）テキストp57～75を読む（60分）。 （復習）配布資料に目を通す（60分）。	田邊 要補

科目名	看護情報論	授業科目番号	2314030
担当者氏名	田邊 要補		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	情報倫理と法② (個人情報保護法)	個人情報保護法に関する法律について理解する。 (予習) テキストp76～100を読む(60分)。 (復習) 配布資料に目を通す(60分)。	田邊 要補
7	医療情報システムの実際 (病院情報システム・電子カルテシステム)	診療・看護で扱う医療情報システムの特徴と実際について理解する(電子カルテ含む)。 (予習) p101～1114を読む(60分)。 (復習) 配布資料に目を通す(60分)。	田邊 要補
8	看護用語の標準化 (看護用語、標準化)	これまでの学びの中から、看護情報の取り扱いに関する留意事項をまとめる。 (予習) p115～132を読む(60分)。 (復習) 配布資料に目を通す(60分)。	田邊 要補
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	医療安全論			授業科目番号	2314040
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎2-4 自己の看護実践を振り返る力			

《授業の概要》

医療安全における基礎的知識を理解するとともに、医療の現場の取り組みの実際と医療安全対策における看護職者の責任と役割について学ぶ。リスク発生の原因とヒューマンエラーの関連について理解し、現場で発生するインシデント、アクシデントのリスク管理について学ぶ。授業は参加型とし、医療事故の実態調査と分析、与薬や輸液、転倒転落のシミュレーション・リフレクションを行い、グループによる事例分析などの演習を組み入れる。

《授業の到達目標》

- 1.医療安全の基礎的知識が理解できる。
- 2.医療安全対策と看護職者の責任が理解できる。
- 3.事例を通して、インシデント・アクシデントのリスク管理が理解できる。

《評価の方法》

学習態度 10%授業中の発言、態度をもとに評価（到達目標1.2）
筆記試験 90%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[2] 医療安全』（川村治子著 医学書院 2023年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

グループ討議においては、主体的に参加するとともに、他者の意見を傾聴し、チームで学ぶことの意義を実感する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	医療安全を学ぶ意義を理解する	ガイダンス 医療安全を学ぶ意義を理解する。 （予習）指定教科書序論と教科書全体を概観する（30分） （復習）教科書を用いて、講義内容をまとめる（90分）	樋本まゆみ
2	医療安全の基礎を学ぶ	医療安全の基礎と事故防止の考え方を理解する。 （予習）指定教科書第1章を熟読する（30分） （復習）教科書を用いて、授業で解説された点をまとめる（90分）	樋本まゆみ
3	看護職に必要な医療安全（診療の補助、療養上の世話、患者間違い）	診療の補助で起こる事故と事故防止，療養上で起こる事故と事故防止、共通しておこる患者間違いを理解する。 （予習）指定教科書第2章を熟読する（30分） （復習）教科書を用いて、授業で解説された点をまとめる（90分）	樋本まゆみ
4	組織的な安全管理の取り組み	組織的な安全管理の取り組みと労働安全上の事故防止について理解する。 （予習）指定教科書第3章第7.8章を熟読する（30分） （復習）授業で解説された点をまとめる（90分）	樋本まゆみ
5	医療安全とコミュニケーション	チーム医療におけるコミュニケーションの重要性について理解する。 （予習）指定教科書第5章を熟読する（30分） （復習）授業で解説された点をまとめる（90分）	樋本まゆみ

科目名	医療安全論	授業科目番号	2314040
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	事例から学ぶ医療安全(RCA分析の講義)	RCA・なぜなぜ分析について資料およびインターネットなどで学習する。 (予習) 配布資料やインターネット等で自己学習を行う(30分) (復習) グループワークを通して、分析方法と理解したことを記載する(90分)	樋本まゆみ
7	事例から学ぶ医療安全(RCA分析・演習)	前回講義内容を十分理解しながら、分析の考え方がわかるようにする。 (予習) 配布する資料を読み把握する(30分) (復習) グループワークを通して、分析方法と理解したことを記載する(90分)	樋本まゆみ
8	まとめ・リフレクション	今までの授業での振り返りを行う。 (予習) それぞれの授業の振り返りを行う(30分) (復習) 医療安全管理において、どのようなことが重要かを授業を含めて解説されたことをもう一度、総まとめておくこと(90分)	樋本まゆみ
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護実践力演習			授業科目番号	2314090
担当者氏名	広井 貴子、大崎 美奈子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

看護実践力を向上させるために、自己の課題に沿って看護技術の練習を行う。

第1回目に看護基礎技術の到達度チェックを行い、自己の課題を明らかにする。また、卒業時看護技術到達項目の中で共通する課題を明らかにし、到達度が低い項目に着目した演習計画を立てて実践的にグループ演習を行う。同時に、受け持ち患者を想定した状況設定を行い、看護の手順や対象者の尊厳を考えた実施計画と実践を練習する。対象者への説明や指導の場面では、ロールプレイなどを取り入れてより現実的な演習とする。最終的には、グループ間で相互評価を行い、学生自身の気づきと相互評価力を育成する。

《授業の到達目標》

1. 新卒看護師に求められる看護実践能力について述べることができる。
2. 看護基礎技術の到達度について自己の課題を明らかにすることができる。
3. 自己の看護実践能力の評価結果にそった看護実践を行うことができる。

《評価の方法》

予習課題や復習内容への取り組み（20％）（到達目標1～3）、看護技術到達度の考察（20％）（到達目標1～3）、実践課題への取り組み（60％）（到達目標1～3）

《テキスト》

なし

《参考図書》

『看護技術プラクティス』（竹尾恵子監修 学研メディカル秀潤社 2019年） 『患者さんが安心できる検査説明ガイドブック』（東京慈恵会医科大学附属病院グリーンカウンター 編 医学書院 2014年）

《履修上の留意点》

自己の看護実践能力や到達度を知り、その向上促進方法を自分自身で把握していくことが大切です。

《備考》

1～3年次に記載した技術経験録を第1回目に持参してください。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	看護実践能力と臨床看護実践能力 (臨床判断能力、倫理的判断能力、リスク・マネジメント)	新卒看護師に求められる臨床看護実践能力 ・新人看護研修の概要(厚生労働省) ・看護実践能力とは (予習)技術経験録の記載見直し(30分) (復習)個々の看護技術到達度表(3年次まで)の記載を再確認し、演習項目として希望する内容を考える(30分)	広井貴子 大崎美奈子
2	看護技術到達度の振り返り (看護技術項目、到達度、情報リテラシー)	看護技術経験度 看護技術、情報リテラシー、小テストと自己採点 (予習)看護専門用語集を読み返す(45分) (復習)分野別専門用語を計画的に復習する(30分)	広井貴子 大崎美奈子
3	患者・家族とのコミュニケーション (患者・家族指導、検査・処置の説明)	患者・家族とのコミュニケーション場面の振り返り (予習)患者・家族指導場면을振返って(個別レポート)(90分) (復習)新たな指導場面について資料をまとめる(30分)	広井貴子 大崎美奈子
4	演習候補技術 (技術項目の達成度、演習計画、アルゴリズム)	演習内容について 演習候補技術の選定とアルゴリズム作成(個別) (予習)選定した演習項目についての資料を読み込む(45分) (復習)状況に合わせたアルゴリズム・手順のポイントを修正する(30分)	広井貴子 大崎美奈子
5	個別演習 (演習の組み立て)	演習候補技術の選定とアルゴリズムにそった個別演習 (予習)不足した知識を調べ、修正したアルゴリズムを準備する(60分) (復習)不足した知識を調べる(45分)	広井貴子 大崎美奈子

科目名	看護実践力演習	授業科目番号	2314090
担当者氏名	広井 貴子、大崎 美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	個別演習 (situation based training 、パートナー、クリティーク)	状況設定のある看護ケア場面の設定 situation based training 説明を受けた後、自分で設定する (予習) 看護技術項目と看護ケアの流れを作成する(60分) (復習) 個別演習および指導の結果をまとめる(30分)	広井貴子 大崎美奈子
7	グループ演習 (予行演習、教員による指導)	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習① 演習パートナーの選定 (予習) パートナーへの看護ケア計画(演じる内容)の説明資料作成(60分) (復習) 資料の精選(60分)	広井貴子 大崎美奈子
8	グループ演習 (予行演習、教員による指導)	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習② 演習グループ内でクリティーク (予習) 修正した説明資料の準備(60分) (復習) 資料の精選と修正(45分)	広井貴子 大崎美奈子
9	グループ演習 (予行演習、教員による指導)	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習③ (予習) 修正した説明資料の準備(60分) (復習) 資料の精選と修正(45分)	広井貴子 大崎美奈子
10	グループ演習成果の中間評価 (実演に向けて再確認)	看護ケア計画案を時間の流れにそって実演 (指導後に修正) (予習) 実際の場面として時間配分を設定する(45分) (復習) 時間配分や内容の再確認(30分)	広井貴子 大崎美奈子
11	修正後の練習 (演習内容の推敲)	看護ケア状況設定の最終修正 グループでケア看護ケア計画と技術をクリティーク (予習) 実際の場面として時間配分を設定する(30分) (復習) クリティークを踏まえた時間配分や内容の再確認(30分)	広井貴子 大崎美奈子
12	修正後の練習 (演習内容の推敲)	看護ケア計画の状況設定案の流れの修正と練習 (予習) 実際の場面として時間配分を設定する(30分) (復習) クリティークを踏まえた時間配分や内容の再確認(30分)	広井貴子 大崎美奈子
13	発表準備1 (発表のポイント、演じ方、 場面設定)	看護ケア場面のロールプレイ(看護師役)の発表練習をグループで行う (予習) 同僚へのクリティークの基本を復習する(30分) (復習) 個別に練習を重ねる(30分)	広井貴子 大崎美奈子
14	発表準備2 (発表のポイント、演じ方、 場面設定)	看護ケア場面のロールプレイ(看護師役)の発表練習 (予習) 看護ケア場面の進行表を改訂する(30分)	広井貴子 大崎美奈子
15	状況設定のある看護ケア 発表 (発表時間、クリティーク、 評価)	看護ケア計画のロールプレイ(看護師役)の発表と評価 (予習) 練習結果を制限時間内にまとめる(60分) (復習) タイムラインを含めた発表原稿を清書し、提出する(45分)	広井貴子 大崎美奈子

科目名	看護課題研究			授業科目番号	2314080
担当者氏名	近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	通年（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○4-1 看護学を探究する意欲, ○4-2 看護を 追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

研究課題別・指導教員別にグループに分かれ、1・2年次の「情報処理法」「情報活用法」「問題解決法」「統計分析法」や、3年次の「看護研究法」などで修得した知識を生かして、研究計画、研究発表会、実施報告書の完成までのプロセスを学ぶ。

研究課題は看護実践に関するものとし、各自の研究計画を設定する。グループまたは個別の指導を受けながら、資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返し、研究成果に関する成果発表へと結び付ける。これらの過程を通して、看護研究の実践的な方法や最新の知識と技術を自ら学び続ける素養を身につける。

《授業の到達目標》

1. 看護学における関心や疑問に基づき研究テーマを探求し、文献検討を踏まえて研究目的を明確にできる
2. 目的に沿った研究方法を検討し、研究計画書の構成に沿って計画書を作成できる
3. 研究を実施する上で必要な倫理的配慮を検討できる
4. 研究計画書に基づきデータを収集・分析し、結果を既存の知識と関連付け考察できる
5. 作成規定に従い研究論文を作成し、口頭発表することができる

《評価の方法》

「看護研究課題 評価表」（資料5）を参考に、研究への取り組み、研究計画書、研究論文などを考慮して指導教員が総合的に評価する。

《テキスト》

特に指定なし

《参考図書》

『系統看護学講座 看護研究』（坂下玲子 他著 医学書院 2023年）

《履修上の留意点》

看護学研究法での学習内容を復習して参加する。研究は各指導教員の指示に従い、積極的に実施する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		ゼミナール形式で実施する。 ・研究テーマの決定 ・研究計画書の作成 ・倫理チェック ・研究の実施	各担当教員
2		・論文作成 ・研究の口頭発表 期間：4月～11月 内容：「看護課題研究」要項を参照	
3			
4			
5			

科目名	看護課題研究	授業科目番号	2314080
担当者氏名	近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	緩和・ターミナルケア看護論			授業科目番号	2315040
担当者氏名	近藤 ふさえ、広井 貴子、沼野 博子、多田 健一、林 友子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○1-3 他者の自己決定を擁護する力			

《授業の概要》

緩和・ターミナルケアを取り巻く医療・看護の現状を把握する。一人ひとりの自己決定を尊重するとともに、倫理的視点から考えることを学習する。

発達段階（小児・AYA世代・成人・老年期）にある人の死の捉え方、心理や家族の抱える課題、介入方法およびビハラー病棟での看護の実践についてオムニバス形式で授業を行う。

1コマの授業の進め方は「事前学習→グループワーク→事後学習」あるいは講義形式となる。

《授業の到達目標》

1. 緩和ケア及びターミナル期ケアの歴史について説明できる。 2. 各発達段階（小児・AYA世代・成人・老年期）における患者・家族への緩和ケア・ターミナルケアの現状と課題を説明できる。 3. 講義や演習をとし、人の生と死について考え、述べることができる。 4. 緩和ケアをおこなう医療チームにおける看護師の役割について考え、述べることができる。

《評価の方法》

レポート80%、グループワーク貢献20%

《テキスト》

『緩和ケア』（恒藤暁、田村恵子 編 医学書院 2020年）

《参考図書》

『終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア』メチカルフレンド社 『緩和・ターミナルケア看護論』ヌーヴェルヒロカワ
『ナースング・グラフィカ 成人看護学(6)：緩和ケア』メディカ出版 DVD「がん専門看護師 田村恵子の仕事」

《履修上の留意点》

- ・事前に提示する課題に真摯に取り組みグループワークで活用していく。
- ・レポートの提出期限や提出場所については授業内で説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	イントロダクション (緩和ケア)	学習内容及び方法、評価について概説する。緩和ケアを学ぶ意義について理解する。 (復習) 配布資料に目を通し学習のまとめをする。(60)	近藤ふさえ
2	緩和ケアの歴史の変遷と現状 (緩和ケアの歴史)	緩和ケアの歴史の変遷と理念、現状における課題について考える。 (予習) テキストp2～17を読む。(30分) (予習) 配布資料から学習のまとめをする。(60分) 非がん患者の緩和ケアの考え方と課題。	近藤ふさえ
3	死のプロセス (死のプロセス、受容)	死とは何か、様々な視点から死について考える。また、死のプロセスについて学ぶ。 (予習) テキストp97～112を読む。自分なりの死生観について考えてくる。(45分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(45分)	近藤ふさえ
4	死を避けられない患者・家族への援助 (患者の心理、家族の心理、チームアプローチ)	患者、家族の心理に触れ、患者・家族が抱える課題について考える。また、チームアプローチの意義について学ぶ。 (予習) テキストp20～34、p243～248を読む。選んだ書籍を読み、患者・家族が抱える課題と看護者の役割について考えてくる。(60分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(30分)	広井貴子
5	死を避けられない患者・家族への援助 (患者の心理、家族の心理、チームアプローチ)	患者、家族の心理に触れ、患者・家族が抱える課題について考える。また、チームアプローチの意義について学ぶ。 (予習) テキストp20～34、p243～248を読む。選んだ書籍を読み、患者・家族が抱える課題と看護者の役割について考えてくる。(60分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(30分)	広井貴子

科目名	緩和・ターミナルケア看護論	授業科目番号	2315040
担当者氏名	近藤 ふさえ、広井 貴子、沼野 博子、多田 健一、林 友子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	むずかしい場面でのコミュニケーション (緩和ケア、コミュニケーション)	緩和ケアにおけるコミュニケーションや家族ケアについて学ぶ。 (予習) テキストp38～55を読む。(45分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(45分)	広井貴子
7	むずかしい場面でのコミュニケーション (緩和ケア、コミュニケーション)	【演習】 バッドニュース、患者が思いを訴えたとき、家族との関わりなど行う。 (予習) バッドニュースへの対応について調べる。(45分) (復習) 演習や実習での体験と知識とを統合させてバッドニュースへの対応考えをまとめる。(45分)	広井貴子
8	我が国におけるACPおよびDNARの現状と課題	ACPとDNARの概念および歴史的背景、現状と課題を学ぶ。 (予習) ACPとDNARの概念を調べる。(45分) (復習) 歴史的背景をふまえ現状と課題を整理する。(45分)	多田健一
9	小児・AYA世代の死のとりえ方 患者および家族への緩和・ターミナルケアの現状と課題 (子どもの死の理解、小児緩和ケア)	子どもの死のとりえ方や終末期にある子どもの心理について学ぶ。終末期における子どもと家族の看護について考える。 (予習) テキストp152～164を読む(45分) (復習) 小児看護援助論Ⅰ テキストp252～267を読む(45分)	沼野博子
10	小児・AYA世代の患者および家族への緩和・ターミナルケアの現状と課題 (こどもホスピス、子どものエンドオブライフケア)	子どものエンドオブライフケアにおける課題とこどもホスピスでの支援の実際を学ぶ。 (予習) こどもホスピスについて調べる(30分) (復習) 子どものエンドオブライフケアに関する考えをまとめる(60分)	沼野博子 (特別講師)
11	終末期における退院支援と在宅看取り	終末期における退院支援・退院調整のプロセス及び自宅で最後を迎える患者・家族へのケアを学ぶ。 (予習) テキストp116～129を読む。(45分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(45分)	林 友子
12	緩和ケアにおける身体症状における治療と看護	がん患者の身体症状(疼痛・全身倦怠感・消化器症状・呼吸困難)の治療・看護を学ぶ。 (予習) テキストp80～115を読む。(45分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(45分)	林 友子
13	臨死期のケア (看取り、セデーション)	がん終末期、非がん(慢性疾患の終末期)における全身状態の変化およびセデーションの概念を学ぶ。 (予習) テキストp224～253を読む。(30分) (復習) セデーションおよびセデーションを受ける患者・家族への看護を考察する。(60分)	林 友子
14	長岡西病院_ビハラー病棟における看護の実際と課題	ビハラー病棟における事例をとおして、緩和・ターミナル期にある人の生活支援、臨死期のケア、遺族へのケアの実際を理解する。 (予習) テキストp2～17および第1・2回授業資料を復習する。(30分) (課題学習) 講義をとおして終末期看護について考察する。(60分)	近藤ふさえ (長岡西病院 ビハラー病棟看護師)
15	緩和ケアに携わる看護師へのケア～看護師自身の心の揺らぎ～ (バーンアウト、ストレスマネジメント)	緩和ケアに携わる看護師のストレスマネジメントについて学ぶ。 (予習) テキストp256～264を読む。(30分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(60分)	近藤ふさえ

科目名	認知症ケア論			授業科目番号	2315050
担当者氏名	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、袖山 悦子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

認知症の病態と関連要因の理解と、認知症とともに生きる人の体験を通して、認知症の人のその人らしさを支える視点および家族ケアの視点から看護展開できる基礎的能力を養う。具体的には、認知症ケアにおける倫理的課題を取り上げ、権利擁護における看護の役割を学ぶ。また、認知症の人の生活環境の整え方やリスクマネジメント、ケア技法について学習する。

《授業の到達目標》

1. 認知症の症状を呈する疾患のうち四大認知症の種類と疫学を説明できる。 2. 認知症の検査と診断と治療が分かる。 3. 認知症の中核症状と行動・心理症状が説明できる。 4. 認知症と共に生きる人の心情が表現できる。 5. 認知症の人の倫理的課題・尊厳について意見交換できる。 6. 認知症の人とその家族を支えるサポートシステムが述べられる。 7. 認知症の人の生活環境からリスクマネジメントが考えられる。 8. 認知症の人とのコミュニケーション方法の原則を修得できる。

《評価の方法》

レポート50% 課題について講義の中で提示する。(到達目標：1,4,5,6,8)

定期試験50%。(到達目標：1,2,3,6,7,8)

《テキスト》

なし

《参考図書》

『認知症の人びとの看護』（中島紀恵子 監修・編集 医歯薬出版 2017年）

《履修上の留意点》

認知症の治療や看護は日進月歩である。参考図書から認知症ケアの課題が見出せるように学習して臨み、レポートやディスカッションで自己の考えを述べられるようにすること。レポートについては授業で説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス 認知症の疫学、施策 (認知症の疫学) (認知症施策の変遷)	ガイダンス、科目概要 ・認知症疾患患者の動向と社会背景 ・認知症施策の動向 ・認知症に対する社会の認識・理解 (予習) 実習で受け持った認知症の患者への看護について、レポートする。(60分)。(復習) 認知症の人が地域でくらし続けるために必要なことをノートにまとめる(60分)。 【レポート 5点】	袖山 悦子
2	四大認知症 (認知症とは) (四大認知症の病態・治療) 若年性認知症	・アルツハイマー型認知症の特徴と治療 ・レビー小体型認知症の特徴と治療 ・脳血管性認知症の特徴と治療 ・前頭側頭型認知症の特徴と治療 ・認知症の薬物療法・非薬物療法 ・若年性認知症 (予習) 4大認知症の病態・症状について調べ、ノートにまとめる(60分)。(復習) 4大認知症の看護についてまとめる(60分)。	袖山 悦子
3	認知症の症状のある人とのコミュニケーション (認知症の人とのコミュニケーション) (VRによる当事者疑似体験)	・認知症VRによる当事者疑似体験 ・認知症の人のコミュニケーションの特徴 ・コミュニケーション能力のアセスメント ・アルツハイマー型認知症のコミュニケーションの特徴 (予習) 既習のコミュニケーション技法をノートにまとめる(60分)。(復習) 認知症の人のコミュニケーション技法についてまとめる(60分)。 【レポート5点】	角山裕美子
4	認知症の人の生活環境・治療環境 (リスクマネジメント)	認知症の人の生活・療養環境・治療環境とリスクマネジメント ・認知症の人にとっての環境アセスメントの視点 認知症の人の療養環境 ・治療を受ける認知症の人の看護(事例を通して) (予習) 認知症の知識から、認知症の人に影響する環境要因をノートにまとめる(60分)。(復習) 認知症の人と環境の関係性についてまとめる(60分)。	角山裕美子
5	認知症ケアの倫理的課題 (認知症ケア時の倫理的問題) (アドボカシー)	認知症ケアの倫理的問題 ・認知症ケア時に生じる倫理的問題 ・認知症当事者の声(DVD) ・認知症の人の意思決定支援 ・アドボカシー ・倫理的ジレンマ (予習) 認知症ケア時に起こりやすい倫理的問題を考え、ノートにまとめる(60分)。(復習) 倫理的問題の解決に向けて自己の考えをまとめる(60分)	袖山 悦子

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	認知症ケア論	授業科目番号	2315050
担当者氏名	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、袖山 悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	認知症の人の終末期と看護 (認知症者の終末期)	認知症の人の終末期看護 ・認知症の人の終末期とは ・認知症者のQOL ・認知症の人の意思の尊重と介護家族の支援 ・終末期の身体的変化 (予習) 既習の高齢者の終末期看護について、ノートにまとめる(60分)。 (復習) 授業を振り返り、認知症の終末期ケアについて自己の考えをまとめる(60分)。	青柳 直樹
7	認知症のケア技法 (ユマニチュード) (パーソンセンタードケア)	認知症のケア技法 ・ユマニチュード ・パーソンセンタードケア (予習) ユマニチュード、パーソンセンタードケアについて調べ、ノートにまとめる(60分)。 (復習) 授業を振り返り、ユマニチュードの技法について自己の活用方法を考えノートにまとめる(60分)。	青柳 直樹
8	認知症の人の権利擁護、家族への支援方法のまとめと新たな社会資源の開発 (社会保障制度)	社会資源の活用と課題 ・介護保険制度 ・成年後見制度、日常生活自立支援事業 ・高齢者虐待防止法 ・地域包括支援センター ・認知症の人と家族の会 (予習) 認知症の人の権利擁護に関する制度・関連法規について調べ、ノートにまとめる(60分)。(復習) 認知症の人を支える新たな社会資源についての考えまとめる(60分)。【レポート 5点】	青柳 直樹
9	認知症の心情・介護家族の理解① (病名告知の受け止め) (今の自分・未来の自分) (認知症に対する社会の目)	・認知症の人の手記から認知症の病名告知から現在までの気持ちの変化 ・認知症の病名告知を受けた介護家族の気持ちとその変化 ・上記についての手記を読み、発表資料を作成する。 (予習) 認知症の人の手記を1冊読み、感想をまとめる(60分)。 (復習) グループディスカッションと事前学習を統合させ発表資料を見直す(60分)。	多田 健一
10	認知症の心情・介護家族の理解② (病名告知の受け止め) (今の自分・未来の自分) (認知症に対する社会の目)	・認知症の人の手記から認知症の病名告知から現在までの気持ちの変化 ・認知症の病名告知を受けた介護家族の気持ちとその変化 ・上記についてまとめた資料を発表し、学びを共有する。 (予習) 発表に向けた資料を見直し、発表準備を行う(60分)。 (復習) 各グループの発表から認知症の人とその家族の心情の理解につなげまとめる(60分)。【レポート 10点】	多田 健一
11	認知症の人への支援制度 (認知症介護者の講演)	認知症の人への支援制度について認知症家族による実体験の講演から学ぶ / ・認知症の人を支える家族の介護負担 ・認知症の人の介護で得られたこと ・介護における社会資源の活用方法 (予習) 介護保険等認知症施策について調べノートにまとめる(60分)。 (復習) 家族会の講演内容と事前学習を統合させまとめる(60分)。 【レポート 5点】	角山裕美子
12	フィールドワーク (認知症の人とのコミュニケーション) (グループホーム) (小規模多機能型居宅介護) (生活機能を整える看護)	《グループホームや小規模多機能型居宅介護でのフィールドワーク》 ・認知症の人とのコミュニケーション ・認知症の人の日常生活(日・週・年単位) ・認知症の人の生活の楽しみ ・家族との交流 (予習) 地域で暮らす認知症の人が住み慣れた場所で暮らし続けるために活用可能な施設の機能、役割を復習する(60分)。	角山裕美子
13	フィールドワーク (認知症の人とのコミュニケーション) (グループホーム) (小規模多機能型居宅介護) (生活機能を整える看護)	《グループホームや小規模多機能型居宅介護でのフィールドワーク》 同上	角山裕美子
14	フィールドワークのまとめ (認知症の人とのコミュニケーション) (地域でくらす認知症高齢者)	《グループホームや小規模多機能型居宅介護でのフィールドワークのまとめ》 フィールドワークでの学びについて、グループディスカッションを行い、発表原稿を作成する(発表方法等については授業で説明する)	角山裕美子
15	フィールドワークのまとめ (認知症の人とのコミュニケーション) (地域でくらす認知症高齢者)	《グループホーム見学発表》 グループもしくは個人単位で発表して、学びを共有する。 (復習) 発表から得た学びを含めて、レポートする(60分)。 【レポート 20点】	角山裕美子